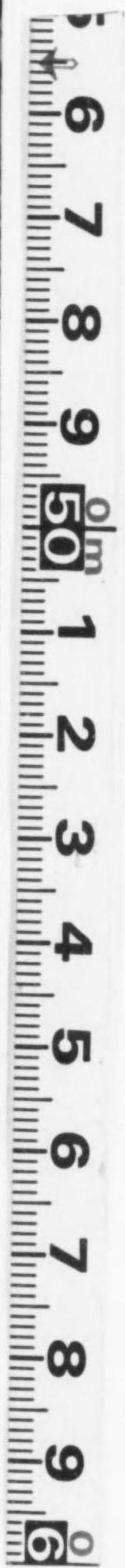




昭和十一年八月

第十回騎手講習會記事

社團
法人 帝國競馬協會

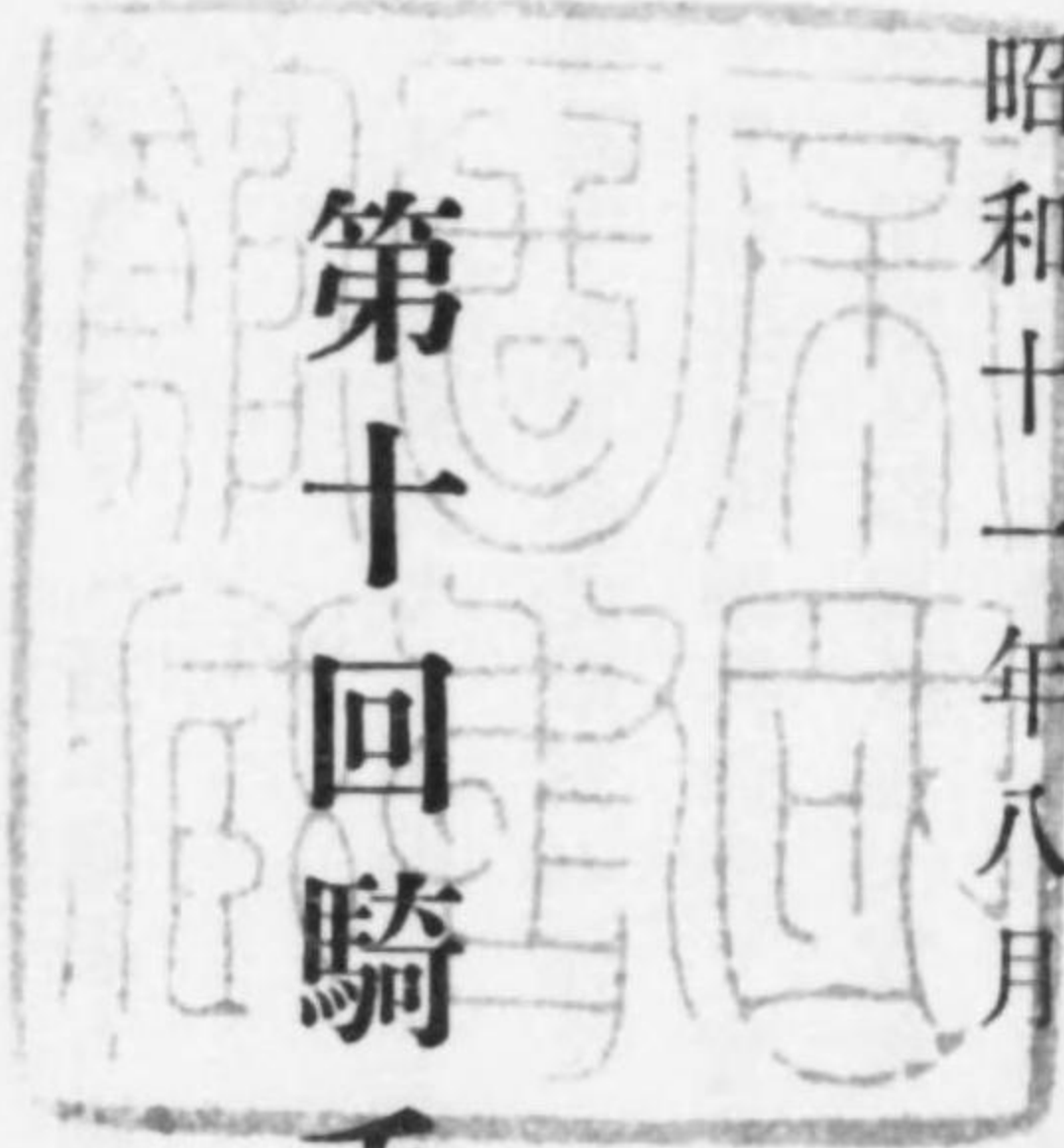


始



特234
535

昭和十一年八月



第十回騎手講習會記事

社團
法人 帝國競馬協會



第十四回競馬講習會盛衰

競馬協會

緒言

本年度騎手講習會モ亦前年ト同様八月一日ヨリ同十四日マデ主トシテ陸軍騎兵學校ニ於テ開催シ障礙飛越ノ實習ト精神修養並ニ人格向上ヲ主眼トシ併セテ騎手及調教手トシテ必要ナル學科教育ヲ實施セリ。

開催中陸軍騎兵學校ニ於テハ酷暑ノ候殊ニ休學中ニモ拘ラズ數名ノ專任教官ヲ配屬セラレ且ツ優良ナル障礙馬ヲ講習者ニ貸與セラレ嚴格ナル規律ノ下ニ之ヲ指導セラレタリ。

又馬政局ヨリハ競馬關係ノ事務官及技師ヲ派遣セラレ帝國大學及陸軍獸醫學校ヨリモ各専門ノ講師ヲ煩ハスコトヲ得タリ。

尙宮内省主馬寮ノ拜觀及同下總牧場見學ノ際ハ特ニ多大ノ便宜ヲ與ヘラレ中山競馬俱樂部ニ於テモ一日場内ヲ開放シテ講習ヲ援助セラレタリ。

其ノ他競馬俱樂部ノ役職員ハ屢々講習ノ實況ヲ視察セラレ且ツ各所屬騎手ヲ督勵セ

ラレタリ。

本協會ハ如上ノ援助ニ對シ茲ニ感謝ヲ表スルト共ニ本講習ニ就テハ將來一層ノ指導ヲ希フモノナリ

昭和十一年八月

社團 帝國競馬協會
法人

目次

一 講習者並ニ講習會係員	一頁
二 講習豫定	二
三 講習實施	五
四 講習者成績概況	八
五 訓示、講演其ノ他	九
(一) 三浦常務理事開會ノ挨拶	九
(二) 馬政局次長訓示	二
(三) 石田騎兵中佐訓話	三
(四) 競馬實施ニ關スル事項	一六
(五) 競走ニ於ケル人馬ノ態勢其ノ他	三三
(六) 競馬法規ニ關スル事項	四
(七) 馬政馬産ニ關スル事項	三
(八) 競走馬ノ疾病ニ就テ	六

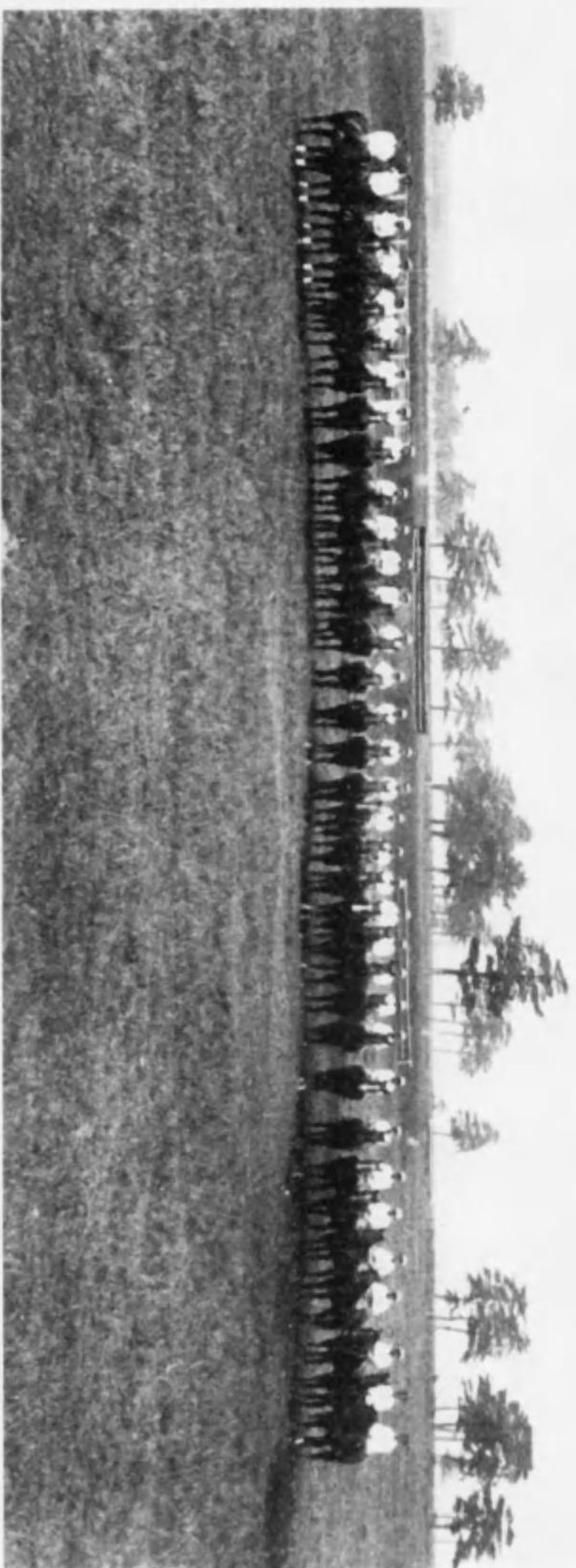
目次

一

目次

二

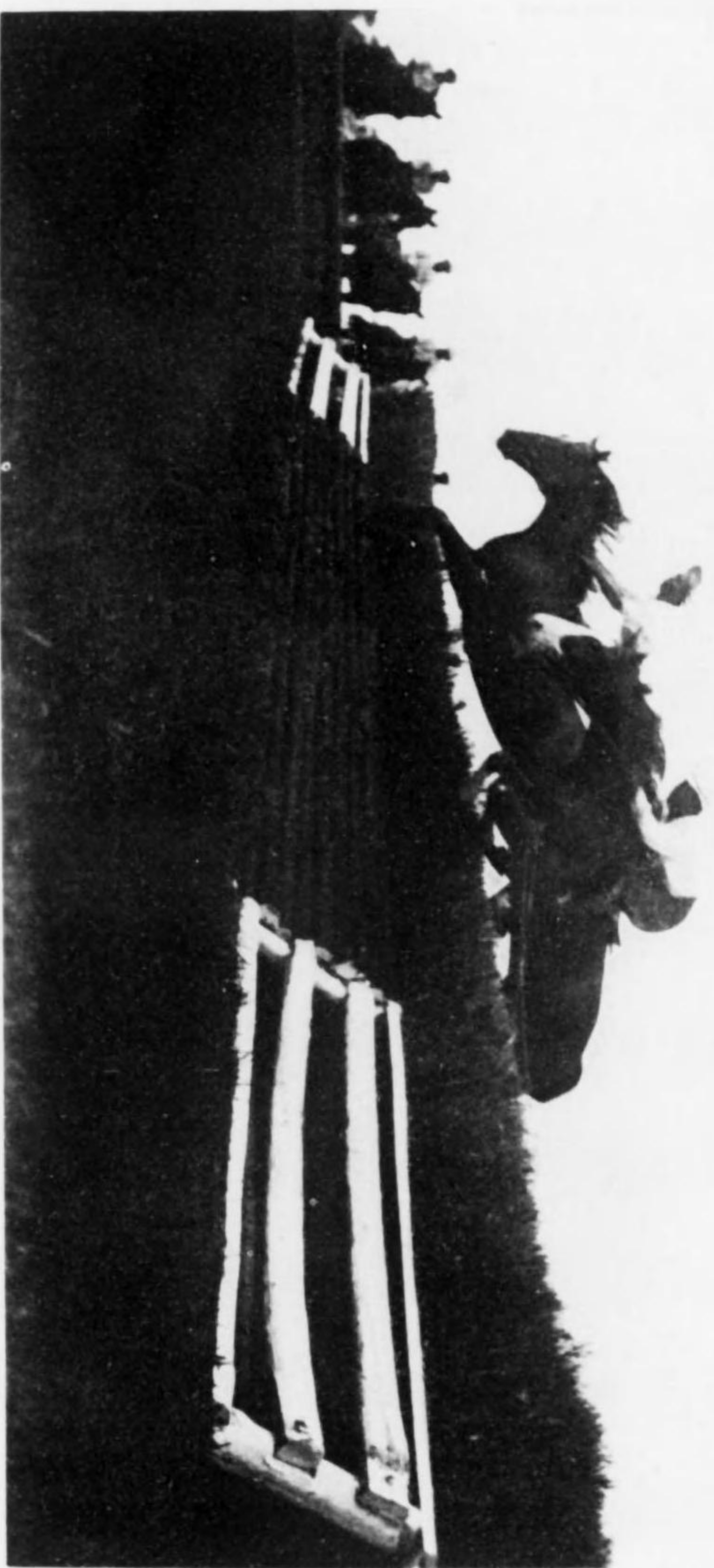
- (九) 外國競馬所見並ニ競走馬ノ調教、管理、飼養ノ一般ニ就テ……………松葉農學博士…一四三
- (十) 障礙飛越檢定後石田騎兵中佐ノ與ヘラレタル注意……………三〇
- (十一) 講習證書授與式ニ於ケル最上馬政局事務官ノ挨拶……………三三
- (十二) 講習證書授與式ニ於ケル三浦常務理事ノ挨拶……………三六



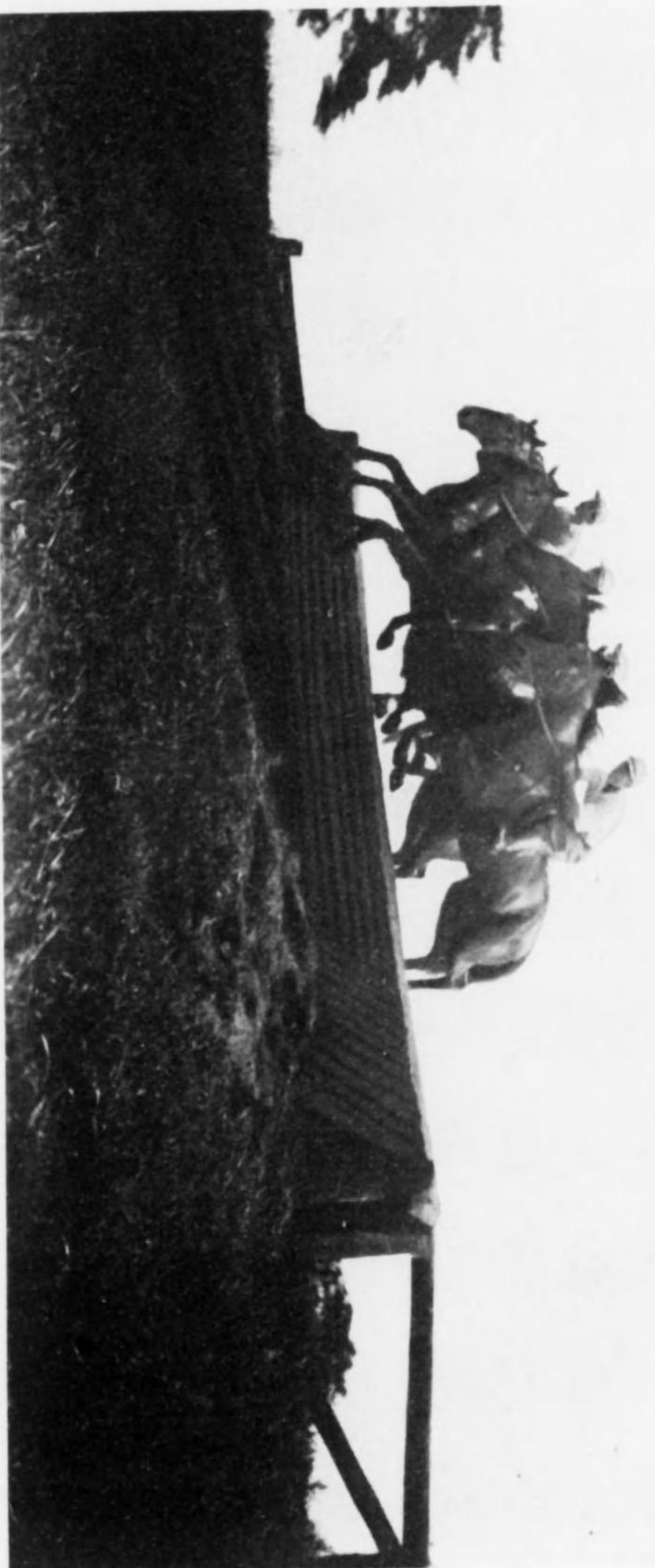
同一者習講及官教校學兵騎



一 共 越 飛 碍 手 騎



二共越飛碍手騎



三共越飛碍手騎

第十回騎手講習會記事

一、講習者並ニ講習會係員

(一) 講習者

講習希望者ハ左記推薦要領ニ基キ各競馬俱樂部ヨリ推薦セラレタルモノ九十一名ノ多數ニ上リタルモ陸軍騎兵學校ニ於テ貸與セラル、障碍用馬ノ關係上之ヲ三十名ニ限定スルノ已ムナキニ至レリ

講習者推薦要領

- イ、當該競馬俱樂部ニ於テ騎乗免狀ヲ交付シタル騎手タルコト
 - ロ、品性優良ナル少壯者タルコト
 - ハ、講習者推薦順位ハ本協會主催ノ講習ヲ受ケザルモノヲ上位トスルコト
 - ニ、講習者ハ全員騎兵學校附近ニ宿泊セシムルコト
- 本協會ハ各競馬俱樂部所屬騎手ノ人員ト推薦人員及其ノ順位ヲ顧慮シ詮衡ノ上左ノ通り講習者ヲ決定セリ

講習者並ニ講習會係員

講習豫定

日本 秋谷元治、黒澤定治
 東京 上原昌平、鮫川富秋、田畑志郎、岩下密政、鈴木千代治、富樫大
 阪神 武平三、和田正雄、黒瀬義包、永里巳義、宮本保一、長濱彦三郎、吉田忠夫
 京都 佐藤勇、高橋諒一、土門健司
 函館 吉野勇
 札幌 小溝秋義
 中山 服部千次郎、新井朋次郎、笠松正雄、石井直二、金澤文三
 小倉 林清、濱田光、陶山一夫
 福島 鈴木菊松
 宮崎 寺田登七
 計 三十名

(二) 講習會係員
 主任 帝國競馬協會囑託 森本重雄

講習豫定

講習會日課豫定表左ノ如シ

月日		時限	第十回騎手講習會日課豫定表		場所
八月一日	土	自午前六時三十分至午前八時	競馬協會理事長挨拶 馬政局次長訓示 騎兵學校長訓示 同校馬術科長訓話 (當日ハ午前八時三十分開會トス)	新古馬障礙飛越訓練 (古馬馬政局事務官)	陸軍騎兵學校
"	二日	自午前六時三十分至午前八時	競走ニ於ケル人馬ノ態勢 障礙用馬自由飛越ノ要領 (岡田理事) (當日ハ午前七時三十分開始トス)	中山病馬治療場見學 競馬關係映畫(係)	陸軍騎兵學校
"	三日	自午前六時三十分至午前八時	新古馬障礙飛越訓練	競馬法規ニ關スル事項 (清井馬政局事務官)	陸軍騎兵學校
"	四日	自午前六時三十分至午前八時	同	馬政、馬産ニ關スル事項 (井上馬政局技師)	陸軍騎兵學校
"	五日	自午前六時三十分至午前八時	同	各馬種供覽並ニ外貌實習 (尾方騎兵少佐)	陸軍騎兵學校
"	六日	自午前六時三十分至午前八時	宮内省主馬寮拜觀(御料馬其他)	競走馬ノ疾病ニ就テ (板垣農學博士)	陸軍騎兵學校
"	七日	自午前六時三十分至午前八時	新古馬障礙飛越訓練	(豫備)	陸軍騎兵學校
"	八日	自午前六時三十分至午前八時	古馬障礙飛越	學科試驗(係)	陸軍騎兵學校

講習豫定

講習豫定

九日	日	宮内省下總牧場見學(種牡馬、主ナル蕃殖牝馬、幼駒ノ育成調教等)	護蹄並ニ競走用蹄鐵ニ就テ(井上二等獸醫正)	陸軍
十日	月	新古馬障礙飛越訓練		陸軍
十一日	火	同	右	陸軍
十二日	水	同	右	陸軍
十三日	木	同	右	陸軍
十四日	金	障礙飛越檢定(午前八時三十分開始)訓示、證書授與式——會食後解散	競走馬ノ飼養、管理 (松葉農學博士) 學科試驗(係)	陸軍

備考

一、講習者ハ七月三十一日午後三時迄ニ千葉縣習志野藥園臺ニ到リ豫メ指定セル宿舍ニ入り係員ノ指示ヲ待ツコト

二、八月二日ノ課目ハ中山競馬俱樂部ニ於テ實施ス之レカ爲午前六時三十分藥園臺出發中山競馬場ニ至ル

三、八月六日宮内省主馬寮拜觀ノ際ハ午前六時三十分藥園臺出發午前八時主馬寮ニ到ル

四、八月九日下總牧場見學ノ際ハ午前六時三十分藥園臺出發三里塚ニ到リ同日夕刻歸還ス

五、講習者ハ七月三十一日集合ノ節左ノ物品ヲ携行スルコト
騎手教程草案、障礙用帽子、鏡、鍍革及頭絡(小勒術、韃共)

六、八月一日及十四日ハ午前八時三十分開始トアルモ講習者ハ午前八時所定ノ場所ニ集合スルモノトス

◎注意、鞍、腹帶、大腹帶及「ゼツケン」ハ競馬協會ニ於テ準備ス

三、講習實施

講習ハ大體豫定通り實施シタルモ其ノ概況ヲ摘記スレバ左ノ如シ

八月一日、競馬協會理事長松平伯爵代理三浦常務理事ノ開會ノ挨拶後馬政局次長訓示ヲ笹山事務官代讀セラレ次デ騎兵學校馬術科長石田中佐ノ訓話アリ終ツテ豫定ノ日課ニ入ル

障礙飛越練習ノ際ハ全員ヲ左表ノ如ク三ヶ班ニ分チ第一班ハ宮尾少佐、第二班ハ秀平大尉、第三班ハ初日伊藤少佐、第二日以後渡邊大尉及坂本大尉之ヲ擔當セラレ全般ノ指揮ハ石田中佐之ニ當ラレタ

講習者班別表

班別	番號	騎手氏名	所屬
第一	1	鈴木千代治	東京
	2	富 桎 大	東京
	3	新井朋次郎	中山
	4	土門健司	京都
第二	1	鈴木菊松	福島
	2	濱 田 光	小倉
	3	武 平 三	阪神
	4	金澤文三	中山
第三	1	寺田登七	宮崎
	2	岩下密政	東京
	3	高橋諒一	京都
	4	吉野 勇	函館

講習實施

(朝白) 班

10	9	8	7	6	5
秋谷元治	陶山一夫	吉田忠夫	服部千次郎	小溝秋義	黒瀬義包
日本	小倉	阪神	中山	札幌	阪神

(朝青) 班

10	9	8	7	6	5
鮫川富秋	佐藤勇	和田正雄	上原昌平	黒澤定治	永里巳義
東京	京都	阪神	東京	日本	阪神

(朝赤) 班

10	9	8	7	6	5
林清	石井直二	長濱彦三郎	田畑志郎	宮本保一	笠松正雄
小倉	中山	阪神	東京	阪神	中山

八月二日、中山競馬俱樂部ニ於テ岡田理事ノ講演及障碍馬ノ自由飛越實演後病馬治療場ニ於テ南村技士左記事項ニ關シ實馬並ニ實物ニ就テ詳細説明セラル

- 1 在厩馬中ノ代表的競走馬附競走馬ノ選擇法
- 2 競走馬ニ發生スル損傷
- 3 競走馬ニ發生スル疾病
- 4 衛生施設ノ大要

八月五日、各馬種供覽並ニ外貌實習ハ尾方少佐差支ノ爲渡邊大尉代ツテ之ヲ實施セラレ校馬三十二頭ニ付對照比較ノ上詳細ニ説明セラレタリ

八月六日、宮内省主馬寮拜觀ノ際ハ寮庭ニ於テ先ヅ御料馬ヲ拜觀シ次テ古式馬術(母衣引)、馬車馭法術、儀裝馬車、御物陳列所及各厩舎ヲ見學スルノ光榮ニ浴シタリ

右終ツテ一同二重橋前ニ集合宮城ヲ遙拜次テ明治神宮、靖國神社、乃木神社及泉岳寺ヲ巡回參詣セシメタリ

八月九日、下總牧場見學ノ際ハ種牡馬ノ外三歲馬全部ト蕃殖牝馬(當歲共)ニ付見學セリ

八月十二日、松葉博士ノ講演ハ正午迄ノ豫定ナリシモ一旦休憩後更ニ午後一時ヨリ同三時迄實施セラレタリ

八月十四日、障碍飛越檢定ノ際ハ各練習班毎ニ擔當教官ノ誘導ニヨリ駢歩ヲ以テ十數個ノ固定障碍及ビ「バンケット」ヲ連續飛越シ石田中佐之ヲ査閲セラレ終ツテ將來ニ關シ懇切ナル注意ヲ與ヘラル

講習中ノ事故左ノ如シ

長濱彦三郎 八月五日落馬負傷ノ爲當日及翌日ノ二日間缺勤

鮫川 富秋 八月八日馬ト共ニ顛倒シ負傷入院ノタメ當日以後缺勤

講習實施ニ關シ將來注意スベキ要件左ノ如シ

イ、講習中ノ乘馬練習ハ昭和九年以後休日ヲ除キ十一日間トナレルモ從來ノ經驗ニ徴シ正味十四日間ニ復舊スルコトヲ得バ其ノ成績一層良好トナラン

講習者成績概況

- ロ、學科ハ成ルベク實習時間ヲ増加スルコト
- ハ、障礙飛越練習ノ際ハ障礙用鞍ヲ使用スルコト

四、講習者成績概況

- 1 講習者ハ一般ニ熱心勉勵セシモ規律ノ嚴守ト時間ノ勵行ニ就テハ尙督勵ヲ要スルモノアリ
 - 2 騎手ノ人格ハ逐年向上改善ノ傾向ニアルモ將來尙一層精神ノ修養ト陶冶ヲ必要トス
 - 3 學科ハ平素ニ於ケル研究足ラザルガ爲其ノ會得十分ナラザルモノアリ然レドモ競馬騎手トシテノ責務ノ重大ナルコトハ概ネ腦裡ニ銘刻シ得タルモノト認ム
 - 4 障礙飛越馬ノ訓練法ハ概ネ其ノ原則ヲ理解セリ
 - 5 障礙飛越ノ實習ハ習志野練兵場ニ設置シアル高サ一米突二〇乃至一米突三五、幅二米突乃至三米突ノ各種固定障礙及複雜ナル「バンケット」等ヲ毎日連續飛越セシヲ以テ將來各競馬場ノ障礙競走ニ出場シ支障ナキモノト認ム
- 講習證書ハ負傷入院ノ鮫川富秋ヲ除キタル二十九名ニ對シテ授與シ左記三名ハ技術優秀ナリシヲ以テ特ニ賞狀並ニ賞品ヲ授與セリ

第一班、新井朋次郎(中山)、第二班、和田正雄(阪神)、第三班、宮本保一(阪神)

五、訓示、講演其ノ他

本講習會ニ於ケル訓示、講演等ノ概要ヲ筆記シタルモノ次ノ如シ(文責在記者)

但シ井上二等獸醫正ノ護蹄及競走用蹄鐵ニ關スル學科ハ騎手教程草案ニヨリ講演セラレタルヲ以テ重複ヲ避クル爲之ヲ省略スルコト、セリ

(一) 三浦常務理事開會ノ挨拶

此講習會モ今回第十回トナリマシタ。最切ト比較致シマスレバ、秩序ガ正シク、年々非常ナ好成績ヲ舉ゲテ參リマシタ。今回モ同様皆サンノ御勉勵ニ依ツテ、一層ノ成績ヲ舉ゲルコトト考ヘマス。皆サンハ競馬ノ現狀ニ付テ、ドウ云フ御考デ是マデ居ラレタカ知リマセヌガ、私共ノ聞イテ居ル所デハ、厩舎ノ空氣ト云ヒマスカ馬主、騎手、下乗、馬丁、サウ云フ人々ノ關係シテ居ル所ノ空氣ハ、外部ガ思ツテ居ルヤウニ、緊張シテ居ナイ、兎角ダレ氣味デアルト云フヤウニ聞イテ居リマス。就中競馬ノ施行最中ニ於テモ、觀衆ノ前ニ於テハ、相當ニ形ヲ整ヘテ居リマスケレドモ、觀衆ノ眼ヲ離レタ遠方ニ於テハ雜談或ハ大聲ヲ發シテ、御互ニ戲談ヲ云ツタリシテ居ル聲ガ、時々出ル、又厩舎ノ平素ノ生活ニ於テモ、色々ナ面白クナイコトガアル。是ハ何モ誰ガ惡イカト云フコトハ考ヘラレナイノデ

訓示、講演其他

日本ノ競馬ノ永ラクノ状態ガ、サウ云フ風デ、容易ニ改良サレナイト云フノデ、御互ニ遺憾ト思フ外アリマセン。併ナガラサウ云フ状態デ、引キ續キヤツテ居ルト云フコトハ、誰モ希望シナイ所デ、恐ラク馬主モ希望致シマセズ、アナタ方ノ所謂先生達ト云フ人達モ、今日ノ現狀デ満足シテ居ラレル譯デハナイ。只情性デサウ云フ風ニナツテ居ル譯デ、各々皆遺憾ニ思ウテ居ラレルト思フノデアリマス。殊ニ年ノ若イアナタ方ハ一層之デハイカスト思ウテ居ラレルデアラウト思フノデス。此皆ガ之デハイカスト思ウテ居ナガラ、其儘放置シテ居ルト云フコトハ、一番困ツタコトデ極端ニ云ヒマスレバ誰カ、爆彈ヲ投ズルマデ續クモノデアリマス。皆ガ斯ウシタイト思フテ居ナガラ、サウ出来ナイ、誰モ邪魔ヲシテ居ルト云フ人ハナイノデアリマスケレドモ、情性デ只サウナツテ居ルト云フコトハ、結局是ガモ少シ續イテ行クナラバ、誰カ、競馬革新ノ爲ニ、ドツカラカ爆彈ヲ投ゲルト云フヤウナ時代ガアラウト思ヒマス。幸ヒニ先輩皆サンノ御考ニ依ツテ、騎手及厩舎關係ノ状態ハ、只漫然トシテハ容易ニ直ラナイト云フコトニ着眼サレマシテ、此講習會ト云フモノヲ設ケ、騎兵學校ト云フモノニ頼ツテ、即チ軍人ニ頼ツテ、此多年ノ氣風ヲ革新シテ戴カウ、サウシタラバ爆彈ヲ投ゲナクテモ濟ムデアラウト云フコトカラ起リマシテ、十回モ今日續イテ居ルノデアリマス。陸軍並ニ農林省ニ於カレテハ、大變御手数デアリマスガ、兩省共競馬ノ重要ナルコトニ鑑ミラレテ、極メテ御厄介ナ仕事デアルケレドモ、眼ヲ瞑ツテ此事業ニ御盡瘁シテ下サルノデ、ドウゾ御勉強ヲナサイマシテ、歸ラレテカラ

革新ノ爲ニ御努力ナサルコトヲ御願ヒ致シマス

(二) 馬政局次長訓示 (笹山事務官代讀)

本日馬政局次長ガ御見エニナル豫定デアリマシタガ、據所ナイ用事ノ爲ニ來ラレマセヌノデ、私ガ代ツテ挨拶ヲ申上ゲマス

今回第十回騎手講習會ノ開催ニ當リ、一言御挨拶ヲ申上ゲ、尙所感ノ一端ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス

本年ハ宛モ馬政第二次計畫實施ノ初年デアリマシテ、馬事關係者ニトツテハ、色々ノ意味ニ於テ記念スベキ年デアリマスガ、此ノ機會ニ於テ競馬施行上重要ナル地位ニ在ル騎手諸君ノ人格ヲ陶冶シ、技術ヲ鍊磨スルコトハ、將來競馬ノ發達ヲ期スル上ニ於テ極メテ有意義ナ催デアルト信ジマス

馬政第二次計畫ノ主眼トスル所ハ、國防上必要ナル有能乘輓馬六十萬頭ヲ、産業上ノ確固タル基礎ニ立脚シテ充實ヲ圖ルコトデアリマスガ、此ノコトハナカ／＼容易ナラヌコトデアツテ、各種ノ方法ヲ以テ適切ナル保護獎勵ヲ行ハナケレバナライノハ勿論デアリマスガ、就中競馬ニ期待スル所、益々大ナルモノガアルノデアリマス、此ノ意味ニ於テ今回競馬法ニ改正ヲ加へ、競馬施行機關ヲ統一シ

テ機能ノ充實強化ヲ圖リ、又取締ヲ嚴正ニシテ弊害ヲ除去シ、以テ馬政ノ要求達成上遺憾無キヲ期シタ次第デアリマス

我方國ニ於ケル競馬ノ目的ハ、競走ニ依リ馬ノ能力ニ對シテ嚴正ナル檢定ヲ加ヘ、馬改良上根幹タル優良ナル種馬ヲ選定シテ、馬ノ資質向上ヲ圖ルト共ニ、有能馬資源ノ維持涵養ニ資スルコトニアルノデアリマシテ、競馬無クシテ馬産ノ發達ハ期シ得ラレヌコトハ、各國ニ於テモ既ニ經驗セル所デアリマス

諸君ハ此ノ馬ノ能力檢定ト云フ競馬ノ眼目ニ關シテ、極メテ責任ノ在ル重要ナ地位ニ在ルノデアリマシテ、競馬ガ其ノ目的使命ヲ完全ニ達成シ得ルヤ否ヤハ、偏ニ諸君ノ双肩ニ懸ツテ居ルト言ツテモ差支ヘ無イノデアリマス、帝國競馬協會ガ毎年騎手講習會ヲ開催シテ、諸君ノ騎乗技術ノ向上ト人格ノ陶冶ニ努メラレテ居ルノモ、全ク諸君ガ如何ニ大切ナ任務ヲ持ツテ居ルカヲ考ヘテ居ルカラデアリマス、若シ騎手ニシテ人格ノ修養ヲ怠リ、競走ノ公正ヲ害スル様ナコトガアルナラバ、獨リ競馬界ヲ荼毒スルノミナラズ、我方國馬政遂行上ニモ由々シキ結果ヲ招來スルコトニナルノデアリマス、今回ノ競馬法改正ニ當ツテ、騎手調教師ノ取締規則ヲ定メルコトニシタノモ、右ノ趣旨ニ由ルモノデアリマスカラ、諸君ハ十分其ノ任務ノ重大ナルコトヲ自覺シ、教官各位ノ教ヲ克ク守リ、競馬ノ重責ヲ眞ニ擔當シ得ル騎手トシテ缺クベカラザル高潔ナル精神ト技術ノ鍊磨ニ努メ、以テ當局ノ期待ニ十分副

フ様努力セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス

終リニ臨ミマシテ、騎兵學校御當局及帝國競馬協會並ニ此ノ炎暑ノ折柄御指導ノ任ニ當ラレマヌル教官各位ニ深甚ナル謝意ヲ表シマス

(三) 石田騎兵中佐訓話

私ハ今度ノ講習會ノ障碍飛越練習ニ關スル監督ヲ命ゼラレマシタ石田中佐デアリマス。練習上ノ注意ニ付テハ、ソレ／＼直接擔任教官カラ述べラレル筈デアリマスガ二三重要ナ事ニ付テ云ツテ置キマス

其ノ一ハ、精神ノ修養、人格ノ陶冶ト云フコトデアリマス。前ニモ述べラレマシタ通り、競馬ガ、非常ニ國家ノ爲ニ必要デアルト云フコトト、騎手ガ非常ニ重大ナル任務ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、既ニ承知ノコト、思ヒマス。競馬ガ正シク行ハレルト云フコトハ、先程モ御話ガアツタ通り、一ニ騎手諸君ノ双肩ニ懸ツテ居ルト云ハナケレバナラス、從ツテ諸君ハ技術ヲ向上スル、即チ馬ノ乗り方ガ巧クナルト云フコトハ、勿論必要デアリマスガ、其外ニ先程云ツタ精神ノ修養ト人格ノ陶冶ト云フコトガ特ニ必要デアリマス。詳シク云フト、規律節制ヲ能ク守リ、自ラ行狀ヲ慎ミ、御互方圓滿デ上人ノ言付ケヲ能ク守リ之ヲ敬フ。尙自分ノ命ゼラレタル所ノ任務ハ、如何ナル困難ガアツテモ是レヲ

排除シテ正シク行フト云フヤウナ事柄ガ、非常ニ必要ナコトナルデアリマス。ソコデ此技術ノ向上ト云フヤウナコトハ、時間日數ヲ費セバ、之ヲ上達セシムルコトガ出來ル。併ナガラ此精神ノ修養デアルトカ或ハ人格ノ陶冶ト云フコトハ、ナカクヤリ難イ、自ラ進ンデヤラウト云フ心掛ガナイト出來ナイ。丁度此講習會ガ開カレテ、諸君ガ團體生活ヲナシ、尙軍隊デ指導スルト云フヤウナ場合ハ此精神修養ヲヤルノニ非常ニ、好時期デアラウト考ヘル。先程モ三浦理事カラ御話ガアツタ様ニ、サウ云フコトガ此講習會ノ一番大事ナ使命デアラウト私ハ考ヘテ居リマス。ソコデ指導スル教官ニモ、技術ノ向上ト云フヨリモ、今云ツタ所ノ精神ノ修養或ハ人格ノ陶冶ト云フコトニ重キヲ置イテ呉レト云フ風ニ命ジテ置キマシタカラ其積リデ居ツテ貰ヒタイ。例ヘバ芝居ト云フヤウナモノハ、矢張り國家ノ爲ニ非常ニ有益ナモノデアリマスガ、昔ハ此芝居ヲ直接ヤル所ノ所謂役者ガ品行ガ惡イト云フヤウナ爲ニ、河原乞食ト云フヤウナ、侮辱ヲサレルヤウナ風ニナリ、從ツテ此芝居ト云フモノガ、非常ニ進歩ヲ妨ゲラレテ居ツタ、所ガ近頃ハ段々サウ云フコトハナクナツテ、自覺ヲシテ來タ。ソコデ此芝居ト云フモノハ、非常ニ進歩シ、社會ノ爲ニ貢獻ヲスルコトガ多イト云フヤウニ、諸君ガ行狀ヲ慎ンデ、精神ガ非常ニ修養サレ、人格ガ陶冶ヲサレルト云フト、競馬ト云フモノガ、非常ニ生キタ仕事ヲスルヤウニナルデアラウト思フ。非常ニオカシナ例ヲ引キマシタガ、反省セラレル資ニ申述ベテ置キマス。ドウカ其積リデ今云ツタヤウニ、精神方面ノコトニ十分氣ヲ付ケテヤルコトガ必要デアアル

ト云フコトヲ申シテ置キマス

次ニハ練習ノコトデアリマスガ、例年ノ通りニ障碍飛越ノ要領ヲ教ヘルノト、障碍飛越馬ノ調教法即チ仕込ミ方ヲ教ヘル、此二ツヲ主眼トシテ教育ヲシマス。諸君ガ非常ニ速力ヲ以テ障碍ヲ飛ブト云フヤウナ本目的ニ對シテ、少シ縁遠イヤウナ感ガアリマスガ、此基礎ト云フモノガ、能ク出來テ居ラヌト進ンダコトヲヤツテモ、結局進歩ヲシナイ。是ハ今マデノ講習ノ成績ヲ見、或ハ實際ニ競馬場裡ニ於テ、騎手ノ乗ツテ居ラレルノヲ見テ、ドウシテモ基礎教育ヲヤラナケレバナラス、基礎教育ガ必要デアルト云フコトヲ痛感シテ居ル爲ニヤルデアルカラ、誤解ノナイヤウニシテ貰ヒタイ。尙諸君ノ先輩ガ今マデ諸君ニ對シテ指導シテ居ラレタノト、今度此學校デ教官ガ指導スルノトハ、或ハ違ツタ點ガアルカモ知レナイ。是ハ馬ノ狀態デアルトカ、色々ナ關係デ違ハナケレバナラスヤウニナルノガ當然ダト思フ併ナガラ基本ト云フモノハ同ジデアル。ソコデ若シサウ云フヤウナコトニ遭遇シタナラバ、遠慮ナク教官ニ質問シテドウシテ、斯ウ云フヤウナ教ヘ方ヲサレルカト云フコトヲ聞キ正シテ能ク翫味サレタイ。何ダカ違フヤウダト云フダケデ、放ツテ置クヤウチヤイケナイ。必ズ其譯ヲ會得シテ、シツカリ自分ノモノニシテ歸ラレルヤウニシテ貰ヒタイ。

次ニハ馬デアアルガ、承知ノ通り學校ノ馬ハ、來月入校シテ來ル將校ヲ教育スル馬デアリマス。之ヲ損廢サレルト非常ニ教育上差支ヘガアリマス。併ナガラ諸君ガ此技術ヲ向上セラレル上ニ馬ハ非常ナ

役目ヲスルモノデアコトハ、諸君モ十分承知ノコトデアルカラ、馬ノ愛護ト云フコトニ付テハ、特ニ注意シテ貰ヒタイ。若シ少シデモ工合ガ悪イト、諸君ノ技倆向上ノ上ニモ支障ヲ來タスノデアルカラ、直ニ教官ニ申出デ、工合ノ悪イ馬ガ依然トシテ教育ニ使ハレルコトノナイヤウニ注意サレタイ

從來ノ講習會ノ成績ヲ聞イテ見マス、非常ニ宜シイト云フコトデアリマスガ、ドウカ多クノ時日ト勞力ヲ費シテヤルコトデアルカラ、ソレダケノ利益ガアルヤウニ、諸君ノ奮闘ヲ望ミマス。尙暑イ時デアルカラ、身體ヲ丈夫ニシ、身體ガ悪イ爲ニ、心身ノ鍛鍊ガ出來ナカツタト云フヤウナコトノナイ様ニ特ニ注意ヲサレタイ

(四) 競馬實施ニ關スル事項

川崎馬政局事務官

是カラ私ノ受持ノ競走實施ニ關スル事項ヲ色々御話シヨウト思ヒマスガ、先ヅ最初ニ競馬ノ目的ニ付テ、騎手トシテ心得テ置カナケレバナラスコトヲ申述ベ、次ニ騎手ノ責任ト云フカ、騎手ノ責務ニ付テ一應御話シタイト考ヘマス。此事ハ先年ノ騎手講習會デモ一通リ述べタノデアリマスガ、特ニ必要デアルト考ヘマスカラ、更ニ其一部ヲ繰返シテ申シマス、諸君ハ其積リデ、騎手トシテ一通リ知ツ

テ置カナケレバナナイト云フコトヲ心得テ居ツテ戴キタイ。公認競馬ノ目的ニ付テ、又使命ニ付テハ清井事務官ガ明日話スコトニナツテ居リマスノデ、此所デハ主トシテ軍事上ノ見地カラ一般競馬ノ目的ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス

競馬ノ目的

競馬ノ目的ハ馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ト云フコトニナツテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス。此競馬法ニ示シテ居ル改良増殖ト云フコトノ本當ノ意義ハドウデアルカ、之ヲ軍事國防ノ方面カラ考ヘテ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカ、即チ陸軍ガ特ニ此競馬ニ對シテ要望シテ居ル所ノ本當ノ意義ハドウデアルカト云フコトヲ申上ゲタイト思フ。最近一般ニ機械ガ發達シテ、軍事上ニ馬ハ必要デハナイデアラウ、サウ云フ風ニ觀察シテ、運搬トシテハ「トラツク」或ハ其外戰車トカ、色々ナ機械ガ發達シテ、從來戰時馬ニ要求シテ居ツタヤウナ重大使命ヲ馬ガ果サナイ、馬ハ要ラナイデアラウト觀察スルノデアルガ、是ハ大變ニ間違ツテ居ル。是ハ從來ノ日露戰爭デモ、或ハ歐洲大戰デモ、最近ノ滿洲事變デモ、馬ガ澤山軍事上ニ使ハレタト云フコトハ、統計的ニ觀察シテモ明瞭デスガ、特ニ日露戰爭ト現在ノ戰爭トノ比較ヲ申上ゲテ見ルナラバ、日露戰爭デハ歩兵ハ機關銃モ持タナケレバ、或ハ速射砲モ持タナイ、本當ノ小銃ヲ持ツテ戰闘ヲスルダケデアツタノデスガ。近頃ハ歩兵ト雖モ輕機關銃、重機關銃ヲ持ツテ居ル、ソレカラ迫撃砲ヲモ持ツテ居ル、或ハ毒瓦斯ノ設備モ持ツテ居ル、ソ

レカラ器材ヲ運搬スルノモ馬ヲ澤山使用スル場合ガアルノミナラズ兵器ノ進歩ニ從ツテ射撃ノ速度モ早クナツテ、澤山ノ彈藥ヲ使用スル爲ニ、ソレヲ運搬スルノガ皆馬ノ力ニ依ラナケレバ出來ナイ。ソレデ先程申上ゲタヤウニ機械力ガ非常ニ進歩發達スレバ、馬ハ要ラナイノデアラウト云フ觀察ハ、今ノ歩兵ノ例カラ考ヘテモ間違ヒデアル、斯ウ云フコトガ諒解ガ出來ルト思フ。尙モツト委シク説明ヲスレバ、成程馬ガ必要デアルカト云フコトモ分リマセウガ、今ノ例デモ略々概要ハ判斷ガ出來ルコトト思フ。ソレデ軍事上ニ馬ハ絶對必要デアル。其馬ガ競馬ノ施行ニ依ツテ、果シテ増殖セラレルカドウカト云フコトガ問題トナリ、疑問ガ起ルデアラウト思フノデスガ、是ハ競馬ノ施行法ニ於テ此目的ヲ達スルヤウニヤツタナラバ、其目的ハ達セラレルデアリマス。ソレデ歐米各國ノ競馬ノ實況ヲ見テモ、獨逸トカ或ハ「ソヴィエツト・ロシヤ」デハ競馬ト馬産ト云フモノヲ結び着ケテ競馬ヲ行ツテ居ル、國防上カラ競馬ヲ如何ニヤレバ、馬産ニドシナニ反映スルカト云フ風ナコトヲ考ヘテ居ル、又英吉利トカ亞米利加デハ、競馬ハ單ニ「スポーツ」ト云フ方面カラ見テ、速度ノ非常ニ速イノヲ尊ブ、サウ云フ風ナ競馬ノヤリ方ヲシテ居ル。佛蘭西デハ今述ベタ兩者ノ中間ノ方法ヲ施行シテ居ルデアリマス。ソレデ我が國ニ於テハ、矢張り競馬ニ依ツテ軍事上國防上ハ勿論産業上ニ必要ナ馬ノ改良増殖ヲ行フコトガ、絶對必要デアル。ソレデ其目的ヲ達スルヤウニ矢張り競馬ヲ行ハナケレバナラナイト云フコトヲ良ク諒解スレバ宜シイ。元來日本ノ競馬ハ變則的ニ發達シテ、大正十二年ニ競馬法

ガ出來タ時ニハ「レース」ノ大半ハ「サラブレッド」ノミノ競馬ヲヤツテ居ツタ。其後昭和四年或ハ昭和六年ノ法律改正ニ依ツテ、「アラブ」競走トカ、或ハ速歩競走、障礙競走、サウ云ウ風ナモノヲ要求サレ、所謂實用競馬ヲ相當多クヤルヤウニ改正サレテ、今日ニ及ンダ次第デアリマス。サウデアリマスガ、一部ノモノハ、矢張り競馬ト云ヘバ、「サラブレッド」偏重、「サラブレッド」競走ヲ主トシテヤリタイト云フ考ヲ持ツテ居ルモノガ少クナイ。ソレデ競馬ハ優良種馬ノ選定充實ヲ圖ルト云フコトヲ「モツト」トシテ、目標トシテ施行シヨウ、サウシテ軍馬ノ資源ト云フコトニ付テノ着眼ガ缺ケタヤリ方デ進マウト云フ考ヲ持ツテ居ルモノモアル、此事ガ先程申上ゲマシタヤウニ競馬ト國防ト云フ風ナコトヲ考ヘタ時ニハ、今申述ベマシタヤウニ、種馬ノ選定一點張リト云フ風ナコトデ進ンデハ、工合ガ悪イ、ドウシテモ日本ノ競馬トシテハ、國防上ノ要求ニ基イテ、我が國獨特ノ方法ヲ競馬ヲ行ツテ、強健持久力ニ富ンダ馬ガ澤山出來ルヤウニシナケレバナラヌト思ヒマス。言葉ヲ換ヘテ云フナラバ、益々軍馬主義ヲ徹底サセテ、所謂實用競馬ヲ更ニ尊重スル必要ガアルト考ヘマス。現在、我が國ノ産馬ノ狀況、其他競馬場ノ設備ナドハ、マダ私共ノ考ヘテ居ルヤウナ状態ニハナツテ居ラナイノガ多イト云フノハ、一定ノ障礙馬場ノ設備ガナイノガアルトカ、或ハ全ク平坦砥ノ如キ馬場デアルトカ、サウ云フ風ニ強健ナ馬ヲ選定スルト云フコトニ於テハ、缺ケテ居ルノガアル。競馬ノ目的ハ今述ベタヤウデアリマスカラ、日本ノ競馬ハ、競走ノ種類トカ、馬場ノ設備、競走距離、負擔重量、

總テ今述ベタ競馬ノ本當ノ目的使命ヲ達スルヤウナコトヲ考慮シテ、競馬ヲ行フコトガ必要デアアル。ソレデ諸君ガ競馬騎手トシテ任務ヲ盡ス上ニモ今述ベタ競馬ノ目的ト云フコトヲ、矢張り承知シテ居ツテ、競馬ニ依ツテ今云ツタ目的ヲ達成スルト云フコトニ、心掛ケネバナラスト思フ。是デ第一ノ競馬ノ目的ニ付テノ説明ヲ終ルガ、要ハ競馬ハドウ云フ風ナ目的デヤルカト云フコト競馬ノ大キナ目的或ハ各「レース」ノ目的、其レ等ヲ善ク理解シテ居ラナイトイケナイト思フノデ、特ニ此事ニ付テ申上ゲタノデアリマス。

騎手ノ責務

今申述ベマシタヤウニ、競馬ノ施行ハ、我が國獨自ノ方法、即チ國防上將又産業上カラ、馬産ノ獎勵ニナルヤウニ、之ヲ實施シテ居ルノデアアルカラ、之ニ携ツテ居ル者特ニ競馬ヲ施行スル上ニ於テ騎手諸君ハ非常ニ重要ナ役割ヲ勤メテ居ルノデアアルカラ、騎手諸君ノ責任ハ非常ニ重イト云ハナケレバナラス。昔カラ武士ニハ武士道ト云フモノガアル、是ハ克ク名ヲ重ンジテ、自分ノ本分ヲ盡スト云フコトヲ「モット」トシテ其行動ハ常ニ之ヲ以テ終始シテ居ル。之ト同様ニ騎手諸君ハ、自分ノ責任ヲ盡ス爲ニハ、騎手トシテ最モ必要ナル、騎手道ヲ守ルト云フコトデアルト思フ。歐米諸國ノ競馬ニ於テモ、各騎手ハ、克ク「スポーツマンシツブ」、先程歐米ノ競馬ハ「スポーツ」ト云フコトヲ目標トシテ居リ、從ツテ我が國競馬ト違フト述ベタノデアリマスガ、併シ此「スポーツマンシツブ」ト云フ

コトハ非常ニ必要ナコトデ、詰リ騎手道ト云ヒマスカ、「レース」ヲ行フ上ニ於テ此事ハ必ズ守ラナケレバナラスコトト思フ。即チ騎手トシテノ行動ハ、常ニ正々堂々ト申シマスカ、自分ノ行動ニ於テハ一點ノ疚シイ所ナク、一度馬ニ跨ツテ馬場ニ出タナラバ、丁度我々軍人ガ刀ヲ執ツテ、戰場ニ臨ムト同ジ決心デ一生懸命ニ自分ノ馬ノ最大能力ヲ發揮スルヤウニシナケレバナラス。若シ萬一不心得ニモ八百長ヲヤルト云フ様ナコトガアツタナラバ、是ハ競馬ヲ破壊シ、競馬ヲ最モ毒スルモノデ、是ハ斷然競馬界カラ葬ラナケレバナラスト思フ。尙騎手ノ一舉一動ハ數萬ノ觀衆ガ常ニ見守ツテ居ルノデ非常ナ關心ヲ以テ、其「レース」ヲ見テ居ルノデアアルカラ其事ヲ克ク心ニ銘シテ置イテ、自分ノ行動ニ少シノ弛ミモナイ様ニシナケレバナラス。兎ニ角騎手ノ生活ト云フモノハ、ドツチカト云フト派手デ、競馬場ニ於テハ、人氣ノ中心ニナツテ、色々ト評判サレル。思フニ、此事モ軍人ガ戰場ニ出ル時ト矢張り同様デアルト思フ。軍人ノ決心ト、ソレカラ諸君ガ馬ニ跨ガツテ馬場ニ出ル其決心、即チ覺悟ト申シマスカ、ソレハ同一デアツテ、其行動ハ眞ニ立派ニ動作シナケレバナラスト思フ。今申述ベマシタヤウニ、其ノ責任ガ非常ニ重大デアアルカラ、騎手諸君ハ所謂騎手道ニ精進シテ、騎手トシテノ品性人格ノ修養ニ努メ、眞ノ立派ナ騎手トナラナケレバナラス。斯クシテ初メテ社會的ニモ騎手ノ位地ヲ高メ、自分ノ責務ヲモ十分ニ盡スコトガ出來ル。此事ハ前ニ述ベタ競馬ノ目的ト共ニ極メテ必要デアルト思フカラ、今日ノ競走實施ニ關スル事項ノ説明ニ移ルニ先チ特ニ附ケ加ヘタ次第デアリマ

ス

鞭及ビ拍車ノ使用ニ付テ

一般ニ鞭ヤ拍車ヲ使フノニ注意ガ缺ケテ居ルト思フ。自分ハ之ヲ遺憾ニ思ツテ居リマス。特ニ競走中時期ヲモ考ヘナイデ、殆ド無意識ニ鞭ヲ使用スル。之レハ單ニ馬ヲ虐待スル以外ニハ、何等意味ガナイヤウナノガアル、是ハ大イニ慎マナケレバナラス。元來鞭ト拍車ノ使用法ハ、最モ効果的ニ、詰リ効果ガアルヤウニ使用シナケレバ、却ツテ害ガアル。ソレデアリマスカラ、英吉利デハ見習騎手ニハ鞭トカ拍車ヲ使フコトヲ禁ジテ居ル。又亞米利加ノ「ベルモンドパーク」競馬會ニ於テモ、特ニ發馬ノ場合ニ鞭ヲ使フコトヲ禁ジテ居ル、之ニ背イタ時ニハ、二十五弗ノ過怠金ヲ取ツテ居ル。是ハ鞭ノ使ヒ方ガ惡イ爲ニ、故障モ起ルシ、ノミナラズ外ノモノニモ妨害ニナルト云フノデアリマセウ。兎ニ角鞭ヲ發馬ノ場合ニ絶對ニ使ハサヌト云フ風ニ規定シテアル。元來鞭トカ拍車ハ、馬ノ悍性ニ應ジテ之ヲ使ヒ、其ノ時期ハ、競走ノ最後、「ゴール」ノ直前ニ使フ。又平場ニ於テハ前後ニ運動スル馬ノ頭或ハ頸ノ行動ヲ妨害シナイヤウニ、頭ヲ前ニ出ス時或ハ主トシテ後肢ガ地ヲ離レテ前ニ踏込マントスル時期ニ使ハナケレバ效果ガナイ。而モ其鞭ヲ使フノハ、自分ノ身體ニ接シテ馬ノ肋ノ後ニ使フ。中ニハ肩トカ頸ナドニ鞭ヲ入レテ居ルノガアルガ、ソレハ大ナル間違ヒデアル。ソレカラ無意識ニ何度モ續ケテ使ツテ居ルモノガアルガ、之モ間違ヒデアル。二度三度續ケテ使フ場合ニハ、矢張り前ニ

述ベタヤウニ後肢ヲ踏込ム其ノ調子ニ一致サスコトガ必要デ、一定ノ間隔ヲ置イテ鞭ヲ使フベキデアルト思フ。此事ハ實習ノ際教官カラ詳シク説明ガアルト思ウガ、善ク其ノ要領ヲ會得スルヤウニシナケレバナラス。鞭及ビ拍車ノ使用ニ關シマシテ、諸外國ノ有名ナ騎兵將校或ハ騎手ノ言葉ヲ御紹介シマスト次ノ通りデアリマス

英國ノ某大尉ハ競走馬ニハ、車ノ非常ニ鋭イ拍車ヲ用ヒテハイケナイ。鞭モ其通りデ、出來ルダケ用ヒナイ方ガ宜シイ。平地競走デハ最後ノ三十メートル、又障礙競走デハ障礙ニ對シテ躊躇スルヤウナ時ニ、一鞭加ヘレバ效果ガアル。併シ其使用法ハナカク難カシイカラ、初心者ハ寧ロ使ハナイ方ガ却ツテ好成绩ヲ收メルト云ツテ居リマス

又佛蘭西ノ某大佐ハ、其著書ニ次ノヤウナコトヲ云ツテ居ル。鞭ノ使用ニ當ツテハ、馬ノ調子ヲ妨害シナイヤウニ、兩鞭ヲ片手ニ握ツテ、片手ニ鞭ヲ持ツテ、脚ト拳デ能ク駆足ノ調子ニ一致スルヤウニ注意シナガラ之ヲ使用スル。斯ウ云ツテ居ル

又英國ノ近來ノ名騎手ノ「フレッド・アーチャー」此騎手ハ最モ有名ナ騎手デ、一ケ年間ノ勝利回数ノ多イコトハ、世界的ノ「レコード・ホルダー」デアツテ、即チ千八百八十五年度ニ於テ、英吉利ノ「ゴールドン・リチャード」ノ勝利回数一ケ年間ニ二百四十六回ニ對シテ、「アーチャー」騎手ハ千九百三十二年、今カラ四年前ノ三十二年ニ於テ、二百五十回一着賞ヲ得テ居ル非常ニ有名ナ騎手

デス。此騎手ハ無論鞭及ビ拍車ヲ巧ミニ使用シテ居ルガ、其使用時期ノ判斷力モ適切デアツタニ拘ラズ、其告白ニ次ノヤウニ云ツテ居リマス。自分ハ是マデ鞭ヲ用ヒタ爲ニ、却ツテ勝ツベキ競走ニ負ケタコトガ多カツタ、下手ニ鞭ヲ使用スルノハイケナイ。斯ウ云フ風ニ云ツテ居ル

昭和七年ノ帝國競馬協會ノ會報ニモ、英國ノ「アツブ・レンティス・レース」、是ハ見習騎手ノ競走デスガ、某騎手ガ鼻ノ差デ勝ツタ。其勝ツタ騎手ガ其時ニ鞭ヲ使用シテ其ノ「レース」ニ勝ツタガ、併シ鞭ヲ使用シタ時ニハ、馬ハ草臥レテ居ルノダカラ、眞直ニ歩カナイデ、却ツテ速度ニ不利益ダツタ、若シ鞭ヲ使ハナカツタナラバ、モツト堂々ト勝ツコトヲ得タデアラウ、ト云ツテ居ルガ、是等ハ大イニ味フベキ言葉デアルト思フ。要スルニ鞭トカ拍車ハ、常ニ使用スベキモノデナイ、即チ自分ノ脚力ガ足ラヌトカ、馬ヲ追込ムタメノ扶助トシテ之ヲ常ニ使フベキモノデハナイ、拍車ト共ニ、馬ノ精神ヲ緊張サス爲ニ、有利ナ補助具トシテ利用スベキデアツテ、鞭拍車ニ信賴シ過ギテ、終始之ヲ使ツテハイケナイ

發馬ニ付テ

發馬ニ付テモ、毎年同ジヤウナ注意ヲ繰返シテ居ルコトハ、洵ニ遺憾デアリマス。之レハ騎手諸君ノ不名譽ト考ヘナケレバナラナイ。我方國ノ競馬ノ施行中デ、發馬狀態ノ不良ナコトハ、外國ノ發馬ノ狀態ニ比較シテ、一番遜色ガアルモノ、一ツデ、一番劣ツテ居ルト思フ。我々ガ諸外國ノ發馬ノ寫

眞ヲ見タリ、又ハ海外視察者ノ話ヲ聞ク度毎ニ、我方國ノ發馬ノ狀態ト比較シテ考ヘテ、常ニ残念ニ思ツテ居ルノデアリマス。是ハ馬ノ發馬ニ對スル馴致ノ不良ナコトガ、原因トハ思ヒマスガ、私ハ騎手諸君ノ不注意ニ依ルコトモ非常ニ多イト思フ。此事ハ一部ノ騎手ガ餘リニモ利己主義デ、外ノモノヲ陥レテモ自分ガ有利ナ發馬ヲ行ハウトシテ、所謂虚々實々ノ行動ヲ執ル、即チ出足ヲ付ケテ、少シデモ有利ナ發馬ヲシヨウトスル。ソレデ我々ガ「スタート」ノ位置ニアル實際ノ狀況ヲ見タ場合ニモ騎手ノ一部ハ「スタート」ニ對シテ、チヨット待ツテ下サイ、廻シマストカト云ツテ、少シデモ自分ガ不利ナ狀況ノ時ニハ、故意ニ後ニ向イテ居ル、此狀態ハ畢竟スルニ共同一致ノ精神ニ缺ケテ居ル證據ト判斷シテ、残念ニ思ツテ居ル。最近歸朝シタ人ノ話ニモ、外國デハ騎手ハ發馬地點ノ手前ニ、馬ヲ竝ベル、即チ互ニ馬ヲ一齊ニ竝ベルト云フコトニ注意シテ居ツテ、各騎手ハ右左ヲ見テ、馬ヲ横隊ニ竝ベルト云フコトニノミ注意シテ、馬ガ揃ツタト思フト、發馬機ガバツト上ツテ出テ行ク。馬ノ調教ノ良イノハ、勿論デアルガ、騎手ノ動作モ洵ニ紳士的デ「スタート」ニ少シモ無理ガナイ、實ニ綺麗ナ「スタート」ヲスル。「スタート」カラ一三二メートル位前進スルト、「フルスピード」デ競走ニ移ル、即チ全速力ヲ出スト云フコトニナル。此動作ハ「ジョッキン」ノ現ハレデ、洵ニ我々ハ羨マシク考ヘル。將來我方國ニ於テモ、二三才ノ時期カラ、毎日ノ牽運動或ハ調教ノ時ニ、一日一回ハ發馬機ニ馴ラシ、其馴致ノ進ムニ從ツテ其ノ回数ヲ増シテ、發馬ノ稽古ヲスルト云フ風ナコトガ

非常ニ必要デアルト思フ。現在ノ狀況デハ、發馬前ニ鞭ヲ比較的短ク持つテ居ルモノガ多イヤウデア
ルガ、發馬ノ位置デハ、鞭ハ少シク長ク持つテ、馬ニ無理ガナイヤウニ「スタート」ヲスルヤウニ實
施シナケレバナライ。之ヲ要約スルニ「スタート」ニ馴ラスト云フコトモ、無論必要デ、今以上ニ
之ヲ實施シナケレバイケナイガ、併シ騎手ノ注意ガ足ラヌ爲ニ、「スタート」ガ巧ク行ハレヌコトガ多
イト思フ。是ハ一部ノ騎手が其積リデ居ツテモ、全般ガ其積リニナラヌト巧ク行カナイ。是ハ外國ノ
騎手ハ流石ニ訓練ヲサレテ、偉イト思フ。最初カラ馬ヲ馴ラスト云フコトニ於テモ注意シ、ノミナラ
ズ騎手自身ガ馬ヲ揃ヘルト云フコトニノミ注意シテ、自分ガ有利ナ位置デ發馬シヨウト云フ風ナコト
ハ少シモナイ。先ヅ馬ヲ揃ヘル、是ガ「ジョッキーズ」ト云フカ、外國人ニ學ブベキ所デ、非常
ニ圓滑ニ「スムーズ」ニ無理ナク「スタート」サレル、而シテ其後ハ火ノ出ルヤウナ競走ニ移ル。諸
君ハ今ヤ選抜サレテ來テ居ルノデアルカラ新シイ時代ニ於テハ諸君ノ力デ、立派ナ競馬ヲスルト云フ
ヤウナ意氣込デ、從來ノサウ云フコトヲ改メナケレバナラス、若シ之レガ出來ナイ様デアラバ漸
次騎手界カラ葬リ去ラナケレバナラス時代ガ來ルト思フ。ソレデスカラ、諸君ハ此點ハ能ク肝ニ銘ジ
テ置イテ、最初ノ競馬ノ目的、騎手ノ責任及ビ此發馬ニ付テハ善ク私共ノ意思ノアル所ヲ酌取ツテ、
將來日本競馬會トナリ、騎手ノ責任ガ益々重クナツタ曉ニハ諸君ノ行動ガ、眞ニ立派デアツテ、不心
得ナ騎手ハ自然ニ葬ラレル様ニナラナケレバナラスト思フ。

事故ノ防止ニ付テ

平地競走ニ於テ事故ヲ起スモノガ往々アル。其ノ原因ニ付テ考ヘテ見マスノニ、故障馬ヲ強ヒテ競
走ニ出スト云フコトニ原因シテ居ルモノモアルト思ヒマスガ、此外ニ騎乘法ガ未熟デ騎手ノ騎坐ガ確
實デナイ爲ニ、事故ヲ起スコトモ少クナイ。私ハ此原因ノ内デ鑿革ガ非常ニ短イ爲ニ、騎坐ガ極メテ
不確實トナリ事故ヲ起ス、是ガ事故ノ原因ノ一ツデアルト考ヘルノデ、特ニ之ヲ説明シタイト思フ。
元來競走馬ノ騎乘法ハ、諸君御承知ノ通り、「モンキー」乗ト一般ニ云ツテ、猿ノヤウナ恰好ヲシテ乗
ツテ居ル。此「モンキー」乗ノ方法ハ、今カラ三十九年前ノ西曆千八百九十七年ニ米國人ノ「ドット
スローン」ト云フ人ガ、此騎乘法ヲ行ツタノガ始リデアリマスガ、餘リニモ鑿革ヲ短クシテ乘リマス
ト、騎坐ノ不確實ヲ伴フ、チョット躓クトカ或ハ少シ餘計飛上ルト云ツタヤウナ僅カナ騎坐ノ變動デ
モ落馬ノ事故ヲ發生スルコトガアル。濠洲ノ「ヴィクトリア」競馬俱樂部デハ見習騎手が鑿革ヲ短ク
スル弊害ヲ認メテ、鑿革ノ長サヲ短クシタナラバ、罰金ヲ課シテ居ル。又濠洲ノ權威アル騎手ハ鑿革
ヲ長クシタコトガ、負ケノ憂目カラ免レタ唯一ノ原因デアルト告白シテ居ル。又同騎手ハ、他人ヲ妨
害シタリ、自分ノ馬ノ成功不十分ナ原因ノ多クハ、鑿革ガ短カ過ギタ爲デアルト云ツテ居ル。ソレデ
前ニ申述ベタヤウニ平場デ落馬スルト云ツタヤウナ事故ノ主ナル原因ハ、鑿革ガ非常ニ短カクテ、膝
頭ガ非常ニ上ツテ、韁ハ銜ニ近イ所ヲ持つテ居ル、丁度撞木ニ捉マツタ猿ノヤウナ恰好ヲシテ居ル爲

ニ、騎坐ノ威力ガ乏シク、從ツテ馬ヲ制御スル力ガ足りナイデ之レガ爲ニ他ヲ妨害ヲシタリ、或ハ他ニ衝突スルト云フ様ナ風ニナツテ重大事故ヲ起ス。ソレデ鍔革ガ過度ニ短イノハ、害ガアツテ、勝ツベキ競走モ勝テナイデ、事故ガ出來ルコトニナルカラ、注意シナケレバナラナイ

飼養管理ニ付テ

競走馬ハ一般ニ鋭敏デアリマスカラ、特ニ取扱ニ注意シ、其ノ飼養管理ヲ合理的ニシナケレバナラヌ。此飼養管理ニ付テハ、後日松葉博士カラ専門的ナ御話ガアルコトト思ヒマスガ、私ハ極メテ常識的ナ事項ニ付テ少シク申上ゲタイト思ヒマス。調教手騎手ノ中ニハ往々貴重ナ競走馬ノ取扱ヲ、馬丁ニ一任スルモノガアリマス。諸君ハ平素自分ガ調教ヲ擔任シ、騎乗スル馬ニ對シテハ、飼養管理ノ方面ニ於テモ、能ク注意ヲシテ、其馬ノ状態ヲ盡ク知ツテ置クコトガ、極メテ大切デス。元來馬ハ物ヲ云ハナイ。此事ハ丁度我々ガ子供ヲ育テルト同様ニ、馬ニ對シテ取扱ヲシナケレバイケナイコト、思ヒマス。騎手教程ノ十一頁ニ相當シク説明シテアリマスガ、此可憐ナ動物ノ意思表示ト、其ノ要求ヲドウシテ我々ガ判斷スルカト云ツタナラバ、馬ノ表情ニ依ツテ、之ヲ察知スルノ外手段ガナイ。馬ハ物ヲ云ハナイガ、其代リ矢張り表情ヲスルカラ、其表情ヲ判斷シテヤラナケレバナラス。其表情ノ手段トシテハ、耳鼻ノ運動、眼ノ具合、ソレカラ前搔ヲシタリ、或ハ尾ヲ動カス、斯ウ云フ風ナ表情ガ現ハレルカラ、單ニ馬丁任セニシナイデ、騎手或ハ調教手が、能ク微細ナ點ヲ觀察スル様ニシナケ

レバイケナイ

馬ノ健康状態ノ觀察

之レガ又非常ニ必要ナコトデ、馬ハ物ヲ云ハヌカラ、表情ニ依ツテ判斷シテヤラナイトイケナイト云フコトヲ云ツタガ、丁度我々ガ子供ヲ育テルヤウニ氣ヲ付ケナケレバイケナイノデアアル。赤ン坊ノ總テノコトヲ母親ヤ乳母ガ判斷ヲシテ、健康状態ヲ察知スル、ソレト同ジヤウニ平素馬ノ取扱調教ニ當ツテ居ルモノハ、馬ノ其日々ノ様子ニ注意シテ居ツテ、ソレヲ見テヤル。此事ハ騎手教程ノ三百三十六頁ニ詳シク書イテアルノデ、詳シイ説明ハ略シマスガ、今述べタヤウニ健康状態ヲ能ク知ツテ居ツテ、若シ身體ノ工合ガ悪イ時、即チ健康状態ノ時ト少シ違ツタ時ハ恰モ母親ガ子供ヲ育テル時ト同様ニ、夜寝テモ呼吸ノ工合ニ依ツテ、熱ガアルトカ、或ハイツモ物ヲヤツテ非常ニ喜ブノニ、今日ハ物ヲヤツテモ喜バナイトカ、御飯ノ食ベ方ガ少イカラ元氣ガアルトカナイトカ、或ハ小便ガ非常ニ濁ツテ居ル、或ハ臭イトカ言フコトデ色々判斷ヲスル、之レハ馬デモ同様デス、大便ノ狀況馬ダト糞ノ狀況、ソレニ依ツテ總テノ判斷ガ出來ル。本當ニ馬ヲ取扱ツテ居ルモノハ、日ニ何回馬ガ小便スルトカ、糞ヲスルトカ、サウ云フ風ナコトニモ氣ヲ付ケテ、其ノ糞ノ状態、大キサ固サ、ソレニ粘膜ヲ蒙ツテ居ルトカ居ラヌトカ、ソウ云フコトヲ觀察シナケレバナラス。是等ハ馬丁任セデハイイケナイ、若シ忙シクテ馬丁ニ任セル場合ガアツテモ、常ニ馬丁カラ良ク聞イテ承知シテ居ル様ニスルカ、或ハ

検査的ニソレヲ見テ、馬ノ様子ヲ判断スルト云フ風ニシナケレバイケナイ。殊ニ競走前ニ於ケル馬ノ管理ハ一步先ンジテ、周到ナ注意ヲシテヤルト云フ風ニシナケレバ、勝目ハナイ、ソレデアルカラ諸君ガ生理衛生ニ對スル知識モ相當必要デ、又極メテ熱心且ツ適切ニ之ヲ應用スルト云フコトガ必要デ始メテ其ノ馬ノ管理ガ良ク出來、競走ニ勝ヲ占メルト云フコトニナル、要スルニ平素自ラ馬ノ健康状態ヲ能ク承知シテ居ツテ、馬ノ取扱、調教ニ遺憾ガナイヤウニシ決シテ、馬ノ取扱ヲ馬丁任セニセズ馬丁ニ所要ノ注意ヲ與ヘルコトガ、絶對必要デアル。諸君ハ馬丁ヨリ色々ナ報告ヲ受ケルコトハ、無論必要デアルガ、自分自身ニ馬ニ接シテ居ツテ、色々ナ注意ヲ馬丁ニ與ヘ得ル様ニ馬丁ヲ指導監督シテ、馬丁ヲ本當ニ諸君ノ意ノ儘ニ使ツテ行クト云フコトガ必要デアル

競走馬ノ馴致調教ニ付テ

競走馬ノ馴致調教ニ付テ、詳シク御話スルコトハ、此限ラレタ時間デハ難カシイカラ、平素特ニ私ガ感じテ居ツテ、重要デアルト思フ事丈ヲ申上ゲタイト思フ。前ニモ繰返シテ申上ゲタヤウニ、諸君ハ先ヅ以テ能ク馬ニ親シムト云フコトガ、極メテ必要デアル。調教ト云ヘバ、馬場デ只乗廻スト云フコトヲ考ヘテハイケナイ。調教ヲ合理的ニ行フト云フコトハ、勿論デスガ、調教法ニ付テ色々ナ書籍ニ書イテアルコト、又ハ先輩カラ斯ウスレバ宜イトカ、サウシナケレバイカヌト云フ風ニ、調教ノコトヲ教ハルガ、其教ハツタコトヲ各馬ニ對シテ同一ニ要求ヲシテハ誤デアル。各其個性ニ應ジテ調教

ヲ進メナケレバナラナイ。之ニ付テ亞米利加ノ「ロバート・エー・スミス」ト云フ人ガ、斯ウ云フコトヲ云ツテ居ル。全ク同ジ馬ハ二頭ハナイ、從ツテ二頭ノ馬ニ對シテ同ジ調教ヲ行フト云フコトハ出來ナイ筈ダ。馬ニハ各々個性ガアル、特性ガアル。從ツテ調教ハ各馬ノ性質ニ從ツテ行ハナケレバナラヌト云フコトヲ云ツテ居ル。個性ヲ發見シテ、之ニ應ジテ調教ヲ進メル爲ニハ、先ヅ馬ニ能ク親ンデ、其個性ヲ知ルト云フコトガ、最モ必要デアルト思フ。一般ニ年ノ若い馬、即チ弱齡馬ニ對シテハ特ニ親切ニ取扱ツテ、馬ヲシテ、騎手ヲ信賴セシメルコトガ必要デアル。弱齡馬ニ對シテ調教ヲ急イデ、進歩ガ急激ニナツテハ宜クナイ。年ノ若い馬ニ故障ノ起ルコトノ比較的多イノハ、今云ツタ注意ガ足りナイ爲ダと思フ。競馬ハ速度ヲ非常ニ尊ブ關係上、從來ハ瞬間的ナ速度ニ餘リ主キヲ置キ過ギテ、時計ノコトノミヲ心配シタ。例ヘバ百三ツデ走ツタトカ二ツデ走ツタトカ云フヤウニ、又連歩デハ十九トカ十八トカデ走ツタト云フヤウニ、時計ノコトノミヲ心配シテ云ツテ居ルガ、サウ云フ風デハイケナイ。時計ノコトヲ心配シテ調教ヲ進メルト云フコトハ、最モ禁物デアル。各個性ニ應ジテ調教ノ計畫ヲ立テ、或ル信念ノ下ニ調教ヲ進メテ行クトガ必要デアル、常ニ能ク馬ノ其日々ノ状態ニ應ジテ、適當ナ保護ヲ加ヘナガラ、體力ニ應ジテ其能力ヲ發揮サスヤウニシナケレバイカヌ。最近歐羅巴カラ歸ツテ來マシタ松葉博士ノ講話ノ中ニモ、我が國ニ於ケル調教ハ一般ニ進歩ガ急激デ競走馬ニハ卷腹ノモノガ多ク、故障モ亦非常ニ多イ、且ツ騎手が鞭ヲ強ク引締メテ居ルカラ、窮屈ナ

恰好デ高飛ヲシテ居ル。歩様モ沈靜ヲ缺イテ、落着イテ居ナイモノガ多イト述ベテ居リマスガ、是ハ大イニ味フベキ言葉デアルト思フ。從來障礙馬ノ調教ニ於キマシテモ、之ト同様ナ注意ガ缺ケテ居ルモノガ、比較的ニ多イヤウニ思ツテ居ルガ、元來障礙馬ハ特ニ漸進的ニ馴致、調教ヲ進メルコトガ必要デアアルニモ拘ラズ、障礙馬ノ調教ヲ僅カ一月足ラズデ調教ヲシテ、直グ「レース」ニ出スト云フ風ナモノガアリマスガ、是ハ洵ニ危険デモアリ、馬ヲ壞スノデ、此傾向ハ宜シクナイト思フ。障礙馬デアツタナラバ、先ヅ自由飛越ヲ行ツテ、障礙ニ十分ニ馴ラシ、馬ハ障礙ヲ好ンデ飛ブト云フ風ニシテ其程度モ漸次高メルヤウニシテ、飛越ノ技巧ト、飛越ノ力ヲ養成スルヤウニシナケレバナラス。尙ホ馬ノ馴致調教ニ科學的ナ研究ヲ今少シ積マナケレバナラス。若シ馬ノ素質ガ略々同ジデアツタナラバ研究ニ研究ヲ重ネテ、馬ノ力量ヲ「レース」ニ出ス時ニ最大限ニ導クト云フコトニ依ツテ、初メテ勝利ヲ獲得スルコトガ出來ルノデアアル。ソレデ馬ノ差ガ極メテ少イノダカラ、其少イ差ヲ成ルベク多イヤウニスル爲ニハ、科學的ナ研究ト云フコトガ非常ニ必要ニナツテ來マス。調教馴致ニ科學的ナ知識ヲ持タナケレバイケナイト云フト、大變難カシイヤウニ聞エルカモ知レマセヌガ、是ハ矢張り必要ナコトデ、今日ノ状態デハ、總テノコトガ皆科學的ニ進歩シテ居ル。馬ノ調教馴致ノ取扱ニ於テモ、矢張り科學的ナ知識ガナイトイケナイ。又動物心理ト云フコトニモ氣ヲ付ケテ、之ヲ利用シテ調教ヲ進メル。例ヘバ馬ノ眼ハ人間ノ眼ヨリモ、特殊ナ構造ヲ持ツテ居ル。暗イ所デモ割合ニ善ク見エル。ソ

レカラ又明ルイ、非常ニ光線ノ強イ所デモ可ナリ調節シテ見ルコトガ出來ル。サウ云フ風ナ特別ナ組織ヲ持ツテ居ル。併シ遠方ハ餘リ見エナイヤウデスガ、可ナリナ所ヲ暗イ所デモ見エルシ、光線ノ非常ニ強イ所デモ見エル。洵ニ特別ナ便利ナ構造ヲ持ツテ居ル、耳ニシテモ同様デアアル。非常ニ構造ガ良クテ、我々ヨリモモツト早ク色々ナ音響ヲ捉ヘルコトガ出來ル。是ハ矢張り馬ハ耳ガ發達シテ居ル一ツノ理由ガアルト思フ。大抵ノ動物ハ敵ヲ攻撃スル牙ヲ持チ、爪デ引搔クト云フヤウナ、攻撃ト云フカ、防禦ト云フカ武器ガアルガ、馬ハ其點ガ非常ニ劣ツテ居ル。逃ノ一手ト云フ風ニ、走ルダケガ特長デ早イ、又走り宜イヤウニ出來テ居ル、其代リ敵ニ對シテ攻撃モ出來ナイ、防禦モ寧ろ逃ノ一手ト云フ風、ソレガ爲ニ、逃ゲル爲ニハ成ルベク早ク敵ガ來ルト云フコトヲ知ルヤウニ、耳ダケガ非常ニ發達シテ居ル。人間ノ耳ハ小サクテ、斯ウ云フ風ニ一ツノ方向デ、耳ヲ此方ニ向ケルコトハ出來ナイガ、馬ハ洵ニ巧ミニ左右ニ耳ヲ動カスコトガ出來ル、音響ノ方ニ……ソレカラ兎ト同ジク、後肢ガ發達シテ居テ、兎ハ敵ガ近付クト、直グ逃ノ一手ト云フ式ノ戰術ヲ採ルガ、馬ガ之ニ似テ居ル。逃ト云フコトハ、ソレラノ視覺、聽覺ニ特异性ガアル。之ヲ調教ニ利用スル、非常ニ過敏ナ馬ハ、夜少シ見エルノデ、落着ケル爲ニ、非常ニ靜ナ所デ夜間調教ヲ進メルコトモ出來ル。ソレカラ之レハ雜誌デ見タノデスガ、馬ハ耳ガ鋭敏デアアルカラ之ヲ利用シテ調教師ガ口笛ヲ吹ク、日本ノ調教師ハ馬ヲ澤山持ツテ居ラナイガ、外國デハ澤山馬ヲ持ツテ居ルカラ、乗役ヲ乗セテ、自分ガ後ニ立ツテ口笛ヲ吹ク

ト、馬ハ非常ナ勢デ走ル、「スピード」ヲ出スト云フ風ニ耳ヲ利用スル。又或ル騎手ハ。之レハ宜イカ悪イカハ別問題トシテ、「スタート」ノ時ニ口笛ヲ吹イテ馬ヲ出ス。即チ馬トサウ云フ約束ガシテアル。之モ一ツノ方法ニ違ヒナイ。トコロガ馬ガ敏捷過ギテ困ルト云フノデ、耳ニ縮ヲ詰メテ、聞エヌヤウニシタ。其ノ馬ハ以前ニ口笛ヲ吹ケバ出ルト云フ約束デアツタノデ、口笛ヲ吹イタガ、聞エナクテ、「スタート」ガ遅レテ、偉イ失敗ヲシタト云フ騎手ガアツタ。今色々ト例ヲ引イタガ、視覚、聽覺ト云フ馬ノ特殊性ヲ利用スルコトモ調教ヲ進メル上ニハ必要ナコトデアアル。其他模倣性トカ或ハ記憶力、馬ハ推理力ハナイガ、記憶スル力ハ相當アル、サウ云フ力ヲ利用シテ、馴致調教ヲ進メルト云フコトモ必要、ソレカラ馬ノ心臓ノ狀況ト調教トノ關係、サウ云フ風ナコトニマデ研究ヲ進メテ、「レース」ニ出ス時ニ、立派ナ「コンディション」デ出スト云フ風ニシナケレバイケナイ。繰返シテ云フナラバ、サウ云フ所マデ氣ヲ配ツテ、勝ヲ占メルヤウニシナイトイカヌ。調教ニ任ジ、取扱ニ當ル諸君ハ、矢張り相當ナ學問トカ、騎手講習ノ如キモノヲ受ケテ、立派ナ騎手トナリ、勝利ノ榮冠ヲ得ルト云フ風ニシナケレバイカヌ。要スルニ結論トシテハ、調教ニ任ジテ居ル騎手ハ、最モ熱心デ、且ツ正直デ、能ク馬ニ親ミ、急ガズ、馬ノ個性ニ應ジテ調教ヲ進メルコトガ、成績ヲ收メル秘訣デアルト考ヘマス。

之デ私ノ講話ヲ終リマスガ、本年ハ第二次馬政計畫實施ノ第一年ニ當ツテ、特ニ諸君ニ最モ關係ノ

深イ競馬法ノ改正ガアリマシタ。此時ニ當ツテ諸君ハ茲ニ講習ヲ受ケルト云フコトハ、洵ニ意義ノ深イモノト思ヒマス。暑サノ場合デアリマスガ、諸君ハ能ク奮勵努力サレ箔ヲ附ケテ、立派ナ騎手トナラレムコトヲ祈ル次第デアリマス。尙私ハ本日ノ發令デ九州高鍋ノ軍馬補充部支部長ニ轉任シマシタノデ將來九州方面ノ騎手諸君トハ顔ヲ合スコトガアルカモ知レマセヌガ、其ノ他ノ場所デハ御會ヒスル機會ガナカラウカト思ヒマスガ。要スルニ今日モ繰返シテ云ヒマシタヤウニ、諸君ハ短時日デスガ能ク勉強シ智識ヲ得テ學問的ニ素地ヲ作り、之ヲ技術ニ應用シテ立派ナ騎手ニナラレンコトヲ切望シマス。若シ昔流ノ古イ騎手ガアツタラ、諸君ノ力デ覺醒スルヤウニシナケレバナラヌ。併シ古イ騎手が皆惡イト云フ譯デハナイ、中ニハ立派ナ人格ヲ持ツテ、益々發展スル人モ多イデスガ、サウデナイ騎手モ多イカラ、諸君ノ力デ之レガ覺醒ヲ望ムノデアリマス。

(五) 競走ニ於ケル人馬ノ態勢其ノ他 (概要)

岡田中山競馬俱樂部理事

項 目

- 一、騎手ノ姿勢ニ就テ
- 二、馬ノ姿勢ニ就テ

競走ニ於ケル人馬ノ態勢其ノ他

- 三、競走馬ニ利用スベキ自由飛越ニ就テ
- 四、障碍競走用ノ鞍ニ就テ

一、騎手ノ姿勢ニ就テ

騎手ノ姿勢ニ就テハ、騎手教程第三編第二章ノ第一節ニ概略説明シテアツテ、要スルニ陸軍馬術教範ニ示ス様ナ固定的ナモノデハナク、寧ろ各人ノ簡體ニ應ジ、乗御ニ便デアル様、ユトリノアルコトガ必要デアルノハ云フ迄モナイガ、今茲ニ述べ様トスル騎手ノ姿勢ハ、馬ガ停止シテ居ル時トカ、常歩時トカ云フユツクリシテ居ル場合ノモノハ、別ニ問題ニシテ居ルノデハナク、相當ノ速力ヲ出シテ居ル時ノ姿勢ニ就テ研究シ様トスルノデアアル

而シテ其研究ハ先ヅ原則ヲ述ベテ、然ル後諸注意事項ニ及ブノガ至當デアルガ、本日ハ其ノ時間ヲ持タヌ關係上、當今目撃スル予ノ所感ニ基キ注意事項ヲ列舉シ後時間ノ許ス範圍ニ於テ、一般の原則ニ就テモ述ベントスル

1 上體前傾ノ度合ニ就テ

昔ノ競馬騎乘姿勢ハ古イ畫ニアル様ニ、一般馬術ト同様、上體ヲ眞直ニシテ居タノガ、今カラ四十數年前英國ノ騎手「トツドスローン」ガ「ニューマーケツト」ノ一千「ギニー」競走ニ、前傾姿勢デ乗ツテ勝ツテカラ、ダン／＼今日ノ競走姿勢ガ實用セラレ出シ、今デハ必ズ此ノ姿勢ヲ以テ乘

ル様ニナツタガ、吾人ハ單ニ其レハ競走騎乘ノ爲メノ慣例デアルト云フ様ナ、慢然トシタ考ヘデ、ヤツテ居ル丈ケデハ甚ダ宜シクナイノデ、兎ニ角、自分ノモノトシテ消化ヲシタ上デ、或ル理由ノ存在ノ元ニ適當ナ姿勢ヲ採ラネバナラナイ

而シテ考ヘナケレバナラヌノハ次ノ二ツデアアル

イ、上體ノ前傾ニ依ル利害得失ノ研究

ロ、步度速度ニ依ル前傾度合ノ變化

(利害ノ研究ヲ爲セルモ大體教程ノ通りナルヲ以テ省略ス)

次ニ速度ニヨル上體姿勢ノ變化ニ就テハ、周密ナル注意ヲ拂ハナケレバナラヌコトヲ痛感スル。此ノ事タルヤ、馬ノ姿勢ト密接ナル關係ヲ持ツモノデアツテ、又以上ノ利害ヲ深く研究スレバ、自ラ明白ニナツテ來ル事實デアルガ、上體ヲ前傾スルコトハ、速度以外ノ事項ニ就テハ寧ろ害ノアルモノデアルト云フコトヲ承知シテ居ラネバナラヌ、故ニ速度ノ緩ナル時ニハ無意味ニ上體ヲ極度ニ前傾スルハ全ク理窟ニ合シナイノデアアル、此ノ事ニ關シテハ尙馬ノ姿勢ノ處デ詳細説明スル

2 韁ノ長サニ就テ

韁ヲ餘リニ短カク持ツコトハ、馬ヲ過度ニ束縛シ、之レガ爲メ却テ有利デナイノデアアルガ、世間デハ屢々從來ノ習慣ニ捉ハレ、無意味ニ極端ナ短韁デ乗ツテ居ルモノモアル様デアアル、試ニ近時ノ

競走ニ於ケル人馬ノ態勢其ノ他

外國雜誌ノ寫眞ナゾヲ見テモ、其シナ乗り方ト云フノハ他所ニハ餘リナイノデ、勿論長鞭ハ惡イニキマツテ居ルガ、短カ過ギルノモ言フ迄モナク不適當デアルカラ、良ク狀況ヲ考ヘ、好適シテ居ル様ニシナケレバナラナイ、此ノ事ニ就テモ馬ノ姿勢ノ所ヲ參照シテ貫ヒ度イ

3 騎坐ノ深サ(鐙ノ長サ)

競馬ノ騎坐ハ上體ト關連シ、淺イモノデアアル、之レガ爲メ鐙ハ極端ニ短カイノダガ、此ノ度合モ相當吾人ハ考慮ノ餘地ガアル、一般ニ餘リ短カキニ失スレバ脚ノ使用ハ困難トナリ、又騎坐ノ安定ヲ缺キ、從ツテ拳ノ動作、鞭ノ使用等ニモ不便ヲ來タス、其レ故近時濠洲ナゾニ於テハ馬場取締ガ騎手ノ鐙ノ長サヲ伸バサセルコトスラアリト聞ク、本項ニ關シテハ殊ニ障礙競走ノ時ニハ考慮ヲ要スル

4 其他

其他拳ノ姿勢、即チ其過高ナルモノ、動搖スルモノ等ノ惡イノハ勿論デアアル、尙騎手ガ頭ヲ一々上下ニ動カス等モ注意ヲ要スル

二、馬ノ姿勢ニ就テ

馬ノ姿勢ニ就テモ騎手教程ニ詳述シテアルガ、茲ニ言ハント欲スルモノハ、馬ガ、ノロノロ歩イテ居ル時ナゾノ事デハナク、即チ速度ヲ出シテ居ル場合ノ態勢ガ、如何ナレバ宜シイカト云フ事ヲ深刻

ニ研究シ度イノデアアル、而シテ左ノ二件ヲ茲ニ問題トシテ考究スル

1 競馬ノ様ナ最大速度ヲ逐ヒ居ル時

2 左迄デナク「キヤンター」又ハ其レヨリ漸次伸シ最大速度ニ行フト云フ道筋ニアル場合

凡ソ競走馬ノ姿勢ハ緩裕デ、其ノ前軀ハ低イノガ宜シイカラ、其ウナル様ニ調教シナクテハナラナイガ、馬ノ姿勢ヲ考究スル時ニ、吾人ハ必ズ其ノ步様ヲ合併セテ考ヘナケレバナラス、乃チ馬ノ步様ハ低伸濶大ナコトヲ要スル、其理由ハ持久力ヲ有シテ、而モ速度ヲ益サンガ爲メデアアル、之ガ爲メニハ日常ノ調教ト騎乘法ガ非常ニ影響スルノデアアル

其處デ面白イ例ヲ擧ゲルト、外國ノ言葉ニ「プロダ」ト云フコト、「デージー・カツター」ト云フ言葉ガアルソウデアアル、其レハドウ云フ意味カト云フト、前者ハ、馬ガ足ヲ刻ム様ニ「キヤンター」ヲヤルノデ、非常ニ競馬ノ方デハ嫌ツテ居ル步ミ方デアリ、後者ハ「デージー」ト云フノハ雛菊ト云フコトダシ、又「カツター」ト云フノハ切ルト云フコトデ、ツマリ芝草ノ中ニ生ヘテ居ル雛草ヲ「キヤンター」ヲヤル馬ノ足デスリ切ル様ニ低飛ビニ、即チ低伸濶大ニ歩ムト云フ意味デアアル、其シテ此ノ步様デ無クテハナラヌト云ツテ居ル、ソウ云フ譯ダカラ、調教ノ時ハ良ク茲ニ着意シ、馬ノ姿勢ハ低ク而モ其步法ハ前後ニ十分屈伸シ「デージー・カツター」ニナル様ニ歩マナケレバナラス。之レガ爲メ調教間カラ、騎手ノ姿勢ト御法ニ非常ニ注意ヲ拂ハナケレバナラス、然ルニ近時見テ居ル

ト「キヤンター」ノ極メテ遅イノヲヤツテ居ルニモ拘ハラズ、騎手ノ上體ヲ非常ニ前傾シタリ、甚シイノハ、全ク馬頸上ニ乗リカブサツテ居ル様ナノヲ見受ケルコトモ屢々デアアル、而モ韁ハ極端ニ短カク馬ノ頸ヲ完全ニ束縛シテシマツテ居ルモノモアル、斯様ナモノハドウ云フ譯デ、ソウシテ居ルノカ理由ノ發見ニ苦シムノデ、恐ラク本人トシテハ何トナク無意味ニヤツテ居ルノダラウト思フガ、其レガイケナイ、其ノ結果トシテ馬體ハ凝縮シ、又ハ前記ノ「プロダグ」トナツテシマウノデアアル、加之時ニハ前肢ニ故障ヲ發シ、使用ニ堪ヘナイ様ニナルコトモアル、其レ故一般的ニ云ヘバ歩度ノ遅イ時ハアンマリ上體ヲ前傾シナイ方ガ宜シイ追々歩度ノ速クナルニ從ヒ所要ニ應ジ上體ヲ前傾スベク兎ニ角、狀況ニ依テ變化アラシメナケレバナラナイ、コウスレバ馬モ亦姿勢ト云ヒ歩様ト云ヒ、理想的ニナツテ來ルモノデアアル

次ニ吾人ハ持久力ト云フコトニ注意ヲセネバナラヌガ、之レモ亦馬ノ姿勢、歩様等ニ大關係ヲ有スルコトヲ忘レテハナラナイ、而シテ之レヲ遺憾ナカラシムル爲メ、馬ガ持ツテ居ル力量ヲ無駄ニ消費シナイ様ニ乗御シナケレバナラナイ、例ヘバ馬ガ無暗ニ口ニ引掛カリ、騎手ハ之レヲ立チ上ル様ニシテ押ヘテナゾ居レバ、馬ハ其レ丈ケ無駄ナ力ヲ使ウカラ、イザト云フ場合ニ、餘力ガ無クナツテシマウ。左様ナコトニモ餘リ短韁デ乗ツテ常ニ馬ガ、口ニ引掛カル様ナ調教法ヲ施シテ居ルコトハ宜シクナイノデアアル

三、競馬ニ利用スベキ自由飛越ニ就テ

前年ト同様ナルヲ以テ省略ス

四、障礙競走用ノ鞍ニ就テ

松葉博士ノ獨逸ニテ購入シ、持チ歸ラレタル鞍及普通馬術用ノ障礙飛越鞍、並ニ本俱樂部ニテ障礙競走用トシテ試作セル鞍ヲ、從來ヨリ通常競走ニ使用シアル鞍ト對照シ、各々詳細ニ比較研究シ、且ツ多クノ者ニ乗セ騎乗ノ感覺ヲ會得セシメ、以テ鞍ニ就テ將來工夫スベキ事項ヲ研究ス

競馬法規ニ關スル事項

清井馬政局事務官

本日御話致シマスコトハ、諸君ニ取ツテ餘リ面白イコトデアリマスガ、兎ニ角、諸君ガ將來騎手トシテノ、人格及技術ヲ高メル爲ノ、立派ナ講習會ヲ開イテ居ルノデアリマスカラ、暫クノ間我慢シテ聞イテ下サイ

今度議會デ競馬法ガ改正ニナツタコトハ、皆サン御存知デアラウト思ヒマスガ、大體ドンナ所ガ變ツタカ御承知ノ方ガアリマスカ、何かサウ云フコトヲ聞カレタ方ハアリマセヌカ。今度ハ全國ノ十一ノ俱樂部ガ解散致シマシテ、一ツノ日本競馬會ト云フモノニナル、即チ今マデハ各競馬俱樂部ト云フ

モノガ獨立シテ居テ、其俱樂部ガ競馬會ト云フモノヲ組織シテ居タ譯デスガ、今度ハ其競馬協會ガナクナリマシテ、十一ノ競馬俱樂部ガ一ツノモノニナツテ、日本競馬會ト云フ名前ニナルノデス。從ツテ競馬ハ日本競馬會ト云フモノガヤツテ、各支部ノ競馬場デ行フト云フヤウニ改正サレタノガ、一番大キナ點デス。何故一體十一ノ競馬俱樂部ガ一ツノモノニナツタカ、其理由ノ分ル人ハ誰カアリマセヌカ。十一ノ俱樂部ガアツテ、御互ニ獨立シテ居ルカラ、競争スル、自分ノ所ノ賣上ヲ多クシヨウト云フコト、ナリ、從ツテ競馬ノ大キナ目的ノ馬ノ改良増殖トカ、馬事思想ノ普及ト云フ目的ヲ達成スルノニ、不十分デアルト云フコトガ原因ニナツテ、十一競馬俱樂部ヲ一ニスルト云フコトニナツタノデス。即チ一體ドウ云フ所ニ十一俱樂部ヲ一ツニスル必要ガアツタカ、即チ今マデ競馬ノ施行ガ完全ニ何故行ハレナカツタカト申シマスト、ソレハ、前ニオ話シタ通りニ非常ニ賣上ヲ多クスルコトヲ望ンデ居タノデナイカト思ハレルノデ、ソレデ競馬ヲ實際施行スル時ニ、諸君ガ競馬ニ出ル時ニ何ダカ變ナヤウナ行動ガアツテモ、充分ニ騎手ニ對スル處分ガ行ナハレテハ來ナカツタノデヤナイカト、世間一般及役所デ以テ感ジテ居ツタ、ソレガ今度競馬法ヲ改正スル、大キナ原因ニナツテ居ルノデス。ソレカラ、十一俱樂部ヲ解散シテ、一ツノモノニスルト云フコトノ外ニ、モ二ツ大キナ改正ガアリマス。其一ツハ、今度騎手、調教師ノ取締規定ヲ役所デ以テ作ルト云フコトニナリマシタ。此事ハ諸君ノ自分達ノコトダカラ能ク聞イテ居ナケレバイケナイ。今マデハ俱樂部デ各々デ決メテ居ツタ、競馬

施行規程ノ中ニソレハアツタノデスガ、今度ハ諸君ヲ處分スルコトバカリ考ヘテ居ル譯デハ、決シテナイガ、今度ハ若シモ不正ナコトヲヤツテ、之ガ處分ニ値スル場合ニハ、役所デ以テ取締規定ヲ作ツテヤツテ行カウチヤナイカト云フコトニナツタノデス。マダ詳細ナコトハ未定デ、確定的ニハ申上ゲラレナイノデスガ、今度ノ新シイ競馬法ノ施行ト共ニ、騎手及ビ調教師ノ取締規定ト云フモノヲ、作ツタラ宜イノデナイカト云フコトニナツテ居リマス。即チ騎手、調教師ニ免許狀ヲヤル。自動車ノ運轉手ニヤルヤウニ免許狀ヲ役所デヤル。ソウシテ、アル人ニ免許狀ヲヤルカドウカト云フコトハ、役所ガ勝手ニ決メル。不正ナコトバカリヤツテ居ルトカ、不正デナクトモ、變ナ乘リ方ヲヤツテ居ルモノニハヤラナイトカ、サウデナクシテ、非常ニ良イ男デ、免許狀ヲヤツテモ差支ヘナイト思ヘバ、ドン／＼免許狀ヲヤルト云フ風ニ、今度ハ諸君ガ騎手トシテ、競馬デ走ルコトガ出來ルカ否カト云フコトハ、一ニ役所ノ意思如何ニ依ツテ決マルト云フコトニ改正ニナツタノデアリマス。是ハ諸君達ニ取ツテ直接該當スル規定デアリマスカラ、其點ヲ能ク憶エテ置イテ戴キタイ。何モ決シテ取締規定ヲ作ツタカラト云ツテ、諸君ガ始終變ナコトヲヤツテ居ルト云フ譯デハナイ。若シヤツタ場合ニ、今マデノ俱樂部ノヤウデハ、トモスルトオトナシ過ギルト云フノニ對シテ、嚴正ニ公正ニ仕事ヲヤツテ居ル騎手ニ道ヲ開イテ行カウチヤナイカ、騎手ニ本分ヲ盡サセヨウチヤナイカト云フノガ眼目デアリマスカラ、其點ヲ能ク御承知ニナツテ、諸君ハ御歸リニナツテ、諸君ノ友達ナリ、親方ナリニ能ク御話下サ

イ。年配ノ騎手ダツテ皆一樣ニ處分シマス。ソレカラ今オ話シタ免許狀ニモ何年間ト云フ様ニ期限ガツイテ居テ、ソノ期間ガスギタラ、今迄ノ免許狀ハ無効トナツテ、又新ニ役所ノ方カラ免許狀ヲヤルト云フコトニナルノダラウト思ヒマスガ、併シ、若シモ諸君ノ行狀ガ悪イト、ソノ際ニ此男ハコンナコトガアツタカラ、次ノ期間ハ許サナイ、此男ハコンナ眞面目ダカラ、何年モ許シテヤルト云フコトニナルカモ知レナイノデス。各競馬場ニ監督ニ行ツテ居ルノデ、アノ騎手ハ斯ウダ、此騎手ハ斯ウダト云フコトガ嚴密ニ役所デハ、調ガ出來テ居テ「ブラツクリスト」ガ出來テ居ルノデ、ソレヲ見レバ此男ハ斯ウ云フコトヲシタトカ、シナイトカ、分ルノデス。以上ガ大キナ改革デアリマス。

モウ一ツノ改革ノ點ハ、諸君ニ關係ナイガ、俱樂部カラ政府ニ今マデ百分ノ六納メテ居ツタ御金ヲ百分ノ八納メル、最高百分ノ八納メルヤウニシヨウヂヤナイカト云フ風ニ變リマス。

以上ノ三點ガ改正ノ要點デアリマス。即チ十一ノ競馬俱樂部ヲ解散シテ、一ツニシタト云フコトト騎手、調教師ニ對シテ取締規定ガ出來ルヤウニナツタコト、ソレカラ政府納付金ノ率ガ變ツテ來タ此三ツガ大キナ改革デス。此大改革ノヤラウトスル所ハ、即チ今ノ競馬ノ施行上ノ現状カラ、ドウシテモ斯ウ云フ改正ヲシナクテハ、競馬ノ眞ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フノデ、サウ云フ改正ニナツタノデスカラ、能ク其點ヲ御承知置キ下サイ。

一體法律ナドト云フモノハ、ドウシテアルノカ。人間ガ例ヘバ「ロビンソン・クルソー」ノヤウニ漂流シテ無人島デ一人デ暮シテ居ル場合、ア、云ツタ場合ニハ、一人デ勝手ナコトヲスレバ宜イノデ何モ規則ヤ決マリヲ作ル必要ハナイ。ソレガ二人、三人、段々數ガ多クナツテ來ルト、二人ナラ二人デ、斯ウ云フ場合ニハ斯ウシヨウヂヤナイカ、或ハ斯ウ云フ場合ニハ斯ウシヨウヂヤナイカト決メル。ソレガ人間ノ數ガ段々多クナツテ、何百萬、何千萬、何億ト云フヤウニナツテ來ルト、ニツノ決マリヲ作ツテ、斯ウ云フコトヲスレバ、斯ウ云フコトニナルト云フ規定ヲ作ツテ行カナケレバ、世ノ中ガ立ツテ行カナイ。例ヘバ道ヲ歩クノニモ、勝手ニ右左歩イタノデハ、御互ニ衝突シテ歩ケナイカラ、左ナラ左ヲ通行スルト云フヤウニ決メテ世ノ中ヲ纏メテ行ク。サウ云フコトヲ決メタノガ即チ法律デアリマス。ソレデハ此法律自身ハドウ云フ手續デ出來ルカト云フト、御承知ノ通り、帝國議會ト云フモノガアリ、ソレガ衆議院ト貴族院トニ分レテ居テ、衆議院ハ、一般國民カラ選舉シタ代議士ト云フ人ヲ以テ作ラレテ居リ、貴族院ハ皇族、ソレカラ公侯伯子男爵、其外 天皇陛下ガ任命セラレタ勅選議員ト云フヤウナモノニ依ツテ、構成サレテ居ル譯デス。ソレデ例ヘバ政府カラ斯ウ云フ法律ヲ世ノ中ニヤツテ見ヨウ、競馬法ノ改正ナラバ、今ノ法律デハ工合ガ悪イカラ、斯ウ云フ風ニ改正シタイト云フコトヲ書イテ出セバ、衆議院デソレヲ見テ、果シテ之デ競馬法ノ目的ガ達セラレルカドウカト云フコトヲ審議シテ、ソレデ宜イトナレバ可決スル、斯ウ云フ法律ヲ作ツテ宜シイ、又斯ウ云フ風

ニ改正シテ宜シイト云フコトニ可決スル。ソレカラ貴族院デモ同ジヤウニ之デ宜イカドウカト云フコトヲ調べテ、之デ宜シイト云フコトニナルト、愈々兩院ヲ通過シタト云フコトニナル。其兩院ヲ通過シタモノガ、今度 天皇陛下ノ御手元ニ行ツテ、 天皇陛下ガ御覽ニナラレテ國民ノ爲ニ斯ウ云フ法律ヲ出シテ宜イカト云フコトヲ、具サニ御覽ノ上御裁可ガアツテ、初メテ法律ガ出來上ル。競馬法ト云フ法律モサウ云フ順序ヲ今度ノ議會ヲ經テ出來上ツタノデス。

次ニ世ノ中ニハ法律ト云フモノガ一杯アルケレドモ、其法律ヲ誰カ行フモノガ居ナケレバ、實際ニ動イテユカナイ、ソコデ御承知ノ通役所ト云フモノガアツテ、内務省トカ、外務省トカ、大藏省トカ、文部省トカ、商工省トカ色々ナ名前ノ役所ガアツテ、各々分擔シテ仕事ヲヤツテ居ル。例ヘバ内務省ト云フノハ、地方ノ各府縣ノ縣廳ノ仕事デアリマスタカ、衛生トカノ仕事ヲ皆彼處デアツテ居ル。警察ナドハ内務省デアツテ居ル。大藏省ト云フノハ、國ノ財政ヤ銀行ノコトヲヤリ、商工省ハ商人ノ方ノコトヤ、工業ノ方ヲヤツテ居ル。ソシテ農林省ハ農業ヤ馬ノ方ト云ツタ方面ヲ受持ツテ居ル。從ツテ競馬法ト云フ馬ノ改良増殖ト、馬事思想ノ普及ノ爲ニアル法律ハ、農林省デ以テ動カシテ居ルノデス。ソシテ今マデハ農林省ノ中デ畜産局デ畜産ノコト、馬ノコトヲヤツテ居ツタガ、畜産局ノ中ノ馬事課ト云フ課ガアツテ、競馬法ノコトハソコデアツテ居ツタ。諸君ガ競馬ニ出ル時ニ、監督官トシテ其ノ競馬場ニ行ツテ居ラレタ人々ハ皆此ノ馬事課ニ居ル方デアツタガ、今度ハ馬政局ト云フモノガ

新ニ出來マシテ、馬ノ役所ガ獨立シテ、馬政局ニ競馬監督課ト云フ課ガ出來テソコデアルコトニナツタ。今マデ馬事課ニ居ル人ガ全部競馬監督課ニ行ツタノデスカラ、今度ハ課ノ名前ハ變ツテモ、監督官ハ同ジデ、競馬監督課ノ人ガ監督ニ行カレルノデス。サウ云フ風ニ今御話シタ通り法律ト云フモノガ世ノ中ニ出ルノニハ、貴衆兩院ヲ通過シテ 天皇陛下ノ御裁可ガアツテ施行セラレルガ、ソレヲ行フ所ノ役所ハ、農林省トカ商工省トカ云フ役所デ、競馬法ヲ行フ役所ハ農林省ノ、今マデハ畜産局ノ馬事課デアツタガ、今度ハ馬政局ノ競馬監督課デアルト云フ順序ニナリマス。

大體競馬法ト云フモノノ、大キナ意味ト申シマスカ、根本的ナ御話ヲシマシタガ、ソレデハ今度ハ競馬法ト云フモノハ、一體何時頃出來タカト云フコトニナツテ來ル譯デス。競馬ト云フモノハ、昔カラ祭典競馬ト云ツテ、御祭ノ時ニ競馬ヲヤツテ居ツタト云フヤウナコトガアツタ譯デスケレドモ、コレラハ唯娛樂本位デアツテ競馬ニヨツテ、ドウ云フ目的ヲ達シヤウト云フ意味ハナカツタノデス。初メテ明治三十九年十二月十日ニ法律見タイナモノガ出來マシテ、競馬ハコンナ風ニシテヤル、ト云フコトガキメラレタノデスガ、其時ニハ併シ俗ニ云フ馬券ト云フモノヲ、ドウスルカト云フコトガ何モ書イテナカツタ爲ニ、各競馬俱樂部ガ、ドン／＼馬券ヲ賣ツタノデ、世ノ中ノ風教ガ亂レタ。ソシテ馬券ト云フモノハ儲カルカラ、競馬會社ヲ作レト云フノデ、ドン／＼競馬會社ヲ作ツタノデ、コレガ爲、餘リ世ノ中ガ亂レテシマツタノデ、コレデハ馬券ヲ賣ツテハナラヌト云フコトニナリマシテ、明

治四十一年ノ十月六日ニ、馬券ヲ賣ツチヤイカスト禁止シテシマツタノデス。馬券ガ儲カルト云フノデ、ヤツテ居ツタモノガ、馬券ヲ賣ルコトヲ禁止サレチヤツタノデ、ビツクリシテ、之チヤ立行カヌト云フノデ、大部分ト云フモノハ、止メテシマツタガ、併シ中ニハ本當ニ競馬ト云フモノハ、日本國家ノ爲ニヤツテ行カナケレバナライモノダト云フコトヲ思ツテ居ツタ、極ク眞面目ナ俱樂部ダケガ後ニ残ツテ、一生懸命ニナツテヤツテ居ツタ。併シ馬券ハ賣レナイカラ、見ニ來ル人ハ極ク少數デ、入場券カラ這入ル金デハ、ヤツテイケナイト云フコトニナル。是デハシヨウガナイト云フコトニナツテ、役所カラ競馬俱樂部ガ設備ヲ作ル時ヤ、競馬ヲ開催スル時ニ、補助金ヲ呉レテヤツテ行カウチヤナイカト云フコトニナツテ、ズツト補助金ヲヤツテ行キ、大正十二年マデサウ云フ風ニシテ續イタケレドモ、大正十二年ニナツテ、愈々競馬ハ馬ノ爲ニ必要ダ、競馬法ト云フモノヲ是非作ツテヤラナケレバイカヌノチヤナイカト、云フヤウナ氣持ニナツテ來テ、初メテ競馬法ト云フモノガ出來上ツタ。ソレガ今ノ競馬法ノ元ノ法律デス。ソレカラ二回バカリ改正ガアリマシタガ、ソレハ小サナ改正デ、只開催日數ヲ殖ヤストカ、政府納付金ノ率ヲ上ゲルトカ、極ク簡單ナモノデス。ソレガ今度、愈々競馬ヲヤツテ行クニハ、ドウシテモ現在ノ施行方法デハ工合ガ悪イト云フヤウニナツテ、サツキ御話シタ通りノ所謂大キナ根本的ナ、全部ノ改正ト云ツテ宜イ位ナ改正ニナツテ來タノデアリマス。ソレデハ政府ガ競馬法ト云フヤウナモノヲ作ツテ、一生懸命ニナツテヤツテ居ルノハ、一體何ノ爲

デアラダラウカ。其ノ理由ハ競馬法ノ中ニモサウ云フコトガ書イテアリマスケレドモ、先ヅ其目的ハ二ツアリマス。一ツハ馬ノ改良増殖、馬ノ惡イ馬ヲ良クシ馬ノ數ヲ殖ヤスト云フコトガ一ツ、ソレカラ一ツハ、馬事思想ノ普及デアリマシテ、馬ト云フモノハ宜イモノダ、馬ト云フモノハ陸軍ノ爲ニモ農村ノ爲ニモ非常ニ大切ダト云フ思想ヲ、一般國民ニ植付ケヨウ。其二ツノ必要ガアル爲ニ、競馬法ト云フモノガアリマシテ、一生懸命ニナツテヤツテ居ル譯デアリマス。

馬ヲ改良シ、増殖スルト云ヒマスケレドモ、馬ノ改良増殖ト云フモノガ、ドウシテ必要カト云フコトニナツテ來ル。今デハ「トラック」ヤ自動車ガアツテ、ノロノシタ馬ハ要ラナイチヤナイカト云フ意見モアルガ、併シ馬ト云フモノハ大切ナモノデアツテ、ドウ云フ點ニ馬ガ大切カト云フト、先ヅ二方面カラ必要ナノデ、ソレハ馬ハ産業上カラ云ツテ大切ダト云フコトガ一ツ、ソレカラ陸軍ノ方ノ關係、即チ國防上大切ダト云フコトガ一ツ、此二ツアルノデス。ソレガ産業上大切デアルト云フノハ一體ドウ云フ譯ダト云フト、御承知ノ通り日本デハ半分位ハ農家デ、百姓ヲヤツテ居ル。米ヲ作ツタリ、麥ヲ作ツタリ、蠶ヲ飼ツタリ、果實ヲ作ツタリシテ居リマスケレドモ、今ハ農産物ガ普通ノ一般都會カラ出來ル品物ト比較スルト非常ニ値段ガ安イノデ、自分ノ賣ルモノハ安ク、買フモノハ高イト云フコトニナリ、結局、自分ノ作ル品物ヲ安クシナケレバ、經濟ガ成立タヌト云フコトニナツテ來ルノデス。自分ノ作ル品物ヲ安クスルノニハ、ドウシテモ一般農産物ニ是非トモ必要ナ肥料ト云フモノ

ヲ安クスルト云フコトト、働ク賃銀、勞賃ヲ安クスルト云フ、此二ツノコトニ其ノ努力ガ集中サレル譯デス。勞賃ト申シマス、人間ノ働ク勞働デスケレドモ、馬ト云フモノガアツテ、馬ニ働カスト云フコトガ非常ナ補ヒニナル。ソレカラ、馬カラハ肥料ガ得ラレマスカラ、サツキ云ツタ肥料問題モ解決スル。サウ云フヤウナ見地カラ馬ヲ養ツテ行ケバ、農業ノ爲ニ得ダ、即チ馬ヲ養ツテ行ケバ、ソレダケ生産物ガ安クナル。ソレダケ賣ツテ利益ガ舉ガルカラ、經濟ガ樂ニナル。ソレカラ穀物ダケノ農作デハ危險ナノデ、畜産ヲモ多分ニ加味スルト云フ様ナ意味合カラシテモ、馬ヲ養ウト云フコトガ産業經濟上ノ大キナ理由デアリマス。ソレカラ國防上大切デアルト云フノハ、申スマデモナク戰爭ノ爲ニ馬ガ必要ダト云フコトデアリマス。日露戰爭ノ時ニハ、兵隊百人ニ付テ馬ガ十五六頭アレバヨカツタノデアツタモノガ、歐洲大戰ノ時ニハ三十四五頭ニナリ、滿洲事變デハ五六十頭ダト云フ話デ、十五六頭カラ三十四五頭、五六十頭ト上ツテ行ツテ居ル。非常ニ近代兵器ガ出來テ、自動車ヤ飛行機ガ豊富ニアリ、馬ノヤウナノロ臭イモノハ要ラナイデヤナイカト思フガ、統計ニ依ルト、却ツテ段々數ガ殖エテ來テ居ル。或ル程度マデハ自動車ヤ何カデ運ベルガ、ソツカラ實際兵隊ノ居ル戰線マデ運ブノニハ、ドウシテモ馬ガ必要ダト云フコトヲ、陸軍側ノ方ハ云ツテ居ラレル。ソナヤウナ譯デ、將來日本ニ戰爭ガ起ルトスレバ、滿洲ノヤウナ所ニ起ルノデアルカラ、近頃ノ様ニ國際關係ガ平穩デナイ時ニ、益々馬ハ大切デアルト云フコトニナル。ソレデ結局今申上ゲタ通り産業上ノ必要、國防上ノ

必要、此二ツノ必要性カラ、是非共日本デハ馬ノ改良増殖ヲヤツテ、農村ノ經濟ニ裨益スル所アラシムルト共ニ、國防上遺憾ナカラシメネバナラント云フコトニナルデアツテ、所謂馬ノ改良増殖ト云フコトヲヤツテ行クニハ是非競馬デヤラネバナラナイデアリマス

ソレデハ馬ノ改良増殖ハドウスレバヨイカ。競馬デ馬ガ改良サレルト云フガ、馬ガ走ツタツテ改良サレヤシナイデナイカト一應考ヘラレルノデスガ、之ヲヨク考ヘテ見ルト、競馬ハ馬ノ能力檢定デ、走ツテ速イモノガ勝ツ、時ニハ遅イモノガ勝ツコトモアルガ、大體ニ於テ速イ方ガ勝ツ。サウスレバ結局下ノ馬ガ一番良イ馬ダ、一番速イ馬ダト云フコトガ分リマス。ソレデ長イ間競馬ヲヤツテ行ク中ニ、是ガ一番良イ馬ダト云フコトガ決マルト云フト、ソレヲ蕃殖界ニ送ツテ蕃殖サスノデス。子供ガ出來レバ、大體親ニ似タ子供ガ出來テ、速イ馬ノ子供ハ速イト云フコトニナツテ來ル。例ヘバ日本デ「トウルヌソル」トカ「シヤンモア」ト云フアチラデ速カツタ馬ノ子供ハ大體ニ於テ速イノデス。結局段々馬ノ質ガ良クナツテ來ル。コノ様ニ馬ノ能力ガ、下ノ位アルカヲ見ル爲ニ競馬ガアルノデスカラ從ツテ、ソコニ騎手諸君ノ非常ニ仕事ノ重大性ガアルワケデアル。馬ガ下ノ位ノ能力ガアルカヲ見ル爲ニハ騎手諸君ガ眞面目ニヤラナケレバ、馬ノ全能力ヲ出サズ、ツマリ馬ノ眞ノ能力ヲ發揮スルコトハ出來ナイト云フワケデシテ、馬ノ本當ノ能力ヲ發揮サセルト云フコトガ、騎手諸君ノ重大ナル責任デ、ソコニ大キナ意味ガアル

次ニ今云ツタ通り能力檢定ヲシテ、良イ馬ヲ蕃殖界ニ送ツテ、馬ノ改良ヲヤルガ、競馬ニ依ル増殖ト云フモノハ、ドウスルカト云フト、競馬デ勝ツタ馬ニ對シテ多額ノ賞金ヲ出ス。サウスルト結局、馬ノ値ガ段々ト高クナル。サウナルト良イ馬ヲ作ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ、生産地デ良イ馬ヲ作ラウトスル。從ツテ段々殖ヤスト云フヤウナ形ニナツテ來ル。例ヘバ「アラブ」ノ血量二十五%以上ノ馬ガ競走ニ走レルトキメルト、初メテ「アラブ」血量二十五%以上ノ馬ヲ民間當事者ガ作ルト云フワケデ、詰リ競馬ニ依ツテ馬ノ能力ヲ檢定シテ、良イ馬ヲ蕃殖界ニ送り、賞金ヲヤツテ生産ヲ刺戟サセル、サウ云フ二ツノ意味カラ、馬ノ改良増殖ト云フコトガ出來ルノデアリマス。

次ニ馬事思想ノ普及ト云フノハ、結局競馬ヲヤツテ馬券ヲ賣ルト、人ガ多勢集ツテ來テ、馬ヲ見テ此馬ハコノ前ハコンナ風ニ何時勝ツタトカ、騎手ハ誰ガ乗ルトカ云フコトヲ研究シテ、今日ハ是ガ勝ツガラウト豫想シ、集ツタ人々ガ非常ニ馬ヲ見ルコトガ好キニナリ、上手ニナツテ來ル。段々見物人ガ殖エルニ從ツテサウ云フヤウナ思想ガ段々一般國民ノ間ニ普及シテ來ルノガ、ツマリ馬事思想ノ普及デアルワケデス。ソレデ競馬ガ馬ノ改良、増殖、馬事思想ノ普及ヲ目的トスルコトガ非常ニ大切ナコトデアルガ爲ニ、元ノ競馬法ノ第一條ニハ、馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスル法人云々ト明ニ書イテアリマス。今度改正ニナツタ競馬法ノ中ニモ、サウ云フコトハ、ハツキリト書イテアリマス。即チ第十條ニ、日本競馬會ハ法人トシ、馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルヲ以

テ目的トス、斯ウ書イテアリマス。競馬ハ今云ツタヤウニ馬ノ改良、増殖、馬事思想ノ普及ノ爲ニヤルノデアルカラ、馬ニ乗ル騎手諸君ノ責任ハ非常ニ重大デアルコトガオワカリニナツタデセウ。

サテ今マデノ競馬法ハ、條文ガ十六條デアツタガ、今度改正シタノハ條文ガ五十一條ニナツテ、約三倍ニナリマシタガ、其大部分ハ日本競馬會ニ關スル規定ガ書イテアル。

ソレデ何故一體競馬法ハ改正サレルヤウニナツタカ、ト云フノハ、サツキ御話シタ通り、繰返シテ申上ゲルノデスケレドモ、現在ノ各俱樂部ノヤリ方ガ競馬ノ目的達成ノ爲ニハ、ドウモ巧ク行カナイト云フコトガ一番大キナ改正ノ原因デ、理由ト云ヘバ、ソレデ盡キル譯デアリマス。ソレデ改正ノ要旨ト云フノハ、サツキ申シマシタ通り、先ヅ一番先キニ日本競馬會ト云フモノガ出來ルト云フコトト、ソレカラ騎手、調教師ノ取締規定ト云フモノガ出來ルコト、ソレカラ政府ニ納メル金ノ率ガ上ツテ、百分ノ六以内トアリマスノガ、百分ノ八以内ニナルト云フコトニナツテ居リマス。直接諸君ニ關スル所謂取締規定ト云フモノハ、第三十二條ニ、主務大臣ハ本法ニ依ル競馬ニ關與スル調教師又ハ騎手ノ取締ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得、ト云フ大キナ一ツノ條文ガアリマス。主務大臣ト云フノハ農林大臣デス。サツキ御話シタ通りニドウモ今マデノ騎手處分ノヤリ方ニハ、完全ニ行カナイ點ガアルノデ、今度、役所デ取締規定ヲ作ツテ、監督ヲ十分ニスル共ニ、指導モ十分ナル。諸君ノ利益モ圖ルガ、若シ不正ナコトヲヤツタラ嚴重ニ取締ヲヤルト云フ意味ナノデス。此點ヲ繰返シテ申上

ゲルノデスガ、諸君ニ直接關係ノアルコトデスカラ、諸君ガ御歸リニナツテカラ、能ク話シテクダサイ。此春私ガ新潟ニ行ツタトキニ、二ヶ年ノ騎乗停止ノ處分ヲヤマシタガ、ソレハ近來ニナイ大キナ事件デスガ、アンナヤウナコトヲヤツテハ將來ハ免狀ヲ貰ヘナイガ、ソレバカリデナク、發馬機ニブツカツタトカ云フ極ク細イコトマデモ、成績ニ關係致シマスカラ、今後一層十分ニ御注意ニナラナイト、諸君方ガ不爲ニナルノデス。此點ヲ能ク歸ラレテ、御話ヲシテ下サイ

元ノ競馬法ヲ説明シナイト、今度ノ競馬法ガ分ラナイコトニナリマスカラ、元ノ競馬法ニドウ云フコトガ書イテアルカヲ説明シテ、ソレカラ改正競馬法ハドウ云フコトニナツテ居ルカト云フコトヲ、御話シテ見マセウ

元ノ競馬法ノ第一條ニハ、サツキ御話シタ通りニ、馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスル民法第三十四條ノ法人デアツテ、主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ、競馬ヲナスコトガ出來ルトナツテ居ツテ、今迄ハソノ法人ガ競馬ヲヤツテ居ツタ。民法第三十四條ノ法人ト云ツテモ、チヨツト御分リニナラナイデセウガ、法人ト云フノハ、簡單ニ云ヒマスト、人間デナクテ、人間ト同ジヤウナコトガ出來ル、人間ト同ジヤウニ權利ヲ持チ、義務ヲ持ツモノデス。競馬俱樂部ノ持ツテ居ル財産ト云フモノハ、個人々々ノ財産デハナクシテ、競馬俱樂部ノ財産デ、個人トハ別ナ財産デアル。例ヘバ競馬俱樂部ノ會員ガ減ツタトカ、死ンダトカ、理事ガ變ツタト云フコトガアツテモ、財産ニハ何

モ關係ガナイ、競馬俱樂部ニハ何モ關係ガナイ、競馬俱樂部其モノトシテ獨立シテ居ル、ソコニ働ク理事以下ノ人々ハ俱樂部トハ別デアルト云フ様ナ仕組ニナツテ居マスノガ法人ト云ウノデアツテ、而モ俱樂部ハ公益ヲ目的トスル法人デアリ、即チ馬事思想ノ普及トカ、馬ノ改良増殖ト云フコトヲ目的トシテ居ルノデスカラ、營利ヲ目的トシタ法人デナク、國家的ノ大キナ仕事ヲ持ツテ居ル法人デスカラ、公益法人デアルノハ、當然ナ話デス。サウ云ツタ大キナ思想ガ競馬法ノ第一條ニアルノデアリマ

ス
次ノ條文ニハ、競馬ノ開催ハ年二回ヲ超ユルコトヲ得ズ、但シ主務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ、年三回開催スルコトヲ得、競馬開催ノ期間ハ毎回八日以内トス」ト云ウコトガ書イテアリ、年二回ヲ超ユルコトヲ得ズト云ウガ原則デ、但書ニ依ツテ、許可ヲ受ケタルトキハ三回開催スルコトガ出來ルト云フノガ、所謂臨時競馬デアリマシタガ、今度ハ臨時競馬ト云フモノハ、出來ナクナリマス。即チ今度ハ、特ニ三回出來ルヤウナ規定ハアリマスガ、其内容ハ、何ト云ヒマスカ、天災地變等デ或ル競馬場デ競馬ガ出來ナイ、例ヘバ阪神俱樂部ガ水害デ競馬ガ出來ナイ、ソレデ京都デヤウジヤナイカト、サウ云フ場合ダケシカ今度ハ三回出來ナイ。其代リ京都デヤツタラ阪神デハ出來ナイ。全體ノ回數ハ一競馬場二回デ、十一デ二十二回シカ開催ハ出來ナイノデス。今マデノヤウニ、何カノ記念ノ爲ノ臨時競馬ヲヤルト云フヤウナコトハ、出來ナクナリマシタ。ソレカラ毎回八日以内デアツテ、今モ實際

八日ヤツテ居ル所ト、七日ノ所、六日ノ所トアリマス。大體大キナ俱樂部ハ八日ヤル、小俱樂部ハ七日ノ所ト六日ノ所トアリマス

第三條ニハ、入場料ヲ取ルコトガ書イテアル。ソレハ當然デアル、只デ入レチヤイカヌ。入場料ヲ取ルト云フノハ、只デ入レチヤイカヌト云フ意味デス、即チ馬券ヲ賣ル所デスカラ、ト云フノハ御承知ノ通り、日本デハ賭博ヲヤツチヤイケナイト刑法デ禁止サレテ居ルノガ、特ニ特別規定ノ爲ニ馬券ヲ賣ルコトガ許サレテ居ルノデスカラ、サウ云フヤウナ所ニ無料デハ矢鱈ニ大勢這入ツテ來ルカラ、特ニ入場料ヲ取ラナケレバイカヌト云フ意味デス

第四條ニハ馬券ノコトガ書イテアル。馬券ハ五圓以上二十圓以下トアルガ、今ハ十圓券ト二十圓券ト賣ツテ居ル。十圓券ハ小俱樂部デ賣ツテ居リマス。法律デハ五圓以上トアルノデ五圓券モ賣ルコトガ出來ルワケデアリマスガ、今ノ所五圓券ヲ賣ツテ居ル所ハアリマセン。ソレデハドウシテ五圓以上二十圓以下トナツテ居ルノデアルカト云フト、餘リ小サイ金ニスルト、金ヲ持タナイ人ガ馬券ヲ買ツテ、ソレガ爲失敗シテ、結局自殺ヲスルト云フヤウナ人ガ出來テ來テ、社會ノ爲ニ宜シクナイ、ソレカラ二十圓以上百圓二百圓トスルト、ソレコソ又何千圓儲ケテヤラウト云フヤウナモノガ出テ來テ、投機心ヲソルコトニナリ、結局社會風教ノ爲ニ五圓以上二十圓以下ト決メテアルノデス。馬券ハ一人一枚、之モ當然ナ話デ、單勝式一枚、複勝式一枚、各一枚ヅツシカ買ヘナイト云フトガ書イテア

リマス

ソレカラ其次ノ第五條ハ、學生生徒、ソレカラ當該競馬ヲ開催スル俱樂部ノ役員、開催執務委員、調教師、騎手、馬丁、其他競馬事務ニ従事スル者ハ、馬券ヲ買ツテハイケナイ。是ハ諸君ニ直接ニ影響スル條文デ、是ハ私等ガ能ク俱樂部ニ行クト、騎手ヤ馬丁ガ買ツテ居ルト云フ報告ニ屢々接スルノデス、騎手ノ顔ハ一度見レバ、忘レナイケレドモ、馬丁ノ顔ハヨク分ラナイ爲ニ、普通ノ服裝ヲシテ居ルト、チヨットワカリマセンガ、分レバ直グ取調べマス、先日モ札幌デサウ云フトガアツタト云フ話ヲ聞キマシタ。私達ガ行ツテ見テ居ツテモ、時々サウデナイカト思フ人ガアリ、又騎手諸君ガ誰カニ買ハシテ居ルノデナイカト云フトモ屢々見受ケタリ、聞イタリスル、競馬ニ關與スルモノハ、嚴正公平ニ馬ノ能力ヲ檢定シナケレバナラス、從ツテ馬ニ乗ル一番大事ナ役目ヲスル騎手諸君ガ、馬券ヲ買ヘバ、ソレニ依ツテ左右サレテ作爲ヲヤル、本當ニ正直ナ純粹ナ氣持デ競馬ヲヤルコトガ出來ナイト云フトニナルカラ、最モイケナイワケデス。ソレデ條文ヲ掲ゲテワザ／＼買ツチヤイケナイト云フトハツキリサセテ居リマスノデ、是ハ嚴重ニ守ラナケレバイケマセン。是ハ今御話シタ通り、從來或ハ買ツテ居ルノデハナイカト思ハレル節ガアル人ガアリマス。是ハ諸君ガ御歸リニナツテサウ云フ趣旨ヲ能ク御話シテ、サツキモ云ツタ通り、取締規定ガ出來ルカラ、馬券ナカ買ツタリスルト、重大ナル事故デスカラ、ソナコトガ一度見付カレバ、忽チニ許可證ヲ取上ゲラレテ、騎手が

出來ナクナリマスカラ、サウ云フコトノナイヤウニ、諸君ハ無論サウ云フコトハナイデアラウガ、御歸リニナツテカラ、能ク御話シテ下サイ。何時デアツタカ、馬丁見タイノガ買ツテ居ルノヲ見タカラ御前ハ馬丁デナイカト云フト、サウダト云フ、馬丁ガ馬券ヲ買ツチヤイカヌト云フト、馬丁ハ買ツテハイケマセヌカト質問シタモノガアツタ。ソシテハ無知識ノ甚ダシイモノデ、知ラナクテモ、買ツチヤイカヌノハ、當然デアルガ、馬丁ナドヘモ諸君ガ能ク話シテ置イテ下サイ

第六條、第七條、第八條、第九條ト云フノハ、餘リ關係ナイガ、例ヘバ馬券ノ發賣方法トカ、政府ニ納メル金ガ幾ラト云フヤウナコトガアル。只御話シテ置カナケレバナラヌコトハ、政府ニ賣上ノ百分ノ六以内ノ金ヲ納メルガ、其金ヲ何處ニ使フカト云フ問題デアリマス。納メタ金ヲ勝手ニ使フカト云フト、決シテサウデハナイノデアツテ、法律ノ中ニ三分ノ二ハ、馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ノ爲ニ使ハナケレバイケナイ、三分ノ一ハ社會事業ノ爲ニ使フノダト云フコトニ書イテアル。社會事業ト云フノハ、御承知ノ通り老人トカ孤兒トカ、サウ云フヤウナ氣ノ毒ナ人ヲ助ケル救護法ト云フモノガアルガ、ソレノ財源トシテ使フワケデ、後ノ三分ノ二ハ、馬カラ取ツタ金ダカラ、馬ニ使フノガ當然デヤナイカト云フワケデアリマス。現在三分ノ一ノ救護法ノ方ニヤル金ハ、百萬圓程度出シテ居リマス。ソレデ馬ノ方ニ使フ金ハ、例ヘバ國家ノ種馬所ノ經費トカ、民間ノ馬ノ飼料ヲ買フ代金ノ補助トカ、馬ニ大切ナ牧野ノ爲ノ經費等ト云ツタヤウナモノニ金ヲ出シテ居リマス

次ニ罰則ノコトヲ御話シマセウ。最後ノ方ニ、第十三條ニ役員ガ法律ニ反シタ行爲ヲヤル時ハ、競馬ヲ停止シタリ、勝馬投票券ノ發賣ノ停止又ハ制限、役員ノ解任ガ出來ルト云フ規定ガアリマス。ソレカラ諸君ガ馬券ヲ買ツタリ何カスルト、相當重イ罰ニナル。ソレハ二千圓以下ノ罰金ニナル。左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處スト云フノデ、騎手諸君ガ馬券ヲ買ツテ見付カルト二千圓以下ノ罰金ニナル。コンナ規定ハ、正直ナ眞面目ナ人ニハ、必要ガナイ規定デスガ、サウ云フコトヲシタ人ハ處分スルト云フ規定デスカラ、其積リデ……ソレカラ一人一枚ノ規定ヲ破ツテ買ツタモノハ、幾ラ位ナ罰金ニナルカト云フト、二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニナル。騎手諸君ガサウ云フコトヲシテハ最モイケナイコトデスガ、一人一枚ノ制限ヲ破ル人ガ、罰金ニナルノハ、當然ナコトデアリマス

サウ云ツタヤウナコトガ、元ノ競馬法ノ大キナ骨子デス。ソレガ今度改正サレマシテ、五十一條ノ大キナ法律ニナリマシタガ、大體ノ競馬ノ施行ノ細イコトハ、今御話シタヤウナコトト餘リ變ラナイノデ、唯サツキ云ツタ三ツノ點ガ變ツテ居ルダケデス

先ヅ改正競馬法ニ付テ御話致シマスケレドモ、先ヅ一番先キニ、第一條ニ、本法ニ依ル競馬ハ日本競馬會ニ限り之ヲ行フコトヲ得トアツテ、日本競馬會以外ニハ、絶對競馬ハ出來ナイト云フヤウニ書イテアル。ダカラ今マデノ十一俱樂部ハヤツチヤイカヌ。日本競馬會ダケガ出來ル、斯ウ云フ譯デ

ス。ソレカラ日本競馬會ハ法人トシ馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トスト云フコトハ、サツキ御話シタ通りデスカラ、繰返シマセヌ。ソレカラ日本競馬會ハ東京ニ置クノダト云フヤウナコトヲ書イテアリマス。

其次ニ日本競馬會ノ役員ノコトデスガ、今度出來ル日本競馬會ニハ、理事長ト云フモノガ一人ニ、副理事長ガ一人、ソレカラ理事ガ若干人、監事ガ若干人、評議員ガ二十五人以内トナツテ居リマス。理事長ト云フノハ、御承知ノ通り一番偉イ人デ、日本競馬會ノ代表者デス。副理事長ハ之ヲ助ケル、理事長ノ居ナイ時ニハ、代ツテ仕事ヲスル。理事ト云フノハ、實際ニ仕事ヲヤツテ行ク人デ、各俱樂部ノ理事ト云フノト同ジデ、ソナヤウナ仕事ヲヤル。ソレガ若干人、マダ幾人カ分ラナイ。監事ト云フノハ、日本競馬會ノ仕事ヲ注意シテ、悪イコトガアツタラ直サセル、サウ云フ風ニ監督シテ行ク人、其人ガ若干人。ソレカラ評議員ト云フノガ二十五人以内、今度ハ此評議員ト云フノガ非常ニ大切デアツテ、評議員ト云フノハ、前ニ御話シタ理事、日本競馬會ノ實際ノ仕事ヲスル理事ヲ選舉スル人デス。其外日本競馬會カラ、斯ウ云フモノハドウデアラウカト聞カレタ時ニ答ヘル、即チ理事ヲ選舉スルト云フコトガ大キナ仕事ニナルノデス。サウ云ツタヤウニ、日本競馬會ハ理事長、副理事長、理事、監事、評議員ガ居ルト云フコト、ソレカラ評議員ハ理事長ヲ選舉スルト云フ大キナ仕事ヲスルト云フコトヲ憶エテ置ケバ宜イデセウ。ソレカラ、今ノ競馬俱樂部ハドウナルカト云フコトニ、問題ガ

移ツテ來ル譯デアリマスガ、現在ノ競馬俱樂部ハ、日本競馬會ト云フモノガ出來マシテモ、一年間ダケハ今マデ通りノ競馬ガ出來ル。一年經ツタラ、ドウシテモ解散シナケレバイカンノデス。從ツテ競馬俱樂部ガ解散スルト、帝國競馬協會モ解散スルコトニナルガ、併シ現在居ラレル大勢ノ職員ハ、ズツト其儘日本競馬會ニ引繼ガレルコトニナルデアラウト思ヒマス。ソレデ日本競馬會ハ未ダ出來テ居リマセスケレドモ、大體今年ノ暮頃ニ出來ルト思ヒマス。若シモ今年ノ十二月ニ出來ルトスレバ、來年ノ暮マデ今マデ通り俱樂部デ出來ルガ、ソレ以後ハ絶對出來ナイト云フコトニナリマス。解散シマスレバ各俱樂部ノ持つテ居ル馬場トカ、建物トカ、設備等ハ、其儘日本競馬會ニ引繼ギ日本競馬會ハソレデ競馬ヲヤル。以上デ日本競馬會ノ大體ノコトハ御分リデアラウト思ヒマス。

其次ニハ、騎手諸君竝ニ競馬關係者ニ對スル取締規定デスケレドモ、サツキ御話シタ通り取締規定ガ出來ルト云フコトハ、度々御話シテ居リマスカラ、繰返シテ申上げマセヌ。只非常ニ變ツタコトハ今度ハ開催執務委員ト云フモノガ、今マデハ法律ノ中ニ這入ツテ居ラナカッタ、ソレヲ今度ハ法律ノ中ニ入レテ、競馬ヲヤル爲ニ、開催執務委員ト云フモノヲ置クコトガ出來ルト云フコトニナツタ、即チ開催執務委員ハ嚴正公平ナルモノデ、競馬ヲ施行スル上ニ重要ナル任務ノアルモノデアラカラ、其地位ヲ上げて、責任ヲ持タス爲ニ、法律ノ中ニ入レタノデ、今度ハ開催執務委員ニ對シテ暴行脅迫ヲ加ヘルモノハ、非常ニ重イ罰ヲ加ヘルヤウニナツタ規定ガ出來マシタ。即チ第三十四條ニ、開催執務

委員ノ職務ヲ執行スルニ當リ、之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス。ソシテ重イ罰ヲ掛ケ、開催執務委員ノ職務ヲ嚴正ニ守ツテ行カウト云フ趣旨デアリマス。ソレカラ其ヤウニ開催執務委員ト云フモノヲ法律ノ中ニ掲ゲテ、暴行脅迫ヲ加ヘタモノハ嚴罰ニセラレルケレドモ、一方開催執務委員ガ賄賂ヲ取ツタトカ、賄賂ヲ約束シタト云フ場合ニハ、又同ジク重イ罰ニ處スルト云フ風ナ譯デ、開催執務委員ノ地位ヲ守ルト共ニ責任ヲ嚴正ニシマス。今マデノ競馬俱樂部ノ開催執務委員ト云フモノガ、外ノ勢力カラ制肘サレテ、嚴正ナ競馬ガ出來ナカツタコトガアルノデ、日本競馬會ニナツテカラ、開催執務委員ノ權力ヲ非常ニ強クシテ、從ツテソレニ對シテ暴行脅迫ヲ加ヘタモノハ重イ罰ニ處スル。併シ其代リニ賄賂ヲ取ツタリ何カシタ場合ニハ、重イ罰ニスルト云フ風ニ、開催執務委員ト云フモノノ地位ハ今マデトハ變ツテ、非常ニ偉イ重大ナル地位ニ變ツテ來タ譯デアリマス。從ツテ諸君モ開催執務委員ノ命令ヲ、今ヨリ以上ニ十分御聞キニナラナイト、重イ罰ニ處セラレルコトガアルカモ知レマセヌ。ソレデ罰則ノ方ニ特ニ今マデアツタ罰則以外ニ加ツタモノハ、俱樂部ノ開催執務委員其他ノモノガ、吞ミ屋ノ相手ニナツタ場合嚴重ニ罰スルト云フコトガ、新ニ加ハリマシタ。委シク申上ゲマスト、開催執務委員、調教師、騎手其他競馬ノ事務ニ從事スルモノガ、所謂吞ミ屋ノ相手方ニナツタ場合ニハ、一般人ノ場合トハ異リ、三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰ニ處セラレル。隨分重イ罰デス。馬券ヲ買ツチヤイケナイト云フノト同ジ

趣旨デ、吞ミ屋ナンカニ吞マセルコトハ、嚴正ナル競馬ノ施行ヲ妨ゲルカラ、新シイ明文ヲ置イテ嚴重ニ取締ヲシヨウ、ソレデ競馬ノ目的ヲ發揮サセヨウト云フノデアリマス。其點ヲ十分御諒承下サイ其他細イ色々規定ガアリマスガ、大體改正競馬法ノ大キナ點ト云フモノハ、ソコラデ盡キル譯デアリマス。其他日本競馬會ガ登記ヲスルノニハ、ドウスルトカ、役員ハドウ云フ仕事ヲスルトカ、役所ニ斯ウ云フ報告ヲ出ストカト云フヤウナ細カナ規定ガアリマスガ略シマス、オコトワリシテ置キマシガ、前ニ申シタ騎手ノ取締規定ノ内容ト云フモノハ、マダ確定的ナモノデナイノデ、大體サウ云フコトニナルデアラウト云フノデスカラ、オ含ミオキクダサイ。何度モ申上ゲルノデスケレドモ、規則ヤ命令ヲ嚴重ニ能ク御守リニナツテ、決シテ處罰ヲサレルコトガナイヤウニ、今後一層注意シテ戴カナイトイケマセヌ。

要スルニ騎手ト云フ職業階梯ガ、世ノ中カラ尊敬サレルヤウニナルカ、「ナンダ騎手カ」ト世ノ中カラ云ハレルヤウニナルカハ、結局諸君ノ行動如何ニ依ルノデ、諸君ガ眞面目ニヤツテ、非常ニ世ノ中ノ人ノ尊敬ノ的ニナレバ、結局諸君ノ階級ト云フモノハ、世人カラ非常ナ尊敬ヲ受ケルコトニナルシ、好イ加減ナコトヲヤレバ、ナンダ、騎手カト云ハレルコトニナル。是ハ諸君ノ行動如何ニ依ルコトデアリマスカラ、益々緊張シ勉強サレテ、人格ヲ高メ技術ヲ發達サセルコトニ專念シテクダサイ。只今御話シタ競馬法ト云フモノダケデハ、競馬ノ實際ノ施行ハ出來マセン。斯ウ云フ場合ニハ斯ウ

スル、ア、云フ場合ニハア、云フ風ニスルト委シク書イタモノガ、必要ニナツテキマス。ソレハ競馬法ノ施行規則ト云フモノデ、委シク斯ウ云フ場合ニハ斯ウスルト具體的ニ書イテアリ、尙其外ニ障碍ハドウシタラ宜イカ、固定障碍ヲ作レ競走番組デ「アラブ」ノ競走ヲドノ位ヤラナケレバイケナイトカト云フコトヲ、役所カラ通牒ト云フモノヲ澤山出シテ居リマス。尙其外ニ各俱樂部毎ニ競馬施行規程ト云フモノガアツテ、直接諸君ニ關係スル、細イ現場ノヤリ方ヲ書イテアリマスノハ御承知ノ通りデス。今度ノ法律ハ、法律ハ通ツタノデスケレドモ、施行ハサレテ居ナイ、ツマリ此法律ハ實際動イテ居ナイノデ、本法ヲ施行スル期日ハ別ニ勅令ヲ以テ定ムトナツテ居リマス。何時頃カラ競馬法ガ實施サレルト云フコトハ、マダ未定デスケレドモ、大體秋ニナツテカラ、今度ノ改正競馬法ガ施行サレルト同時ニ、施行規則モ出スコトニナルノデ、今新シイ施行規則ヲ十分説明スルコトハ出來ナイガ、併シ競馬ノ施行法ガ全然變ル譯デモアリマセヌカラ、元ノ競馬法……現在ヤツテ居ル競馬法ノ施行規則ニ依ツテ説明シテ置キマス

競馬施行規則ニハ例ヘバ、馬場ハ長サガ千六百メートル以上、幅ガ三十メートル以上ナクチャイカスト云フヤウナコトガ書イテアル。ソレカラ駈歩競走ハ距離ガ千六百メートル以上、速歩ノ距離ハ、三千二百メートル以上ナクチャイカヌ。ソレカラ明ケ三歳以下ノ馬ヤ改良増殖ニ裨益ナキ馬ハ競走ニ出シテハイケナイ。序ニ申シマスガ、駈歩ハ明ケ四歳カラ八歳マデ、速歩、障碍ハ十歳マデ出ラレル

ソレカラ改良増殖ニ裨益ナイ馬ト云フノハ、例ヘバ去勢シタ馬トカ、跛ヤメツカチノ馬、斯ウ云フ馬ハ出シチャイカヌ、斯ウ云フノデス。ソレカラ競馬ヲ施行スル場合ニハ、豫メ番組ノ認可ヲ申請シテ來イト云フヤウナコトガ書イテアリマス。ソレカラ競馬場ノ中デハ、諸君モ徽章ヲ付ケマスガ、サウ云ツタ徽章ヲ付ケサセナクチャナラヌトカ、斯ウ云フ場合ニハ投票券ノ拂戻シヲナス。ソレカラ勝馬投票ハドウ云フ風ニシテヤル。投票券ハドウ云フ風ニシテ計算スル。政府ニ納付スル金ハドウ云フ風ニシテ納メル。斯ウ云フヤウナコトガ、此施行規則ニ書イテアツテ、此施行規則ニ基イテ、通牒ヲ出シ、其通牒ニ基イテ、各競馬俱樂部デハ競馬施行規程ヲ作ツテ、ソレニ依ツテ競馬ヲヤルト云フ譯デアリマス

ソレカラ先程日本競馬會ノ役員ノコトヲ御話シタ時、申シ忘レマシタガ理事長、副理事長、理事、監事、評議員ハ、農林大臣ガ任命スルノデアリマシテ、是ハ非常ニ大事ナ點ト思フノデアリマス。今マデハ各俱樂部ノ理事ハ、其俱樂部ノ總會ニ於テ選任サレタモノデ、會員ノ代表、斯ウ云フヤウナ意味合デアツタノデアリマスガ、今度ハ日本競馬會ニナリマシテ、一ツニナリマスノデ、役員ハ全部農林大臣ガ任命スルコトニナツテ居リマス。但シ理事及監事ハ評議員ガ候補者ヲ選舉シタモノヲ、農林大臣ガ任命スルコトニナツテ居リマス。此點ヲ附加ヘテ御話シテ置キマス

ソレカラモウ一ツ、日本競馬會ガ出來ルト、從來ノ十一競馬俱樂部ハナクナルト御話シマシタガ、

全然ナクナツテシマフノカト云フコトニ付テノ話ヲ申殘シマシタガ、ソレハ今アル競馬俱樂部ト云フモノハ解體シテ、日本競馬會ト云フモノニ這入ツテシマウ。其代リモウ一ツノ團體ガ出來ル。ソレハ今ノ競馬俱樂部ノ會員デスガ、ア、云ツタ人ハ、ドウナルカノ問題デス、ソレハ矢張り一ツノ日本競馬會ノ競馬ニ馬ヲ出ス會員ノ團體ガ出來ル。從ツテ是ハチヨツト分リ難イ點ガアリマスガ、假ニ東京競馬俱樂部ナラ東京競馬俱樂部ガ解散シテ日本競馬會ト云フモノニナツテシマフ。サウスルト今ノ俱樂部ノ馬場トカ其他ノ建築物等ノ諸設備ハ日本競馬會ノモノニナツテシマフ。ソレカラ役員ガ任命サレル扱テ殘ツタ會員ハドウナルカト云フト、サウ云ツタ人ハ、新ニ又東京競馬俱樂部ニ類シタヤウナ一ツノ馬主ノ俱樂部ガ出來共俱樂部ノ人ガ、日本競馬會ニ馬ヲ出シ、賞金ヲ貰フト云フヤウナ形ニナル。從ツテ新シイ馬主ノ俱樂部ニ一ツノ役員ガ出來ル。結局東京競馬俱樂部ト云フモノガ、二ツノ形ニナル。財産ヤ建物ト云フモノハ、全部日本競馬會ニ這入り、殘ツタ馬主ハ又新ナル團體ヲ作りマスガ、名前ハ何ト云フカ、東京競馬會ト云フカ、競馬俱樂部後援會ト云フカ、サウ云ツタヤウナモノニナルノデ其點ハチヨツト分リ難イカモ知レマセヌガ、結局二ツ出來ルノダト云フ風ニ御考へ置キ下サレバ宜イノデアリマス

次ニ先程ノ續デスガ、今度ハ通牒。先程モ御話シタ通り競馬法、ソレカラ競馬法施行規則ト云フモノガアリマシテ、競馬ノヤリ方ガ、ソレデ尙分ラナイ點ヲ、今度十一競馬俱樂部ニ役所カラ斯ウ云フコトハ斯ウ云フ風ニシテ吳レト云ツテヤル、ソレヲ通牒ト云ヒマス。ドンナコトガ一體通牒ニナツテ居ルカト申シマス、固定障礙ヲ作レトカ、障礙ノ高サハドノ位ニシロトカ、新馬トハコンナモノトカト云フヤウナコトガ、細ク書イテアリ又負擔重量ア、云ツタコトヲ委シク書イテアリマス。實際ノ競馬ノ施行ト云フモノハ、通牒ニ基イテヤルト云フ位ニ實際的ニ書イテアリマス

ソレカラ諸君直接御關係ニナツテ居ルコトデスカラ、能ク分ツテ居ルト思ヒマスガ、例ハバ、新馬ノ體高ハドノ位以上ハイカスト云フ制限ガアル。牝馬ハ一・六四メートル、牝馬ハ一・六二メートル「アラブ」系ノ馬ハ牝馬ハ一・五八メートル、牝馬ハ一・五六メートル、ソレ以上デハイカスト云フヤウナ制限ガシテアリマス、ソレカラ興奮劑ノ使用ヲ絕對ニサセテハイカヌ。興奮劑ト云フモノハ、御承知ノ通り馬ノ能力ヲ眩惑スルノデ、馬ノ本當ノ能力ヲ發揮サセナイノデ、馬ノ能力ノ檢定ト云フ本當ノ趣旨ニ合致シナイ。サウ云フ趣旨カラ云ツテ、絕對興奮劑ヲ與ヘテハナラナイト云フ。是ハ競馬ノ施行ノ方面カラ考ヘテモ當然ナコトデアリマス、我々モ今マデ競馬ノ監督ニ行ツテ居ツテ、興奮劑ヲ使用シタノデハナイカト云フヤウナ疑ヲ起ス場合時々アリマス。馬ヲ見テ居ルト、下見所ニ居ル時ニ、汗ヲ掻イテ興奮シテ居ルヤウナ馬ハ、見レバ分ルデセウ。サウ云フ風ナ疑ヲ起ス場合ガアルノデスガ、將來ハソナコトノナイヤウニ御注意ヲ願ヒタイ。ソレカラ發馬機ハ硬性發馬機ヲ使ヘトカ、騎手ノ減量ハ、下ノ位ニシナケレバナラナイサウ云ツタヤウナコトデス。ソレカラ競走番號ノ編

成賞金ノ問題、競走馬ノ出走回数ノ問題ナドデアリマス。大體俱樂部ノ賞金ト云フモノハ、全部デ三百五六十萬圓見當出シテ居リマス。大俱樂部ハ大體二十五萬圓、小俱樂部ハ少イノハ、十萬圓以下ノ所モアリマスガ、此賞金ノ出シ方ニ付テハ、役所ノ方デヤカマシク云フノデス。此「レース」ニ對シテハ此位シカ賞金ヲ出シテハナラス、此「レース」ハ賞金ヲ出セト云フコトヲ、屢々役所ノ方カラ注意ヲシテ居リマス。結局サツキ御話シタ通り馬ニ賞金ヲ與ヘルト云フコトニ依ツテ、馬ノ生産ガ刺戟サレルト云フコトヲ御話シマシタガ、丁度ソレニ依ツテ賞金ガ多イ方ガ、馬ノ生産ガ非常ニ多クナルト云フ關係ガアル。從ツテ賞金ガ「アラブ」ノ方ニ多クヤレバ、「アラブ」ノ方ノ生産ガ多クナル。「サラブレッド」ノ方ニ餘計ヤリマスレバ、「サラブレッド」ノ方ノ生産ガ餘計刺戟サレル。サウ云フ風ニ賞金ノヤリ方ガ非常ニ馬産ニ關係スル爲ニ、賞金ノヤリ方ニ付テ、非常ニ役所デハ注意シテ、色々俱樂部ニ對シテ御話ヲシタリ何カシテ居ル譯デアリマス。餘リ多ク賞金ヲ殖ヤシマスト、結局馬ノ値段ガ高クナルト云フコトニナル。ソレダケ馬ガ金ガ取レルノデ、馬ノ價値ガ經濟的ニ上ル、生産シタ馬ガ高クナル。高クナレバ、結局賞金ヲ餘計貰ハナケレバナライコトニナル。賞金ヲ餘計ヤレバ、馬ノ價値ガ上ル、馬ノ價値ガ上レバ、賞金ヲ餘計出サナケレバナライ、颯ゴツコデ、此方ガ上レバ、此方ガ上ル。ソレデ餘リ賞金ヲ餘計ヤリ過ギルノモ工合ガ惡イ、又餘リ少ナ過ギテモ工合ガ惡イト云フ風デ、賞金ト云フモノハ、非常ニ競馬ノ施行上、馬産上カラモ十分注意シナケレバナラヌ點デアリマ

ス。各俱樂部モ注意ヲ拂ツテ居リ、役所モ拂ツテ居ル。賞金ト云フモノハ、サウ云フ意味合ガアルカラ、サウ云フ點ヲ能ク御承知置キ下サイ。ソレカラ勝ツタ馬ニハ、此位ノ負擔重量ヲ負ハスト云フ趣旨ノコトモ通牒ノ中ニアリマス。呼馬ハ賞金三千圓ニ付テ一キロ、抽籤馬ハ二千圓ニ付テ一キロ、速歩馬ハ千五百ニ付キ四メートル以下ノ競走ハ三十メートル、四千メートルヲ超エルト四十メートルソ「ハンデイヤツプ」ヲ付ケル。ソレカラ七十七キロ、四千メートル以下ハ四百五十メートル、四千メートル以上ハ六百メートル以上ニナルト、競馬界カラ退カナケレバナライ。ソレカラ新馬ハ、初メドノ位ノ目方ヲ背負フカト云フト、四歳春ガ牡馬五十五、牝馬五十三、秋ガ牡馬五十六、牝馬五十四。サウ云フ風ナコトヲ通牒ノ中ニ書イテアリマス。地方競馬ニ出タ馬及騎手ハ、公認競馬ニ出ラレナイ、但シドウ云フ地方ノモノハ出ラレル、サウ云フコトモ通牒ニ書イテアリマス。大體通牒ノコトハ此位ニシテ置キマス

今御話シタ通り競馬法、競馬法施行規則及通牒此三ツガ揃ヘバ、競馬ハ施行出來ルガ、之ニ基イテ各俱樂部デハ、競馬施行規程ト云フモノヲ作ツテ居ル。是ハ大體ドノ俱樂部デモ同ジヤウナモノデスガ、今試ミニ東京競馬俱樂部ノ施行規程ニ付テ、諸君ニ直接關係アルコトヲ御話シテ見タイト思ヒマス

先ツ此中ニ、競走ト云フ題デ、騎手ハ競走中左ニ掲グル行爲ヲナスコトヲ得ズト云フノデ、他ノモ

ノヲ押壓スルコト、他ノ馬ノ進路ニ進出スルコト、但シ二馬身以上ノ距離アル場合ハ此限りニ非ズ。ソレカラ音聲等ヲ出シテ他ノモノノ動作ヲ妨害スルコト、其他競走ノ公正ヲ害スル行爲ヲナスコトナド書イテアリマス。其他競走ノ公正ヲ害スル行爲ト云フト、所謂八百長ナドハ、公正ヲ害スル最モ典型的ナモノデス。公正ヲ害ス内ニハ、義務ヲ履行セヌト云フコトモアル、一人八百長ヲヤツテ、好イ加減ニヤツテ、馬ノ全能力ヲ發揮サセナイ、全能力ヲ發揮サス義務ヲ盡サヌト云フコトニナル。サウ云フコトヲヤツタ者ハ、東京ノ例ニ依リマス、理事會ノ決議ニ依ツテ過怠金ヲ取ル、サウシテ競走調教ノ騎乗停止、禁止ヲ併科スルコトニナツテ居リマス。

我々ハ今マデ監督ニ行ツテ、度々サウ云フ例ニ會ツタ。私ハ去年ノ九月カラ競馬ノ方ヲヤツテ居ルノデスガ、初メテ福島ニ行キマシタ時ニ、或ル騎手が競走中決勝點ヲ通過シタ間際ニ、或ル騎手ヲ叩イタト云フ事件ハ、諸君モ御承知デアラウト思ヒマス。其時ハ叩イタ人ハ、一年ノ騎乗停止トナリマシタガ、ソレナンカ最モ體面ヲ汚シタルコトニナリマス、義務ヲ履行セヌト云フコトニナルカモ知レマセヌ。ソレナヤウナ例モアリマス。最モ最近ノ騎乗停止デハ、新潟ニ行ツタ時ニ、四人處分シタ。アレナドハ最モ公正ヲ害スルト云フ典型的ナ例デス。所謂八百長ノ外ニ發馬ノ時ニ、發馬係ノ云フコトヲ聞カナカツタトカ、無暗ニ突進スルト過怠金ヲ取ルト云フコトモ書イテアリマス。諸君ノ中ニモ過怠金ヲ取ラレタ人ガアラウト思ヒマス。ドウモアルラシイト思フガ、サウ云フ過怠金ナンカ取ラレ

ルコトノナイヤウニ、能ク御注意ヲ願ヒタイ。サツキ御話シタヤウニ、許可證ヲ役所カラ出スコトニナリマス、サウ云フコトガアルト工合ガ悪イ。彼奴過怠金ヲ取ラレタコトガアルト云フノデ、非常ニ工合ガ悪イカラサウ云フコトノナイヤウニ御注意ヲ願ヒタイ。其外競馬施行規程ト云フモノニハ、其時々々ニ特別ナモノトカ、開催執務委員ガドウトカ、委シイコトガ書イテアリマスガ、大體競馬施行規程ト致シマシテ、諸君ニ關係スルコトハ、其程度デアリマス。

之デ私ノ話ハ終ルコトニナリマスガ、先程カラ御話シタヤウニ、今度ノ競馬法ノ改正ハ、兎ニ角現在ノ競馬ノ施行ガ完全ニ行ハレナイト云フコトカラ出發シテ、ソレデ競馬俱樂部ヲ統一スルコト、ソレカラ調教師騎手ノ取締規程ヲ作ルコトト云フ二ツ……モ一ツアルガ、ソレハ諸君ニ直接關係ガナイ……サウ云フヤウナコトデ、今度諸君ニ對シテ役所カラ許可證ナリ、免狀ヲ出ス。惡イコトヲシタ場合ニハ、ソレヲ取上ゲルト云フヤウナコトニナルデアラウト思ヒマス。ハツキリ決マツテ居ル譯デアリマセヌガ、從ツテサウ云フ趣旨ヲ能ク理解シテ、將來ハ決シテサウ云フコトノナイヤウニ、又今マデモナカツタデセウガ、將來尙注意シテ、絶對サウ云フコトノナイヤウニスルト共ニ、諸君ハ御歸リニナツテカラ、諸君ノ友達ナリ、其他知合ノ方ニ斯ウ云フヤウナ趣旨ニナツタト云フコトヲ、能ク御話下サイ、ソレハ取締規則ヲ作ルト云ヒマシテモ、度々先程カラ御話シテ居ルヤウニ、決シテ諸君ヲ無暗矢鱈ニ嚴罰ニスルト云フ意味デハナイ。諸君モ俱樂部ノ競馬ノ施行方法ナリ、其他馬主ナリサ

ウ云フヤウナ關係ニ付テ、色々不滿ナリ意見ナリヲ持ツテ居ラレト思ヒマス、馬主ノ取締ニ關シテハ目下適當ナ方法ヲ採リタイト思ツテ居リマス。要スルニ馬主ナリ、騎手ナリ俱樂部ナリ、各々競馬施行當事者間ガ公正ニ圓滿ニ行クト云フコトガ眼目デアリ其一ツノ發露トシテ取締規定ガ出來タ譯デアリマス。其點ヲ能ク趣旨ヲ御理解ニナツテ、今後益々眞面目ニヤツテ、處分ヲ此中カラ受ケル人ガ出ナイヤウニ、御注意ヲ願ヒマス。將來競馬ニ出ラレルニ當ツテハ、開催執務委員ノ云フコトヲヨク御聞キニナツテ、眞面目ニ公正ニヤツテクダサイ。サウスレバ結局諸君ナリ、諸君ノ階級ガ社會的ニ非常ニ地位ガ上ルト云フコトニナル。結局「ジョウキーン」地位ガ上ル。先程申上ゲタ通り競馬ノ目的馬事思想ノ普及、馬ノ改良増殖ヲ圖ル、サウ云フ大キナ國家的ノ目的ノ爲ニ競馬ヲヤルト云フコトソレデ競馬ノ爲ニハジョウキーンノ任務ハ重大デアルト云フコトヲ能ク御考ヘニナツテ、其目的ニ合致スルヤウニ、極ク眞面目ニ公正ニヤツテ行クヤウニシテクダサイ。

貴方達ハ特ニエラバレタ有望ナ青年騎手デスカラ、「競馬界ノ改革ハ先ヅ」自分ヨリノ氣分デオ進ミニナツテ益々努力セラレンコトヲ切ニ御願ヒシテオキマス
デハ之デ私ノオ話ヲ終リマス

(七) 馬政馬産ニ關スル事項

井上馬政局技師

今日皆サンニ御話スルコトハ堅苦シイ御話デ餘リ面白クナイカモ知レマセヌガ、皆サンガ騎手トシテ是カラ立ツテ行カレルニハドウシテモ此位ノコトハ知ツテ置カナケレバナラヌコトデアリマスカラ暫ク辛抱シテ載キタイト思フ

皆サンハ競馬ノ騎手トシテ職業ヲ選バレタノデアリマス。競馬ノ騎手ハ私ガ言フ迄モナク大變華カナモノデアリマシテ、近頃希望者ガ非常ニ多イト聞クノデアリマス、併シ其レダケニ熱心ニ勵マナケレバ立派ナ騎手ニハナレナイ、腕ガ鈍クテハ勿論駄目デアアルガ同時ニ腕ガイクラヨクテモ其レダケデハイケナイ、人格ガヨクナクテハ人氣騎手ニハナレナイノデス、諸君ハ熱心ニ勉強シテ身體モ頭モ使ツテヤラナイト一人前ニハナレナイノデス。此ノ講習會モサウ云フヤウナ意味デ競馬協會ノ方ガ毎年ヤツテ居ラレル譯デアリマス。皆サンノ先輩デ今日各俱樂部デ活躍シテ居ラレル騎手ノ中ニハ、立派ナ馬乗ハ澤山居ラレルト思ヒマス。併シナガラ立派ナ騎手ハ少イト思フ。中ニハ今日我々ノ目カラ見テドウモ公認ノ騎手トシテ人格ナリ或ハ素行ノ點ニ於テ、騎手トシテ若イ者ヲ教育スル値打ガアルカドウカト云フコトスラ考ヘラレル人ガ往々アルノデアリマス。ソレカラ騎手ト云フ者ハ華カナ商賣デア

リマスカラ、色々ノ誘惑モアルデアリマセウ、サウ云フ誘惑ニ負ケタ爲ニ墮チテ行ク人モ澤山アリマス、サウ云フコトハ一番恐シイコトヂヤナイカト思ヒマス。外國ノ騎手ト云フモノハ隨分立派ナ生活ヲシテ居ルヤウニ思ヒマス。サウシテ社交上立派ナ人トモ附合ヒ、一流ノ騎手ニナルト皆社會デソレヲ尊敬シテ居ル。昔日本ニ武士道ガアツタト同ジヤウニ歐羅巴ニハ騎士道ト云フモノガアツタ。

其騎士道ニ適フタ立派ナ騎士、矢張りサウ云フ考ヘ方デ今日立派ナ騎手ト云フモノハ尊敬セラレテ居ルノダト思ヒマス。收入ノ點ニ於テモ無論日本トハ問題ニナラナイト聞イテ居リマス。調教師ト騎手トニハ劃然タル區別ガ在ツテ其ノ點ハ日本ト違ツテ居リマスガ調教師ハ又一層ニ立派ナ生活ヲシテ居リマシテ、丁度日本ノ金持ノ華族様ノヤウナ立派ナ生活ヲシテ居ルモノモ見受ケマシタ

斯ウ云フ風ニ歐米デハ今日騎手並ニ調教師ノ資格ガ非常ニ高ク、社會カラ認メラレ立派ナ待遇ヲ受ケテ居ルノデアリマス。然ルニ日本デハマダ騎手デモ調教師デモ其所迄認メラレテ居ル譯デハナイト思ヒマス。是ハ社會的情勢モアリマセウガ、畢竟騎手自身ガ素養ノ點ニ於テ至ラヌ點ガ多イカラデハナイカト思フノデアリマス。社會ノ尊敬ヲ受ケルニハ御互ガ修養シテ行カナケレバナラヌ。修養シテ偉イ人ニナレバ自ラ尊敬ヲ受ケル様ニナル。サウ云フ意味デ諸君ハ此講習會ニ於テモ或ハ其他ノ機會ニ於テモ何時モ能ク勉強シテ知識ノ向上ニ努メ又立派ナ人格ヲ作り上ゲルト云フコトガ必要ダト思ヒマス。農林省ニ於テハ騎手ノ教育ニ付テ隨分長イ間考ヘテ居ル。或ハ騎手學校ト云フモノヲ設ケタラ

宜イヂヤナイカト云フヤウナ話モ屢々起ルノデアリマスガ、矢張りソレニハ色々ノ事情ガアツテ、今日デハマダ其所迄ハ行ツテキナイノデアリマス

扱私ノ話ハ馬政ニ關スルコトデアリマスガ、第一ニ競馬ノ目的ニ付テ申上ゲマス。競馬ノ目的ハ馬事思想ノ普及ト馬ノ改良増殖ニ資スルト云フコトデアリマス。馬ニ關スル知識ト云フモノヲ社會一般ニ普及スル、是ハ一體ドウ云フ必要カラデアアルカト云フト、馬ガ非常ニ國家ノ爲ニ必要デアアル、一朝有事ノ際ハ戰場ニ出テ働カナケレバナラヌ、馬ガナクテハ戰爭ガ出來ナイト云フ場合ガ澤山アル。之ハ世間ニハ大體ヨク知ラレテキルコトデアアルガ然ラバ如何ナル馬ガ好イノデアアルカ、惡イノデアアルカ直接馬ニ關係ノナイ人ニハ其ウイフコトヲ識ル機會ガナイ、然ルニ競馬ハ勇壯ナススポーツデ澤山ノ人ガ見物ニ行ク、此ノ機會ニ競走ヲ見タリ又馬券ヲ買ツタリスレバ自然甲ノ馬ト乙ノ馬トドチラガ宜イカト云フコトハハツキリ分ル、例ヘバ此馬ニ投票スレバ勝ツ或ハアノ馬ニ投票スレバ負ケルト云フヤウニ、利害關係ガ伴ツテ來ルト、馬ヲ鑑定スルト云フ必要ガ出來ルカラ、ソレデ競馬ガサウ云フコトニ役立ツ譯デアリマス。又馬ハ戰爭ダケデナク荷馬車ヲ輓イタリ、農家ニ使ツタリ日常ハ林業方面ニ色々ト使ハレテ居ルノデアツテ、一匹ノ馬ノ働ト云フモノハ直ニ大ナル注意ヲ引クモノデハナイケレドモ之ヲ全體トシテ考ヘルト莫大ナ數字ニ上ルノデアリマス。荷馬車ニ付テダケデモ一年ヲ通ジテノ馬ノ働ト云フモノヲ金ニ換算シタ所ニ依ルト約三億圓位ニナルト云フコトデアリマス。此ノ計算ハ大

體三十二萬頭ノ馬車馬ガ働ラクトシテノ計算デアルガ、我國ニハ荷馬車ノ馬ノミデナク農家ニ使ハレルモノモ澤山アツテ大體百萬頭ノ馬ガ使ハレテ居リマスガ、其百萬頭ノ馬ノ働ヲ金ニ換算シテ見ルト實ニ莫大ナ數字ニナルト思ヒマス。サウ云フヤウニ産業上カラ申シマシテモ馬ハ大變必要デアル。馬ハ國ヲ守ル爲ニ必要デアルト同時ニ産業ノ爲ニモ誠ニ必要デアルカラ馬ト云フモノヲ一般ニ平常克ク國民ニ慣レ知ラシメ如何ナル馬ガヨイカ悪イカ其ノ判定迄出來ル様ニシテキルコトハ大變大切ナコトデアアルガ、其レニハ競馬ハ勇壯ナスボーイツトシテ見テ誠ニ面白イシ又馬券ガ買ヘルノデアアルカラ、一層興味ヲ増ス譯デアツテ即チ競馬ヲ樂シミナガラ馬ヲ理解スルコトガ出來ルノデアリマス。

次ニ馬ノ改良ト競馬ノ關係ヲ述ベマス。馬ガ此ノ世ノ中ニ出テ來タノハ隨分古イコトデアアル。色々ノ説ガアルガ何萬年ト云フ古イ時代ニ出テ來タコトガ判明シテキル、其ノ始メハ犬ノ様ナ小サイモノデ肢ノ形ナドモ今日ノ馬トハ餘程違ツテキタガ、ソレガ段々進化シテ今日ノヤウナ大キナモノニナツテ來タノデアリマス。之ハ自然ノ影響ニ依ツテ段々變ツテ來タモノデアアル、昔ハ世界中ガ氷ニ鎖サレテ居ツタ氷河時代ト云フ時代ガアリ、又其逆ニ非常ニ暑イ時代モアツタ、馬ガ世ノ中ニ現レテカラデモ餘程ノ變化ガアツタ、其變化ニ應ジテ馬ハ段々形ガ變ツテ來テ、今日ノヤウナ狀態ニナツタノデアル而シテ今日ハ殆ド野生ノ馬ト云フモノハナイガ唯一種類ダケ中央亞細亞ノ高原地帯ニ殘ツテ居リマス。此野生ノ馬ハ今日諸君ガ乘ツテ居ラレルヤウナ立派ナモノデハナク、極ク小サイ貧弱ナ馬デアリ

マス。馬ガ家畜ニナツテカラデモ數千年ノ歴史ヲ經テ居リマシテ今日生存シテ居ル野生ノ馬ノ様ナ貧弱ナモノニ人工ヲ加ヘテ段々ト立派ナモノニ作り上ゲタノデアアルガ人ノ力ハ恐ロシイモノデ長イ間ニ今日馬車ニ使フ大キナ馬、或ハ競走ニ使フア、云フ「スマート」ナ馬ト云フ風ニ變ツテ來タノデアリマス。此ノ如ク馬ヲ立派ニ變ヘルコトニツイテ色々ナ方法ガ行ハレナケレバナラヌガ競馬ノ如キハ最も影響ノアル方法デアアル。今日競馬ニ使ハレル馬ハサラブレッドニシテ亦速歩馬ニシテモ大體競馬ニ依ツテ出來上ツタモノデアアル、此ノ競馬ニ依ツテ出來上ツタ馬ガ一般ノ馬トドワイフ關係ガアルカト云フト、此ノ競走馬ノ有スル特殊ナル性能、即チ速力ノアルコトトカ敏感デアルコトトカ、ソウイフ性質ヲ他ノ馬ニ與ヘル必要ガアル故ニ競走馬ハ是非必要ナモノデアアルガ、競走馬ト一口ニ云ツテモ中ニハ隨分ドウデモヨイ様ナモノモ澤山アル、併シ改良ニ役立つノハ特ニ優良ナ競走馬ガナケレバナラヌガ、此ノ優良ナモノハ眞劍ナ競馬デナケレバ生レテ來ナイ。競馬ハ御承知ノヤウニ澤山ノ人ガ見テ居ル目ノ前デ諸君ガ乘ツテ競走スル、サウスルト澤山ノ人ノ見テ居ル目ノ前デヤルノデアアルカラ妙ナコトハ出來ナイ。好イ加減ノコトヲヤツテハ見テ居ル人ガ承知シナイカラ眞劍ニ勝負ヲスル、眞劍ニ勝負ヲスルト云フコトニナルト、此中ノ一番良イモノガ競走ニ勝ツコトニナリマス。一番良イモノガ競走ニ勝テバ、其勝ツタモノヲ今度ハ種ニ使ツテ、段々選擇淘汰シテ來ルト、次第ニ速力ノ早イモノガ殘ルコトニナル。例ヘバ一哩ヲ一分三十秒デ走ツテ居ツタ親カラ次ノ代ニ生レテ來ル子供ニハ二十

秒ノモノガ出来、次ノ代ニハ十秒ニナルト云フヤウニソウ簡單ニウマクハ行キマセンガ兎ニ角漸次速力ガ増シテ來テ、サウシテ本當ニ立派ナ馬ダケガ此世ノ中ニ殘ルヤウナ結果ニナル、サウ云フ爲メニハ競馬デナケレバ外ニヤル手段ガナイ、ソレ故競馬ト云フモノガ大變必要ナ譯デアリマス。モウ一ツハ競馬デハ馬券ヲ賣ルノデアルガ其ノ結果自然ニ國ニ必要トスル經費ガ生レテ來ルガ其レヨリ種々ノ施設ヲシテ居ル。今日ハ國ノ豫算等モ大變大キクナツテ居テ是非必要ト思ハレル施設デモ仲々金ハ出セナイ、馬ノ方デモ必要ナコトハ色々アルガ豫算ガ足りナイ現狀デアルカラ競馬ノ實施ニヨリテ生ズル金ハ國家ノ爲ニモ非常ニ役立ツテ居ル。即チ競馬ハ馬ノ改良ノ方カラ云ツテモ亦諸施設ノ方カラ云ツテモ國ノ爲ニ大變大切ナモノデアルコトヲ繰リ返シ述ベテ置キ度イノデス。競馬デ八百長ヲヤツタト云フヤウナ問題ガ屢々起リマス。サウ云フコトハ諸君ガ考ヘルト直ダ分ル問題デアリマスガ、競馬ハ眞劍ニ闘ツテ立派ナ馬ダケガ世ノ中ニ殘ルヤウニシテ行ク爲ノ大切ナ機關デアル、然ルニ或ル人ガ金儲ケノ爲ニ、或ハ他カラ頼マレタ爲ニ妙ナ勝負ヲスルト云フコトニナルト、能力ノ高い立派ナ馬ガ勝テナイト云フ結果ニナル。サウスルトドウナルカ、折角競馬ヲヤツテ居ツテモ競馬ノ目的ニ添ハナイト云フコトニナリ、下ラナイ馬ガ勝利ヲ得テ其ノ馬ガ種馬ニ使ハレルト云フコトニナルト、其子孫ガ日本ニ殘ルカラ日本ノ馬ノ改良ハ出來ナイト云フ結果ニナル、之ヲ以テ見テモ勝負ヲ眞劍ニヤルト云フコトガ如何ニ大切デアルカト云フコトガ分ルト思ヒマス、ソレカラ勝ツ爲ニハ馬ヲ調教シ或ハ育

成シテ立派ニ育チ上ゲナケレバナラス。人間デモ同ジデアリマス。丁度今「オリンピック」ガ始ツテ居リマスガ、選手ト云フモノハ堂々タル身體ヲ持ツタ立派ナ人達デアリマスガ、暴飲暴食不規則ナ生活ヲスルト、立派ナ體格ヲ持ツテ居ツテモ決シテ良イ成績ヲ收メルコトハ出來ナイ。其競走ニ勝ツ爲ニハ常ニ飲食物ニ注意シ、毎日規則的ノ生活ヲシ、規則的ノ練習ヲ續ケ初メテ本當ノ實力ヲ發揮スルコトガ出來ルノデアリマス。馬モ矢張り同ジデ、ドンナ立派ナ馬デモ朝ハ何時カラ運動ヲシテ、手入ハドウ云フ風ニスルト云フコトハ決ツテ居ル。サウシテ何日目ニ何哩「レース」ニ出スノニ丁度其日ガ條件ニ適フヤウニ馬ヲ調教シテ、其日ガ一日デモ二日デモ遅レルト、ソレダケノ影響ガ現レルト云フ風ニ所謂最上「コンディション」ヲ作り上ゲル、サウシテ眞劍ニ競走サスコトニ依ツテ、初メテ立派ナ競馬ガ出來ルシ、又馬ノ改良ノ目的ヲ達セラレルト云フ結果ニナルデアリマス。此ノ如ク競走ハ科學的ニ考ヘテ行ハナケレバナラスモノデ此クシテ始メテ優良ナ競走馬ガ出來上ルノデアリマス。其レヲ妙ナレースヲヤツテ打チコハスノデハ何ノ爲ノ競馬ダカワカラナクナル。デアリマスカラ諸君ノ仕事ハ國家ノ爲ニ實ニ大切ナモノデアルト云フコトヲ吳々モ覺エテ置イテ貰ハナケレバナラスノデアリマス。

私共ガ競馬ヲ見テ居テサウトハハツキリ證據ハアガラナイガドウモ怪シイト思ハレルヤウナコトガ屢々アルノデアリマス。特ニ速歩競馬ニ多イ。ハツキリト何處ガ惡イト云フコトハ言ハレナイガ、ド

ウモ面白クナイ勝負ヲシテ居ルト思ハレルモノガ、是ハ五六年前ノ話デアリマスガ、十ノ内二三アツタ併シソレヲ一々處罰ヲスルト云フコトハナカク出来ルモノデナイ。其中デ特ニヒドイ人ダケヲ處罰ヲシテ或ハ免狀ヲ取上ゲルトカ又ハ或期間騎乗ヲ停止スルトカ云フ様ナ處分ガ行ハレルノデアリマスガ處分ガイクラ度々行ハレテモ騎手が違叛ハ絶對ニヤルマイト考ヘナケレバ、不愉快ナ競馬ハイツ迄待ツテモ止マラナイト思フ

此ノコトハ現在ノ先生株ノ騎手ニ話シテモ到底駄目デス是ハ若イ人ニ限ルノデアリマス。自分ノ仕事ガ國家ノ爲ニ非常ニ大切ナ仕事デアルト云フコトガ分ツテ居レバ、斯ウ云フコトハ出来ナイト思フ兵士ガ戰場ニ出テ働クノモ、諸君ガ馬ノ上デ立派ニ競走スルノモ、結局國家ニ盡スト云フ意味カラ言ヘバ同ジデアリマス。諸君ガ國家ノ爲ニ盡スト云フ意味デ働ク以上、其處ニ何等差異ハナイノデアリマス、若イ者ハサウ云フ積リデヤラナケレバナラヌト云フコトヲ吳々モ申シテ置キマス

話ガ少シ横道ニ這入りマスガ、昨年来國ヲ大急ギデ旅行シテ「ケンタツキー」洲ノ「レキシントン」ノ町デ競馬ヲ見テ參リマシタガ、亞米利加デヤツテ居ル速歩競走デハ馬ガ殆ドハグラナイ、競馬ノヤリ方ハ一周一哩デアツテ三回勝負ニナツテ居ル三十分ノ間隔ヲ置イテモウ一度ヤル。其レデ最初ニ勝ツタ人ガ其ノ次ニモ勝テバ三度目ハヤラナイ、其レデ勝負ハキマルガ最初ニ勝ツタ人ガ次ニ負ケルトモウ一度ヤツテ決メル。コウイフヤリ方デス私ノ見タ競馬デモ速歩ノ騎手トシテ世界ニ有名ナ騎手モ二

三人居リマシタ、其勝負ヲ見テ居ルト云フト、日本ノ速歩ノ競馬ナドニ較ベテ餘程駈引ガナイヤウニ思フ向フデハ取締ガ非常ニ嚴重デアツテ、日本ノヤウニ速歩ガハグツテモ勝負ニ利益ヲ得ナケレバ失格ニナラナイト云フノデナク、兎ニ角三回ハグツタラ徹底的ニ遠慮ナク失格サシテ居ル、デ日本デモ取締ノ方カラハグルト云フコトハ非常ニ嚴重ニヤル必要ガアルヤウニ思フ。兎ニ角騎手が巧ミデアル眞劍デアルト云フコトハ速歩ニ關スル限り亞米利加ハ餘程日本ト違ツテ居ルヤウニ思フ。ソレカラ英國デ騎手ノ様子ヲ見テ居ルト、英國ハ競馬ノ元祖デアリマスカラ、大分違フヤウニ思フ、ソレハドウ云フコトガ違フカト云フト、一例ヲ申セバ先ヅスタートニ列ンダ時ヲ申シマス、「スタートライン」デ馬ガピシヤツト落付イテ居ル。是ハ馬ノ調教ト云フコトニ關係ガアルガ、騎手自身ガ見ツトモナイコトハシナイト云フ精神ガアルカラデアラウト思フ、兎ニ角「スタート」ノ命令ト云フモノガ非常ニ徹底シテ行ハレテ居ルヤウニ思フ。我國デハ大抵ノ場合スタート出タリ這入ツタリ又グル／＼廻ス又利益ヲ得ル爲ニ色々作戰シテ居ルヤウデアリマスガ、アレハミツトモナイ。サウ云フコトハ亞米利加デモ英國デモ餘程少イノデアリマス。次ニ佛蘭西デハ巴里附近ノミナラズ田舎デモ競馬ヲ二三見マシタガ、此處デハ日本ト同ジヤウニ「スタートライン」デグル／＼廻シタリ何かシテ居ルヤウデアリマス。斯様ニ考ヘテ來ルト、日本ノ競馬ト云フモノハ歐羅巴ニ較ベテ見ルト、馬モサウデスガ、騎手ノ状態ト云フモノガ田舎ノ競馬ニ類スルヤウナ氣ガスル。設備ノ點カラ言フト、東京ノ競馬場或ハ淀

ノ競馬場ニシロ、日本ノ競馬場ノ設備ハ今日歐羅巴各國ノ設備ニチツトモ劣ツテ居リマセヌ。或ル點デハ餘程優ツテ居ル、無論建物ノ大キサハ歐米ノ方ガ、大キイガ設備ノ點ニナルト、世界各國ノ粹ヲ取ツテ段々改良シテ居ルノデアリマスカラ、チツトモ劣ツテ居リマセヌ、併シ騎手ノヤリ方ト云フコトニ付テ見ルト色々差ガアル、是ハイカヌト思フ、立派ナ騎手ニナルト云フコトヲ心掛ケテ他ニ模範ヲ示サナケレバナラス、サウ云フコトヲヤル爲ニ八年ヲ取ツタ人ハ駄目デス、幾ラヤラウト思ツテモ今日迄ノ行掛リテ頭ガ固イカラ分ラナイ。是ハ獨リ競馬ダケノ問題デハナク、總テサウデアリマス、ドウシテモ是ハ若イ人ガヤラナケレバナラス。其氣デヤレバ實際出來ルノデアリマス、諸君ハ將來日本ノ競馬ヲ背負ツテ立タナケレバナラスノデアリマスカラ、一ツ其積リデヤツテ貰ハナケレバナラス少シ長クナリマシタガ競馬ノ目的ト云フノハサウ云フ譯デアリマス

次ニ我國ノ馬政ニ付テ申上ゲマス

馬政トイフコトヲ簡單ニ言ヘバ馬ニ關スル行政ト云フコトデアツテ、行政ト云フコトハ、學者ノ定義ニ從ヘバ大變難シクナリマスガ、要スルニ馬ニ關シ種々ノ計畫ヤ施設ガアルガ其ノ計畫ヤ施設ヲ實施スルコトデアリマス

馬政ハ只今申シタヤウニ日本ダケニアルノデナク、歐羅巴ニモ又亞米利加ニモアリマス、何故馬政ガ必要デアルカト云フト、馬ハ家畜ノ中デ必要ナモノ、隨一ニナツテ居ル、牛モ必要デアル、豚モ必要デアルケレドモ、先程カラ申スヤウニ、馬ハ平素ハ色々ノ産業ニ使ヒ、一朝事アル時ハ直ニ國防ニ使ハナケレバナラス、馬ガナケレバ戰爭ガ出來ナイト云フコトガ屢々アル。サウ云フ譯デ大切ニ育て、行カナケレバナラス。ソレニハ各個人ガ各々勝手ナモノヲ作ルノデハ困ル。此ノ家デハ大キナ荷馬車馬ヲ作ルガ其隣デハ乗馬ヲ作ルト云フヤウナコトデハイケナイ。大體ニ於テ馬ト云フモノハソレノ出來ル種類ガ其ノ土地々々ニ依ツテ決ツテ居ルノデアリマス。之ハ獨リ動物ダケデハ無クテ植物デモ其ウデス。適產地ト云フモノハ大體定マツテ居リマス。例ヘバ櫻島大根、櫻島ト云フノハ鹿兒島縣ノ櫻島ト云フ火山ノアル島デアリマスガ、此處デ非常ニ大キナ大根ガ出來マス。其大根ヲ東京ニ持ツテ來テ作ルト云フト、其年ダケハ小サイガ形ノ似タモノガ出來マス、其種子ヲ取ツテ翌年植エテモ大キナモノハ出來ナイ種ガスツカリ變ツテシマフノデアリマス、馬ノ方デモ矢張りサウ云フコトガ言ヘルノデアリマス。「ベルシユロン」ト云フ種類ハ佛國ノ原産デアツテ我國デハ北海道ノ一部デ出來ル此「ベルシユロン」ヲ例ヘバ青森縣ノ八戸デ假ニ作ルトスルト、出來ルコトハ出來マセウガ、櫻島大根ノ例ト同ジデウマク行カナイト思フ。然ルニ人間ト云フモノハ勝手ナモノデ、或ル人ガ競走馬デモ又ハ種馬デモ作ツテ何萬圓ニ賣レタト云フコトニナルト、其地方ニ出來ヤウガ、出來マイガヤリ度ガルノデアル。斯ウ云フ風ニ出來ナイ所デ人ガ勝手ニ作ルノデハドウシテモ國家ノ必要トスル馬モ出來ナイシ又數モ捕ハナイ。其處デ國ガ制度ヲ設ケテ、其制度ニ依ツテ何處ノ地方ハドウ云フモノヲ作ル

トカ何處ノ地方ハドウ云フ風ニスルト云フコトヲ大體決メテ置カナイトイケナイ。一朝事アル時ハドノ位要ルカト云フコトハ決ツテ居ル。イザ戰爭ト云フ時ニハ其數ダケハ揃ヘテ置カナケレバナラヌカラ國家ニ取ツテ馬政ト云フモノガ必要デアル。今日世界デ最モ馬政ノ整備シテ居ルノハ佛蘭西ト獨逸デアリマス。佛蘭西、獨逸ノ兩國ハ御承知ノヤウニ陸軍ガ仲々立派デアツテ、陸軍ハ世界中デモ強イ國デアル。尤モ獨逸ハ世界大戰ノ結果非常ニ一時ハ小サクナリマシタガ、最近ハ盛り返シテ居ルト云フコトデス、此ノ兩國ハ立派ナ馬政ヲヤツテ居ツテ、日本ナドノ比デナイ、サウシテ立派ナ馬ヲ作ツテ國防ノ爲ニ備ヘテ居ル現狀デアリマス。日本ノ馬政ハ其ノ始メニ大體其様式ヲ佛蘭西ニ倣ツテ出來タモノデアリマス。

次ニ我國ノ馬政ノ機關ト云フコトカラ申上ゲルト、中央ニ馬政局ガアリ、是ハ農林大臣並ニ陸軍大臣ノ指揮監督ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ農林省ノ外局ト云フコトニナツテ居リマス、馬政局ニ於テハ總務課、競馬監督課、馬産課及資源課ノ四課ガアリマシテ、直接軍馬ニ關スル事項ノ外總ベテノ馬ニ關スル行政ヲ總括シテ居ルノデアリマス。次ニ馬政局ノ直接監督ニ屬スル生産關係ノ役所トシテハ第一ニ種馬牧場ガ二ヶ所、種馬育成所ガ一ヶ所、種馬所ガ十五ヶ所アリマス。種馬牧場ハ北海道ニ一ヶ所、青森縣ニ一ヶ所アリマス。種馬育成所ハ是ハ日本ダケニアル機關デスガ、種馬ニナラウト云フ馬ヲ持ツテ來テ一才カラ四才迄育テルノデアリマス。尤モサラブレッドハ五才迄育テ上ゲルト云フ

コトニナツテ居リマス、サウシテ愈々出來上ツタモノヲ種馬所ニ持ツテ行ツテ此處デ種用ニ使フ。斯ウ云フ段取ニナリマス。

以上御話致シマシタノハ政府ノ方ノ關係デアリマス

次ニ民間ノ關係ハドウナツテ居ルカト云フト、各縣ニ馬ニ關スル係ガアリマスガ、又馬産地ノ縣デハ種畜場ニ馬ヲ繋養シテ居リマス種畜場デハ種牡馬ノ育成ヤ又縣有種牡馬ヲ繋養シテキル、又民間ニハ畜産組合ガアリ、其ノ外農會デモ色々馬ニ關スル仕事ヲシテ居リマス、又個人デ種牡馬ヲモツテ馬ノ蕃殖用ニ供シテ居ルモノモ澤山アル。現在デハ政府ノ直接監理ニ屬スル國有種牡馬ハ約一、四〇〇頭、民有種牡馬ガ約三、三〇〇頭デアリマス。右ノ外ニ國有種牡馬ヲ民間ニ貸下シテ居ルモノガ約四五〇頭デアリマシテ、種牡馬ノ數ハ約五、〇〇〇頭デアリマス。

次ニハ馬政ハ我國ニハ何時頃カラアツタカト申シマス、古イコトヲ言ヘバ千三百年モ前ニ太寶律令トイフモノガ定メラレタガ其ノ中ニ既ニ立派ナ馬政ニ關スル制度ガ出來テキル。併ナガラ愈々組織立ツテ馬政ガ實施セラルルニ至ツタノハ明治三十九年以來ノコトデアリマス。無論其前ニモ相當ニ力ハ盡シタノデアリマシタガ經費ノ關係等デ成績モアマリ擧ラズ日露戰爭ノ際ハ馬ガ惡クテ戰爭ニ非常ニ困難ヲシタノデアリマシテ其ノ結果ニ鑑ミマシテ馬政第一次計畫ガ立テラレテ今日ニ至ツテ居ルノデアリマス。馬政第一次計畫ハ關係各方面ノ努力ニ依ツテ大體豫期通りノ成績ヲ收メルコトガ出來タ

ノデアリマスガ本年ノ三月ヲ以テ三十年間ノ其ノ計畫ガ終ツタ。併シ乍ラ一層力ヲ入レテ尙更ニ馬ノ改良増殖ニツトメナケレバナラス必要ガアルノデ本年ノ四月カラ更ニ馬政第二次計畫ヲ實施スルコトトナツタノデアリマシテ次ニ馬政第二次計畫ノ御話ヲ致シマス。諸君ノ御手許ニ配布シタパンフレツトヲ御覽願ヒマス。其ノ始メノ方ニ、

「馬政第二次計畫ハ第一次計畫ヲ繼承シ國防上必要ナル有能馬、特ニ有能乘輓馬ノ充實ヲ目的トシテ産業上ノ基礎ニ立脚シ、經濟ノ實情ニ照シテ適切ナル保護獎勵ヲ行ヒ馬産經營ノ安定ヲ圖リ馬ノ資源ヲ涵養充實セムトス、本計畫ノ要項左ノ如シ

計畫ノ期間 本計畫ノ期間ハ昭和十一年度ヨリ昭和四十年年度ニ至ル三十ヶ年トス

保有馬數 内地ニ於テ保有スベキ馬數ハ少クトモ百五十萬頭トス」

ト書ヒテアルガ、右ニ付テ説明シマス

先程申上ゲマシタ如ク明治三十九年ニ馬政第一次計畫ヲ立テ、色々仕事ヲシテ來タ結果、大體計畫通りニ行ツタノデアリマス、ソレデ今日デハ日露戰爭當時ニ較ベマスト云フト非常ニ馬ガ良クナツテ來タ。其當時ノ馬ハ餘程貧弱デアツタラシイ、ソレガ今日諸君ガ御見掛ニナル如ク立派ナ馬ガ出來テ居ル。是ハ三十年間仕事ヲシテ來タ結果ニ相違ナイ。其間ニハ相當ニ外國種ノ血液ガ這入ツテ、ソレガ日本全國ニ行キ渡ツテ大キナ馬ニナツタ。其大キナ馬ニナツタト云フトコトガ結局第一次計畫ノ目的

ヲ達シタト云フトコトニナル譯デアリマス。第一次計畫ヲ繼承シテト云フノハ第一次計畫デヤツタ仕事ノ後ヲ受ケテ國防上必要ナル有能馬ヲ引キ續キ作ルト云フトコトデアアル、有能馬特ニ有能乘輓馬ト云フノハ能力ノ非常ニ高イ乘馬及輓馬ト云フトコトデアリマス、國ヲ守ル爲ニハ兵モ乘リ大砲モ引カナケレバナラスノデ有能乘輓馬ガ必要デアアル。次ニ産業上ノ基礎ニ立脚シ云々ト云フトコトガアリマスガ、是ハ難シイ問題デアリマシテ、一體歐羅巴ニハ立派ナ馬ガアルノニ何故日本ニハ馬政計畫ノ出來ル迄ハナカツタカト云フト先程申上ゲマシタヤウニ植物ニシロ動物ニシロ土地ニ出來ルモノデ、天カラ降ツテ來ルモノデナイ、其土地ニ適シタモノガ出來ル譯デアリマス。其處デ考ヘテ見ルト日本ノ土地ハ歐米ニ較ベルト云フト餘程山ガ多ク平野ガ割合ニ狭イ、耕作狀態カラ言フト水田耕作ガ非常ニ多イ、斯ウ云フ風ニ山ガ多カツタリ平野ガ少カツタリスルト自然ニマカセテイタノデハ大キナ馬ハ出來ナイ元來昔カラ我國ニ出來タ馬ハ丈ノ高サ四尺三寸前後、諸君ノ乗ツテ居ルノハ大抵五尺二三寸デアリマスカラ先ヅ一尺位低イ、斯ウ云フモノデアツタノデアリマシテ第一次馬政計畫ノ出來ル前迄ハ此ンナ馬ガ非常ニ多カツタ然ルニ日露戰爭ノ時ニハ御承知ノヤウニ露西亞ニハ有名ナ「コサツク」騎兵ト云フモノガアツタ、此ノ騎兵學校ニ澤山繪ガアルカラ諸君ハ見ラレタト思フガ、アノ繪ヲ見ルト日本ノ騎兵ハ非常ニ小サイ馬ニ乗ツテ居ツテ、後カラ露西亞ノ騎兵ガ追駈ケテ來テ突カレテ居ル所ガアル。此「コサツク」騎兵ト云フノハ世界ニ當時響イテ居タ立派ナモノデアリマス。日本ノ騎兵ハ馬ガ貧弱

ナ爲ニ非常ニ苦心ヲシタノデアリマス。從ツテ日露戰爭ノ後デ馬ヲ改良シナケレバナラヌト云フコトガ非常ニ喧シクナツテ來タ、併シ日本ノ氣候風土環境カラ考ヘテ歐羅巴並ノ大キサノモノハ容易ニ出來ナイ、其レデ何トカシテ歐羅巴ト異ナイ様ナモノヲ作ルコトニ苦心シテ大體出來ル様ニナツタ併シ元來非常ナ苦心ヲシテ作ルノデアルカラドウシテモ經濟的ニ考ヘナケレバナラヌコトガ多イ。其所デ經濟ノ基礎ニ立脚シ經濟ノ實情ニ則シテ適切ナ保護獎勵ヲ行ヒ、日本ノ土地デモ間ニ合フヤウナモノヲ作ツテ行カナケレバナラヌ。之ガ馬政計畫ノ眼目トナツテ居ル譯デアリマス。

次ニ計畫ノ期間ヲ昭和十一年度カラ昭和四十年度ニ至ル三十ケ年トシタノハドウイフ譯カト云フト馬ノ蕃殖成績ヲ知ルニハ馬一代ニ六年ヲ處スルノデアルガ之ヲ五代重ネテ成績ヲ見タイト云フ趣旨ニ出タモノデアリマス。日本在來ノ馬ニ外國ノ馬ヲ持ツテ來テ子供ヲ生マセ、更ニ其生レタモノニ外國ノ系統ノ種ヲツケテ子供ヲ生マセルト云フヤウニシテ五代重ネテ來ルト、大體外國ノモノト同ジ様ナモノガ出來ル、併シ先程モ申シタヤウニ日本ノ氣候風土ガ違フカラ全ク同ジモノハ出來ナイガ、大體同ジモノニナル。今日我々ハ日本人トシテ大ニ誇リヲ感ジテ居ル。其シテドナタノ顔ヲ見テモ日本人トシテノ特徴ヲ備ヘテキル。併シ昔カラ日本人ハ生エ拔キノ日本人デアツタカドウカ分ラナイ、學者ノ説ニ依ルト我々ハ皆雜種ダサデアリマス。昔大陸カラ渡ツテ來タモノモアリマセウシ、或ハ馬來半島カラ來タモノモアリマセウ、或ハ朝鮮半島カラ來タモノモアリマセウシ又「アイヌ」人ノ血液モ

這入ツテ居ルデアリマセウ。サウ云フ風ニ吾々ノ先祖ノ血液ハ種々雜多ドラウト思ヒマス。併シナガラ今日デハ我々日本人同胞ト云フモノハ疑フ筋ノナイ立派ナ日本人デアリマス、其レハ代ヲ重ネテ氣候風土ニ馴化シタカラデアル。馬モ同ジデ代ヲ重ネ段々統制スルト玆ニ種類ガ出來マス。之ヲ自然ノ状態ニ放置スルコトナク五代ノ間ニ配合ノ統制ヲ行ツテ速ニ種類ヲ作り上ゲル計畫トナツテキルノデアリマス。サウ云フ意味ニ於テ計畫ノ期間ヲ三十年ト區切ツタ譯デアリマス。次ニ内地ニ於テ保有スベキ數ハ百五十萬頭ト書イテアリマスガ、此百五十萬頭ト云フ數字ヲ説明ヲシマスト第一次計畫ヲ作ツタ明治三十九年、矢張り目標ノ頭數ハ百五十萬頭、其後日本ノ農業モ段々進歩シテ來マシタガ、矢張り計算シテ見ルト百五十萬頭トナツテキル。昭和七年ニ地方馬ノ一齊調査ヲ行ヒマシタガ、其ノ數字ハ約百五十八萬頭デアリマス。ソレカラ御參考迄ニ今年ノ數字ヲ申上ゲマスト、農林省ノ統計デハ百四十六萬頭ニナツテ居リマス、即チ昭和七年ニ比ベルト十二萬頭カラノ差ガアリマスガ、調査ノ方法ガ違ツテキルカラドチラノ數字ガ真相ニ近イカハ研究スル必要ガアルガ昭和七年以來大分減ツテ居ルカモ知レナイ、併シ百五十萬頭ト云フ數字ハ標準トシテチヨウドヨイ數字デアリマス、此ノ百五十萬頭デ戰爭ノ場合ハ間ニ合フカト云フト、此百五十萬頭ノ馬ガ全部戰爭ニ出ル譯デハナイ。其中ニ姪ンダモノ、年ヲ取ツテ居ルモノモアリマセウシ、検査ノ結果病氣ガアツタリ色々アリマセウ、或人ノ説デハ百五十萬頭ノ中ノ六割九十萬頭ヲ戰爭ニ持ツテ行ケルドラウト云フコトデアリマス。併シ私ハ

此邊ノコトハ能ク存ジマセヌ、唯諸君ニ取次グダケデアリマス。所ガ實際ノ戰爭ニナルト、現在ノ頭數ノ數倍ノ馬ガ要ルサウデアリマス、ドウモ日本デソレダケ作レナイカラ、已ムヲ得ズ百五十萬頭ト云フコトニナツテ居ルガ實際ハ多ケレバ多イダケヨイ。從ツテ百五十萬頭ト云フモノハ國トシテドウシテモ責任ヲ持ツテ保持シテ行カナケレバナラヌ最低限度ノ數字デアアル

次ニ馬ノ改良増殖ニ付テ説明シマス。パンフレットヲ御覽下サイ。「馬ノ改良ハ役種別區分ニ基キ地域的ニ役種別生産方針ヲ確立シ馬ノ登録ニ關スル制度ヲ設ケ種別體型標準ニ準據シテ配合ノ統制ヲ圖リ體型ヲ整理シ種類ノ固定ニ努メ各種役ニ適應スル性能ヲ備フル馬ノ造成ヲ期セムトス」

是ハ先程モ申シマシヤウニ好キダカラト云フテ其人々ノ好ミニ委セテ色々作ラレルト困ルノデアリマス。私ハ小サイ馬ガ好キダ、私ハ輕イ馬ガ好キダト云フヤウニ不統制ニナルト、國家ノ要求スルヤウナモノガ出來ナイカラ、一ツノ改良方針ヲ立テ、其改良方針ト云フモノヲ皆ガ行ハナケレバナラヌ、其ノ方針ヲ遵奉シテ馬ヲ生産シテ行カナケレバナラヌト云フ方針ヲ立テ、其方針ハ非常ニ細カイ立派ナモノガ出來テ居ル。是ハマダ發表スルコトハ出來マセヌガ、何レ諸君ニ御渡シスルコトガ出來ルト思ヒマス。北ハ北海道カラ南ハ鹿兒島沖繩迄各府縣ニ應ジタ産馬方針ト云フモノガ立ツテ居ル一例ヲ申シマスレバ北海道デハ競馬ニ必要ナ馬ハドウ云フ所デ作ルカト云フト新冠、靜内、三石、浦川此地方デ作ルト云フヤウナ方針ヲ取ツテ居リマス。日高ハ乘馬ヲ作り、十勝ハ轆馬ヲ作ルト云フ風

ニソレレノ地方ニ應ジタ馬産方針ヲ立テ、其方針ニ應ジテヤツテ行ク。是ハ馬ヲ作ルニハドウシテモ忘レテナラナイコトデアリマス。次ニ種別體型標準ニ準據シテ云々ト云フトニ付テハ之モ今日御話スル迄ニナツテ居リマセヌガ、大體ハ馬ノ各役種ニ應ジタ體高ナリ又胸圍、管圍トイフモノノ標準ヲ定メテ其ノ標準ニ據ツテ馬ヲ作ルト云フトデアリマス。何ヲ作ルノデモ其ノ目的ニヨツテ大體ノ標準ガ無ケレバナラヌノデアリマスガ、馬ハ一朝事アル時ニハ直ニ國防ノ第一線ニ活躍スル必要ガアリマスカラ、其ウ云フ大切ナ目的ニ合フ様ナモノヲ作ラナケレバナラヌ、所ガ度々申シマス様ニ、日本ノ馬ノ改良ハ外國ノ種ヲ以テセラレタノデアアルガ、大體外國人ハ日本人ヨリモ體ガ大デアリ又農業經營ノ關係モ耕地面積ガ廣イトカ其他日本ノ事情トハ餘程異ツテ居ル。其所デ日本人ガ歐羅巴ノ人ト同ジヤウナ馬ヲ使フト云フトハナカノ困難デアリマスカラ、體型標準ト云フモノヲ拵ヘテ西洋ノ種馬ヲ入レテ改良ハスルケレドモ之ヲ日本向ニ改造スル必要ガアルノデス

次ニ配合ノ統制ト云フトデアアルガ之ヲ一口ニ云フナラバ馬ヲ蕃殖スルニハ自分ノ牝馬ノ資質ヲ考ヘテ之ニ配合種馬ヲ考ヘテヤレ、之ヲ統制シテ行クト云フトデアアル。「アングロノルマン」ハ元來佛蘭西ノ「ノルマンデイ」ト云フ地方ニ於テ出來タ馬ニ主トシテ「サラブレッド」ヲ配合シテ段々改良シテ來テ今日ノ種類ガ出來タノデアリマスガ、日本デモ「アングロノルマン」ヲ作ルニハ其ノ純粹ナ蕃殖ヲヤレバ良イ、然ルニ元來ガ日本デ純粹ナアングロノルマンヲ作ルト云フトノミガ改良ノ目的

デハナイ結局、良イ馬ヲ作レバ其レデヨイト云フ見解カラ「アラブ」ヲ配合シタリ或ハ「ハクニー」ヲ配合シタリ色々變ツタモノヲ配合スル人ガ随分多イ。併シ色々ノ種類ヲ配合シタ結果ハ好クナイ、青イモノト黄色ノモノヲ混ゼルト緑ガ出來ルト云フ風ニピタツト決ツテ出レバ宜イガ、色々ノモノヲ混合セテ出來タモノハ何トモ仕様ノナイモノガ大變多イ、經濟ト云フコトカラ云フト出來損ヒハ困ルドウシテモ系統的ナ蕃殖ヲヤラナケレバ困ルノデス。其處デ配合ノ統制ト云フコトガ必要ニナルノデアリマス。一例ヲ申シマスレバ「アングロノルマン」ニハ大體「アングロノルマン」ヲ配合シテ「アングロノルマン」ヲ作ル、或ハ「サラブレット」ト云フノハ唯ノ一回ニ止メテ置ク、二回配合シタナラバ日本ノ事情カラ言ヘバ輕過ギテ目的ニ添ハナイカラ之ヲアングロノルマント云ハナイコトニナツテキル。ソレガ配合ノ統制デアリマス。此ノ外ニ申サナケレバナラヌコトガ澤山アルケレドモ時間ガ足りナイカラ省イテオイテ最後ニ、「競馬ノ改善刷新ヲ圖リ其施行ノ適正ヲ期シ馬ノ改良増殖ノ目的達成ニ努メムトス」ト云フ事項ハ諸君ニ直接關係ガアリマスカラ、説明シテ置キマス、競馬ノ目的ハ馬ノ改良増殖ヲスルト云フコトガ目的ノ一ニナツテ居リマスコトハ前ニ申ス通りデアルガ改良増殖ノ目的ヲ達成スルニハ競馬ニ付テ色々考ヘナケレバナラヌコトガアル、例ヘバ騎手ノ制度ト云フモノガハツキリ決メテナイカラ、騎手制度ト云フモノヲ設ケタラドウカ、ソレカラ競馬ノ施行方法ニ付テモ役所ノ關係ニ於テ色々考ヘナケレバナラヌコトガアル。サウ云フコトヲ考ヘテ競馬ノ改善ヲ圖ツテ其

適正ヲ期シ改良増殖ノ目的ニ添フヤウニスルト云フコトヲ言ツテ居ル譯デ、諸君ノ關係シテ居ル部分ニ付テ云ツテ見テモ随分改善刷新シナケレバナラヌ部分ガ多イ。今日騎手ノ乗り方ガヨクナイ、又ハ調教ノ方法ガヨクナイ爲ニ改良増殖ノ目的ニ添ハナイ部分ガ實ニ多イノデアリマス。又馬政計畫ノ達成ト云フコトニ付テハ澤山ノ金ガ要ル、此金ハ無論國家ノ財政デヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ國家ノ財政ト云フモノニハ自ラ限度ガアル、其レデ競馬ノ目的デハナイガ競馬ヲヤレバ自然剩餘金ガアツテ之ヲ財源トシテ馬ノ改良ヲ進メテ行クト云フコトハ悪イコトデハナイ、實際上ヤラナケレバナラヌ。若シ競馬ガヤレナイトスルト此ノ財源ガ無クナツテ改良ニモ支障ヲ來タス。此ノ方面ニ付テモ色々改善刷新ヲ加ヘナケレバナラヌコトガ多イノデアツテ、競馬ト云フモノガ第二次計畫ニ非常ニ重要ナ意味ヲ持ツテ居ルダケニ是非共之ヲ大切ニ育テ上ゲテ行カナケレバナラヌ、之ヲ要スルニ第二次計畫ニ付テ諸君トシテ第一ニ考ヘテ置イテ貰ハナケレバナラヌコトハ、立派ナ騎手トナツテ日本ノ競馬ヲ穩健ニ發達サシテ行ク、サウシテ其コトガ馬ノ改良ニ最モ必要デアル、即チ諸君ノ「フアインプレー」ト云フコトガ馬ノ改良増殖ト直接至大ノ關係ガアル譯デアリマシテ、以前角力ガ非常ニ淋レタコトガアリマスガ、其淋レタ原因ハ何カト云フト、兎角不正ナ勝負ガアツタノデ、世間カラ厭キラレタ。サウ云フ關係ガ今日ノ競馬ニアリハシナイドラウカ、或ハ將來サウ云フ危険ガアリハシナイカト云フコトヲ識者ハ非常ニ心配シテ居リマス、サウナルト競馬ハ自然衰ヘテ、競馬ニ依ツテ馬ノ改良

増殖ニ資スルコトガ困難ニナルコウ云フ風ニ色々考ヘテ來ルト、諸君ノ責任ト云フモノハ非常ニ大切ニナルト思ヒマス。ドウシテモ諸君ノ力ニ俟ツテ日本ノ馬ノ改良ト云フモノヲヤラナケレバナラヌコトガ非常ニ澤山アル、諸君ハ自分ノ職責ガ如何ニ大切デアアルカト云フコトヲ忘レテハイケナイノデアリマス。私ノ話ハ之デ終リデアリマス。

(八) 競走馬ノ疾病ニ就テ

板垣農學博士

是カラ二日間ニ亙リマシテ競走馬ノ疾病ニ就テ御話ヲ致シマス。皆サンハ馬ノコトニ付テハ非常ニ委シク知ツテ居ラレルデセウガ、併シ馬ノ身體ノ内部ニ付キマシテハ餘リ御存知チヤナイト考ヘテ居リマス。失禮カモ知レマセヌガ、殆ド御存知ナイモノトシテ、御話ヲ致スコトニ致シマス。昨年ハ此講習會ノ席上デ傳染病ニ付テ御話シマシタガ、今年ハ成ルベク違フ話ヲシテ呉レト云フ御依頼デアリマシタカラ、寄生虫ノ話ヲ申上ゲタイト思ヒマス。

寄生虫ト云フヤウナ問題ハ、大分専門ニ走ルノデアリマシテ、知識ノナイ皆サンニ對シテ、之ヲ申上ゲルコトハ少シ無理デアアルカモ知レマセヌ。例ヘバ腸ノ中ニ虫ガ居ル胃ノ中ニ虫ガ居ル、腸ノ中ニ居ルト云ヒマスガ實際胃ト云フ名前ハ知ツテ居ツテモドノ邊ニアルカハヨク知ラナイ。自分ノ身體ニ

比較シテ胃ヤ腸ノコトハ大概分ル。口ガアツテ、口カラ咽喉ヲ通ツテ、食道ガアツテ、胃ニ行ク、胃ノ先キハ腸ニナル腸ノ中ニモ大腸ト小腸トアル位ナコトハ、大體御承知デアリマセウガ、實際ノ馬ノ身體ニ付テ、ドウ云フ工合ニ腹ノ中ガナツテ居ルカヲ一通リ説明申上ゲナイト御分リ難イノデハナイカト思ヒマシテ、實ハ斯ウ云フヤウナ模型ヲ持ツテ參ツタヤウナ次第デアリマス。是ハ馬ノ内臟デアリマス。此上ニ勿論皮ヲカブツテ居リマス。此方ガ頭ノ方、此方ガ尻ノ方デアリマス。胸ニハ肋骨ガアリ、胸壁ガ此上ニカブサツテ居リマス。腹ノ方ニハ腹壁ト云ツテ、腹ノ皮ガアル譯デアリマス以上申シマシタ所ノ胸壁、腹壁ヲ取除イテ見ルト、馬ノ身體ハ大體此範圍ノ如クニナツテ居ル。是ハ勿論後デ作ツタモノデアリマスガ、スツカリ同ジダトハ申セマセヌガ、大體斯ウ云フ風ナ恰好ニナツテ居リマス。馬ノ身體ノ中ニモ、我々ノ身體ト同ジヤウニ色々ナ臟器ガアリマス。肺臟、氣管ノヤウナ呼吸ヲスル所ノ呼吸器、或ハ物ヲ食ベテ、ソレガ消化サレテ、榮養分トシテ吸收スル所ノ消化器、或ハ血液ガ身體ノ中ヲ廻ル所ノ循環器、或ハ又要ラナイモノガ小便トナツテ出ル所ノ排泄器、或ハ馬ノ身體ヲ支配シテ居ル所ノ神經系統、或ハ又子孫ノ繁榮ヲ司ル所ノ生殖器ト云フヤウナ色々ナ器官ガアリマス。此模型デ呼吸器、消化器、其他重要ナル臟器ノ位置形狀ガ分ルデアラウト思ヒマス（以下範圍ニ就テ説明スル）。

此兩側ニ同ジヤウナモノガアルノガ、肺臟デアリマス。馬ガ風邪ヲヒイテ肺炎ニナツタ場合ニハ、

大抵ハ肺ノ前ノ方ガ侵サレルノデアリマス。是ハ我々人間デモサウデアリマス。能ク人間ガ結核ニ罹
ツテ一番初メ肺炎「カタール」ト醫者ニ診断サレルコトガアリマス。肺炎「カタール」ハ何處ヲヤラ
レルカト云フト、人間デ云ヒマスト肺臟ノ一番先端即チ上ノ所デアリマス。馬ハ人間ト違ツテ立ツテ
居ラズ横ニナツテ居リマスカラ肺臟ハ斯ウ云フ風ニ位置シマシテ、肺炎ト申シマスト前ノ方デアリマ
ス。此肺炎部ガ一番多ク病氣ニ罹リ易イ。右左同ジデアリマスガ、肺炎「カタール」ト云フト、詰リ
此前ノ方ガヤラレテ居ルノデアリマス。肺炎ヲ治療スル場合ニ、濕布ヲシナケレバイカスト御醫者サ
ンニ云ハレマス。所ガ濕布スルト云ツテモ、何處ヲ濕布スルカ、濕布ヲヤル場所ハ、何處ヲヤルカト
云ヒマス、肺臟ノ後ロノ方ハ、今申シマシタヤウニ、肺炎ニ罹ルコトハ極ク少イノデアリマス。イ
ツモヤラレルノハ、肺炎部デアリマス。デスカラ、濕布ハ、後ロノ方ニハ餘リ必要ハナイ。成ルベク
前ノ方ニヤラナケレバイケナイ。所ガ御覽ニナルト分リマスガ、前ヲ濕布スルコトハ此處ニ肋骨ガア
リ、ソレカラ胸骨ガアリ此邊ノ所カラ前肢ガ出テ居リマス。詰リ肺炎ハ肘ノ上ノ方ニナリマス。人間
デアリマスト腕ヲ左右ニ開クコトモ出來ルシ、或ハ上下ニ動カスコトモ出來ルカラ、肺炎部ニ濕布ヲ
ヤルニシテモ自由ニ上ノ方マデ出來ルノデアリマスガ、馬ハサウ云フコトハ出來ナイ。實際濕布ヲヤ
リマス、兎角後ロノ方ニ濕布ヲヤリガチニナル。ソナ所ニヤツタツテ、何ニモナラナイ譯デス。
ソレカラ肺臟ヲ取り除イテ見ルト、此處ニ斯ウ云フヤウナ恰好ヲシタモノガ見エテ居リマス。是ハ

心臟デス、競走馬ヲ解剖シテ見マス、農馬ヤ他ノ使役馬ニ比較シテ、非常ニ違フ點ハ何デアアルカト
云フト、心臟ガ著シク大キイト云フ點デアリマス。即チ競走馬ノ心臟ハ驚ク程大キナモノデアリマス
何ガ故ニ「サラブレッド」ノ心臟ガ大キイカト申シマス、競走場裡ニ立ツ馬デアリマスカラ非常ニ
強イ所ノ心臟ノ働キガナケレバ、逆モ競走馬ヲヤルコトハ出來ナイノデアリマス。デアリマスカラ、實
際ニ普通ノ馬ニ比較シテハ一倍半モアルヤウナ大キナ心臟ヲ持ツテ居リマス。此心臟ハ收縮スル筋肉
デ出來テ居リマス。是ガグツグツト收縮シマス、此中ノ血液ハ、動脈ト云フ赤イ血管ヲ通ツテ身體
中ニ送ラレテ行クノデアリマス。此血液ハドウ云フ所ヲ通ツテ行クカト申シマス、此心臟カラハ太
イ大動脈ト云フモノガ、前ノ方ニ一本、後ロノ方ニ一本、斯ウ云フ風ニ走ツテ居リマス。前ノ方ニ行
クノ方前大動脈、後ロノ方ニ行クノ方後大動脈ト云ツテ居リマス。是ハ勿論骨ノ下ヲ走ツテ居ルノデ
アリマスカラ、上ノ方カラハドウシテモ分ラナイ。心臟ガ收縮スル度毎ニ非常ニ壓力デ、此動脈ヲ血
液ガ通ツテ行ク、デアリマスカラ、若シ此動脈ニ傷ガ付イタト假定スル、即チ動脈ガ破レタト假定スル
ノデアリマス。サウスルト心臟ノ收縮ノ壓力ガ強イ爲ニ、忽チニシテ非常ニ出血ヲ起スノデアリマス
ドナクモ御承知デアリマセウガ、人間ノ年ヲ取ツタ人ニ屢々見ル所ノ腦溢血ト云フ病氣ガアリマス。
アノ腦溢血ト云フノハ、腦髓ノ中ニ入ツテ居ル血管ガ破レルノデアリマス。腦ノ血管ハ他部ノ血管ニ
比較シテ割合ニ弱イノデアリマス。年ヲトルト動脈ガ段々ト硬クナリマス、デスカラ、血壓ガ高クナ

ツテ來マス、ドウカシタ拍子デ腦ノ血管ガ破レルト、ソコカラ血ガ段々ニ出ル、腦髓ノ中ニ血ガ溜ルノデ、甚ダシイノハ、發病シタト同時ニ直グ其場デ死ンデシマフ。或ハ三十分カ一時間位デ死ンデシマフト云フヤウナコトニモナリマス。ソナナ譯デ動脈ト云フモノガ破レルト云フコトハ、非常ナ危険デアリマス。デアリマスカラ、成ルベク破レナイヤウニ、身體ノ外ノ方ニハ出テ居ナイノデアリマス成ルベク内側ヲ通ツテ居リマス。我々ノ手ニシマシテモ、足ニシマシテモ、身體ニシマシテモ、動脈ガ皆通ツテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ所ヲチョツト掴ンデ見タンデハ、動脈ハ分ラナイ。所ガ斯ウ云フ關節ノヤウナ所ニナリマス、否應ナシニ、筋肉ト云フモノハ殆ドアリマセヌカラ、動脈ハ皮膚ノ直下ヲ通ラザルヲ得ナイ。指ノ先キデ其動脈ニ觸レテ見ルト搏動ガ分ル

却說馬ガ病氣ニ罹ツタトキニ脈ヲ見ル必要ガアルガ、關節ノ所ヲ指先キデ觸ツテ見マス、搏動ガ分ル。詰リ心臟收縮ニ一致シテ。心臟ガ假ニ一分間ニ三十回收縮スレバ其三十回ダケノ搏動ト云フモノガ、斯ウ云フ所ノ動脈ニ能ク觸レルコトガ出來ル。之ヲ脈搏ト云ヒマス。ソレデハ馬デハ何處デ脈ヲ見ルカト云フコトニナリマス、是ハ大抵御承知ノコトデアラウト思ヒマスガ、此模型ハ頭ガアリマセヌカラ分リマセヌガ、馬ノ脈ヲ見ル場所ハ、下顎骨ノ縁ニ沿フテ指ヲ擦ツテ見マス、此處ニ一ツノ動脈ガ通ツテ居ル、此處ニゴリ／＼シタ動脈ガ通ツテ居ル（自分ノ下顎骨ヲ示シ乍ラ説明スル）其動脈ノ所ニ指ヲ當テ、見マス、脈ヲ搏ツノガ能ク分リマス。併シ或ル場合ニハ、肢ノ先キデ脈搏

ヲ検査スルコトガアリマス。是ハ肢ニ怪我ヲシタリ、跛行ヲ引ク馬ナドニ行ヒマス

以上申シマシタ處ノ動脈ニハ赤イ血液ガ流レテ居リマスガ、是ガ段々分レマシテ、各臟器ノ中ニ這入ツテ行ク。ソレカラ方々ノ組織ノ中ニ行キマシテ、段々細ク分レテシマツテ、ソレガ又今度ハ反對ニ集ツテ來ルノデアリマス。ツマリ此場合ニハ細イモノカラ段々大キクナツテ來ル。サウ云フ風ニナリマス、今度ハ血液ト云フモノハ鮮赤色デハナイ。汚ナイ血液ニナツテ來ル、之ヲ動脈ニ對シテ靜脈ト云ツテ居リマス。我々ガ手ヲ見マシテモ、年ヲ取ツテ來ルト、若イ人ヨリモ澤山血管ガ能ク見えテ居リマス、是ハ動脈デヤナイ、詰リ靜脈ノ方デアリマス。汚ナイ血液ガ此處ヲ流レテ行ツテ、心臟ノ方ニ段々戻ツテ行クノデアリマス。ソナナ譯デ詰リ心臟カラ出タ綺麗ナ血液ガ身體ノ中ヲ廻ツテ、ソレデ汚レタ血液ガ、今度ハ反對ノ方向ニ血管ヲ通ツテ、又心臟ノ方ニ戻ツテ來ル。ソコカラ再ビ肺臟ニ行ツテ、ソコデ綺麗ナ動脈血トナル。是ガ詰リ循環器ト云フモノデアリマス。競馬馬ニ於テハ、此循環器、殊ニ心臟ト云フモノガ、非常ニ丈夫デアルト云フコトガ、絶對必要ナ條件デアリマス。今度ハ此心臟ヲ取ツテシマヒマス（模型ヲ示シ乍ラ）サウスルト此方ハ胸、此方ハ腹デアリマスガ此境ニ何カナクチャダラシガナイ。下等動物ニナリマス、ソナナ境ハアリマセヌ。高等動物ニナリマス、ソコニ境ト云フモノガアル。是ヲ橫隔膜ト云ツテ居ルガ、非常ニ丈夫ナ膜デアリマス。此橫隔膜ヲ取ツテ見ルト、今度ハ腹ニナリマス（模型ヲ示シ乍ラ）。

是ダケノモノガ、腹ノ中ニ這入ツテ居ルノデアリマス。腹腔臓器デアリマス、此主ナルモノニ付テ申上ゲマス、馬デ最モ大キナ腹腔臓器ハ消化器デアリマス。消化器ト申シマス、口カラ始マルノデアリマスガ、口ハ勿論頭ノ方ニアリマス。口ヤ、咽喉ハ此模型ニハアリマセヌ。ソレカラ長イ所ノ食道ガ首ヲ通ツテ、斯ウ走ツテ居ルノデアリマス。食道ノ先キガ胃ニ這入ルノデアリマス、胃ヲ過ギマス、其次ガ腸デアリマス、能ク牛飲馬食ト云ツテ、牛ハ非常ニ澤山ノ水ヲ飲ミ、馬ハ澤山ナ食物ヲ食ベルト昔カラ云ヒマスガ、此消化器全體ヲ見マス、馬デハ、非常ニ大キナ腸ヲ持ツテ居ルノデアリマス。所ガ胃ハドウデアアルカト云フト、之ヲ見テモ分リマスガ割合ニ小イノデアリマス。所ガ腸ノ方ハ今モ申シマシタ通り、胃ト比較スルト非常ニ大キイ。是ガ馬ノ特長デアリマス。馬ニ餌ヲヤル場合ニ、馬ノ胃ハ割合ニ小サク、反對ニ腸ノ方ガ非常ニ大キイト云フト考ヘテ馬ニハ初メ水ヲヤツタ方ガ宜イカ、或ハ初メ餌ヲヤツテ後カラ水ヲヤツタ方ガ宜イカ、或ハ藥ヲ飲マセルニシテモ藥ヲ永ク胃ノ中ニ置クニハ、餌ヲヤツタ後ニ藥ヲヤツタ方ガ宜イカト云フト熱慮スル必要ガ起ツテ來ル譯デアリマス。胃ノ次ハ腸デアリマスガ、此細イ所ガ十二指腸デアリマス。十二指腸カラ空腸廻腸ト云フ所謂小腸ニ這入ルノデアリマス。斯ウ云フウネノシマシタノガ小腸デアリマス。百尋モアルト云フノ昔カラ百尋ト云フ、細長イ腸デアリマス。此小腸ヲ過ギマス、今度ハ馬ノ消化器ノ中デ一番大キイ所ノ大腸ニナルノデアリマス。是ハ外ノ動物ト違ツテ、馬ニ於テハ非常ニ發達シテ居

ルノデアリマス。是ダケ全部大腸デアリマス。(模型ヲ示シ乍ラ)胃ニ比較シテ腸ト云フモノガ、如何ニ大キイカト云フトハ、之ヲ見テモ直グ分ルノデアリマス。大腸「カタル」盲腸炎ト云フヤウナコトヲ能ク我々ガ申シマス。人間デハ下痢ト共ニ下腹ノ所ガ少シ痛イノガ大腸「カタル」デアリマス。殊ニ左側ガ痛ムノデアリマス。馬ニ於テハ此大腸ハ、コンナニ大キイ、而モ構造ガ非常ニ複雑デアリマス。人間ニ比較シテ……殊ニ面白イノハ、人間ト違フ點ハ、盲腸デアリマス。能ク人間デハ盲腸炎ト云フ病氣ガアリマス。人間ノ盲腸ハ、何ニモ役ニタ、ナイモノダト云フト、能ク人ガ仰ツシヤイマス。全ク何ニモナラナイモノカ、多少役ニ立ツモノカ知リマセヌガ、盲腸炎ニ罹ツテ苦シム人ハ可成リ多イノデアリマス。所ガ馬ノ盲腸ハドウデアアルカト云フト、斯ウ云フ非常ニ大キナモノデアリマス。人間ノ盲腸ハ實際ニ於テ價値ガナイカモ知レマセヌ、役ニ立タナイカモ知レマセヌガ、馬ノ盲腸ハ斯ノ如ク大キナ臓器デ非常ニ役ニ立ツモノデアリマス。次ニ此太イノハ結腸ト云ツテ、矢張り大腸ノ一部デアリマス。結腸ノ次ガ小結腸夫レカラ直腸トナツテ居リマス。盲腸、結腸、直腸ナドヲ總稱シテ、大腸ト云ツテ居リマス。大體腸ノ構造ハ以上ノヤウニナツテ居テ、ソレカラ後ロノ方ニ來テ肛門ニナツテ居リマス

馬ハ消化器ノ病氣ニ非常ニ罹リ易イ、殊ニドナタモ御承知ノ通り一番困リマスノハ、疝痛即チ腹痛ト云フ病氣デアリマス。ドウカシテ馬ガ疝痛ニ罹リマス、バタノ暴レルノデアリマス。外ノ動物

ニハ痙痛ハ極ク少イノデアリマスガ、馬ニハ非常ニ此痙痛ガ多イノデアリマス。痙痛ハドウ云フ場合ニ起ルカト云フコトヲ、序デアリマスカラ極ク簡單ニ申シテ置キマス。今申シマシタヤウニ馬ノ胃ガ割合ニ小サイ。ソレニ持ツテ行ツテ、馬ガ非常ニ澤山ノ食物ヲ急ニ食ベタト假定シマス。サウスルト此小サイ胃袋ニ澤山ノ食物ガ……殊ニ穀類ヲ食ベマシタ場合……停滯シテ此胃ガ張切レルヤウニ膨レルコトガアル。ソレハ何カノ原因ノ爲ニ、胃ノ中ニ詰ツテシマツテ、腸ノ方ニ行カナイト假定シマス。小サナ護膜玉ニ持ツテ行ツテ、非常ニ分量ノ多イ空氣ヲ入レタト同ジヤウナ意味合ニナル。サウシテ此胃ガ張り裂ケル程大キクナツテ來ル。小サイ胃ガ大キクナツテ擴ガツテ來ル。其場合ニ馬ハ非常ナ腹痛ヲ感ジテバタ／＼暴レル。モツトヒドクナルト胃ガ破裂スルコトガアリマス。斯ウ云フノガ痙痛ノ一ツノ「タイプ」デアリマス。外ノ動物ニハコンナコトハ殆ンドアリマセヌ。人間ナドモ、暴飲暴食ヲヤツテ苦シクナツテモ、口ノ奥マデ指ヲ突込シテ直グ吐イテシマフ。外ノ動物ハ、犬ニシテモ、豚ニシテモ、皆吐ク、所ガ馬ハ厄介ナモノデアリマシテ吐クコトガ出來ナイノデアリマス。馬ハドウモ吐キ難イ。ソレハ食道カラ胃ニ移ル所ガ固ク締ツテ居ル爲デアリマス。吐クコトガ難カシイカラ胃ノ中ニ一杯瓦斯ガ溜ツタリ、或ハ食物ガ一杯ニナツタリスルノデアリマス。此點ガ馬ノ非常ニ工合ノ惡イ點デ、痙痛ヲ起シ易イ一ツノ原因デアリマス。ソレカラ馬ノ結腸ハ、斯ウ云フ工合ニ極メテ複雑ニ出來テ居ル。一廻リ廻ツタ結腸ガ再ビ斯ウ云フ風ニ折返ツテ居リマス。此模型デ見ルト分リマ

スガ、是ハ結腸デアリマスガ、此結腸ハ初メ右カラ左ニ廻ツテオ尻ノ所ニ來ルト、一ツ曲ツテ居ル、其ウネツタノガ再ビ今度ハ前方ノ上ノ方ニ斯ウ來テ居ル。初ハ下ノ方ヲ通ツタノダガ、斯ウ云フ風ニ又上ノ方ニ折リ曲ツテ居リマス。斯ウ云フ厄介ナ所ガ、馬ノ大腸ニハアル。デアリマスカラ、此處ニ糞ガ溜リ易イノデアリマス。詰リ糞詰リニナツテシマフノデアリマス。尙此外ニモ大腸ニハ胃狀膨大部トイフ所ガアリマシテ、ソコニモ糞ガ溜リ易イノデアリマス。能ク軍隊ノ馬ナンカニ見ルコトデアリマスガ、不斷毎日定期的ナ運動ヲヤツテ居ル馬ガ日曜ナンカニナリマスト、運動ガ休ミユナル。サウスルト兎角腹痛ガ起リ易イ。ト云フノハ毎日定期的ナ運動ヲ營ンデキルモノガ休日ニ運動ガ止マツタ爲ニ便秘ヲ發スルノデアリマス。斯ウ云フ譯デ、便秘モ亦一ツノ痙痛ノ原因ニナリマス。其外ニ色々痙痛ノ原因ハアリマスガ、特ニ恐ロシイノハ、腸ハ腹ノ中ニフ／＼シテ居ル。他ノ臟器ノヤウニ固着シテ居ナイノデアリマス。ドウカスルト馬ハ、御承知ノ通り非常ニ強イ運動ヲヤル。殊ニ障礙競走等ヲヤル馬デハ「ジャンプ」ヲヤル。又軍馬デアリマシタナラバ、戰爭ノ時或ハ演習ノ時デ食事中ニモ號令一下直グ駈歩モシナケレバナラナイト云フヤウナ譯デ、非常ニ急激ナ運動ヲスル。其際ニ完全ニ固着サレナイ腸ガ引繰返ツテシマフ。斯ウ云フ位置ニアル腸ガ、引繰返ツテ此方ノ方ニ行ツテ見タリ、逆様ニナツテ見タリ、色々ナコトヲヤル。(模型ヲ示シ乍ラ)之ヲ腸ノ捻轉ト云ヒマス。コンナニナリマスト、茲ニ痙痛而モ極メテ惡性ナ、劇烈ナル痙痛、ヲ起シテ來ルノデアリマス。アナタ方モ

馬ノ腹痛ニ付テ御經驗ガアルデアリマセウガ、極ク簡單ニ一時間カ二時間デ癒ツテシマフ腹痛モアルサウカト思フト、一週間モ二週間モ、場合ニ依ツテハ三週間モ輕イ腹痛ヲ毎日續ケテ居ル馬モアリマス。ソレデイツヤラ癒ツテシマフ馬モアリマス。サウカト思フト、腹痛ヲ發生シマシテ、三時間カ四時間位ノ間ニ非常ナ著シイ疼痛ヲ起シマシテ、暴レル。ドンナ注射ヲシテモ或ハ色々手當ヲシテモ、藥石効ナクシテ遂ニ死ンデシマフ、大抵二十四時間以内デ死ンデシマフ。全ク手ノ付ケヤウガナイ。馬ハ大キナ圖體ヲシテ居テ、而モ蹄鐵ヲ嵌メテ居マスカラ、アレデバタ／＼暴レタシデハ、傍ニ寄りツクコトモ出來ナイト云フ譯デアリマス。

以上申シマシタ通り疼痛ノ原因ト云フモノハ、一ツヂヤナイ。色々ナ工合ニ疼痛ト云フモノガ起ツテ來ル。馬ノ胃ノ中ニ食物ガ詰ツタ場合、疼痛ガ起ル。腸ノ中ニ糞ガ詰ツテ糞詰リノ場合ニモ疼痛ガ起ル。或ハ腸ガ引繰返ツテ捻轉シマシタ場合ニモ亦疼痛ガ起ルト云フヤウナ譯デ、一口ニ疼痛ト云ツテモ夫レ／＼皆違フノデアリマス。腹痛ダカラ、斯ウ云フ治療方法ヲヤレトカ、斯ウ云フ手當ヲヤレト云フコトヲ、一律ニ申上ゲルコトハ出來ナイト云フコトモ御分リデアリマセウ。

大體胃腸ハソナモノデアリマスガ、其外ニ此邊ニ肝臟トカ、或ハ又此邊ニ斯ウ云フ蠶豆ノヤウナ恰好ヲシタ腎臟……小便ノ出來ル所デアリマスガ……サウ云フモノガ附イテ居リマス。ソレカラ後ロノ方ニハ、牡ト牝ト違ヒマスガ、生殖器ガアリマス。牡デハ此先キノ方ニ睪丸トカ、陰莖ガ附イテ居

リマス。斯ウ云フ色々ナ器官ガアツテ、ソレニ依ツテ馬ハ、完全ニ生活ヲシテ居ルト云フヤウナ状態ニナルノデアリマス。以上大體內臟ヲ説明申上ゲマシテ、是カラ本文ノ寄生虫ノ御話ニ移リタイト思ヒマス。

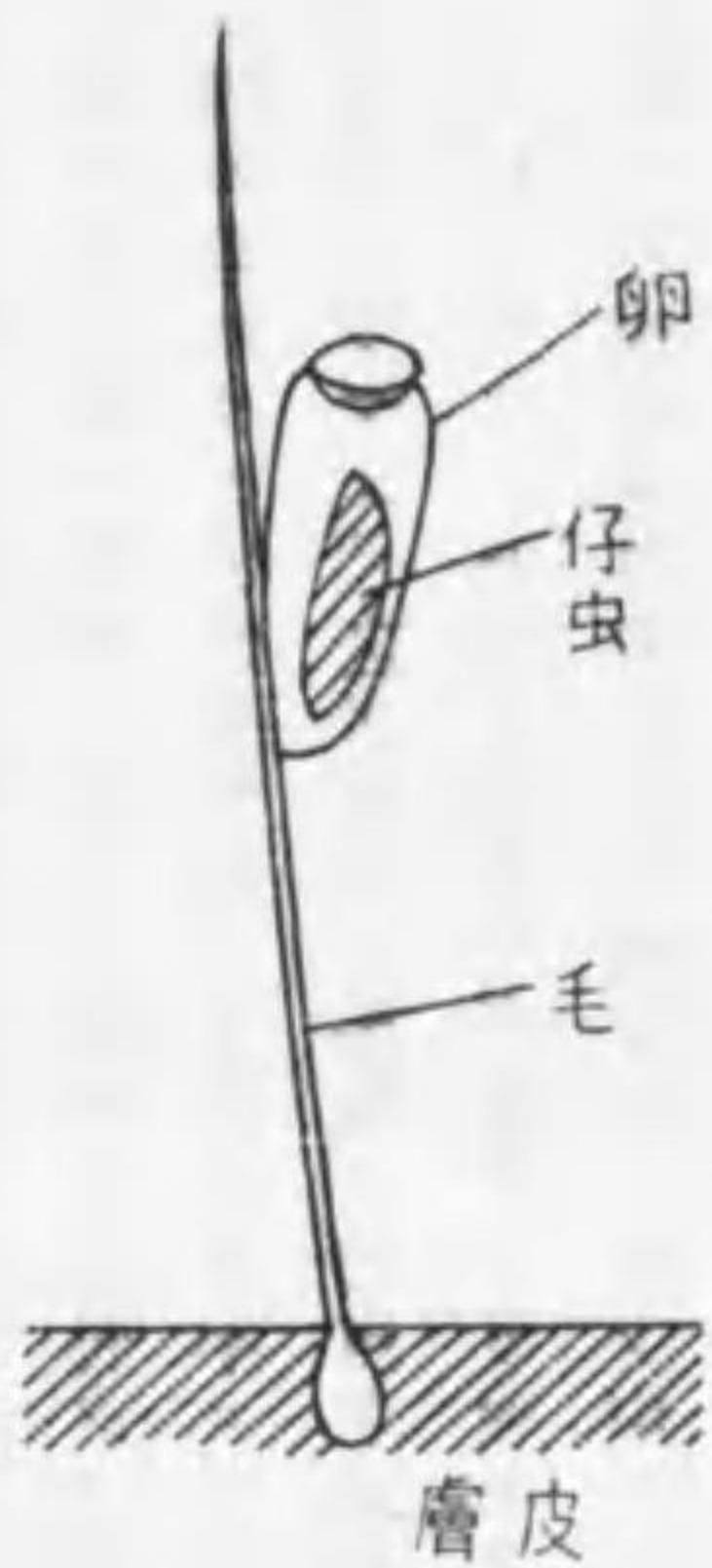
第一ニ、寄生虫トハ、ドウ云フモノデアルカト云フコトヲ申上ゲマスト、皆サンモ幼年時代ニ斯ウ云フヤウナ虫(標本ヲ示シ乍ラ)ヲ出シタコトハ、大抵御經驗ガアルカト思ヒマス。是ハ蛔虫デアリマス。大抵ハ便ノ中ニ出ルノデアリマスガ、ドウカスルト、口カラ吐クコトモアリマス。斯ウ云フモノガ我々ノ腸ノ中ニ居ル、コ、ニアリマス數々ノ標品ハ皆馬ノ寄生虫デアリマス。是ナンカハ大キイ方ノ寄生虫デアリマスガ、此處ニアリマスノハ、モツト小サナ虫デアリマス。之モ御承知デアリマセウガ、馬ノ眼球ノ中ニキラ／＼泳イデ居ル、長サ一寸位ナ虫デ、此爲メニ眼球ガ眞白ク濁ツテシマフト云フコトガ屢々アルノデアリマス。ソレラノモノガ、全部寄生虫ト云フモノデアリマス。詰リ身體ノ中ニ居ル所ノ虫、斯ウ云フ意味デアリマス。ソコデ馬ニ居ル寄生虫ニハ、ドンナモノガアルカト云フコトヲ申上ゲ、且又ドウ云フヤウナ害ヲスルカト云フコトヲ御話申上ゲタイト思ヒマス。

一、馬 蠅 幼 虫

馬産地方ニ於キマシテ、大抵御承知デモアリマセウガ、斯ウ云フヤウナ虫ガ腹ノ中ニ居ルノデアリマス。(標本ヲ示シ乍ラ)丁度蠶ノ蛹ノヤウナモノデアリマス。是ハ普通ノ蠅トハ違ヒマスガ、馬蠅ト

云フ蠅ノ幼虫デアリマス。是ガ馬ノ胃ノ中ニ寄生スルノデアリマス。胃ヲ切ツテ見マスト、斯ウ云フ虫ガ一杯クツ付イテ居ルコトガアリマス。是ハ大抵生産地方ニ於テハ、若イ馬ニ居ルノデアリマス。當歲、二歲、三歲位ナ馬ニハ、先ヅ是ガ居ナイモノハナイト云ツテモ宜イ位デアリマス。殊ニ北海道ノヤウナ所ニ於テハ、非常ニ多イノデアリマス。昔カラコノ馬蠅ニ馬蠅ト云フ名前ヲ使ツテ居リマスガ、蛇ハ「アブ」デスマノ蛇ト云フノハ、間違ツテ居ル名前デ、本當ハ馬ノ蠅デアリマス。蛇ト蠅ト間違ツテハイケナイ。ソレガドウ云フ關係カ、昔カラ蛇ト云フ字ヲ使ヒマスガ、本當ハ蠅デアリマス是ガ食ヒ付イタ所ニハ、胃ノ粘膜ニ小サナ孔ヲ明ケル。之ヲ胃潰瘍ト云ヒマスガ、人間ニモ可ナリ多イ病氣デアリマス。胃潰瘍ノ爲ニ血ヲ吐イタト云フヤウナ人ガ能クアリマス。餘リ酒ヲ飲ンダリ、暴飲暴食ヲナスツタリシマスト胃ノ中ガ爛レル、粘膜ガ爛レテ來ル。ソレデ潰瘍ニナツテ來ル。此馬蠅ノ場合ニハ、馬蠅ノ頭ニ丈夫ナ二本ノ鉤ガアツテ、ソレガ胃ノ粘膜ニ刺サツテタツ付イテ居ルノデ、ソコガ胃潰瘍ニナル。幸ヒ此馬蠅ノ幼虫ニヨル潰瘍ハ極ク輕ク來ルノデアリマシテ、血ヲ吐イタトカ嘔吐シタト云フヤウナ程度ニハナリマセスガ、輕度ノ胃潰瘍ノ原因ニナルノデアリマス。然ラバ何故ドウシテコンナ虫ガ胃ノ中ニ這入ツテ來ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト、コンナ大キナ虫ヲ馬ガ食ベル譯デハナイ。夏ノ間、丁度今頃即チ七月八月頃ガ一番多イノデアリマスガ、東京邊リニハ勿論ソノコトハアリマセスガ、牧場ナンカニ行ツテ行マスト、一種ノ馬蠅ト云フ昆虫ガ牧場ノ中ヲ飛ンデ

居ル。毛ノ長イ所ノ蠅デアリマス、赤イ色ヲ呈シマシタ蠅デアリマス。其蠅ガ馬ノ身體ノ周圍ヲブンブン飛ンデ歩ク。サウシテスツト馬ノ身體ニ寄ツテ來ルノデアリマス。又離レテ、又寄ツテ來ル。何回トナク繰返シテヤルノデアリマス。其蠅ガ馬ノ身體ニ寄ツテ來ルト云フノハ、馬ノ身體ノ皮膚ノ毛ニ卵ヲ産ミ付ケルノデアリマス。小サナ卵デアリマス。能ク北海道カラ來マシタ若馬ヲ見マスト、馬ノ脇腹或ハ前肢ノ前面、斯ウ云フ所ニアル毛ニ持ツテ行ツテ、小サナ白イ粟粒ノヤウナモノガ、タツ付テ居タノヲ能ク見ルノデアリマス。アレハ馬蠅ノ産付ケタ卵ノ遺物ガソコニ残ツテ居ルノデアリマス。是ハ放牧地ニ於テ常ニ見ル所デアリマス。即チ馬蠅ノ雌ガ飛ンデ來テ卵ヲ産付ケル。其産ミ付ケ



テ外ニ出ルノデアリマス。是ガ馬ノ皮膚ノ上ヲ伺ヒ廻ル。ソレデ馬ハ少シ變ナクスダツタイヤウナ感

ジガスルラシイノデアリマス。馬ハ何氣ナクソコヲ舐メルノデアリマス。コウイフ順序デ馬蠅ノ仔虫ガ馬ノ口ノ中ニ這入ツテ行ク。其時ハ極ク小サナモノデスガ、ソレヲ馬ガ嚙ミ込ムサウスルト其小サナ仔虫ハ胃ノ中ニ來テ、胃ノ粘膜ニクツ付クノデアリマス。ソレガ三月、四月、五月、六月ト云フヤウニ段々大キクナツテ來マス。丁度其標本ニアリマシヤウナ、恰モ蛹ノヤウナ恰好ヲシタモノニ發育スルノデアリマス。之ヲ稱シテ馬蠅ノ幼虫ト云ヒマス或ル本ニハ馬蛇虵ト云フ名前ヲ付ケテ居ルノガアリマスガ、ソレハ餘リ穩當ナ名前デアリマセヌ。ソレデ夏カラ秋ニカケテ胃ノ中ニ這入ツテソレカラ翌年ノ春或ハ五月カラ六月頃マデニ胃ノ中デ段々大キクナルノデアリマス。場合ニ依ツテハ、百二百、三百、五百ト云フヤウナ工合ニ一匹ノ馬ニクツ付クト云フコトモ決シテ珍ラシクハナイノデアリマス。コ、ニアル寫眞ハ滿洲デ取ツタモノデアリマスガ、滿洲デハ軍馬ニ馬蠅幼虫ガ非常ニ多數寄生サレマシテ、時々疝痛ヲ起シタリ便秘ヲ起シタリスルコトガアリマス。非常ニ面白イコトハ、此場合、大腸ノ末端即チ一番肛門ニ近間ノ所、……直腸デアリマスガ……此處ノ所ガブツト膨レテ居ルノデアリマス。

能ク馬ガ疝痛ヲヤツタリスルト、獸醫サンハ直グ裸ニナツテ手ニ油ヲ塗ツテ直腸検査ヲヤル。ズツト是マデ入レテヤル。腹ノ中ガドンナ工合ニ變化シテ居ルカ、サツキ申シマシタヤウニ腸ガ引繰返ツタ場合、ドノ邊デ腸ガ引繰返ツテ居ルカ、又腎臟ナンカ痛クナイカ觸ツテ見タリ、或ハ大動脈ノ脈ノ搏チ工合ガ違ヒヤシナイカ。何か此中ニ引掛ツテ居ヤシナイカト云フヤウナコトヲ見タリスルノデアリマスガ、色々ナ場合ニ、直腸検査ト云フモノハ、實際ニハ非常ニ重寶ナモノデアリマス。能ク御醫者サンニ直腸検査ノ話ヲスルト、非常ニ羨シガツテ居ル。人間デハ直腸検査ト云フコトハ出來ナイ、セイム指二本カ三本位シカ這入ラナイ。腕ヲ入レテ腹ノ中ノ變化ヲ見ルト云フヤウナコトハ、ドウシテモ出來ナイ。

話ガ横道ニハイツタガ此寫眞ノ馬ハ屢々疝痛ヲヤルノデ直腸検査ヲヤツテ見タ所ガ。直腸ノ中ガ非常ニザラ／＼シテ居ル。手ヲ入レテ見ルト、手ガ何ダカ擦レルヤウナ痛イヤウニザラ／＼スル。ソレカラ何ダラウト思ツテ見マスト馬蠅ノ幼虫ガ直腸ノ粘膜ニ一杯ニクツ付イテ居ルノデアリマシタ。馬蠅幼虫ハ原則トシテハ胃ノ中ニクツ付クモノデアリマスガ、或ル場合ニ直腸ノ中ニモ一杯ニ寄生スルコトガアリマス。又虫眼鏡デ見ルトヨク分リマスガ此幼虫ハ體ノ表面ニ小サナ刺ガ一杯ニアリマスカラ、直腸ニ手ヲ入レテ見ルト、ザラ／＼シテ擦レテ痛イヤウナ感ジガシタノデアリマス。馬モ粘膜ガ腫レ上ツテ居ルノデ當然痛イノデアリマス。便ハシタイノデアリマスガ、痛イ爲ニ怵エテ居ツテ、便ヲシナイノデアリマス。二日モ三日モ便ヲシナイカラ、糞詰リガ起ツテ來ル。ソレデ疝痛ヲ起シテ到頭死ンダノダサウデアリマス。此寫眞ハ解剖シテ直腸ヲ此邊カラ切ツテ、中カラ引ツ張り出シテ撒ツタノデアリマス。サウスルト斯ウ云フヤウナ工合ニ、一杯ニ直腸ノ粘膜ニ馬蠅幼虫ガクツ付イテ居ル

勿論胃ノ中ニモ澤山居ツタノデアリマス。到頭是ガ原因トナツテ死ンデシマツタノデアリマス。コンナ譯デアリマスカラ馬ノ幼虫ト云フモノハ、直腸ニモクツ付クシ、或ハ胃ニモクツ付クシ、或ハ十二指腸ニモ付ク。ドウカスルト咽喉ニモ付クト云フコトガ本ニモ書イテアリマス。斯ウ云フモノガ放牧ノ馬ニ特ニ多イコトハ注意スベキコトデアリマス。

ソレデ此馬蠅ノ幼虫ガ胃ヤ腸ニ寄生シタ場合ニドウシタラバ是ガ取レルカ、ドウ云フ方法デ驅除スルカト云フコトニナリマスガ、是ハ御醫者サンノヤルコトデ、アナタ方ハ御承知ナクトモ構ハナイノデアリマスガ、原則トシテ藥ヲ飲マセルノデアリマス。虫ガ取レルヤウナ藥ヲ飲マセル。サウ云フ藥ヲ稱シテ驅虫劑ト云ツテ居リマス。驅虫藥トモ云ヒマス。産馬地方ノ方ヤ或ハ軍馬補充部附近ニ居ラレマス方ハ、大抵馬蠅ノ驅虫劑ハドウ云フ風ニシテヤルモノダト云フコトハ、御承知デアルカモ知レマセヌ。二硫化炭素ト云フ非常ニ強イ藥デアリマス、人間ナンカ飲ンダラ飛ンデモナイコトニナル藥デアリマス。ソレヲ管ノ中ニ入レマシテ、飲マセルノデアリマス馬ニ藥ヲ飲マセル場合ニ、皆サン御承知ノ通り色々ナ飲マセル方法ガアリマス。最モ簡單ニヤリマスノハ、牛ノ角、或ハ竹筒ノ中ニ水藥ヲ入レテ口ヲ明ケテ飲マセル。馬ノ頭ヲ吊ルシテヤリマス。サウシマス、上手ナ人ハ巧ク其藥ヲ飲マセルコトガ出来マシマスガ下手ニヤリマス、私ナドガヤリマス、半分位ハコボシテ了フ。所ガ普通アナタ方ガ馬ニ飲マセル藥、例ヘバ芒硝トカ、「カル、ス」鹽ト云フヤウナ物ナラバ少シ位コボレテ

モ大シテ効キ目ニハ差ハナイノデアリマス。所ガ此驅虫劑ノヤウナモノニナリマス、少シ分量ヲ過シマスト中毒ヲ起ス。又反對ニ分量ガ少カツタ場合ニハ、殆ド効目ガナイノデアリマス。ソコガ普通藥ト異ツテ劇藥ノ難カシイ點デアリマス。ソレデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ藥ヲ飲マセルノニ、牛ノ角ヤ竹筒ニ入レテ飲マセルト云フコトハ、非常ニ危険デアリマス。且又不便デアリマス、ソレドウシテモ斯ウ云フモノハ完全ナ投藥器ヲ使用セネバナリマセヌ。投藥器ニモ色々ナモノガアリマシガ、一番便利ニ出来テ居リマシモノハ、盛岡高等農林學校ノ先生ノ小西要ト云フ方ガ考ヘマシタ所ノ小西式投藥器デアリマセウ。是ハ水藥ヲ飲マセル器械デアリマス。長イ護謨管ガアリマシテ、ソレヲ鼻ノ孔カラ入レテ咽喉ヲ通ツテ食道ノ中ニ入レテヤルノデアリマス。勿論枰場ノ中デヤレバ便利デアリマスソレヲ押ヘテ置イテ、此方ノ方ニハ護謨玉ガ付イテ居リマシテ「スプレー」ト申シマスガ「スプレー」ヲ握ルノデアリマス。サウスルト飲マセル藥ガ其壓力ニ依ツテ護謨管ヲ通ツテ食道ニ這入ツテ行クヤウナ工合ニ出来タモノデアリマシテ、一般ニモ廣ク使ハレテ居ル器械デアリマス。所ガ此護謨ハ二硫化炭素ト云フ藥ニ多少溶ケルノデアリマス。是ガ非常ニ不便デアリマス、サウ直ニハ溶ケマセヌガ長イ間ニハ幾分カ溶ケテ來ルノデアリマス。デアリマシカ、此藥ヲ飲マセテ居リマス、手ニ藥ガ付キマスガ、藥ガ付イタ儘護謨管ヲ握ツテ居リマス、護謨ガ少シ溶ケテ來テ、ヌラ／＼スル、粘リ氣ガ付イテ滑ツテシマフノデ、初ノ内ハ非常ニ工合ガ好イガ、何頭ニモ長クヤツテ居ル間ニ

ドウモ工合ガ悪クナル。ソレカラ中ニハ御承知ノ方モアリマセウガ、丸劑ト申シマシテ、大キナ玉ニ藥ヲ作りマス。丸劑或ハ丸劑、人間ノ丸劑デアリマスト小サナモノデアリマスガ、馬ニヤリマス場合ニハ、可ナリ大キナ丸劑ヲ作ルノデアリマス。或ハ丸劑ノ代リニ膠囊ト申シマシテ、膠デ出来タ袋ノヤウナモノデアリマス。此膠囊ノ中ニ藥ヲ入レマスト外ニ漏レマセヌカラ、相當刺戟ノ強イ藥デモ、苦イ藥デモ案外平氣デ飲ムコトガ出来ル。二硫化炭素ハ非常ニ刺戟スル藥デアリマスカラ、此藥ヲ飲マセル場合ニハ丸劑ニスルトカ、或ハ膠囊ノ中ニ入レテ、口ノ中ヲ刺戟ヲシナイヤウニグツト押シテヤルト云フヤウナ方法ヲ講ジテ居リマス。ソレニハ丸劑投與器ト云フモノガアリマス。二硫化炭素ハ非常ニ強イ藥デアリマシテ、人間ナンカ少シデモ之ヲ飲ミマスト中毒スルノデアリマス。馬ニ於テモ可ナリ中毒スルノデアリマス。能ク二硫化炭素ヲ飲マセタ後ニ、馬ガ暫クノ間暴レル丁度痛痛ノヤウニ七顛八倒ナ苦シミヲヤルト云フコトヲ、實見スルコトガアリマス。此爲ニ死ヌヤウナコトハ、殆ドアリマセヌガ、ヤルト相當馬ガ暴レルノデアリマス、陸軍ノ軍馬補充部ニ於テハ、毎年春一回……大抵四月頃ニヤルヤウデアリマスガ……必ズ此馬蠅ノ幼虫ヲ驅除スルニ二硫化炭素ヲドノ馬ニモ飲マセルノデアリマス。虫ガ居ヤウガ居マイガ、ソナコトハ問題ニシナイデ。年中行事トシテ一回ハ驅虫劑ヲヤルト云フ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス。之ヲ完全ニヤリマセヌト、馬蠅ノ幼虫ハ、スツカリ取レテシマフノデアリマス。所ガソレガ巧ク行ツタ場合ニハ、全部取レマセウガ、巧ク行キマスト、全部

取レナイ、半分シカ取レナイ、三分ノ一シカ取レナイト云フヤウナコトハ屢々我々ガ聞ク所デアリマス

馬蠅幼虫ノ話ハ此位ニシテ置キマスガ、要スルニ餘リヤカマシイコトヲ憶エテ戴ク必要モナイノデアリマスガ、兎ニ角斯ウ云フコトダケヲ憶エテ置イテ欲シイノデアリマス。牧場ニハ馬蠅ト云フ蠅ガ居ル。普通ノ蠅ト少シ違ツテ赤イ毛ノ長イ蠅デス。此蠅ガ馬ノ身體ノ周圍ヲ飛ンデ歩イテ夏ノ間ニ馬ノ被毛ニ卵ヲ産付ケル。ソレカラ躰ツタ所ノ小サナ仔虫ガ皮膚ノ上ヲ匍ツテ歩ク。ソレデ一種ノムツ／＼シタ感ヲ與ヘルモノデアリマスカラ、馬ガソコヲ舐メル。舐メタ際ニ其小サナ虫ガ口ノ中ニ這入ツテ、ソレカラ胃ノ中ニ行ツテ、胃ノ粘膜ニクツ付ク。是ハ夏ノ間、七月、八月、九月邊リニ起ル現象デアリマス。ソレガ胃ノ中ニクツ付イタナラバ、數ヶ月ノ間、或ハ約十ヶ月ノ間、翌年ノ五月カラ六月頃マデニ段々胃ノ中デ大キクナツテ行ク。初ハ小サイノデアアルガ、段々大キクナツテ行ク。其間ニ色々ナ害ヲ起ス、榮養ガ悪クナツテ來ル。瘡セテ來ル。場合ニ依ツテハ痛痛モ起ス。食慾モ阻害サレルト云フヤウナ譯デ、兎ニ角何カノ害ヲ起ス、デアリマスカラ、春先キ二月カラ四月マデノ間ニ、一回之ヲ驅虫スル道ヲ執ルト云フコトガ必要デアアル。ソレヲ驅虫セズニ放ツテ置キマスト五月カラ六月頃ニナリマシテ此虫ガ一番大キクナツテ自然ニ胃ノ粘膜カラ離レルノデアリマス。サウシテ馬糞ノ中ニ混ツテ出テ來ル。黒褐色ヲ呈シマシタ蠅ノ蛹ノヤウナモノデアリマス。是ヲたけのこむシト云ツ

テ居リマス。此たけのこむしハ馬蠅幼虫ノ一番大キクナツタ者デアリマス。糞ノ中ニ混ツテ出テ來ルモノハ、死ンデ居ルノデナイ。生キテ居ルノデアリマス。是ガ自然ニ少シ動キマシテ寢薬ノ下トカ土ノ中邊リニ隠レル。昆虫類ノ特徴トシマシテ、卵カラ幼虫ニナツテ、蛹ニナツテ、ソレカラ暫クスルト成虫ニナル。土ノ中ニモグツテ蛹トナリソレカラ羽ノ生エタ成虫ガ生レル譯デアリマス。ソレガ本當ノ馬蠅デアリマス。コンナヤウナ順序ヲ繰返シテ居ル。是ガ牧場附近ニ於テ特ニ若イ馬ニ多イ所ノ馬蠅ノ幼虫病ト云フ病氣ノ原因デアリマス。

二、蟻 虫

次ニハ蟻虫ノ御話ヲシマス。馬ガ下痢シタ時ナドニ糞ヲ注意シテ見テ居リマス。斯ウ云フヤウナ(標本ヲ示シ乍ラ)白イ、普通三寸位ノ虫ガ混ジテ居ルコトガアリマス。先キノ方ガトンガツテズツト細クナツテ居ル。所ニ依ツテ色々ナ名稱ガ付ケテアリマスガ、本當ノ名前ハ蟻虫ト云フ虫デアリマス。是ハ人間ニモ居リマス。人間ニハ子供ニ特ニ此蟻虫ガ多イノデアリマス、コンナニ大キイモノヂヤアリマセス、極ク小サナ三分カラセイ、五分位ノ虫デアリマス。子供ガ能クオ尻ガ痒イト訴ヘル。併シ御尻ノ痒イノガ皆蟻虫デアルカト云フト、サウトハ限リマセン。然ラバ蟻虫ハ何處ニ居ルカト云フト、肛門ノ前ノ直腸ノ中ニ寄生シテ居リマス。或ハ結腸ニモ居リマス。一體此虫ハ餘リ害ノナイ虫デアリマス。親ニナツタ虫ハ馬糞ヲ食ベテ居ル。デスカラ、此蟻虫ヲ採集シマシテ斯ウ云フ風ニ「アル

コール」ノ中ニ入レテ置イタ標本ヲ、汚レタ「アルコール」ヲ換ヘヨウトシテ、引ツ張り出スト、一年位經ツテ居テモ馬糞ノ臭ガスルノデアリマス。即チ自分ノ生活シテ居ル場所ガ斯ウ云フ場所デアリマスカラ虫自體ガイツモ馬糞ヲ食ベテ居リ、何レニシテモ自體ノ内外共馬糞ナンデアリマスカラ、ドウシテモ馬糞ノ臭ガスルト云フコトハ當然デアリマス。蟻虫ハオカシナ習性ヲ持ツテ居ル虫デアリマシテ、外ノ虫ニハコンナ習性ヲ持ツテ居ル者ハアリマセスガ、雌虫ガ卵ヲ産ム時ハ、腸ノ中デハ殆ド産マナイノデアリマス。産ム時ニハ肛門ノ外ニ出テ來ルノデアリマス。肛門ノ外ニ出テ來テ、其周圍ノ皮膚ヲ匂ヒ廻リ、ソコニ卵ヲ産付ケルノデアリマス。蟻虫ノ寄生シテ居ル馬デハ肛門部ニヨク痒覺ヲ訴ヘルノデアリマス。人間ノ子供ノ場合モ同ジデスガ馬デモ矢張り多少其邊ガムヅ、スルラシイノデアリマス。デアリマスカラ、斯ウ云フ馬ハ、オ尻ヲ厩舎ノ壁ナドニ擦リ付ケル。デスカラ、蟻虫ノ澤山居ル馬ヲ見マス。大抵尻尾ノ付根ノ所尾根ノ所、ガ擦レタ爲ニ毛ガ切レテ居ル。サウ云フ毛ノ擦レテ居ルヤウナ馬ノ尻尾ヲグツト上ノ方ニ上ゲテ、肛門ノ所ヲ見マス。丁度肛門ノ下ノ所ニ、二分カ三分位ニ白イヤウナ黄色イヤウナ、何ダカ粘液ノヤウナモノガクツツ付テ居ルコトヲ屢々實見スルノデアリマス。黄白色ノ粘液様ノ痂皮ノヤウナモノガ、クツツ付イテ居リマス。其モノヲ取ツテ顕微鏡デ見マス。其殆ド全部ガ蟻虫ノ卵デアリマス。何萬ト云フ多數ノ蟻虫ノ卵ガクツツ付イテ居リマス。ソレデ白ク見エルノデアリマス。

能ク人間ノ御醫者サンノ話ヲ聞キマスト、或ル家庭ニ於テ蟻虫ヲ宿シタ一人ノ小供ガ居リマスト、ナカノ、癒リ難クテ困ルラシイ。五人兄弟ガ居ツテ其内ノ一人ガ蟻虫ニ罹リマスト、外ノ兄弟ニモ皆蟻虫ガ付ク。甚ダシイノハ、子供サンノ蟻虫ガ、御母サンヤ或ハ御父サンノ口ニ這入ツテ來ルヤウナコトガアル。一家族蟻虫患者デゴザイト云フヤウナ家庭ガ、可ナリアルサウデアリマス。是ハ非常ニ厄介ナモノデアリマシテ、蟻虫ガ卵ヲ産ムノハ、今云ツタヤウニ肛門ノ外ニ出テ來テ産ム。ソレデ晝ノ間ハサウデモアリマセスガ、夜床ノ中ニ這入ツテ身體ガ温ツテ來ルト、良イ氣持ニナツテ肛門カラ匂ヒ出シテ來テブラリノ「銀ブラ」ヲヤル。「銀ブラ」ヲヤツテ卵ヲ産付ケルラシイ。デスカラ、何トナク其邊ガ痒イ。其時ニ子供ノコトデスカラオ尻ニ觸ツテ汚ナイト云フヤウナコトヲ考ヘナイ。寢テ居ル間ニ何ダカオ尻ガ痒クテ仕方ガナイカラ搔ク。其次ノ朝其ノ手デ御菓子ヲネダツテ其儘食ベル。サウスルト蟻虫ノ卵ガクツ付イテ居ルノヲ食ベル。デスカラ卵ガ腹ノ中ニ這人ツテ行ク。斯ウ云フ風ニ何回モ繰返シテ行ク。ツマリ自己傳染ヲヤルノデアリマス。ソレデ蟻虫ハ取難イト云ハレルノデアリマス。此虫ハ餘リ大シク害モナイモノデスカラ、治療モ等閑ニナリマスガ、治療シマシテモ、ナカノ取難イ厄介ナ虫デアリマス。馬ハ人間ト違ツテ自分ノ手デオ尻ヲ搔クト云フコトハアリマセヌカラ、自分ノ手カラウツルト云フコトハアリマセヌガ、此處ニクツ付イテ居ツタ卵ガ、乾イテ寢薬ノ上ニ落ちマス。其薬ヲ知ラズニ馬ガ食ベルト云フヤウナコトニ依ツテ、矢張り自己傳染ヲヤツテ居リマ

ス。女ノ子ナドガ此蟻虫ノ爲ニ、時々厄介ナ癖ヲ覺エルコトガアルト云フコトモ聞ク話デス。オ尻カラ出テ銀ブラヲヤルノデアリマスガ、其際ニ卵ヲ産ンデ肛門ニ戻ツテ來ル。元ノ古巢ニ歸ルノデアリマス。所ガ女ノ子ナドデハ肛門ト生殖器ノ間ノ會陰部ガ極メテ短イ、ソレデドウカスルトオ尻ノ方ニ這入ルノヲ、生殖器ノ方ニ迷入スルコトガ屢々アルラシイ。此方ニ這入リマスト、生殖器ノ方ガムツノスルカラ、自然生殖器ヲ外カラ自分デ撫デ廻ストカドウスルト云フ爲ニ、時々外陰部ノ病氣ヲ起サセルト云フコトデアリマス。コンナコトガ、馬ニ於テモ全然ナイトハ限ラナイノデアリマス。詰リ肛門ノ方ニ這入ラナイデ、陰門ノ方ニ這入ツテ來ル。陰門ヲ刺戟シマシテ、陰門ノ炎症ヲ起シテ、病氣ヲ起シタト云フヤウナコトガ、全然ナイトハ限ラナイノデアリマス。

併シ蟻虫ノ少數ガ馬ニ寄生シテ居ツタカラト云ツテ、多少下痢スル位ナコトハアルヤウデアリマスガ、血ヲ吸フ譯デモナシ、或ハ榮養不良ニナル譯デモナシ、大シク害ハナイノデアリマス、澤山ニ寄生シマスト今申シマシタヤウニオ尻ヲ擦リ付ケタリ、或ハ稀ニ輕イ疝痛ノ原因ナンカニモナル場合モ絶無トハ限リマセヌ

三、蛔 虫

次ハ蛔虫デアリマス。此蛔虫ノコトハ、大抵皆サンモ御承知デアラウト思ヒマスガ、人間ニモ可ナリ多ク寄生スル虫デアリマス、ドウ云フ所ニ寄生スルカト申シマスト、是ハ小腸デアリマス。大腸ニ

ハ居ナイノデアリマシテ、小腸ノ方ニ居ル虫デアリマス。此標本ヲゴ覽ニナレバ分ルヤウニ太イノト細イノト二種類アリマスガ、太イ方ガ雌デアリマス。細イ方ガ雄デアリマス。一體動物ガ下等ニナリマスト人間ヤ高等動物ト違フ點ハ、雌ノ方ガ雄ヨリモ總テ大キイ。雄ノ方ガ小サイト云フノガ原則デアリマス。御承知デモアリアマセウガ、蜜蜂トカ白蟻ト云フ昆虫類ニナリマスト雌ノ方ガ非常ニ大キイノデアリマシテ、女王ト云フ名前ヲ付ケテ居ル位デアリマス。兎ニ角女王ト云フモノハ非常ニ大キイ。何故女ノ方ガソシクニ大キイカト云フト、何ト云ツテモ子孫ノ繁榮、自分ノ子孫ヲ繁榮スル、盛ニスルト云フコトガ、主ナル目的デアリマス。人間ナドニナリマスト、勿論子孫ノ繁榮ト云フコトモ非常ニ重要ナコトデアリマスガ、其外ニモ色々重要ナ作用ガアル。頭腦モ働カセナクチャイカス、「オリンピツク」ノ競技ニモ行カナクチャイカスト云フヤウナ譯デ、色々ナ重要機關ガアリマス。所ガ斯ウ云フ下等ナ寄生虫ニナリマスト、兎ニ角此虫ガ澤山ナ卵ト云フモノヲ産マナケレバナラナイ。入念ニ一匹ノ蛔虫ガ、ドレダケノ卵ヲ一生ノ内ニ産ムデアラウカト云フコトヲ數ヘタ學者モアリマスガ、一匹ノ虫ガ何十萬或ハ何百萬ト云フ程ノ卵ヲ産付ケルノデアリマス、所ガ其産付ケタ卵ノ中ドレ丈ケガ成虫ニ發育スルノカト申シマス、是ハ寄生々活ヲ營ンデ居ルモノ、特長ト致シマシテ、其内ノ何分ノ一或ハ何百分ノ一、何千分ノ一、何萬分ノ一ガ、漸ク成虫ニナリ得ルト云フ位ナモノデアリマス。何故カト申シマス、産ミマシタ卵ガ糞ニ混ジテ排泄サレ其儘死ンデシマフモノガ大部分デアリ

マス。其内ノホンノ一部分ガ又馬ノ身體ノ中ニ這入ツテ、發育スルノデアリマス。馬ノ身體ノ中ニ這入ラナケレバ、絶對ニ發育スルコトハ出来ナイデアリマスカラ、非常ニ多數ノ卵ヲ産ミマシテモ、其内ノホンノ一部分或ル「チャンス」ニ馬ノ身體ノ中デ發育スルニ過ギナイノデアリマス。從ツテ非常ニ澤山ナ卵ヲ産マナケレバナラナイ。澤山ナ卵ヲ産ムニハ、生殖器ガ非常ニ大キク發育シテ居ナケレバナラナイ。是ハ高等動物ニ比較スルト、マルデ問題ニナラナイノデアリマス。馬ノ生殖器ニシマシテモ此處ニ精囊ト云フ斯ウ云フ袋ガアリマシテ、此先キニ睪丸ガアリ、或ハ陰莖ト云フモノガアルノデアリマス。(模型ヲ示シ乍ラ)兎ニ角高等動物ノ生殖器ト云フモノハ、僅ニ此部分ニ存在シテ居ルニ過ギナイ。胃デアルトカ、腸デアルトカ、或ハ肺臟ト云フヤウナモノニ比較スルト、ズツト小サナモノデアリマス。所ガ寄生動物ニナルト、只子供ヲ産ンデ、子孫ノ繁榮ト云フコトノミガ、殆ド彼等ノ目的ノ全部ト云ツテモ宜イ位デアリマスカラシテ、生殖器ガ非常ニ大キイノデアリマス。而モ雌虫デハ卵ヲ造ル所ノ卵巢、或ハ卵ヲ貯ヘテ居ル所ノ子宮ナドガ、非常ニ大キナモノデアリマス。デアリマスカラ、雄ニ比較シテ、雌ガ大キイト云フヤウナ状態ニナリマス。

此寫眞ハ馬ノ蛔虫ノ寫眞デアリマスガ、大キイ方ガ雌、小サイノガ雄デアリマス。女尊男卑ト云フヤウナ状態デアリマス。蚤ノ夫妻ト昔カラ云ヒマスガ、親父サンガ小サクテ、御神サンノ方ガ大キイノヲ蚤ノ夫婦ト云ヒマスガ、詰リ蚤ト云フモノモ昆虫類デアリマス爲ニ、雌ガ大キクテ、雄ガ小サイ

ソレト同ジコトデアリマス。蛔虫デモ詰リ大キイ方ガ雌デアリマシテ、小サイ方ガ雄デアリマス。此寫眞ハ雌ノ蛔回ヲトリ出シテ腹ヲ切り開イテ見タノデアリマスガ、糸ノヤウナフヤ／＼シタ白イモノガ虫ノ身體ノ中ニ殆ド一杯這入ツテ居ル。全部ガ生殖器デアリマス。細イ方ガ卵巢デ、太イ方ガ子宮デアリマス。人間トカ馬ナンカノ卵巢ト申シマス、二ツ圓イモノガクツ付イテ居ル。所ガ下等ナ動物デハ圓クハナイ、細長イ糸ノヤウナモノデアリマス。二本ノ卵巢ガアリマス。ソコカラ卵ガド／＼出テ來ル。卵巢デ出來上ツタ卵ガ段々後ロノ方ノ子宮ノ中ニ這入ル。此邊ノ状態ハ人間ヤ馬ト同ジデアリマス。其際ニ雄ト雌トガ交接ヲ營ミマシテ、雄ノ精虫ガ雌ノ子宮ノ中ニ這入り込ムノデアリマス。ソコニ初メテ受胎ト云フ現象ガ起ツテ來ルノデアリマス。ドノ動物デモ同ジデアリマスガ、雌ダケデハドウシテモ蕃殖ト云フコトハ出來ナイ。雄ガナケレバ蕃殖ハ出來ナイ。ソレハ人間ダツテ同ジデ、女バカリガ居ツテ子供ヲ産ンダナド云フ話ハアリマセヌ。所ガ極ク下等ナ動物ニナリマス。雌ダケ居ツテ、雄ガナクテ、子供ヲ産ムト云フモノガアリマス。サウ云フノハ別デアリマスガ、此蛔虫ハ雌ダケデハ、完成シタ卵ハ産メナイノデアリマス。受胎シタ卵ヲ産メナイノデアリマス。所ガ實際雌ダケ居ツタ場合ハドウナルカ、人間デモ同様デアリマス。若シモ女ガ居ツテ、男ガ居ナカッタナラバ、ドウナルカ、實際卵ヲ出サナイモノデセウカ。ソレハ卵ヲ産ムノデアリマス。蛔虫デモ同ジデアリマシテ雌ダケ居ツテ雄ガ居ナイ場合ニハ、卵ハ産出サレルノデアリマス。此寫眞ノ右ノ方ノ圖ハ

卵巢デ出來タ卵ニ雄ノ精虫ガ掛ツテ完全ニナツタ所ノ卵デアリマス。勿論顯微鏡デ見タ繪デアリマス所ガ左ノ方ノハ矢張り蛔虫ノ卵デアリマスガ、是ハ非常ニ形モ違ヒ、大キサモ違フノデアリマス。是ハ雌ダケ居ツテ雄ガ居ナイ時ノ卵デアリマス。馬ノ糞ヲ顯微鏡デ見マス、斯ウ云フヤウナ卵ガ時々出テ來ルノデアリマス。ソレハ馬ノ腸ノ中ニ雌ダケガ居ツテ雄ガ居ナイ場合ノ卵デアリマス。勿論此卵ハ發育スルコトハ出來ナイ。蛔虫ト云フ虫ハ、コンナヤウナ大キナ虫デアリマスカラ、ドウカシマスト一匹ダケ雌ガ寄生シテ居ツタリ、或ハ二匹位シカ居ナイト云フコトモ、全然ナイトハ限ラナイ、サウ云フ馬ノ便ヲ採ツテ顯微鏡デ見マス、斯ウ云フ風ナ受精シナイ所ノ卵ガ見エルコトガアリマス。コンナ譯デ、下等動物ノ生殖器ハ非常ニ大キイ。ソレカラ話ノ序デアリマスカラ申上ゲテ置キマスガ雄ノ蛔虫ノ體ヲ切開イテ見マス。此中ニハ墨丸ト云フモノガアリマス。墨丸ト云フ字ハ、丸ト云フ字ガ付イテ居リマスカラ、丸イノデアリマス。人間ノ墨丸ハ丸イ。牛ノ墨丸モ、馬ノ墨丸モ、楕圓形ノモノモアリマスガ、總體ニ丸イ。所ガ斯ウ云フ下等ナ動物ニナリマス、決シテ丸イモノデアリマセヌ。卵巢ト同ジヤウニ細長イ糸ノヤウナモノデアリマス。兔ニ角此蛔虫ハ、澤山ナ卵ヲ産ムムガ爲ニ生殖器ガ非常ニ大キイ。一匹ノ虫カラ一生ノ間ニ何億ト云フ卵ヲ産付ケル。其卵ガ小腸カラ大腸ヲ過ギテ最後ニハ糞ニ混ツテ外界ニ出ルノデアリマス。其出タ卵ガ蛔虫感染ノ原因トナルノデアリマス。即チ馬ノ子供ニ蛔虫ガ湧ク源トナルノデアリマス。然ラバ此蛔虫ノ卵ガ、ドウ云フ方法デ馬ノ身

體ニ這入ルカト云フコトヲ御話申上ゲマス

蛔虫ノ卵ト云フモノハ、特殊ナ構造ヲ持つテ居リマシテ、何か食物ニクツ付テ、ソレデロノ中カラ這入ルノデアリマス。馬ニ食ハレルノデアリマス。其際ニ外ノ寄生虫デアリマスト、例ヘバ人間ニ付ク十二指腸虫、或ハ後デ申上ゲマスガ、馬ノ圓虫ト云フ虫ガアリマス。サウ云フ虫ノ卵デアリマスト體外ニ排泄サレテカラ暫ク經チマスト、卵ノ中ニ斯ウ云フ風ニ子供ガ出來ルノデアリマス（圖解シ乍ラ）サウシマスト、此子供ガ卵ノ殻ヲ破リマシテ、外ニ出マス。小サナ勿論顯微鏡デ見ルヤウナ仔虫デアリマスガ、外ニ出テシマツテ、水ノ間ヲ泳イダリ、或ハ牧場ノ草ノ根ノ間等デ生存シテ居リマスドウカシマスト、其微細ナ幼虫ガ自分カラシテ、人間ノ皮膚ナンカヲ通シテ……十二指腸虫ノ場合ハサウデスガ……中ニ這入ツテ行クト云フ厄介ナモノモアリマス。日本デハ御承知ノ通り農家デ肥料トシ人糞肥料ヲ使フ。歐羅巴邊リニハ見ラレナイ所ノ現象デアリマス。其肥料ノ中ニ十二指腸虫ノ仔虫ガ澤山ニ混入シテ居ル、ツマリ人糞ヲ肥料ニ使用シタ所ノ畑ノ中ニ澤山居ル。茄子ノ根元デアルトカ或ハ胡瓜ノ根元デアルトカ、土ノ中ニ居ルノデアリマス。ソコニ持つテ行ツテ農夫ガ裸足デ畑ノ中ニ這入ル。サウスルト畑ノ土壤ニ生存シテ居ル所ノ十二指腸虫ノ仔虫ガ人間ノ足ノ皮膚カラ這入り込ムノデアリマス。澤山ナ虫ガ一度ニ皮膚ノ中ニ這入ツテ來ル場合ニハ「カブレ」即チ「肥シカブレ」ニ罹ルコトガアルノデアリマス。皮膚ヲ通ツテ、刺リ込ンデ行クノデアリマス。コレハ仔虫ノ刺戟ニヨ

リマシテ一種ノ皮膚病ヲ起スノデアリマス。所ガ此蛔虫デハ、卵ノ中ニ仔虫ガ出來マスガ、殻ヲ破ツテ外ニ出ルコトハナイノデアリマス。イツマデモ殻ノ中ニ這入ツテ居ルノデアリマス。デスカラ、蛔虫ノ仔虫ガ馬ノ身體ノ中ニ這入ルニハ、皮膚カラ這入ル譯ニハイカナイ。否應ナシニ、口カラ何かニクツ付イテ、食物ト一緒ニ這入ルヨリ外ニ道ガナイノデアリマス。デスカラ、蛔虫ノ卵ヲ顯微鏡デ見マスト外ノ方ニネバシタ膠ノ膜ノヤウナモノガアリマシテ、是ニヨツテ草ナドニクツ付クノデアリマス。草ニクツ付イタ卵ヲ馬ガ知ラズニ食ベル。人間デモサウデアリマシテ、例ヘバ野菜ナンカニクツ付イテ居ル、其卵ヲ知ラズニ食ベテ、人間ノ身體ノ中ニ蛔虫ガ出來ル。斯ウ云フ状態ニナリマス。此處デ是非一言申上ゲテ置キタイノハ、此蛔虫ト云フモノハ、小腸ノ中ニ寄生シテ居ルノデアリマス。ソレデ卵ガ口カラ這入りマシテ、咽喉ヲ通ツテ食道カラズツト胃ノ中ニ來ル、ソレガ十二指腸ヲ通ツテ、小腸ノ中ニ這入ツテ來ルノデアリマス。卵ノ中ニ居ル仔虫ガ、小腸ニ來テ發育スルノデアリマス。所ガ蛔虫デ特ニ面白イコトハ、小腸デ卵カラ孵化シタ仔虫ガ其マ、小腸デ親ニ發育スル能力ヲ持つテ居ナイノデアリマス。發育スル性能ガナイノデアリマス。必ズ一回ハ肺臟ノ中ニ來ナケレバイケナイ。肺臟ノ中ヲ一度通ラナケレバ、親虫ニ發育スルコトガ出來ナイノデアリマス。必ズ一度ハ肺臟ノ中ニ來テ、ソレカラ氣管ヲ通ツテ咽喉ノ方ニヤツテ來テ、再ビ食道ヲ通ツテ、胃ニ這入り、小腸ニ這入ツテ、ソコデ初メテ親虫ニ發育スル。斯ウ云フヤウナ迂遠ナ道ヲ通ツテ來ルノデアリマス。何

故斯ウ云フヤウナコトヲヤルカト云フコトハ、蛔虫ニ聞イテ見ナイト分リマセヌケレドモ、色々人ガ考ヘテ居ルノデアリマス。理窟ヲ色々付ケテ居リマスガ、私ハ學校ノ講義中ニ學生ナンカニ説明スルノニ斯ウ云フコトヲ云ツテ居リマス、講談本ナンカニヨクアルヤウニ、昔ハ武者修行ト云フモノガアツタ。偉イ武士ニナルニハ、日本六十餘州ヲグル／＼廻ツテ歩ク。彼處ノ道場ヲ破リ、此處ノ道場デモマレ初メテ一カドノ武士ニナツタ。劍道ノ達人ニナツタト云フヤウナコトガアリマス。宮本武藏ニシマシテモ、或ハ荒木又右衛門ニシマシテモ、ア、云フ連中ハ各道場ヲ破ツテ歩イテ、初メテ偉イ日本一ノ劍士ニナツテ居ル。アレト同ジヤウニ、蛔虫モ、馬ノ身體ノ中ヲグルグル廻ツテ、少クトモ肺臟ノ中ニ行ツテ天下ノ道場ヲ破ツタモノデナケレバ、ドウシテモ親虫ニナルコトハ出來ナイト云フヤウニ説明スレバ、非常ニ簡單デヤナイカ。サウ云フ説明ガ適當デアルカ、不適當デアルカ知リマセヌガ、マアソナヤウニ考ヘルノガヨイト思ヒマス。茲ニ面白イ問題ガ起ツテ來ルノデアリマス。然ラバ此肺臟ノ中ヲ通ツタ場合ニ、勿論眼ニ見エナイ小サナ仔虫デアリマスガ、肺臟ガ病氣ニナルカナラナイカト云フ問題デアリマス。斯ウ云フコトハ實際問題ヨリモ研究的ニヤルノデアリマスガ、仲々物好キナ學者ガアリマシテ、色々實驗ヲヤツタ人ガアリマス。例ヘバ現在東京デ開業シテ居リマス或ル御醫者サンデアリマスガ、其人ガ斯ウ云フ研究ヲヤツタノデアリマス。豚ノ蛔虫ノ卵ヲ三千箇モ自分ノ弟サンニ食ハセタノデアリマス。其際ニ肺臟ヲ通ルカ通ラナイカト云フ試験デアリマス。兎ヤ鼠デ

ヤルト通ルノデアリマスガ、果シテ人間デモ同ジヤウニ肺臟ニ來ルカ來ナイカト云フ試験ヲシタノデアリマス。サウシマスト、暫ク經チマシテカラ熱ガ出テ來マシテ、其人ガ輕イ肺炎ノ症狀ヲ呈シタノデアリマス。ソレカラ今度ハ自分デヤツテ見ヨウト云フ考ヲ起シテ見タノデアリマス。ソレデ先キニハ豚ノ蛔虫ノ卵ヲ食ハセタノデアアルガ、今度ハ人間ノ蛔虫ノ卵ヲ自分ガ約二萬箇……ドウシテ數エタカ知リマセヌガ……蛔虫ノ卵ヲ食ツタノデアリマス。其後規則正シク體溫ヲ取ルトカ、熱ヲ測ルトカ呼吸ヲ測ル、脈ヲ見ル、痰ヲシテ、痰ノ中ニ蛔虫ノ仔虫ガ居ルカ居ナイカトカ、色々調べタノデアリマス。處ガ或ル時期經チマスト、熱ガドン／＼高クナツテ來マシテ、四十度以上ニモ達シ人事不省ニ陥ツテシマツタノデアリマス。其間何ニモ分ラナカツタノデアリマス。ソレカラ暫ク經チマスト熱ガ下リ掛ツテ、元ノ状態ニ回復シタ。斯ウ云フヤウナ實驗ハ、人間ノ身體ヲ試驗動物ニ使ツテヤツタモノデアリマスカラ、非常ニ貴重ナ實驗デアリマス。殊ニコンナ實驗ハ日本人デナイト巧クヤリ得ナイラシイノデアリマス。流石其點ニ於テハ日本人ハ偉イ。外國ノ本ナンカヲ見マスト、此實驗ヲ評シテ非常ニ勇敢ナ實驗デアアル、極メテ尊イ實驗デアルト云フヤウナコトヲ褒メテ居ルヤウデアリマス。ソナナ譯デ多數ノ蛔虫ノ子供ガ、肺臟ノ中ニ一時ニ來マスト、肺炎ヲ起ス。之ニ「蛔虫性肺炎」ト云フ名稱ヲ付ケテ居リマス。腸ノ中ニ寄生スル虫ガ、肺臟ニ行ツテ、肺炎ヲ起スト云フノハ、チョット不思議ナヤウニ考ヘルノデアリマスガ、コンナヤウナコトガ、實際ニアリ得ルノデアリマス。

私ハ馬ニ付テ、斯ウ云フヤウナ實例ヲ見タコトガアリマス。餘程前ノ話デアリマスケレドモ、岩手縣ノ或ル地方デ、馬ガ生レマシテ、數週間位經チマシタ者ニ、ドウモ變ナ病氣ガアル。腰ガ弱クナルヤウナ病氣ガアル。其原因ガ能ク分ラナカッタノデアリマスガ、ソレカラ段々診察シ、且又解剖シテ見マスト、蛔虫ノ仔虫ガ肺ノ中ニ這入ツタ爲ニ起ル所ノ一ツノ呼吸困難、肺炎ノヤウナ症狀ト蛔虫ノ毒ニヨル神經症狀デアツタノデアリマス。デスカラ、實際馬ニ携ルアナタ方トシマシテハ、殊ニ若馬ニ關係スルアナタ方ハ、蛔虫ト云フコトニ付テ、餘程注意ヲ拂フ必要ガアリマス。

此蛔虫ト云フ虫ハ、子供ノ時ハ非常ニ多イノデアリマス。此頃デハ小學生ノ糞便検査ヲ實施シテ居リマス。年ニ一回或ハ二回位兒童ノ便ヲ採リマシテ、其中ニ寄生虫ガ居ルカ、居ナイカト云フコトヲ検査シテ居リマス、能ク蛤ノ殻ナドヲ渡シマシテ、之ニ親指ノ頭位ノ糞塊ヲ取ツテ寄越シナサイト云フ。サウスルト御醫者サンガソレヲ調べテ、中ニ虫ノ卵ガ居ルカ居ナイカ、十二指腸虫ガ居ナイカ、蛔虫ガ居ナイカト云フコトヲ調べマス。アノ結果ヲ見マスト、小學校ノ兒童ハ、蛔虫ノ寄生率ガ非常ニ高イノデアリマス。場合ニ依ツテハ半分以上、或ル地方ニ於テハ、百人ノ内六十人、七十人モ蛔虫ノ寄生スル地方モアリマス。都會地ハ少イノデアリマスガ、農村ニ行クニ從ツテ、蛔虫ノ寄生率ハ多クナリマス。所ガ諸君ノ御年配ニナリ、更ニモツト進ンデ我々ノ年配ニナツテ來ルト、殆ド蛔虫ハ多クナリマス。絶對ニ居ナイトハ限リマセヌガ、極ク少クナツテ來ル。何故子供ノ時ニ蛔虫ニ罹ルカ、

年ヲ取ツテ來ルト蛔虫ニ罹ラナイカト云フヤウナコトニ付テ、澤山ノ研究ガアリマスガ、面倒ナ問題ニナリマスノデ省略致シマス。兎ニ角人間デモ馬デモ幼齡期ニ多ク壯老年期ニ達シマスルト少クナルト云フコトハ御記憶願ヒタイノデアリマス。

所ガ此蛔虫ガ、全國到ル所ニ平等ニ居ルモノカ、居ナイモノカト云フコトハ、調べテ見ナイト分リマセヌ。先年私ハ研究ノ爲ニ約一ヶ年ニ亘ツテ馬ノ蛔虫ガドノ位居ルカト云フコトヲ調べテ見タコトガアリマス。私ノ郷里ガ東北デアリマシテ、幼駒ガ幾ラモ居リマスカラ、蛔虫ガ非常ニ多イデアラウト考ヘマシテ、調査シタノデアリマシタガ、驚クベキコトニハ、非常ニ少カッタノデアリマス。即チ五六十頭ノ幼駒ノ糞ヲ検査シマシタガ、蛔虫ノ寄生率ハ十分ノ一、一割モ居ナイ位ニ少カッタノデアリマス。所ガ關東地方ノ牧場ニ就テ見マスト、當歲、二歳、三歳位ノ馬ニハ非常ニ蛔虫ノ率ガ多イノデアリマス。或ル場合ニハ百「パーセント」モ居ル。百頭調べテ見ルト、百頭ト云フヤウナ所モ珍ラシクハナイノデアリマス。デアリマスカラ、ドウシテモ斯ウ云フ虫ハ、寒イ方ノ場所ヨリハ、温イ方ノ馬ガ寄生率ガ高イヤウナ感じガスルノデアリマス。併ナガラ北海道ニモ決シテ蛔虫ハナイトハ限リマセヌ、現ニ根室カラ來マシタ馬ニ可ナリ蛔虫ノ寄生ガアツタト云フコトモ知ツテ居リマスカラ、必シモサウハ云ヘナイノデアリマス。

次ニ此蛔虫ト云フモノガ寄生シタ場合ニ、ドウ云フ害ヲスルカト云フコトヲ御話申上ゲマス。今申

シマシタヤウニ、幼馬ニハ、可ナリ多數ノ蛔虫ガ寄生シテ居ル。ソレニモ拘ラズ競馬ニ出シテ見ルト良イ成績ヲアゲルノデ、蛔虫ナンカ居ツタツテ、問題ヂヤナイチヤナイカト考ヘラレルカモ知レナイノデアリマス。茲ニ二三日オリンピックノ放送ヲ聞イテ居リマスガ、矢張りアノ選手ノ出來工合ヲ見マスト、其日或ハ其時ノ身體ノ「コンデイション」ト云フモノガ非常ニ影響スルヤウニ考ヘラレル。是ハアナタ方競馬デ常ニサウ云フ感ガセラレルト思フノデアリマス。今日ハ此馬ハ必ズ勝ツデアラウト考ヘテ居ツタノニ、案外ニ出ナカツタト云フコトガアルト思ヒマス。ソレニハ色々原因ガアリマセウガ、其時ノ馬ノ状態ト云フモノガ、非常ニ影響スルノデアリマス。特ニ競走ヲスル馬デアリマス爲ニ、蹄葉炎デアルトカ、或ハ腸「カタル」デアルトカ、或ハ傳染性貧血ニ罹ツタトカ、ト云フヤウナ場合デ、熱ガアツタリ、身體ガダルカツタリシテハ、問題ニナラナイコトハ、當然デアリマス。外カラ見テハ病氣トモ考ヘラレナイ程度ノ故障デモ能力ニハ影響スルノデアリマス。

ソコデ斯ウ云フ蛔虫ガ澤山ニ居ツタ馬ハ、健康ナ馬ニ比較スルト、身體ノ調子ト云フモノハ、完全トハ云ヘナイノデアリマス。最近競馬俱樂部デ問題ニナツタ傳染性貧血ガ競走馬ニ發生シテ大分問題ニナツタノデアリマス。協會ヤ俱樂部デハ、傳貧ガ競馬界ニ這入ツテ來タト云フコトヲ非常ニ心配シテ居リマス。農林省ニ於テモサウデアリマスガ、實際ニ馬ヲ取扱ツテ居ルアナタ方ノ中ニハ、傳貧ハ競走馬ニハ影響シナイ病氣デアアル等ト考ヘテ居ラレル方ガアルノデアリマス。ソレハ何故カト云フト

或ル特殊ナ一、二頭ノ馬ガ傳貧ニ罹ツテ、熱ガ四十度モアツタガ、幸ヒニシテ其熱ガ下ツテ來タ。其處デ其傳貧ノ病馬ヲ競走ニ出シタ所ガ、非常ナ成績ヲ示シタカラデアリマス。デアリマスカラ、競馬ニハ傳貧ト云フ病氣ハ決シテ恐ルベキモノヂヤナイ。熱サヘ下レバ、元ノ通りニナル。能力ニハ影響シナイト云フコトヲ考ヘラレルノデアリマセウ。併シソレハ以テノ外ノ間違ヒデアリマス。偶然ニ一頭カ二頭カ、サウ云フ馬ガアツタカモ知レマセヌガ、ソレハ例外デアリマシテ、ソレニヨツテ他ノ總テガソウダト推定スルコトハ、決シテ穩當ナモノデハナイ。ホンノ其日ノ身體ノ出來工合ニ依ツテモ、能力ニ影響スル所ノ競走馬ガ、斯ウ云フ恐ルベキ病氣ヲ患ツテ居ツテ、ソレデ故障ナシニ勝ツト云フ馬鹿ナコトハナイノデアリマス。例外ヲ以テ一般ヲ推スト云フコトハ、飛ンデモナイ間違ヒデアリマス。此點ハ特ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス。實際、傳貧ハ非常ニ恐ルベキ病氣デアリマス。

蛔虫ニシマシテモサウデアリマス。コ、ニ同ジ程度ノ能力ヲモツ馬ガ二頭居ツテ、其中ノ一頭ハ無病息災デ、非常ニ身體ノ工合ガ好イ、所ガ他ノ一頭ハ蛔虫ガ澤山ニ居ツテ、ドコトナク身體ノ工合ガ惡イト假定シマス。今此二頭ガ競走シタ場合ニハ、必ズ蛔虫馬ノ方ガ、著シイ差ハナイニシテモ、幾ラカ速力ガ落ちルト當然考ヘラレルコトデアリマス。是ガ軍隊ノ馬ヤ、農家ノ馬デアリマスタラバ、少シ位遅レタツテ殆ド問題ニナラナイカモ知レマセヌガ、兎ニ角鼻ノ先キデモ先キニ出レバ勝ツト云フ競走馬デアリマスカラ、非常ニ鋭敏ニ作用スルト云フコトヲ考ヘナケレバナラナイ。

然ラバ此蛔虫ヲ取ルニハ、ドンナ薬ヲ使フカ。是ハアナタ方ニ特ニ御話申上ゲル必要ハナイノデアリマスガ、序デアリマスカラ申シテ置キマス。蛔虫ノ薬ト申シマス、昔カラ「サントニン」ト申シマシテ、能ク「セメン」ト云フ名前デ賣出シテ居リマス。人間デモ犬デモ、蛔虫ニハ「サントニン」ガ特效薬デアル。所ガ此薬ハ日本ニハ出来ナイ薬デアリマス。「ソヴィエツト」政府ガ殆ド専賣ニヤツテ居ル薬デアリマス。實際ドノ位「サントニン」ガ、日本ニ這入ツテ來ルカト申シマス、一番多カツタ年ハ、最高百五十萬圓デアリマシタ。年額百五十萬圓ノ「サントニン」ガ這入ツタノデアリマス。是ハ毎年デアリマセヌガ、一番多ク輸入サレタ年ガ百五十萬圓ニ達シタ。ソレナラバ假ニ日本デ此「サントニン」ニ代ルモノガ出来タナラバ、我方國デハ年額百五十萬圓ノ利益ト云フコトニナリマシテ、相當大キナ問題デアリマス。又「サントニン」ハ割合ニ高價ナ薬デアリマス。人間ヤ、犬ノヤウナ小サナ動物デアリマス「サントニン」ヲ使用シテモ薬價が大シタコトモナイガ、馬ノヤウナ大キナ動物ニ「サントニン」ヲ使用スルコトハ、經濟上非常ニ難カシイコトデアリマス。競走馬ハ特別デアルカ知レマセヌガ、一般ニハ出来ナイコトデアリマス。値段ノ上カラ到底出来ルコトデナイ、何トカシテ日本デ出来ル安イ薬デ、而モ効キ目ノアル薬ガアリヤシナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルデアリマス。所ガ茲ニ非常ニ面白イ「ニユース」ガアリマス。ソレハ小笠原島ニ生エテ居ル喬木デ、「シマタイミンチバナ」ト云フ木ガアリマス。所ガ此植物ハ木材トシテノ價値ハナク、殆ンド何ニ

モナラナイノダサウデアリマス。獨活ノ大木ノヤウナ木ラシイノデス。所ガ其木ノ幹ヤ、皮ニ蛔虫薬ガ含マレテ居ルト云フコトガ分ツタノデアリマス。是ハ目黒ニ農林省ノ林業試験場ガアリマスガ、ソコデ川村實平サント云フ技師ガ發見シタノデアリマス。見マシタ所ガ、此薬ハ英吉利デ驅虫劑トシテ使ツテ居ル「エンベリン」ト云フ薬ニ大體同ジモノダト云フコトガ分ツタ。ソレナラバ其薬モ驅虫劑ニナリヤシナイカト云フ疑ヲ持ツタノデアリマス。之ヲ家畜ノ蛔虫ニ使ツテ見タイト考ヘタノデアリマス。ソレデ遂ニ私ノ手許ニ廻ツテ來マシタ。私モ日本學術振興會カラ研究費ヲ貰ヒマシテ、其薬ガ蛔虫或ハ其他ノ虫ニ効クカ効カナイカト云フ試験ヲヤツテ見マシタ。其薬ニ「ラパノン」ト云フ名稱ヲツケタノデアリマスガ、過去三年間私ハ色々家畜ノ寄生虫病ニ應用シテ見マシタ。初ハ犬ノ蛔虫犬ノ條虫、ソレカラ難ノ蛔虫、其次ニハ豚ノ蛔虫ニ使ツテ見タ。豚ハ人間ト同ジヤウニ蛔虫ガ非常ニ多イ。最後ニ馬ニ使ツテ見タノデアリマス。昨年カラ今年ニ掛ケテ、馬ノ蛔虫ニ付テ大分試験ヲヤツタ。其試験ハ可ナリ面白イ結果ヲ示シテ居ルノデアリマス。此試験ヲ行フニハ軍馬補充部、陸軍獸醫學校、陸軍士官學校等ノ陸軍關係ノオ役所ニ御厄介ヲカケマシタ。郷里ニ歸リマシテ、自分ノ家ニ飼ツテ居ル幼駒ヲ使ツテ試験ヲヤツテ見タノデアリマス。或ハ又私共ノ學校ノ試験馬ニモ使ツテ見マシタ。兎ニ角是ハ純國産品デアリマスカラ、人間用ニハナラナイニシテモ、家畜ニ使ヒ得ルノデ非常ニ面白イコトデアリマス

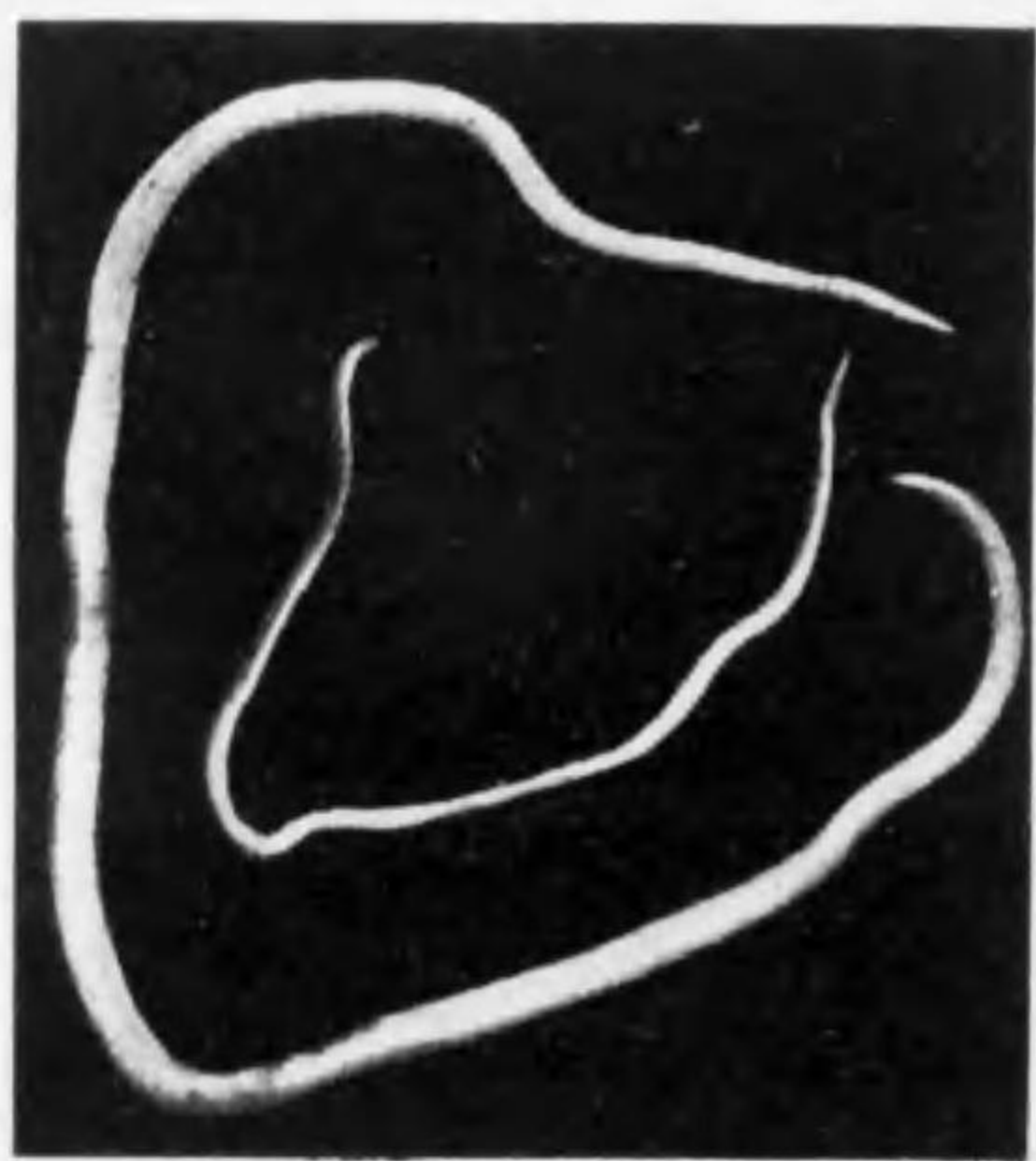
ソレカラ蛔虫ノ薬トシテ、海人草ト云フ薬ガアリマス。「マクリ」ト云ツテ居リマス。今デモ地方ニ行キマスト、人間ノ子供ガ生レタ時ニ、産婆サンガ虫下シト稱シテ、「マクリ」ヲ飲マセル習慣ガアリマス。此「マクリ」ト云フノハ詰リ海人草カラ取ツタモノデアリマス。海人草ハ日本産ノモノデアリマス。九州ノ海ノ岩ニ生エテ居ル所ノ海草デアリマス。海人草ハ非常ニ能ク蛔虫症ニ効クノデアリマス。「サントニン」ニ匹敵スルノデアリマス。所ガ餘リ海人草ヲ取ツタ爲ニ、段々少クナツテ來タノデアリマス。詰リ「サントニン」ハ高イ、海人草ハナクナツテ來ルトスレバ、他ニ代ルベキ薬ガナクチヤナラナイ。殊ニ馬トカ豚ニ使フ場合ニ困ルト思ヒマス

四、圓 虫 (硬口虫)

次ハ圓虫ト云フ虫デアリマス。人ニ依リマシテハ硬口虫ト云フ名前ヲ附シテオリマス。私ハ圓虫ト云フ名前ヲ使ツテ居リマス。是レハ馬獨特ノ寄生虫デアリマシテ、他ノ動物ニハ見ラレマセン。所ガ馬ニハ非常ニ此虫ガ多イノデアリマス。此圓虫ノ中ニモ色々ナ種類ガアリ、今迄發見サレタ種類ガ約六十ニモ達シテ居リマス。ソレ等ヲ一纏メニ申シマス。此處ニ、或ル種類ノ圓虫ヲ持ツテ參リマシタガ、割合大キイ種類ノ圓虫デアリマス。雄ノ方ガ七八分、雌ノ方ガ一寸五六分アリマス。此標本ハ「アルコール」ニ貯藏シタノデ色ガ變ツテ居リマスガ、赤イ虫デアリマス。即チ血ヲ吸ツテ居ルノデアリマス。此ノ虫ガ大腸ニ澤山寄生シテ居リマス。前ニ申シマシタヤウニ大腸ハ結腸、盲腸、直腸カラ



虫幼蠅馬ノ内胃



虫 蛔 馬

此寫眞ナドモ小腸ト大腸ト互ニ癒着シ且非常ニ出血シテ居ル。而モ圓虫ノ幼虫ガ所々ニ這入ツテ居テ斯シナニヒドクナル。私ハ或ル時次ノヤウナ試験ヲヤツタコトガアリマス。自分ノ學校デ生レマシタ小サナ朝鮮馬ノ仔馬ガアリマシタ。非常ニ多數ノ圓虫ガ寄生シテ居ルノデアリマス。ソレカラ其馬カラ一定量ノ糞ヲ取りマシテ、毎日其中ニ圓虫ノ卵ガ幾個含マレテ居ルカラ數ヘテ見タノデアリマス。同ジコトヲ一週間モ十日モヤツテ、大體平均ノ數ガ分ツタ。今度ハ其馬ヲ解剖シテ見タノデアリマスガ、其馬ノ腸カラ全部虫ヲ拾ヒ出シタノデアリマス。此検査ニハ相當時間ガ掛ルノデアリマス。以上ノ方法デ一定量ノ馬糞ヲ検査シテ其内ニ含マレル圓卵ヲ計ヘレバドレダケノ圓虫ガ寄生シテ居ルカト云フコトガ大體ニ分リマシタ。此計算カラ多數ノ馬ニ就テ検査シマス。三歳乃至四歳位ノ競馬馬デハ圓虫ガ平均四五千匹寄生シテ居ルト云フヤウナ計算ニナリマシタ。ソナナ譯デ幼駒ニハ非常ニ澤山ノ虫ガ居ルノデアリマス。而モ此數ハ卵ヲ産ム成虫ノミノ數デアリマス。然ルニ寫眞デ示シタヤウナ腸壁ヤ腹膜ノ變化ハ成熟シナイ幼虫ノ害デアリマス。成虫ノ外ニ幼虫ノ數ヲ加ヘルト非常ニ澤山ニナルノデアリマス。此處ニアル寫眞ハ大腸ヲ切開キマシテ、水デ能ク洗ツテ伸シテ見タノデアリマス之ヲ見ルト腸壁ニ大小ノ血管ガ通ツテ居リ、其血管ノ間ニ小サイボツ／＼ガ澤山ニ見エテ居ルノデアリマス。

是ハ實物大ノ寫眞デアリマスガ、二寸ニ三寸四方位ノ腸壁ニ數十個ノ小サナボツ／＼ガ見エマス。

此ボツ／＼ハ何デアアルカト云フト、此中ニハ皆一匹宛子供ノ虫ガ這入ツテ居ル。是ハ寫眞ノ馬ハ牧場カラ引上ゲマシタ四歳ノ馬デアリマシタ。此馬ハ子供ノ時カラドウモ後肢ノ運びガウマク行カナイ、運動サセテ見ルト歩様ガ變デアツタ。且ツ榮養モ非常ニ惡イノデアリマシタ。ドウシテモ治ラナイ。ソレデ實驗材料トシテ私ノ方デ貰ツタノデアリマシタ。解剖ノ結果、何處ニモ、肢ノ關節ニモ、勿論飛節ニモ異常ハナク、唯變化ガアルノハ圓虫ガ數ヘ切レナイ程一杯居ルノト腸ニボツ／＼ガ無數ニ散在スルコト丈ケデアリマス。更ニ驚イタコトニハ、未ダ成熟シキライナイ子供ノ虫ガ腰ノ筋肉ノ中ニ、サ、リ込メデ居ルコトデアリマシタ。デアリマスカラ運動ヲサセマス。身體ガ突張ツテドウシテモ馬ガ十分ニ進マナイ、或ハ筋肉ノ中ニ虫ガ這入ツテ居ルト云フ爲ニ痛イ、ソレデ歩様ガ順調ニ行カナイト云フコトガ後ニナツテ分ツタノデアリマス。此一例ヲ見マシテモ此虫ガ居ツタ爲ニ可ナリヒドイ害ヲ起スト云フコトガ分ルノデアリマス。

此寫眞ノ腸壁ニアルボツ／＼ヲ全部計算シテ見タラ、何萬カニ達スルデアラウト推定サレルノデアリマス。是ガ優秀ナ競走馬ヲ出ス所ノ牧場デ生産シタ馬デアリマス。デアリマスカラ牧場ト云フモノハ馬ノ成育ニハ必要デアリマスガ、一面ニ於キマシテハ牧場ニ居ルト云フコトハ、寄生虫ガ非常ニ多クタクカルト云フコトハ忘ルベカラザルコトデアリマス。

又少シヤカマシイ問題ニナリマスガ、此圓虫ノ子虫ガ、大動脈カラ腸ノ方ヘ岐レル所ノ前腸間膜動

脈ト云フ血管ノ分レ目ノ所ニ這入り込ムノデ、此處ニ動脈ノ瘤ガ出來ルノデアリマス。之ヲ寄生性動脈瘤ト言ツテ居リマス。若イ馬ヲ解剖シテ見マスト、九十八%位ハ此動脈瘤ガアリマス。小サイノハ指ノ頭大位シカアリマセヌガ、大キイノニナリマスト、小兒ノ拳位ノ大キサニナリマス。從ツテ血液ガ完全ニ腸ニ流レテ行クコトガ出來ナイノデ、激烈ナ痛痛ヲ發スルコトガアリマス。斯ウ云フ種類ノ痛痛ハドウモ手ノ着ケ様ガナイノデアリマス。此瘤ヲ取ツテシマヘバ別デアリマスガ、コンナ所ノ手術ハ、絶對ニ出來ルモノデアナイ。デスカラスウ云フ變化ガアツテ起ル所ノ痛痛ハドウモ斯ウモ手ノ着ケ様ガナイノデアリマス。其痛痛ノ一ツノ特徴トシマシテ時々痛痛ヲヤル、ドウカシタ拍子ニ此處ニ血ガ流レナクナツテシマフ、流レナクナルト馬ガ苦シム、ト云フヤウナ譯デアリマス。

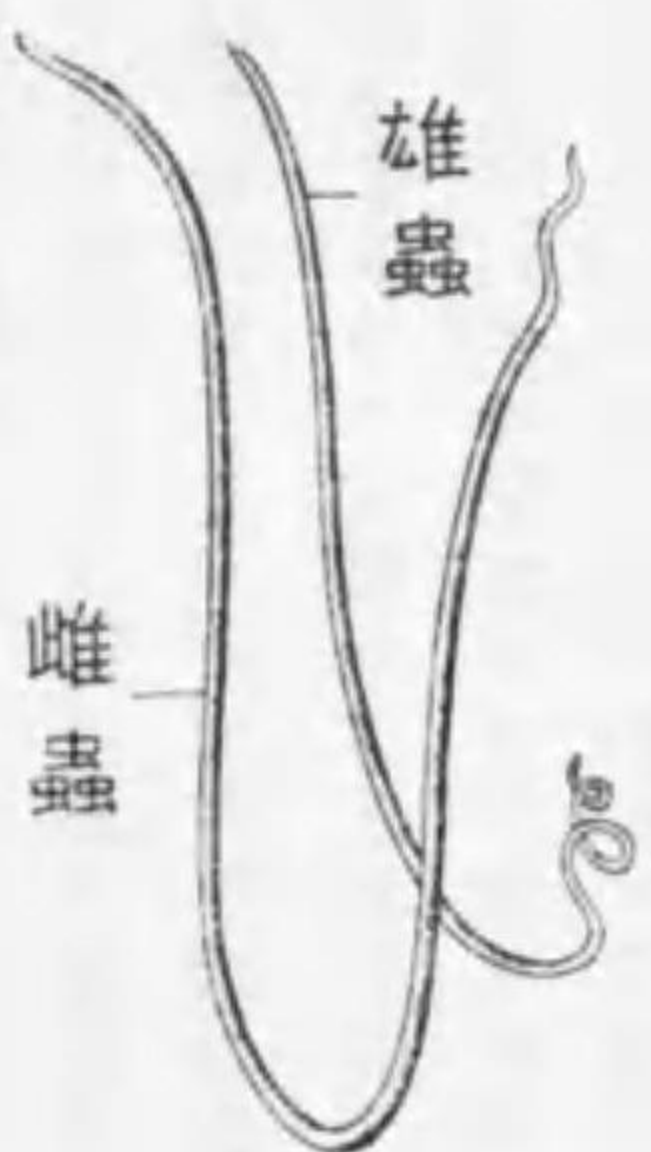
コンナ具合ニ考ヘテ來マスト、虫位ト云フヤウニ輕視シテ居ラレル方ガ能クアリマスガ、虫ト云フモノハ色々研究シテ見マスト、想像ノ付カナイ惡戯ヲスルト云フコトガオ分リデアリマセウ。斯ウ云フ害ヲスルノガ圓虫デ、此圓虫ハ他ノ虫ト違ツテ、多少ノ差コソアリマスケレドモ、ドノ馬ニモ必ズ寄生シテ居ルノデアリマス。

大體コンナコトデ私ノ話ヲ止メテ置キマスガ、要スル所ハ少シ難カシ過ギルカモ知レマセヌガ、馬ノ身體ノ中ニハ、人間ヨリモ更ニ多クノ色々寄生虫ガ居ル。大キイ者ハ此ノ蛔虫ノヤウニ一尺モアリ、小サイモノハ肉眼デハ見エナイ、顯微鏡デナケレバ見エナイヤウナ小サイノモアル。ソレラノ虫

ノ大部分ハ消化器ノ中ニ居ル。而モ腸ニ居ル。胃ニ居ル虫モアリマスガ、今日ハソレハ御話申上ゲマセヌ。腸ノ中デ是ガ動イテ居リマス。爲ニ腸ノ粘膜ヲ突付イタリ、或ハ何かシテ腹痛ヲ起シタリ或ハ其處ニ病氣ヲ起シタリ色々ナ邪魔ヲスル、ソレカラ或ルモノハ成虫ニナル前ニ幼虫ガ身體ノ中ヲ方々廻ツテ歩イテ、蛔虫デハサツキ申シマシタヤウニ肺臟ニ行ク。圓虫ノ子供ハ腹膜ニ行ク。或ハ動脈ニ行クト云フヤウナ具合ニ方々廻ツテ歩イテ、親虫以外ニ、更ニ外ノ害ヲ起ス。或ハ痛痛ノ原因ニナリ、或ハ肝臟炎ノ原因ニナリ色々ナ害ヲ起スコトガアル。又成熟シタ圓虫ハドウ云フ害ヲスルカト云フト血ヲ吸ツタリ、或ハ馬ノ食ベタ所ノ榮養物ヲ食ツテシマウノデアリマス。ソレデアリマスカラ折角馬ガ御馳走ヲ食ベテモ斯ウ云フ虫ガ中ニ居ツテ口ヲ開ケテ待ツテ居ルノデアリマスカラ、折角食ベタ所ノ榮養分ハ皆横取りサレテシマウ。デアリマスカラ、イクラ御馳走ヲシテモ、或ハイクラ榮養分ヲ食ベマシテモ肥ラナイ。從ツテ非常ニ貧血スル。或ハ榮養不良ニ陥ツテ來ル。殊ニ仔馬ニ斯ウ云フ虫ガ澤山ニクツツキマスト、榮養不良以外ニ發育不全ト云フコトニナリマス。何時迄モ本當ニ身體ガ出來テ來ナイト云フヤウナ状態ニナツテ來ルノデアリマス。ソレデアリマスカラ子供ノ時ニ、斯ウ云フ寄生虫ヲ十分ニ注意シテ驅除シテシマウ、更ニ驅除シタ後ニ再ビ寄生虫ガ來ナイヤウニ努力スルコトガ非常ニ必要ナコトデハナカラウカト思フノデアリマス。

其ノ外ニモ寄生虫ハ色々面白イ例ガアリマス。此處ニ寫眞ヲ持ツテ參リマシタガ、馬ノ眼玉ノ中ニ

虫ガ居ルト云フコトハヨク見ルコトデアリマス。ソノ虫ハ白イ八分カラ一寸位ノ長サノ虫デアリマス。眼玉ノ中ト云フトナンダカ變デアリマスガ、我々ノ眼玉ト云フモノハ圓クナツテ居リマス。圓クナツテ居ルト云フノハナゼカト云フト、此處ニ角膜ト言フ硬イ膜ガアツテ、其ノ中ニ液體ヲ含ンデ居リマス。前房水ト云フ水ガアリマス。其ノ水ノ爲ニ眼玉ガ圓クナツテ居ル。此ノ水ヲ取ツテシマウト眼玉ガベツチヤンコニ潰レテシマウ。此ノ虫ハ「フキラリヤ」ト云フ虫デアリマスガ、眼玉ノ前房水ノ中ニ泳イデ居ルノデアリマス。是ハ親虫デハナイ、子供ノ虫デアリマス。此ノ虫ガドウシテ子供ダカ親ダカト云フトガ分ルカト云フト顯微鏡デ見ルト直グ分リマス。親デアルナラバ生殖器ガ完成シテ居リマス。子供ナラバ生殖器ガ不完全デアリマスカラ、生殖器ガ不完全デアルモノハ子供デアルト云フコトガ一見シテ分ルノデアリマス。コレノ親ハ何處ニ居ルカト申シマスト、腹腔ノ内ニ居ルノデアリマス。



即チ腹腔ニハイクラカ水ガ溜ツテ居リマス。此ノ中ニ居ル。「フキラリヤ」ノ成虫ハ長サガ四寸カラ五寸位ノ細長イ虫デアリマス。其ノ子供ガ場所モアラウニ眼玉ノ中ニ飛出シテ來ルノデアリマス。是

ガ腹腔ニ居ツタナラバ何等痛痒モ感じナイノデアリマスガ、眼球デアリマスカラ害ガアル。馬ニナツテ見ナイカラ分リマセヌガ、馬ニナツテ想像シテ見タナラバ、イツモ自分ノ見ル眼先ノ所ニ虫ガチラ／＼居ルノデアリマスカラ非常ニ邪魔ツケナモノデアラウト思ヒマス。人間ナラバ早速神經衰弱ニ罹ツテシマウノデアリマス。

兎ニ角非常ニ厄介ナモノデアラウト思ヒマス。此虫ノ爲メニ段々眼玉ガ白クナツテ了フ。慣レタ獸醫サンニ此ノ水ヲ取ツテ貰フ。針デ眼球ヲ突付ク、眼玉ノ硬イ所ヲ突付キマスト、其孔カラ眼房水ガ流れ出シ、其レト一緒ニ虫ガ流れ出テシマウ。是ハ上手下手ガアリマシテ、理窟デハナンデモナイ。突付イタラ水ガ出ル水ト一緒ニ虫ガ流れ出ルト云フノデ簡單デアリマスガ、下手ナ人ガヤルト、成程突付クコトハ突付クガナカ／＼膜ニウマク穴ガアカナイ、ヤツト孔ガ開イタカト思フト水バカリ出テ虫ハ流れ出サナイト云フヤウナコトガヨクアリマス。

然ラバ此ノ「フキラリヤ」ト云フ虫ハ一體馬ノ身體ノ中ニドウシテ這入ルカ、其寄生ノ經路ハマダヨク分ツテ居リマセヌガ、恐ラク蚊ノヤウナ昆虫ガ媒介スルモノデアラウト思ハレマス。此虫ニヨク似タモノデ犬ノ心臟ノ中ニ寄生スル「犬フキラリヤ」ト云フモノガアリマシテ、馬ノ「フキラリヤ」ヨリハ少シ大キイノデアリマス。一頭ノ犬ニ三十匹モ五十匹モ這入ツテ居ルコトガアリマス。デアリマスカラ心臟ガ否應ナシニ大キク擴張シテシマウ。心臟ガ擴張スルカラ活動ガ出來ナイ。少シ運動スル

ト苦シクナル。此虫ハ胎生デアリマシテ虫ヲ生ミマスト、ソレガ血液ノ中ニ生活シテ居ル。ソレヲ蚊ガ血ヲ吸フトキニ一シヨニ吸ヒ込ミマシテ、蚊ノ身體ノ中デ此「フキラリヤ」ノ子供ガ段々大キク發育シテ行クノデアリマス其蚊ガ又外ノ犬ノ血ヲ吸フ時ニ此ノ發育シタ所ノ「フキラリヤ」ノ子供ヲ植付ケテ行クノデアリマス。斯ウ云フヤウナ方法デ犬ノ「フキラリヤ」ハ段々發育シテ行ク。日本ニハ非常ニ多イ病氣デアリマシテ愛犬家ノ非常ニ困ツテ居ル病氣デアリマス。是ト同ジヤウナ方法デ、馬ノ「フキラリヤ」モ感染スルノデアラウト想像シテ居リマスガ、マダハツキリシテ居リマセヌ。是ト同ジヤウナモノガ「フキラリヤ」ガ人間ニアリマスガ是ハ厄介ナ病氣ノ原因トナルコトガアリマス。此虫ハ股ノ附近ノ淋巴腺ニ居リマス。我々ノ身體ニハ血管ト同ジヤウニ淋巴管ト云フモノガアリマシテ、先ノ方カラ段々ト淋巴ト云フ液體ガ集ツテ來ルノデアリマス。其ノ徑路中ニ淋巴腺ガ介在シマシテ、若シ病菌ガ淋巴中ニ混入シタヤウナ場合ニハ、コ、デ喰止メルノデアリマス。平タク申シマスト昔東海道ヲ旅行スル際ニ箱根ノ山ニ關所ガアツタ。コ、デ怪シイ者ヲ捕ヘタノト同ジヤウニ、足ノ尖等カラ毒ガ這入ツタ場合ニ、ソレガ淋巴管ヲ傳ハツテ段々身體ノ中心ノ方ニ集ツテ來ル。サウスルト股ノ附近ニ箱根ノ關所ガアル。ソコデ戰爭ガ始マル、其結果淋巴腺ガ腫レテ來ルコトニナリマス。ソナ具合デ人間ノ「フキラリヤ」ハ淋巴腺ノ中ニ寄生シテ居リマスカラ、下股ノ方カラ流レテ來ル淋巴液ガ淋巴管内ニ停滯シマシテ流レナクナル。其ノ結果足ガ腫レテ來ル或ハ陰部ガ腫レテ來ルノデア

リマシテ、象皮病ト呼バレ非常ニ厄介ナ見ツトモナイ病氣デアリマス。一年ヤ半年デハ未ダ目ニツク程腫レテ來ナイガ、三年、五年、十年、十五年トナルニ從ツテ段々腫レテ來ルノデアリマス。ソレハ人間ノ「フキラリヤ」デアリマシテ犬ノ心臟ニ寄生スル「フキラリヤ」トハ種類ハ違ヒマスケレドモ、非常ニ性質ガ似テ居リマシテ、矢張り蚊ガ媒介スルノデアリマス。デスカラ蚊ト云フモノハ衛生上餘程害ガアルト云フコトガ分ルノデアリマス。蚊ガ居ナケレバ、人間ヤ犬ノ「フキラリヤ」ハ蔓延スルモノデナイノデアリマス。馬ニ於テモ、恐ラク蚊ガ媒介スルモノデアラウト想像ガ付クノデアリマス。尙寄生虫ニ關係ノアルシイ馬ノ病氣ノ寫眞ヲ持ツテ參リマシタガ、或ハ皆サンノ中ニ知ツテ居ル人ガアルカモ知レマセヌガ、「ヒムシ」ト云フ病氣ガアリマス。東北、北海道ニハ餘リ多クアリマセヌガ、關東地方カラ西ノ方ニ行クト多イ病氣デス。此病氣ニ糶ル場所ハ限ツテ居リマセヌガ限局シタ皮膚病トナルノデアリマス。此寫眞ハ馬ノ前肢デアリマスガ、膝ノ所ガ冬ハ癒リマスガ、夏ニナルト、グジヤ／＼ニ爛レテ來ルノデアリマス。眞赤ニナリマシテ、柘榴ノヤウニナル。ソレカラ粘液ガダラ／＼垂レテ來ル。實ニイヤナモノデアリマス。餘程痒イモノト見エテ、暇ガアルト、馬ガ嚙ツタリ、擦ツタリシテ居ル。此病氣ハ夏ノ間ハドンナニ治療シテモ段々悪クナツテ來ルガ、冬ニナツテ來ルト自然ニ是ガ良クナル。又翌年ノ春カラ夏ニ掛ケテ、段々悪クナツテ來ルノデアリマス。此原因トナルモノハ胃虫ト呼バレル寄生虫デアラウト云ハレテ居リマス。此成虫ハ胃ノ中ニ居ツテ、之

ヲ媒介スルモノハ蠅デアリマス。其卵ハ胃カラ腸ヲ傳ハツテ、糞ノ中ニ出テ來ル。其中ニ卵ガ段々發育シテ蠅虫ニナツテ行クノデアリマス。サウスルト糞ノ周圍ニ蠅ガ寄ツテ來テ蠅虫ヲ食ベ蠅ノ體ニ一時宿ツテ居リマスガ、其蠅ガ今度ハ馬ノ皮膚ニタカルノデアリマス。若シ馬ノ皮膚ニ小サナ傷デアリマスト、ソコカラ水ノヤウナモノガ出マスガ、ソレニ蠅ガタカツテ、胃虫ノ仔虫ヲ植付ケルノデアリマス。此處デ此子虫ガ發育シテ行キ皮膚ガ僅カニ痒イモノデスカラ馬ハ自然ト舐メル。サウスルト、此處ニ居ツタ蠅虫ガ馬ノ口ノ中ニ這入ツテ、胃ノ中ニ行ツテ、斯ウ云フ大キナ虫ニナル。コンナヤウナ工合デ胃虫ガ、胃ニ居ルカラ、胃バカリニ害ヲスルトハ限ラナイ。胃ニ居ル虫ガ皮膚病ヲ起シタリ心臟ニ居ル「フキラリヤ」ガ色々ナ皮膚病ヲ起シタリ、腸ノ中ニ居ル虫ガ、腹膜炎ヲ起シタリ、或ハ小腸ニ居ル仔虫ガ肝臓ノ中ニ這入り込シタリ、腸ノ中ニ居ル虫ガ、腹膜炎ヲ起シタリ、或トカ、虫トカ一口ニハ云ヘナイノデアリマシテ、考ヘテ見マスト、色々害ヲ及ボスト云フコトガアリマスカラシテ、是等ニ付キマシテモ、多少ノ關心ヲ持タレルコトガ、必要ナコトデナカラウカト思フノデアリマス、之デ終ト致シマス

(九) 外國競馬所見並ニ競走馬ノ調教、管理、飼養ノ一般ニ就テ

松葉農學博士

外國ノ競馬ト日本ノ競馬ノ比較

今日ハ先ヅ最初ニ外國ノ競馬ト日本ノ競馬ノ違フ所及ビ如何ナル點ガ外國ノ競馬ノ方ガ優レテ居ルカト云フコトヲ御話シタイト思ヒマス。日本ノ競馬ノ方ガ外國ノ競馬ヨリモ優レテ居ルト云フ所ハチヨツト認メラレナイ。亦大體ニ於テ外國ノ方ガ日本ヨリモ優レテ居ルト云フノハ競馬ノ起源ガ外國ノ方ガ古イ、日本ハ競馬ノ始ツタノハ相當古イノデスカラ、秩序的ニ今日ノヤウナ競馬ノ状態ニナツタノハマダ幾年モ經ツテ居ナイ。復活シテカラ十年位デスカラ、サウ立派ナ競馬ガ出來ルト云フ譯ニハ行カナイ。外國ノハ古イノハ二百年モ三百年モ古イ、亦大キナ「レース」ガ出來テカラ百何年位經ツテ居ルノガ澤山アル。從ツテ馬トカ、乗ル人トカ見ル人、ソレカラ競馬ニ關シタ色々ナ規則、サウ言ツタヤウナモノガ非常ニ向フノ方ガ長イ經驗ヲ持ツテ居ルダケ日本ト較ベテ見ルト學ブ點ガ多イ、ソレヲ今日ハ大體御話致シマス

其ノ前ニ一ツ申上ゲテ置キタイトハ日本ノ競馬ト云フモノハ大體何處ノ競馬ニ一番似テ居ルカト云フト、一番似テ居ルノハ英國デス。英國ノ中デモ殊ニ植民地ノ競馬デス、植民地ト云フト英國ノ屬國ノコトデ、例ヘバ濠洲、新嘉波、香港サウ云フ風ナ植民地デヤツテ居ル競馬ガ丁度日本ノ競馬ト同ジヤウナモノデス。從ツテ外國言換ヘレバ佛蘭西トカ、獨逸トカ、澳地利トカ、洪牙利トカ、白耳義トカ、露西亞サウ言ツタヤウナ國々、ソレカラ亞米利加サウ云フヤウナノヲ較ベルト餘程違フ。デ

外國競馬所見並ニ競走馬ノ調教、管理、飼養ノ一般ニ就テ

スカラ先ヅ日本ノ競馬ハ英國ノ殖民地ノ競馬ノ型ヲ取ツテヤツテ居ルト云フ風ニ考ヘテ宜シイ、之レハ日本ノ競馬或ハ御承知デアラウト思ヒマスケレドモ、濠洲カラ澤山ノ競馬馬ガ來テ、濠洲ノ競馬ニ依ツテ大體出來上ツタ。濠洲ト云フノハ英國ノ領地デスカラ英國式ニナツテ居ル。所ガ實際ニ今度英國ノ本國詰リ歐羅巴ノ方ニ行ツテ競馬ヲ見ルト殖民地デヤツテ居ル競馬ト又趣ガ違フ

ドウ云フ所ガ違フカト云フト、第一チヨット我々ガ競馬場へ行ツテ見テ直グ氣ノ付クノハ競馬ノヤリ方モ違ヒマスシ、競馬場ノ様子ガ全然違フ。勿論乗ル人、調教スル人、馬主、ソレカラ「フアン」サウ云フ人ノ状態ガ大變日本ト違ツテ居ル。我々ガアナタ方ニ一番必要ダト思フコトハ競馬ノ規則トカ云フヤウナモノデナク兎モ角乗ル人ガ將來ドウ云フ風ニ向イテ行ツタ方ガ宜カラウカト云フコトガ主眼デ、其外ノ規則或ハ競馬ヲヤル方法、サウ云フヤウナコトハ極ク大體御話シテ置クダケデ、乗ル人ガ知ツテ置カナケレバナライコト、ソレガ一番此處デ御話スル重要ナ點ダト思ヒマス。乗ルト云フコトニ付テ先ヅ第一ニ知ツテ置クコトハ如何ナル處デ乗ルカト云フコト、其次ニハ如何ニ馬ヲ作ルカ、ソレカラ如何ニレースヲスルカト云フ其三ツデス

練習馬場ト本馬場

先ヅ第一ニ何處デ乗ルカト云フコトデスガ、是ハ日本デハマダ出來テ居マセスケレドモ、外國デハ何處ノ國へ行ツテモ乗ル場所ト云フモノハチヤント別ニ出來テ居ル。其ノ別ニ出來テ居ル馬場ト云フ

モノハ練習ニシカ使ハナイ。ソレデ「レース」日本デ言フ本馬場、アレハ全然練習馬場ト離レテ、外ニアル、從ツテ練習スル時ニハ何時デモ練習馬場デ乗ルコトニナツテ居ルカラ、本馬場ノ様子ト云フモノハ唯レースヲスル時ニシカ分ラナイ。不斷ハ「レース」ノアル場所ニ行ツテ乗ルコトハ出來ナイデスカラ「レース」ヲスルコースト云フモノハ唯本當ニ「レース」ヲヤル時ダケ使フダケデ、不斷ハ全然使ツテ居ナイ。丁度日本ニハ内馬場ガアリマス。アノ内馬場デ以テ練習ヲシテ居ル。アレガ内馬場デナクシテ全然外ニアル、從ツテ外ニアル場所デ以テ練習スル爲ニ、本馬場ノ「レース」ト云フモノニ豫メ馴染ガ少イ譯デス。來テ初メテ乗ル人ガアル、日本デハ本馬場ヲ繩ヲ張ツテヤリマス。コウ云フ風ニシテ乗セラバ宜イケレドモ、ア、云フ風ニシテハ馴レナイカモ知レナイ、デスカラ練習シテ居ル時餘程色々ナヤリ方ヲヤツテ置カナイト、本當ノ馬場ニ這入ツテ來テマゴ／＼シテシマフ。其次ハ此練習馬場ト云フモノハ豫メ規則的ニキチント出來テ居ル、所ガレースヲスル本馬場ト云フモノ、言換レバ競馬場ノ方ニアル本馬場ハ、大抵ノ所ハ決ツタ形ニナツテ居ナイ、ツマリ日本ノ馬場ノヤウニ隋圓形ニナツテ居ルトカ或ハ圓形ニ近イ丸クナツテ居ルトカ、云フ風デナイ。殆ドサウ云フ風ニ出來テ居ル所ハ少イ。大抵ノ所ハ地形ヲ利用シテ「コース」ヲ取ツテ居リマスカラ、隋圓形ニナカ／＼ナラナイ、色々ナ形ヲシテ居ル。角ノ取レタ三角形ノヤウナ風ニナツテ居タリ、或ハ馬蹄形ノヤウナ風ナ恰好ヲシテ居タリ、殆ド日本デ見ルヤウナア、云フコースト云フモノハナイ。唯サウ云フ風ナキ

チントシタ「コース」ノ出來テ居ル所ハ比較的新シク競馬場ガ出來タ所デソレハ圓クチヤントナツテ居リマスガ、サウデナク古イ有名ナ場所ハ、前ニ云ツク様ナ恰好ヲシテ居ル。ソレデ本馬場ノ方ニハ内馬場ト云フモノハクツ附イテ居ナイ、唯「コース」一本シカナイ、ソレニ反シテ練習馬場ノ方ハ「コース」ガ何本モ澤山アル。何本モアルト云フノハ練習ニ一ツ所バカリ使ツテ居ルト損ジテシマフノデ順繰リニ「コース」ヲ變ヘテ使フ爲ニ何本モ「コース」ガ出來テ居ル、サウシテ馬場ガ大抵三千「メートル」以上四千「メートル」位大キクナツテ居リマス。デスカラ練習馬場ト云フモノハ普通ノ本馬場カラ見ルト餘程立派ニ出來テ居ル。又立派ニ拵ヘテ向フデハ練習馬場ニ相當金ガ掛ツテ居ルノデスカラ、練習馬場ハ決シテ日本ノヤウナ風ナ砂原ノ所ヲ駈出スト云フノトハ違ツテ居ル、練習中モ草ノ上ヲ駈ケル方ガ宜イカ、砂ノ上ヲ駈ケル方ガ宜イカト云フト、是ハ大體草ノ上ヲ駈ケル方ガ、本馬場ガ草ノ上ヲ駈ケルノダカラ、練習スル時モ草ノ上ヲ駈ケサセルノガ宜イト云フ國ト、ソレカラ草ノ上ヲ駈ケナイデモ砂或ハ土ノ上ヲ相當ニ拵ニ害ガナイヤウニ拵ヘテ、其上ヲ駈ケサシタ方ガ實用向デ宜イト云フ風ニ考ヘテ居ル國モアル、日本ノハ大體ニ於テ砂ノ上ヲ駈ケルヤウニナツテ居リマス、砂ノ上ヲ駈ケルト云フノハ、日本デハ仕方ガナイカラ駈ケテ居ルノデス、本當ハ矢張り芝ノ上ヲ駈ケタ方ガ宜イシ、亦芝ノ上ヲ駈ケサシタイノデスケレドモ、練習馬場ニ芝ヲ敷イテハ、直キニ損ジテ手入ニ非常ナ金ガ掛ルシ、面倒ダカラ結局芝ノ馬場ハ練習ニ使ハナイ、本當カラ言ヘバ金サヘアレバ、本馬

場ヲ駈ケルノト同ジヤウニ芝ノ上ヲ駈ケタ方ガ宜イノデアリマスケレドモ、サウ云フ點カラドウモ砂デ以テヤラナケレバナラスト云フ所ニ日本ノ馬場ノ缺點ガアル譯デス。之レハ將來日本デモ段々サウ云フ風ニ芝ノ上デ駈ケルヤウニナルカモ知レマセヌ。芝ノ上デ駈ケルノトソレカラ砂ノ上デ駈ケルノト馬ニ對シテドウ違フカト云フコトデスガ、砂ガ淺ケレバ却ツテ砂地ノ方ガ宜イラシイ、所ガ砂ガ深イト肢ガ潜ルヤウニナツテ、ドウモイケナイ。ト云フノハ馬ガ肢ヲ返シテ行ク時ニ砂ノ中ニ足ガ潜ルトドウシテモ屈腿或ハ伸腿ト云ツテ肢ノ蹄ヲ返シテ行ク色々ナ筋肉或ハ腱ガアリマスガ、サウ云フモノガ疲レル、言換レバサウ云フモノニ餘計ナ負擔ヲ掛ケル爲ニ足ガ痛ム。デスカラ鳴尾ノ馬場ハ砂地ガ深カツタ爲ニ、肢ガ悪クナル馬ガ多カツタ、此頃ハ私行キマセヌカラ能ク知リマセヌガ、ドウモ鳴尾デハ前カラ海老ガ澤山出來ル、腱炎ガ出來ル、詰リ膝カラ下ノ筋ノ病氣ガ多イ、ソコデ仕方ガナクテ何トカソレヲ防グ方法ヲ考ヘテ見タ所ガ、ドウモ砂ヲ直スノハ大變ダツタカラ馬ノ肢ヲ直サウト云フコトニナツテ、鳴尾ノ馬ハ一體ニ肢ガ立ツテ居ル。立テレバ肢ガ返ヘル時ニ砂ニ多少潜ツテモサウ苦シクナイ、伏セテ置クトズブツト砂ニ入ツタラ返リガ惡イ、亦肢ヲ前ニ出ス時ニ筋ガドウシテモ痛ミ易クナル。其處ニ行クト鳴尾ノ練習馬場ヨリ關東ノ。例ヘバ東京トカ。中山トカト云フ方ハ深クナイカラ反對ニ腱ヲ痛メルコトハ左程ナイケレドモ、今度ハ淺イト砂ガ固イ、デスカラ肢ヲ叩キツケルパン／＼叩キツケルトドウ云フコトガ起ツテ來ルカト云フト、結局鐵デ以テ固イ所ヲ叩クカラ、鐵ノ

地面ニ對スル反動ヲ踏ニ響イテ來ル、從ツテコツチノ馬ニ一番多イノハ裂蹄デ、ソレカラモウ一ツハ舉踵ト云ツテ突上ゲガ多クナツテシマフ。デスカラ關東ノ馬ハ多クハ突上ゲカ裂蹄デ苦シム。ソレハ地面ニ對スル反動ガ強過ギル。關西ノ方ハ之レト違ツテ屈膝、伸膝ガ痛ム、サウ云フ風ニ同ジ砂地デモ淺イ、深イ、固イ、柔イニ依ツテ違フ。デアルカラサウ云フ風ナ缺點ヲ防グ爲ニ芝ノ上デ駈ケタラドウカ、サウスレバ勿論サウ云フ風ナコトガ大變少クナル。詰リ筋ヲ痛メタリ、或ハ蹄ヲ痛メタリスルト云フコトガ大變少クナル、結局芝生ノ上デ駈ケルト云フト蹄底ニ加ハル力ガ割合ヤンワリト來テ、而モ蹄ノ裏全體ニ當ツテ來ル、力ガ其ノ全體ニ當ルト云フコトハ、言換レバ肢ガ詰リ蹄ノ裏デ以テ地面ニ附イテ行クト云フコトニナル、馬ハ蹄底デ以テ歩クヤウニサセナケレバイケナイ。蹄底デ歩カセルト云フ爲ニハ詰リ砂デナク成ルタケ草ヤ芝ノ長ク生エテ居ル所、多少彈力ノアル所デヤル、サウスルト蹄底ガ全部當ルヤウニナル。デスカラ本當ヲ言フト矢張り前ニ申シマシヤウニ砂ガ宜イト云フ人、芝ガ宜イト云フ人ガアリマスケレドモ、馬ノ爲メカラ言ツタナラバ芝生デヤツタ方ガ宜イ。結局馬ガ痛マナイ、所ガ亞米利加ノ競馬場ヲ見ルト、大部分ガ皆芝ヲ敷カナイデ砂デヤツテ居ル、砂デヤツテ居テ別ニ差支ナイト云フコトハ、ドウシテ亞米利加デ出來ルカト云フト、亞米利加ノ競馬場ノ砂ハ人工ノモノデ、色々ナモノヲ配合シテ拵ヘテアル、固クモナク、柔クモナク、深クモ淺クモナイヤウニスツカリ土ヲ拵ヘテアル。其組織ガドウ云フ風ニナツテ居ルカ能ク分リマセヌガ、赤味ヲ帶ビ

タヤウナ色デ、砂トモ土トモ付カナイヤウナモノデ出來テ居ル。ソレデ芝生デヤラナクテモ宜イト云フガ、詰リ普通ノ砂地ノ缺點ヲ補ツテ居ル。所ガモウ一ツハ亞米利加ノ競馬ハ距離ガ短イシ、割合ニ平ラナ所ガ多クテ、山坂ガ少イ、デスカラ其故モアルノデ、餘リ肢ガサウ痛マナイ。結局一番競馬ヲヤツテ居テ肢ガ痛クナルノハ日本デ、是ハドウシテモ將來改正シテ行カナイト、肢ガ痛クナツテ駄目ニナツテシマフノデアル。能ク肢ガ痛クナルノハ乗方ダトカ色々ナコトヲ言ヒマスケレドモ、乗方モアリマス。ガ馬場ガ惡クテハ矢張り駄目デス

肢蹄ノ作り方

モウ一ツハ肢ガ痛クナルト云フコトハ馬場ニ關係スルバカリデナク、肢ノ作り方ニ大分關係スル。此肢ノ作り方ト云フモノハ外國ト日本デハ全然違フ。丁度目黒ニ競馬場ガアツタズツト前ノ時分ニ、肢ノ作り方ハ外國ソツクリデアツタ。ソレガ近來ニナツテ肢ノ作り方ガ日本式ニ變ツテ來タ。今ノ作り方ハドツチカト云フト獨逸式ノ形ニナツテ居ル。而モ獨逸式ノ形デ居ナガラソレガ本當ノ競馬馬ノ肢ノ作り方デハナイ、詰リ普通ノ乘馬ノ獨逸式ト云フヤリ方、元來日本ノ蹄鐵ト云フモノハ昔ハ佛蘭西式デアツタガ、段々獨逸式ニ變ツテ來タ。現在ヤツテ居ルノハ全部獨逸式、デスカラシテ鐵ヲ習ツテ來ル人ハ總テ獨逸式ノヤリ方ヲヤツテ居ル爲ニ競馬馬モ矢張り獨逸式ニヤル。ソレハ大變結構ダガ獨逸競馬ノ肢ノ作り方デハナク普通乘馬ノ作り方ニシテシマツタ。ソレヲ無理ニ競馬ニ持ツテ來ル、

サウ云フ風ニ日本ノ競馬馬ノ肢ト云フモノハ作ラレテシマツタ。何故昔ノ外國式、言換レバ英國式ニヤツテ行カナカツタカト云フト、肢バカリ英國式ニシテヤツテ馬場其モノハ英國式ニ出來テ居ナイ、馬場ガ日本式ニナツテ居ル所ヘ持ツテ來ツテ、肢バカリ英國式ニ拵ヘタモノダカラ、片端カラ打壞レテシマツタ。實ニヒドイモノデアツタ。ソレデ競馬馬ト云フモノハ肢ヲ痛クスルノガ當リ前デアツテ肢ノ痛クナラナイモノガ勝ツノダ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居ツタ。デスカラドウシタラバ肢ヲ壞サナイカト云フコトハ考ヘナイデ、唯馬ト云フモノハ肢ガ壞レルモノダ。ト思ツテ居タモノダ。ソレデスカラ「タイム」ナドハドウデモ構ハナイ、結局馬場ニ出ラレルモノガ勝味ガアル。古イ時分競馬場ニ行ツテ見ルト休ンデ居ル馬ノ方ガ多カツタ。ソレガ段々改良サレテ來テ、今日デハ休ンデ居ル方ガ少クナツテ、出ル方ガ多クナツテ來タ。ソレデ肢ハドウシテモ日本式デナクテハイカヌト云フノデ、所謂日本式、獨逸ノ眞似ヲシタヤリ方、サウ云フヤウニ段々ナツテ來タ。其處デ今御話シマシタヤウニ今後馬場ヲモツト改正シテ芝地デ以テ練習ガ出來ルヤウニナツテ來ルト、今ノ肢付デハ具合ガ悪イ。ア、云フ肢付デハ競馬馬ノ肢付デハナイ、皆サンノ見テ居ラレル馬ノ肢ハアレハ矢張り普通乘馬ノ肢付所ガ競走馬ノ肢ト云フモノハア、云フ風ニ作ツテハイケナイ。アレハモツト前蹄モウント伏カセテ、後肢モウント伏カセテシマフ。サウシテ蹄尖ヲウント先ヘ出スヤウニ蹄踵ヲ低クシテ踏マセル所ガ日本ノハサウヂヤナイ。ドノ馬ヲ見タツテ皆蹄ガ立ツテ居ル様ニ踏ンデ居ル。ウント蹄踵ガ低

クナツテ、蹄尖ガ出テ蹄ガ伏レバ速力ガ出ルノハ當リ前デ、後肢ノ踏込ガ深クナル。詰リ腰ガ下ツテ來テ、後肢ノ踏込ガ好クナツテ、前ノ肢ガウント出ル。「レース」ハ總テ向フノ方ガ早イ。ガ日本ノハマダ下ガ本當ニナツテ居ナイカラ、今ノ所之ヲ眞似テモ丁度古イ目黒時代ニナツテシマツテ、片端カラ馬ノ肢ガ壞レテシマフ。詰リ日本ノ競馬ト云フモノハ過渡期デ、モウ少シ、練習馬場ガチャント長ク出來テ芝ノ上デ練習ガ出來ル時代ニナツタラ、其時ハ肢ガスツカリ直ツテ、スー／＼伸ビル馬ガ出來ル。今ノ所練習馬場ガアノ砂馬場デ馬ガボコ／＼ト行クノデスカラ、蹄ヲ伏カス様ニ拵ヘタラ、肢ハ皆駄目ニナツテシマフ。之レハ今直グト云フ譯ニハ行カナイケレドモ、何レ矢張り我々ノ考デハ外國式ニ伏カス様ニナツテ來ルト思フ

蹄 踵

ソレカラモウ一ツハ下ガ固クナイ芝地ノ上ヲサク／＼歩イテ居リマスカラ、鐵ト云フモノガサウ減ラナイ。従ツテ向フノ競馬馬ノ肢ハ日本ノ競走鐵、即チ「レース」ヲスル時ノ鐵位ノ薄サノモノヲ裝シテ練習シテ居ル、向フデハ鐵ガ非常ニ薄イ。結局鐵ノ薄イト云フコトハ馬ノ蹄ノ裏ガ地面ニ好ク附クト云フコトデ、鐵ガ厚ケレバ厚イ程蹄底ガ附カナクナル。蹄底ガ附カナクナルト云フコトハ結局鐵ガ厚過ギルカラ附カナイノデ、向フデハヒタツト附ク、蹄底ガ附クト云フコトハ結局蹄ノ發育ガ良クナル。デスカラ蹄ト云フモノハ鐵デ歩クト、蹄ガ狹窄シテ來ル、皆ガ知ツテ居ル通り競走馬ノ蹄ハ

段々狹窄シテ小サクナル。蹄底蹄又ヲ殺シテ廻リノ蹄縁デ歩イテ尙此中ヲ濶ツタリ何カスルノデ段々狹窄スル

詰リ負縁狹窄ト云ツテ、小サナ蹄ガ出来テシマフ、デスカラ日本ノ競馬馬ヲ見ルト、肢ガバツトオ腕ヲ伏セタヤウニナツテ居ナイ。ソレハ鐵ガ厚過ギルカラデ、モツト鐵ヲ薄クシテ蹄底ヲ附カセルヤウニスレバ、蹄ガ開イテ來テ、オサマリガ良クナル。デスカラ蹄ガ段々小サクナルノハ飼養管理ガ惡イト云フ風ニ言ツテ、油ヲ塗ツタリ、豆ヲヤツタリ、水ヲ附ケタリ色々ナコトヲヤルガ、結局鐵ガ厚クテハ蹄ガ開キツコナイ。斯ウ云フコトガ馬場ト肢トノ關係ガアル所デス。其點ハ向フデハ薄イ鐵ヲ裝シテ、蹄底デ歩カス様ニシテ、芝ノ上ヲ歩クカラ、蹄ガ良ク發育シ、蹄ハ寢テ居ルガ餘リ肢ノ筋腱ガ痛マナイ。ソウシテ速力ハ出テ足ガ伸ビル

サウ云フ所ハ將來日本デモサウ云フ風ニヤラナイト、ドウモ具合ガ惡イヤウニ思フ。鐵ガ厚過ギテ其結果具合ガ惡イト云フコトハ蹄底ガ附カナイ爲ニ蹄ガ小サクナルト云フコトバカリデナク、鐵ノ厚イト云フコトハ厚ケレバ厚イダケソレダケ鐵ノ振動ガ蹄ニ餘計來ル、分リ易ク言ヘバ、丁度我々ガ靴ヲ履イテ厚イ鐵ヲ打ツテ歩イテ御覽ナサイ、ガン／＼響イテシヤウガナイ、何モ打タナイ方ガ宜イ、結局蹄ニ響ク響キ方ト云フモノハ鐵ノ厚イ方ガ多イ。ソレカラ鐵ヲ打ツテ置タトドウモ蹄ノ故障ガ起ル、而モ蹄踵ト鐵ノ間ヲ空ケロト云フコトニナツテ居リマス。空ケテ置タト云フコトハ何ノ爲カト云

フト、尙詳シク言ヘバ第三釘以下ノ所ヲ二乃至三「ミリ」位空ケロト云フノハ空ケルト蹄ヲ附イタ時蹄球ノ方ガ左右ニ幾ラカ開イタリ窄ンダリスル。

若シ其處ニ釘ヲ打ツテシマフト開カナクナルト蹄機ト云フモノヲ妨害スルカラ空ケロト云フコトニナツテ空ケテ居ル、所ガ空ケルト云フコトハ競馬馬ニハ良クナイ。蹄踵ノ所ガ空イテ居ルト早ク言ヘババク／＼スル、デスカラ地面カラ斯ウ云フ風ニ力ガドン／＼當ツテ蹄踵ニ當ツテ來ル。サウスルトコツチハピツタリクツ附イテ居ルケレドモ、コツチハ空イテ居ルカラ、鐵尾ノ方ガ振レル。振レル結果蹄踵ノ所ヲドンドン突上ゲル。蹄踵ヲ突上ゲルト踵ガ割レテ來ル。ソレカラ裂蹄ガ出来テ來ル。デスカラスウ云フ風ニ厚イ鐵ヲ裝シテ後ヲ空ケテ置タト云フコトハ宜シクナイ。本當ハピツタリ附ケタ方ガ宜イ。即チ蹄尖ノ方カラ全體ニ薄ク裝着スル。サウスルト反動ガナイカラ舉踵ガ起ラナイ、裂蹄モ起ラナイ、デスカラ向フノ勝負鐵ヲ見タ人ハ分リマスガ、勝負鐵ヲ見ルト溝ガ切ツテアリマス。サウシテ釘ノ穴ガ鐵尾ノ方ニカタマツテ空イテ居ル。普通ハ鐵尾ノ方ハ釘ヲ打ツ處デナイ此釘ヲ打ツチヤイケナイ所ニボツ／＼穴ガ空イテ居ル。其處ニ釘ヲ打テバ鐵ハピツタリクツ附クヤウニ出来テ居マス斯ウ云フ風ニ蹄機ヲ妨害スルコトハイケナイガ、多少蹄機ガ妨害サレテモ突上ゲガ起ツタリ或ハ裂蹄ガ起ラナケレバ其ノ方ガ宜イ譯デス。而シテ蹄機ガ妨害サレテドシナ結果ニナルカト云フト、蹄機ガ妨害サレルト蹄軟骨ガ化骨シタリ何カシテイケナイト言ヒマスガ、ソレハ馬車馬デアルトカ乗馬ト

云フヤウニ長ク使フモノデ、競走馬ノヤウニ短時間ダケバツバト使フ場合ニハ必要ハナイ。寧ロ後ノ方ハビツタリ附ケタ方ガ宜イ。モウ一ツハ其ノ鐵尾ガ短ク薄イ鐵ガ蹄踵一杯デ蹄球ノ方ガ地面ニ出テ居ル。所ガ蹄鐵ノ方デ教ヘルノハ鐵尾ヲ蹄球カラ下シタ垂線迄延バセト言ヒマス。鐵尾(剩尾)ト云フモノハ一體何ノ爲ニクツ附イテ居ルノカト云フト、此鐵尾ヲ少シ出シテ置カナイト、段々蹄ガ前方ニ伸ビテ行ク、即チ段々前ニ伸ビテ來ルト、聽テハ鐵尾ガナイト云フト、蹄球ノ蹄ガ伸ビテ來ル爲ニ蹄球ノ處ガ、鐵ガナクナツテシマフ。ダカラ初メ後ノ方ニ出シテ置ク、即チ蹄ガ長クナツタ時ニ丁度一杯ニナルト云フ意味デ後方ニ鐵ヲ出シテアル。ソレハ併シ普通ノ馬ノ話デ、競走馬ト云フモノハドン／＼改装スル。ソナモノヲ出シテ置ク必要ハナイ。之レガ出テ居ルト云フト、第一追突シテ落鐵スル危險ガ多イ又鐵ガ後レ出テ居ルトドウシテモ危險デス。尙鐵尾ガ地面ニ當ツテドン／＼突上ツテ蹄球ガ痛ム。結局日本ノ競馬馬ノ肢ニクツ附イテ居ル鐵ハ大體ガ普通乘馬ノ鐵ガ附イテ居ツテ本當ノ競走馬ノ附ケ方デハナイ。此處ガ我々ガ考ヘナケレバイケナイノデス。ソレカラ尙ホ後肢モ矢張り鐵尾ヲ後ニ出シマスガ、出ス位ナラマダ宜ウゴザイマスガ、サウヂヤナクテ、今ノ大體ノ競馬馬ノ肢ヲ見ルト、大抵ハ鐵ノ後ノ方ガ厚イ。此厚尾ガ多イト云フノハ、一體ドウシテ多クナツタカト云フト馬ヲ作ツテ行ク内ニ、作り方ニ無理ガアルカラ、斯ウ云フモノヲ打タナクチャナラナイ様ニナル。本當ハ厚尾ダト、後肢ノ送りガ少クナルカラ、ポコ／＼コヅムヤウニナル。薄尾ノ方ハ、後ノ方ヲ薄ク

シテシマフカラ如何ニモ工合ガ惡イヤウニ思ヒマスケレドモ、實ハ厚尾ノモノヲ打ツヨリモ薄イモノヲ打ツタ方ガ宜イ。詰リ前ノ方ニウント送りガ深クナル。所ガ日本デ斯ウ打テナイト云フコトハ、ドウ云フ譯カト云フト、結局斯ウ打ツト云フト、後ロガ付カナクナツテ蹄尖デ歩ク、蹄尖デ歩カセルト馬ノ足ガ振レルカラ、踏込シテ蹴ツテ行ク力ガナクナル、ソレデソレヲ補フ爲ニ、ドウシテモ平ニ付カセタイト云フノデ、斯ウ云フ風ナ厚尾ヲ打ツヤウニナル。一體蹄尖ガ附カナイヤウニシテシマフト云フノハ調教ノヤリ方ガ惡イ。結局此後肢ト云フモノガ碌ニ出來ナイ内ニ、無暗矢鱈ト駈ケテシマフモノダカラ、腰ガ固クナル。腰ノ固イモノガ出來ルカラ、肢ガユトリガナイ様ニナリ前ニ行カナイ。詰リ腰ノ筋肉ノ出來ナイモノヲ無理ニ動かスカラ、ドウシテモ肢ガ出ナイ、ソレデ蹄尖デコト／＼歩イテ、後ロガ付カナイデ、スツスツト這入ツテ行カナイ。デスカラ、日本ノ競走馬ヲ見ルト、後肢ガ厚尾ニナツテ居ルカラ、踏込ガ少ク、コト／＼デ、送込ガ足りナイ。一體駈馬ハ追突ヲヤルガ、之デハ追突ドコロノ騒ギデハナイ、前肢ト後肢トノ間ニ隔リガ出來ル。ソレハ結局ノ所調教法ガ惡イノデ本當ハ薄クテ後肢ノ踏込ガ良クナルヤウナモノヲ拵ヘテヤラナイトイケナイ。併シサウ云フ風ニ作り上ゲルト云フコトハ仲々難カシイ。ソレガ出來ルヤウニナレバ、結局厚尾ノモノハ廢メ、又前肢ノ鐵尾ヲ延バス必要モナク、又後肢モコトコトシナイデ、ドン／＼踏込メバ、結局追突ガ起リ易クナツテ之レヲ防グ爲ニ、前肢ノ鐵尾ヲ取ツテ仕舞ハナケレバナラナイ様ニナル。デスカラ、向フノ馬ハ、サ

ツキ申シマシタヤウニ、前肢ノ鐵尾ガ一杯デ、追突シナイヤウニナツテ居ル。ソレカラ後肢モ鐵尾ガ薄イ。デスカラ四肢共ニ皆伏テ居テ、鐵尾ハ出テナイシ、鐵モ薄イ、斯ウ云フ譯デ、良ク飛ブ。又送込ガ延ビ、駈ケツブリモ違フ。日本モ將來ハサウ云フ風ニ段々變ツテ來ナケレバナラナイ。所ガ斯ウ云フヤリ方ヲ、先程モ申シマシタヤウニ、初メテ競馬ヲヤツタ時分ニ、何ニモ考ヘズニヤツチヤツタモンダカラ、詰リ馬ノ作り方モ十分ニ出來ナイシ、馬場ナドモ十分デナイ、何ニモ分リヤシナイデ、肢ノ恰好バカリ眞似ヲシタカラ、目茶苦茶ニナツテシマツタ。併シ段々色々ナモノガ改正サレテ、乘リ方モ上手ニナリ鐵ノ方ノ研究モ出來テ、良クナツテ來レバ、恐ラク斯ウ云フヤウナヤリ方ニシテ行カナイトイケナイ。殘ル所ハ只馬場ノ問題デ、馬場サヘ良クナツタラ、恐ラク斯ウ云フヤリ方ヲシテモ大丈夫ダト思フ

ソコガ向フノ馬場ト馬ノ肢ト、日本ノ馬場ト馬ノ肢トノ大變ニ違フ點デ、是ハ外國ト日本トノ恐ロシイ大キナ違ツタ點デアリマス。ソレヲ日本ハ日本デ構ハナイカラ、何モ向フノ眞似ヲシナクテモ宜イ。今ノ儘デ宜イチヤナイカ、差支ヘナイ、兎ニ角ドウカ斯ウカヤツテ行ケルカラ宜カラウ、之デ通シテシマツテモ構ハナイ。併シソレデ宜シイノデセウガ、ソレデハ速力モ何モ出ナイト云フコトニナル。速ク走ラナケレバ競馬チヤナイ。一秒二秒争フノガ競馬デス。只丈夫デ駈ケルダケデ宜イナラ、ソコラ邊ノドタ馬ヲ持ツテ來テ、厚イ鐵ヲ裝シテ、ドタ／＼ヤラセレバ宜シイ譯デス。併シソレチヤ

本當ノ競馬ノ意味ニ缺ケル。何トカ速ク駈ケサセルコトヲ考ヘナケレバイケナイ。其ノ爲ニハドウシテモ肢ノ運びト云フコトヲ考ヘナケレバナラナイ。ソコデ肢ヲサウ云フ風ニ改良シテ行クト云フ考ヲ今ノ内カラ持ツテ居ナイトイケナイ。何デモ構ハナイカラ、コヅンダリ。シテ肢ガ出ナイト云ツテ、厚クシ、又海老ニナツタカラ、厚クシロ、ソレデハ本當ノ速力ハ出ナイ。馬ヲ自由ニ歩カセルヤウニスル爲ニハ、裸足ガ一番良イ。競馬場デ裸足デ駈ケルト云フコトガ出來レバ、ソレニ越シタコトハナイ。ソレヲ一番先キニ始メタノガ獨逸デス。獨逸ハ丁度十年前カラ裸足ヲ始メテ居ル。十年前マデハ獨逸デ非常ニ問題ニナツタノハ、鐵ヲ裝シテ駈ケル方ガ宜イカ、裝シナイ方ガ宜イカト云フコトガ、大分問題ニナツタ。サウシテ色々議論シタリ何カヤツテ居マシタケレドモ、ソレチヤ先ヅ物ハ試シダ後肢ノ方ダケ取ツテ見ロト云フノデ、後肢ノ鐵ヲ取ツテ見タ。ソレデ獨逸デハ平場ヲ駈ケテ居ルガ、後肢ノ鐵ヲ取ツタ方ガ宜イ。鐵ハ前肢ダケツケル方ガ宜イ。デスカラ、蹄鐵工場ニ行ツテ見ルト、工場ニ置イテアル蹄鐵ハ全部前蹄バカリデ、後蹄ハ要ラナイカラ拵ヘナイ。ソレデ十何年間ヤツテ來タ此十何年ノ經驗ニ徴シテ、競走馬ト云フモノハ、結局後ノ鐵ハナクテモ宜イト云フヤウニナツタ。サウシテ今ハ前蹄ヲ取ラウト掛ツテ居ル。全部裸足ニシテ駈ケラレルトスレバ一番良イ。日本デモ一ツ後ロノ鐵ヲ取ツテ見タイト云フ氣モ起リマスガ、ウツカリ取ツテ、下ノコトヲ考ヘズニヤルト、蹄ノヘリガバラ／＼剝レテシマフ。所謂負縁ノ所ガ壞レテ、蹄ガ痛ムカモ知レナイ。ソコノ所ハ餘程考ヘ

ナイトイケナイ。ソレハドウシテ後ノ鐵ヲ取ツテ宜イヤウニナツタカト云フト、詰リ後肢ノ鐵ノ減リ方ガ、前肢ノ鐵ト減リ方ガ違フ。後肢ノ蹄鐵ト云フモノハ減ラナイ。前肢ノ方ガ減ル。後肢ハ主トシテ蹄尖ノ方ガ減ル。日本デモ實際ニ後肢ト云フモノハ減ラナイ。大體ニ於テ期間カラ云ツテ、三分ノ一位減リ方ガ少イ。從ツテ前肢ダケ付ケテ居レバ、後ハ鐵ノ減リ方ガ少イカラ、鐵ガ要ラナイト云フコトニナル。ソレカラ鐵ヲ取ツタラ、ドウ云フ利益ガアルカ。是ハ向フノ人ガ計算シテ出シテ居マスケレドモ、少クトモ鐵ヲ履イテ居ルノト、履カナイノデハ、重量ノ關係ガ違フ。四肢ニ四ツ鐵ヲ履カセルト云フト、目方カラ云ツテ詰リ八キロ近イト云フコトニナル。デスカラ、アナタ方ガ今五十八キロデ馬ニ乗ル、ソウスルト此四ツノ鐵ヲ取ツチャツタ時ニハ、五十八キロデナク、五十キロノ負擔ニシカ馬ニハ與ヘナイ。デスカラ、八キロ輕クナル。同ジ馬ナラ、八キロ輕イ方ガ必ズ速イ。二ツ取レバ四キロ輕クナルカラ、同ジ馬デアルトスレバ、四キロ輕イ方ガ速イ。ソレデ鐵ヲ取ツタ方ガ宜イト云フ。アノ四ツノ鐵ガソナニ目方ニ關係スルカト云フト、上ノ重量ガ五十八キロナラバ、五十八キロ掛ツテ居ル、サウシテ馬ガ歩イテ居ル時ノ重量ヲ考ヘテ見ルト、鐵ヲ履イテ居ルトキハ八キロ餘計ニ背負ツテ居ル苦シミガアル。何故カト云フト、肢ヲ振ツテ行ク時ニ、鐵ノ付イテ居ル振り方ト、鐵ノナイ振り方ト、比較スレバナイ方ガ能ク振レル。結局鐵ガ相當ナ目方ヲ持ツテ居ル爲ニ、振り運動ガ餘リ樂ヂヤナイシ、馬ガ草臥レル。前肢ナラバ肩、後肢ナラバ腰ノ方マデ草臥レル。腰ヤ肩ガ草臥

レレバ自然ニ駈ケ方ガ遅クナツテ十分ニ駈ケラレナイ。ソレデスカラ、鐵ノ有無ガ大變ナ違ヒデス。マア行クハ、鐵モ段々要ラナクナル時ガ、來ルデアラウト思ヒマス。サウ云フ點ガ、大變日本ト向フト違フ所デス。之レハアナタ方モ今直グサウシロト云フ譯デハナイ。只一ツノ參考トシテ頭ノ中ニ殘シテ置イテ貰ヒタイ

併シ行クハソナヤウナ風ニ直シテ行カナケレバイケナイ。ソレガ日本デ出來タ時代ニハ、又今度ハ西洋ノ方ハズツト進ンデシマフカモ知レナイ。デスカラ、斯ウ云フ風ナコトモ、矢張り始終外ヲ見テ居ナイト分ラナイ。ソコニ詰リ見識ノ廣イトカ、狭イトカト云フ違ヒガ出來テ來ル。アナタ方モ只馬ニ乗ツテ居ルダケデナク、斯ウ云フ講習會ニ出テ。話ヲ聞イタリ、色々乘リ方ヲ習ツタリ、見タリスルト見解ガ廣クナツテ、色々智恵ガ付イテ來ル。只自分ノ所ノ厩舎ニ居テ、先生ノ云フコトガ一番良イト思ツテ居ルガ、自分ノ先生ヨリモ、マダモツト良イ先生ガアル。尙日本ノ先生バカリデナク外國ノ先生ノ云フコトモ、成ルタケ色々見タリ聞イタリシナケレバナラヌ。ソレヲ怠ケテ居ルト、井戸ノ中ノ蛙ニナツテ、結局偉イト思ツテ居ルガ、外ヲ見ルト、チツトモ偉クナイト云フコトガ分ルサウ云フ爲ニ矢張り外國ノ方デヤツテ居ルコトモ、頭ノ中ニ憶エテ置クコトガ必要ダト思ツテ、今日ハ之ヲ御話シタノデアリマス

「レース」ノ仕方

外國競馬所見並ニ競走馬ノ調教、管理、飼養ノ一般ニ就テ

次ハ競馬ノヤリ方ガ違フ所ヲ御話シテ置キマス。競馬ノヤリ方ガ違フト云フノハ、競馬施行細則ガ違フト云フ意味チヤナイノデス。本馬場へ出テ「レース」ヲヤル様子ガ日本ノト向フトハ大分違フ點ガアル。詰リ乗ル人、ソレカラ馬ガ一致シテ上手ニ駈ケル。ソレガ違フ。先ヅ馬場ニ乗役ガ乗ツカツテ馬ガ這入ツテ來タ時、第一ニイレテ居ル馬ガ少イ。此方デハドウモ、イレツボガ多イ。ドウシテ日本ノ馬ハア、云フ風ニイレテ居ルノガ多クテ、向フデハイレテ居ルノガ少イガ。是ハ色々ナ原因ガアル。不斷ノ馬ノ扱ヒ方モ一ツアリマス。ソレカラ馬ガ馬場ニ餘リ能ク慣レテ居ナイト云ツタヤウナコトモアリマス。ソレカラ乗ツテ居ル人ノ感ト云ヒマスカ、性質ト云ヒマスカ、ソレガ矢張り馬ニ移ツテ、人ガイラ／＼シテ居ルト、馬モ一緒ニナツテイラ／＼シテシマフ。又色々ナ興奮劑ヲ掛ケル。日本デハ其爲ニ矢張り馬ガイレテシマフ。興奮シテ居ル。勿論向フデモイレツボモ居マス。併シ非常ニ數ガ少イ、向フデイレルノハドウスルカト云フト、イレテ居ルモノニハ、付ケ馬ヲスル。オトナシイ馬ヲ必ズ一緒ニ付ケテ來ル、デスカラ暴レル馬ニハ自分ガ乗ツテ、片方ニモ一ツオトナシイ馬ヲ付ケテ這入ツテ來ル。サウスルト片方ガオトナシイカラ、自分ノ馬ハ、暴レ馬デモ暴レズニ行ツテシマフソレデモ云フト聞カナイト、所謂地乗り見タイナコトヲ少シヤル。片方ニ馬ヲ付ケテ、竝ンデ地乗りヲスルト落着ク。日本デハ馬ヲ一緒ニ付ケテ、所謂付ケ馬ヲシテ、馬ヲ慣ラスト云フトハヤラナイ。何デモカデモ無理無體ニ押ヘ付ケヨウトスルガ、サウハ行カナイ。矢張りオトナシクサセル爲

ニハ相當ナ方法ヲ講ジテヤラナケレバイケナイ。デスカラ、チョット見ルト云フト、向フノ「レース」ニ出テ來ル時ノ様子ガオカシイ。日本デハ揃ツテチャント綺麗ニ、一二三四五六七ト順ニ揃ツテ出テ來マスガ、向フデハ其間ニ重イ血液ノ馬ガ挟マツテ出テ來マス。チョット列ヲ見タ時恰好ガ惡イ。恰好ガ惡クテモ仕方ガナイ、オトナシイ方ガ宜イ。馬ガ競走スル前ニイレルト云フトハ、非常ニ損デス。「レース」スル前ニ餘計ナコトニ氣ヲ使ツテシマフ。言換ヘレバ神経系統ヲ「レース」スル前ニ非常ニ使ツテシマフ。駈ケルト云フトハ、勿論筋肉ノ力デ駈ケルノダガ、又ソレヲ動カス一ツノ活動力ガアルノデス。其活動力ヲ使ツテ筋肉ヲ動カス其元ハ何カト云フト神経デス。其神経ガ鈍クナツテシマフ、或ハ力ガ足りナクナツテ駈ケラレナイ。丁度我々デモ同ジコトデ、餘リ頭ヲ使ツタリ、色々心配ヲシタリ、或ハビク／＼シテ居ルヤウナコトガアツテハ、何ノ仕事ヲシタツテ、巧ク出來ナイ。ソレト同ジコトデ、「レース」前詰リ「スタート」スル前ニ馬ヲイレサセテシマフトハ非常ニ損デスデスカラ、能ク興奮劑ヲ掛ケテ、「スタート」ノ時ニ長ク立タセテ置クト、馬ガ駄目ニナツテシマフ。彼處マデ行ク間ニ好イ加減ニ馬ガ汗ヲ掻イチャツテイレテシマツテ、ガタ／＼シテシマフ。イザ「スタート」ガ上ツテモ力ガナクナル。デスカラ、長ク彼處ニ立タセナイデ、早く駈ケサシテ吳レト能ク云フ人ガアルガ、ソレハ狡イ話デ、本當ハ落着イテ彼處ニ居テモ何トモナイ様ニナラナケレバイケナイ。彼處ニ暫ク立タセテ置クト馬ガ駄目ニナツテシマフト云フノニハ、何カソコニ仕掛ガアルカラデ

ソレガ効カナクナルノデ困ルカラ、早ク／＼ト云フ。立タシテ置クト厭ガル。向フデハ興奮劑ヲ掛ケルコトハ絶對ニ禁止サレテ居リマス。若シ興奮劑ヲ掛ケタト云フコトガ分ルト、馬ハ勿論、乗役モ馬主モ一緒ニ全部騎乗停止ドコロヂヤナイ、其俱樂部カラ追出サレテシマフ。是ハ獨逸デモ英國デモ、佛蘭西デモ、米國デモ皆サウデス。迎モヤカマシイ。デスカラ、乗役ガ掛ケタイナト思ツテモ駄目デス。又持主ガ興奮劑ヲ掛ケテ吳レト云ツテモ駄目デス。偶ニハヤル人モアルシイ。運好ク目付カラナケレバ宜イガ、目付カツタラ御仕舞、馬ハ一生騎乗停止ヲ食ツタノト同ジニナル。乗役モ、馬主モ駄目ニナツテシマフ。ソレデスカラ馬主モ監督シマス。若シ馬主ガ知ラナイノニヤツタラ、或ハ馬主ハ逃レルカモ知レマセヌガ、ソコノ厩舎全體ガイケナクナツテシマフ、デスカラ例ヘバ此處ニ某厩舎ニ干與シテ居ル人ハ誰ト決マツテ居ルカラ、其厩舎デ一頭興奮劑ヲ掛ケタ馬ガ出ルト、其厩舎全部ガ駄目ニナツテ、外ノモノニ非常ニ迷惑ガ掛カル。俺ハ何モシナイ、興奮劑ヲ掛ケナイト云ツテモ、馬主ハ違ツテ居テモ、其厩舎ニ居ル馬ハ、全部イケナイコトニナルカラ、興奮劑ヲ掛ケルト云フコトハ非常ニ恐ロシイコトニナツテ居ル。日本デハ只某乗役ト馬ダケデ、外ニハ餘リ關係シテ來ナイガ、日本デ若シサウ云フ風ニ厩舎ニ關係スルトナツタラ大變デス。例ヘバ澤山ノ旦那ヲ持ツテ居ル厩舎ハ、外ノ旦那ガ皆駄目ニナツテシマフ。サウ云フ風ナコトニナツタンデハ非常ニ大勢ニ迷惑ヲ及ボスコトニナルカラ、結局ヤラナイ。日本デモ今度ハヒヨツトスルト或ハサウナルカモ知レマセヌ。結局向

フノ罰則ト云フモノハ、個人ニ止マラナイヤウニ出來テ居ル。言換レバ他人ニ迷惑ノ掛ルヤウナ罰則シカ作ツテナイ、所ガ日本ノ罰ノ作り方ト云フモノハ、個人ダケシカ罰セラレナイカラ。引ツ張ツタト云フト、引ツ張ツタ人間ダケ騎乗停止ヲ食フ。向フデハサウヂヤナイ、引ツ張ツタモノダケデナイ其厩舎全部ガイカヌトナル。引ツ張ツタモノダケガ謝ツテモ濟ミマセヌ。其著シイ例トシテ獨逸邊リノ競走デハコンナコトヲヤツテ居リマス。例ヘバ此處ニ二千四百ノ「レース」ガアルトシマス。ソレニ俱樂部デ以テ假想シタ「タイム」ヲ出シテ置キマス。例ヘバ二千四百ナラ、二分四十秒ト出シテ置キマス。ソレニ若シ一頭デモ這入ツテ來ナカツタラ、全部失格ニシテシマフ。デスカラ、引ツ張ツタ馬ガアレバ、ドウセ遅クナル。一着ガ二分四十秒デ駈ケテ這入ツテモ、一頭四十一秒超エテ居ルモノガアレバ、其「レース」ハ駄目ニナル。サウ云フ風ニ決メテアル。此決メ方ガナカ／＼難カシイガ、其ノ位ニシテ引ツ張ツタリ或ハ八百長ヲスルコトヲ防グ。詰リドノ位ノ距離ナラバ、ドノ位デ駈ケナケレバイケナイト云フコトガ大體分ツテ居ル。馬場ノ工合、天氣ノ工合、其前ノ「レコード」ヲズツト探ツテ行ケバ、ドウシタツテ、是ダケノ「タイム」デ來ラレナイト云フコトハナイ。ソレデ何秒ト俱樂部デ決メテ、其時間以内デ必ズ這入レト云フ。併シ肢ガ折レタリ、馬ガ轉ンダリシテハ、這入レナイガ、兎ニ角其時間内ニハ必ズ這入レルモノト、見極メヲ付ケタ「タイム」ヲ出シテ置ク。ソレニ這入ツテ來ナカツタラ、何か狡イコトヲシテ居ルカ。真正直ニ行ツタモノヂヤナイ。絶對ニ其時間

ニ來ナクチヤイケナイ。サウナツテ居ルカラ、乗ツテ居ル人間モ遅ケレバ皆駄目ニナツテシマフノデ、何トカ其「タイム」ニ這入ツテ來ナケレバ大變ト云フノデ、「レース」ヲ皆一生懸命ニヤル。若シ全部失格トナレバ、賞金ドロコノ騷デナイ。ソレデスカラ、遊ビ半分ニヤツタリ、馬券ヲ買ツタカラ引ツ張ル様ナコトハヤツテ居ラレナクナル。斯ウ云フ風ナ制裁方法ヲヤツテ居ル。是ハ外國式デ、日本デハマダ／＼輕イヤリ方デ規則ノ拵ヘ方ガマダ輕イ、日本デハ只個人ヲ叱ル、個人ダケガ謝ツテシマフト濟ンデシマフ。一年ノ騎乗停止、ソレガ濟ムトヒヨコ／＼又引ツ張ル。引ツ張ルヤウナ人ハ年中引ツ張ツテ居ル。日本デ若シ外國式ニヤツテ、全部失格トナツタラ、迷惑ヲ掛ケル奴ダト云ツテ皆ニ張り飛バサレテ、半殺シニナル。併シ向フデハサウ云フ風ナ制裁方法ガアリマスカラ、危ナクテ馬ニ興奮劑ナンカハ掛ケラレマセヌカラ、馬ガ矢張り馬場ニ出テ來タ時ニオトナシイ。ソコハチヨツト見テ違フ。日本見タイニ、ガタ／＼ヤツテ泡ヲ吹イテ居ルモノハ一頭モナイ。日本デハズツト其ノ癖ガ付イテ居リマスカラ、アレデナケレバ「レース」ハ出來ナイモノダト思ツテ居ル人ガアルカモ知レマセヌガ、公認競馬ノ人ダケハ、サウ云フ仕掛ヲスルコトハ止メテ、本當ノ勝負デ勝ツテ欲イ

併シ今日日本デハ仕掛ヲシタモノハ、ドウスルト云フ風ニ規則デ決マツテ居リマセヌガ、ソレガ決マツテカラ慌テタツテ間ニ合ハナイ。其前ニ馬ヲチャント調教シテ仕掛ナゾヲシナイデ駈ケレル様ニシテ貰ヒタイ

ソレカラ次ニソノ／＼ト「スタート」ノ所ニ馬ガ來マス。其時ニ日本デハ馬ノ臀ヲ引ツ叩イテ無暗ニ駈ケテ行クモノガアルガ、ソナコトハヤラナイ。日本デハ何ノ爲ニヤルノカ知リマセヌガ、御客サンノ見テ居ル前ヲ、馬ノ臀ヲ引ツ叩イテ「スタート」ニ駈ケテ行ク。俺ノ馬ハ駈ケルト威張ツテ見セルノカドウカ知リマセヌガ、アンナコトハヤラナイ。ズツト揃ツテ行ク。デスカラ、「スタート」ノ所ニ來ル時ニモ、揃ツテ「スタート」ニ來マス。日本デハ「スタート」ノ所ニ來テ揃ツテ居ナイ。「スタート」ノ所デゴタ／＼シテ居ル。デスカラ、時間ガ掛カツテシマフ。ソレガ向フデハズツト竝ンデ行ツテ、「スタート」ノ所ニ來ルト、パツト上ゲラレル、ソナニ時間ガ掛カラナイ。ソレガ日本デハ揃ツテ來ナイ。アレデハ情ナイ。出テ行ク時ニ向フノ方ニ行ツテシマツタリ、又平場デ地乗リヲスル必要ハナイ。併シ繫駕ハ違ヒマシテ地乗リヲシナイイケマセヌガ、普通ノ平場ノモノナラバ、其必要ハナイ。向フデハソナコトナシニ、ズツト皆竝ンデ「スタート」ニ揃ツテ這入ツテ來マス

ソレハ右カラ來ル時モ、左カラ來ル時モアリマスカ、ズツト一緒ニ來ル、來ル時ニ棹順デ來マスカ、「スタート」ノ立ツテ居ル所カラ、五六間向フノ方ニ來タ時ニ、馬ノ顔ヲ大體竝バシテ置イテ、少シヅ、ソツト歩イテ、「スタート」ノ所カラ二馬身、三馬身手前ノ所へ行ツテ皆竝ンデシマフ。デスカラ馬ノ後ロニ廻ツテ、ブツタリ何カスル、アレガ要ラナイ。「スタート」ハ何トモ云ハナイ。黙ツテ立ツテ居ルダケデ、何ニモシナイ。此方ノ「スタート」ハ忙ガシク、何ダカンダ云ヒマス、馬ハダ

ル。廻ツテ色々騒ギヲスルガ、サウ云フコトハ一ツモシナイ。ソコデ揃ツタカト思フト「スタート」ハ「スタート」ヲ上ゲル。上ゲルト馬ハスツト出テ行ク。「スタート」ノ所ハ非常ニ穩カデス。日本ノ「スタート」ト來テハ之レニ比ベルト見チヤ居ラレナイ。「レース」ハ「スタート」ニアルト云フノデ、一頭ハ此方ニ廻ツテ居ルカト思フト、外ノハ又グル／＼彼方ニ廻ツテ居ル。ハスカケニナツテ居ルノモアル。様々デアル。中ニハ隣ノ馬ヲオツカブセヨウト掛カツタリ、内枠ニ這入ラウト狙ツテ居ツタリスル。ソレダカラチヨツト上ゲ損フト皆網ニ引掛ル。何故アレヨヤルノカト云フト、之ハ此處ニ斯ウ云フコトガ一ツアル。日本ノハ「スタート」デ、喧嘩シテ行カナイト、丁度千八百ナラ千八百デ、初メ出タ頃ハズツト威勢良ク行ツテ、第三「コトナー」邊リニ行クト、皆馬ヲ引ツ張ツテ、馬ガカタマツテシマフ。ソウシテ三分三厘ニ掛ツテ追出シテ來ル。ソレヲヤルニハ、先キニ行ツテ居ル方ノモノガ勝、ソレデ「スタート」デ喧嘩ガ始マル。向フハサウチヤナイ。第三「コトナー」デ引ツ張ルトカ、三分三厘デ追放スト云フヤウナコトハヤラナイ。出タラ出タキリ、何處マデモ駈ケテ行ツテシマフ。引ツ張ツタリ、伸シタリシナイ。全部追ヒ放シテ行ク、ソレガ本當ノ「レース」デス。途中デ引ツ張ツタリ、伸シタリスルト云フノハ、「レース」チヤナイト思フ。ソレハ多少アルカモ知レマセヌガ、日本程サウ著シク引ツ張ツタリ、伸シタリシナイ。日本デハソソコトヲスレバ、馬ハ駄目ニナル。嬌メルカラ、三分三厘デ肢ガ出ル、嬌メズニ行ツタラ線香花火見タ様ナモノデ駄目ニナツテ

シマフト云フ。成程ソレハサウカモ知レナイガ、サウ云フ方ガ間違ツテ居ルト思フ。ソレハ其距離ダケ駈ケラレナイ馬ヲ其距離ニ出スカラサウナルノデ、馬ガ駈ケラレル距離ダケニ出レバ、引ツ張ル必要ハナイ。ソレガ千八百マデ駈ケラレナイ馬、即チソレダケ調教ガ出來テ居ナイ、セイ／＼千四百シカ駈ケラレナイ馬ヲ、千八百ニ出スカラ、引ツ張ツテ力ヲ嬌メテ置カナケレバ、三分三厘ノ追込ガ効カナクナル。デスカラ結局追込マデ引ツ張ツテ、ソレカラ伸バシテ駈ケサセヨウトサセルノモ、馬ガソレダケマダ出來上ツテ居ナイノカ、サウデナカッタラ、ソレダケノ距離ニ當嵌ツテ居ナイ馬ヲ持ツテ來テ居ルノカドツチカデスガ、言換レバ日本ノハ全部共「レース」ノ距離ニ當嵌ツテ居ナイモノヲ皆「レース」ニ出シテ居ルト云フコトニナル。詰リ不十分ナ調教デ、肢ガ出來テ居ナイシ、筋肉モ出來テ居ナイカラ、ソレマデ行クニハ、馬ガ草臥レテシマフ。草臥レチヤツテハ困ルカラ、草臥レナイヤウニ引ツ張ツテ、草臥レヲ止メル。デスカラソレガ馬ノ駈ケ振リニ非常ニ影響ヲ及ボシテ來ル。イツデモ馬ヲ引ツ張ルカラ、頸ガ上ツテ居ル。引ツ張ル時ニハ、頸ガ下リヤシナイ。向フノ馬ハサウチヤナイ。プツ飛バシニ飛バシマス。馬ガ低ク丁度犬ガ駈ケルヤウニ頸ヲ低クシテ駈ケル。日本デモ初カラ引ツ張ラズニ、始終サウ云フ習慣ヲ付ケテ置ケバ、馬ハ決シテ頸ヲ上ゲテ、行クコトハナイ。矢張り低クナツテ行ク。低ク駈ケサセレバ速度モ速クナル。詰リ好ンデ無理ヲシテ速力ヲ遅クシテ居ルトシカ見ラレナイ。コレガ大變違フ。デスカラ、駈出シテ居ル馬ノ様子ヲ見テ居ルト、非常ニ綺麗デ

ス。如何ニモ馬ガ伸縮自在デ、彈力ヲ持ツテ揃ツテ駈ケル、ソレガ日本デハ、馬ノ頸ヲ上ゲチャツテコヅンダヤウニコトノ駈ケテ居ル。之ハ引ツ張ルノガ一ツ、モ一ツハ、ソレマデ調教ガ出來テ居ナイノヲ無理ニ出ス。モ一ツハ今申シマシヤウニ其「レース」ニ當嵌マラスモノヲ出ス。其「レース」ニ當嵌マラスト云フノハ、ドウ云フノカト云フト、詰リ千六百ナラ千六百一杯ノ馬ガアリマス、千八百一杯ノ馬モアル、ソレカラ二千一杯ノモノ、二千二百、二千四百マデ行クノモアル。デスカラ、例ヘバ「マイクロフオン」ハ二千メートルナラ、屹度一着ニ行キマス。二千二百、二千四百ニシテ御覽ナサイ勝テナイ、アレハ、二千ノ馬デス。アレヲ二千八百ニ持ツテ來タリ、三千二百ニ持ツテ來タツテ勝テナイ、アンナ速イ馬デモ、一ツノ例デスガ、サウ云フモノモアリマス。アレ以上駈ケサセル爲ニハ、何トカ上手ニ仕掛ヲシナケレバ駈ケナイ、アレハ結局二千マデ駈ケルガ、ソレ以上ハ持タナイ、千六百一杯ノ馬ハ、一哩六分ハ駈ケラレナイ。何デモ宜イカラ出テ見ロ、勝テルカモ知レナイト云フノデ、出テ見タツテ駄目デス。外ノ馬ガソレダケ長イ距離ガ駈ケラレルノニ、出テ見タツテ勝テツコナイ。ソレヲ無理ニ何トカ胡麻化サウト云フ爲ニハ、仕方ガナイカラ、興奮劑ヲヤルトカシテ駈ケサセルガ、フウ／＼云ツテバテシマフ。サウ云フ風ナ無理ハ向フデハナイ。向フデハ、二千四百ニ出ス馬ハ、盡ク二千四百駈ケラレルモノシカ出テ來ナイ。二千以上駈ケラレナイモノハ、二千四百ノ「レース」ニハ出サナイ。日本デハ馬ノ數ノ關係カラシテ出サナケレバイケナクナツタリ、或ハ馬

ノ肢ガ分ラナイ爲ニ、參考ニ出シテ見ルト云フノデ出ス人モアリマス。又馬主ガヤカマシクテ、乗役ガ何トカ少シ稼ガナクチャシヨウガナイト云フノデ、馬ヲ出ストカ色々ナコトガアリマスガ、兎ニ角サウ云フ點ガ、向フデハ非常ニ能ク揃ツテ居ル。其爲ニ「レース」ノ状態ガ非常ニ違ツテ居ル。又「タイム」ナンカノ點ニ於テモ、日本ノ方ガ大變ニ遅イ

ソレカラ「スターチング・ゲート」ガバツト上ツタ時ハ横隊ニナツテ、出テ行ク、ソレカラ少シ行ツテ、本當ノ競走ガ始マル。ソレハ長イ「レース」ニナレバ、ソレハ出來ルカモ知レナイト云ヒマス、例ヘバ「レース」ガ三千二百位デアレバ、少シ位「スタート」ガドウナツタツテ構ハナイト云ヒマスガサウチャナイ、五「ハロン」ト云フト、千メートル、千メートル位ノ短イ「レース」デモ、勿論馬ハ若イ三歳ノ馬ガ駈ケルノデスガ、矢張り「スタート」ハ、ノンキナ「スタート」少シ行ツテカラ駈ケル。ソレカラ殆ド引ツ張ルト云フコトモ何モシナイデ、「ゴール」ニ這入ツテ來ル。十八頭モ二十頭モ馬ガ一所ニ這入ツテ來テシマフ。チツトモ離レナイ。ドレガ一着カ、二着カ、我々ガ見テ居タツテ分ラナイ。餘程眼ガ慣レナイト分ラナイ。其位詰ツテ這入ツテ來ル。距離ガ長イト三馬身五馬身違フト云フコトモアリマスケレドモ、五「ハロン」トカ六「ハロン」トカ、七「ハロン」位ノ短イ「レース」デハゴールニ這入ツテ來ル時ニハ、殆ド分ラナイ。幾ラ一生懸命見タツテワカラナイ。向フノ人ハ分ツテ居ラシイ。乗役ノ服装デ、アレガ何番ト番號ナンカ付ケマス。我々ガ見テ居テモ、乗役ノ

着物デ何番ナドトハチツトモ分ラナイ。其位ニ揃ツテ這入ツテ來マス。ソレデスカラ、イツデモ全速力デ全能力ヲ發揮シテ駈ケテ居ル。ソレハ能ク俱樂部デ全能力ヲ發揮セヨト云ヒマスガ、日本デハ殆ド全能力ヲ發揮シテ居ル馬ハ少イ。三分三厘カラハ全能力ヲ發揮シテ居ルガ、後ハ全能力ヲ出シテ居ナイ。後ハ好イ加減ト云ツテハ、イケナイガ、力ヲ矯メナガラ、様子ヲ見ナガラ、駈ケテ居ル、向フデハ全能力ヲ出シテ全「コース」ヲ駈ケル爲ニ、ドコノ競馬ヲ見テモ偉イ勢デ駈ケテ行ク。ソレダケ向フノ方ガ「タイム」ガ詰ル。良イト云ツテモ一分モ二分モ違フ譯デハナイ。五秒早カツタトカ、六秒早カツタトカ云ヒマス。外國ノ馬ガ早イト云フノハ、一ツハ馬種ガ良イ、血統ガ良イト云ヒマスケレドモ日本ノ馬ダツテ今ハ殆ド英國ノ馬ト同ジヤウニナツテ居ルノニ、日本ノ馬ガ遅イト云フ譯ハナイ、相當ニ調教シテ、上手ニ駈ケサヘスレバ、良イ「タイム」ハ出セル。併シ英國ノ本場邊リニ行ツテ見レバ、叶ハナイカモ知レナイ。日本ノ馬ハ三流位デスカラ、向フノ一流ノモノト競走シタツテ追ツ着キヤシナイ。併シ英國ノ植民地ナラ、日本ハ絶對負ケナイト思フ。例ヘバ香港、シンガポール濠洲、彼處等邊ト競走シテモ負ケナイ。日本ハ今デハ相當良イ馬ガアルカラ、選リ抜キヲ五六頭持ツテ行ツテ競走スレバ負ケナイト思フ。但シ之レハ調教法ガ巧ク行ケバト云フノデ、今ノヤウナ變テコナヤリ方デハ、負ケルカモ知レナイ。途中デコヅンヂヤツタリ、壞レチヤツテハ駄目ダガソレデナケレバ恐ラク負ケナイ

ソレカラモウ一ツ、「ゴール」ニ這入ツテ來ル時、日本ノ様ニ無暗ニ臀ヲ引ツ叩イテ、偉イ勢デマルデ戰爭見タイナ恰好ヲシテ來ルモノハナイ。アレハ駈出サナイ馬ヲ、無理ニ駈ケサセヨウトシテヤル馬ガ駈ケチイノニ何トカシテ駈ケサセヨウト引ツ叩イタリ色々シテモ、ソレハ駄目デス。元々ソレダケ出來テ居ナイモノヲ、幾ラ引ツ叩イタツテ、蹴ツ飛バシタツテ、駄目デス。向フノ人ハソコハ目茶ナコトハシナイ。無理ヲヤラナイ。デスカラ、「レート」ガ綺麗デス。追込デ來ルト云ツテモ、引ツ叩イタリ何カシテ追ツテ來ル恰好ハ見セナイ。駄目ダト思フト、駄目ナリニ追ツテ來ル。結局「ゴール」ニ這入ツテ來ル時ニ、夢中ニヤツテ居ル様子ハ見エナイ、割ニ平氣デ追ツテ居ル、ソコラガ綺麗デス、彼等ハ其ノ馬ノ實力ヲ能ク知ツテ居ル。自分ノ馬ノ實力ヲ能ク知ツテ居ルト云フコトガ、乗役ニ取ツテ一番必要ナコトデ、實力ヲ知ラズシテ、馬ニ乗ツタツテ駄目デス。ドウシテ乗役ガ能ク知ツテ居ルカト云フト、之レハ不斷カラ其ノ馬ノ本當ノ能力ト云フモノヲ、色々ナ方法ニ依ツテ試シ、檢定ヲシテ居ル、此能力ノ檢定ト云フコトヲ、外國デハ非常ニ餘計ニヤル。日本デハ殆ドヤツタコトハナイ。今マデ能力ノ檢定ト云ヘバ所謂追切り、アレガ能力檢定、向フデハサウヂヤナイ。十日ニ一遍ツ、ヤツテ、キチンノト能力檢定ヲヤル。能力檢定ト云ツテモ、血液ヲ採ツタリ何カスルノデハナイ、只乗ツカツテ見テ、ドノ位ノト云フコトヲ見ル。デスカラ、十日ノトニ、一ヶ月ニ三回ハ此馬ガドノ位ノ能力ニナツテ居ルカト云フコトヲキチント調べテ、其ノ時ニ腹ガ惡イトカ、熱ガ上ツテ居

ルナラバ、能力ハ見ナイ。チヤントシタ「コンデイション」ニナツタ時、能力ガドノ位カト云フコトヲ調べテ、ソレデ「レース」ノ時ニハ此馬ガドレダケノ能力ノ馬カト云フコトガ分ツテ居ル。デスカラ、千八百シカ駈ケラレナイ能力ノモノヲ、二千ニハ出サナイ。二千シカ能力ノナイモノハ二千四百ニハ出サナイ。ソレニ一杯ニ合フモノダケシカ出サナイ。ソレ故一ツノ「レース」ガ、非常ニ馬ノ能力ノ揃ツタモノガ、全能力ヲ出シテ駈ケ出シテ行ク、從ツテ「レース」其ノモノガ綺麗ニ行ク。日本ノ乗役ハモ少シ追ツタラ、モ少シ速イ「タイム」ガ出ヤシナイカト云フノデ、ドンドン追ツテ、結局馬ヲ壞シテ居ル。是ガ日本ノ乗役ノ大キナ缺點デス。例ヘバ府中ノ馬場ヲ一廻リ百二十八デ駈ケタ。モ少シ追ツタラ百二十七デ駈ケタ、モ少シ追ツタラ百二十六デ駈ケタ、其内ニ案外悪クナツテ百三十二ニナツタ。是ハイケナイト云ツテモ、ナカ／＼舊ニ返ラナイ。上リ目ノ馬ヲ結局下ゲテシマフ。ソウナルト馬ヲ休マセテシマフヨリ外ナイ。下ツテ來ルト云フコトハ、言換レバ疲勞ガ増シテ來タカラデ、一旦身體ノ中ニ出來タ疲勞ト云フモノヲ舊ニ返スコトハ仲々時日ガ掛ル。疲勞ヲ取ルノニ時日ノ掛ル一ツノ例トシテハ、此前中山デ眞夏ニ競馬ヲヤツタコトガアル。眞夏ニヤツタ疲勞ガ、冬ニナツテモ直ラナイ。翌年ノ春ニモ舊ニ戻ラナイ。ソレデ夏競馬ヲヤツタ馬ト云フモノハ、其ノ次ノ季ニ皆負ケテシマツタ。ドウシテ負ケテシマツタカト云フト、暑イ炎天ノ中ヲ馬ヲ駈ケサシテ、スツカリ草臥レタ。其ノ草臥レガ、其ノ次ノ季ニナツテモ直ツテ居ナイ。ソレ程疲勞ト云フモノハ取レナイ「レ

ース」ヲヤル前ニ草臥テ居ルト、ナカ／＼三日ヤ四日デ取返シガ付クモノデナイ。デスカラ、追過ギテ調教ノ時ニ無理ヲヤツタ爲ニ、疲勞シタラチヨツト直ラヌカラ、草臥レサスト云フコトヲシナイヤウニシテ行クコトガ一番必要デス。サウシテ「レース」ノ時ニ一番速イ速力ヲ出サセルヤウニ仕向ケテ行ク。ソレデ結局向フニハ追切りト云フモノハナイ。日本ノヤウニ、本當ノ「レース」デモナイノニ全能力ヲ出シテ駈ケル、ア、云フ馬鹿氣タコトハヤラナイ。結局一分トカ五十秒位駈ケサセテ、ソレ以上ハ駈ケサセナイ。ソウシテ「レース」ノ時ニ駈ケラレルヤウニスル。又駈ケラレルト見込ヲ付ケル。其ノ見込ノ付ケ方ガ、色々ナコトデ見込ヲ付ケマス。先ヅ大體ニ於テ、其ノ「レース」ノ前日、其ノ前日或ハ二三日前位ニ身體ヲスツカリ仕立テル。仕立テルト云フノハ、ドウスルカト云フト、別ニ毛ヲ光ラセタリ、蹄ヲ磨イタリスルコトデナク、飼料ヲ加減スルコトデアリマス。或ル厩舎デ馬丁ガ乗役ト喧嘩ヲシテ、馬ヲ負カシテヤレト云フノデ、前晚ニドン／＼食ハシタ。馬ハ馬鹿ダカラドン／＼食フ。ソウシテ知ラヌ顔ヲシテ居ル。乗役ハ分ラナイ。ボテ／＼腹ガ膨レテ、勝ツドコロノ騒ギチヤナイ、大負ニナル。サウ云フ惡戯ヲスル。ソレ程食物ト云フモノハ、スグニ影響シマス。デスカラ、前ノ日ニウント腹一杯食ツテ駈ケレバ負ケテシマフ。又減ツテモ駈ケラレナイ。力ガナクナツテ負ケテシマフ、デスカラ一日前ニドウ云フ風ニスルカト云フノハ、アナタ方ノ商賣、ソレガ上手デナケレバ「レース」ニ勝テナイ。其ノ時ノ馬ノ身體ヲ一日前ニ作ルコトガ必要デス。飼料ノコトハ後デ

御話シマスカラ、今日ハ申上ゲマセヌガ、サウ云フ風ナ點方向フノ方ガ進ンデ居ル。サウ云フ風ニスレバ、勝目ガアリマス。而カモ皆ガ速イ「タイム」ヲ出ス。皆ガ速クナルト云フコトガ、ドウシテモ競馬ノ方カラ云ツテ必要デス。結局調教トカ、飼料ト云フモノガ、今度問題ニナル、ソレヲ上手ニシテ行カナケレバ「レース」ハ巧ク行カナイ。サウデナイト外ノ仕掛デ以テ馬ヲ勝タセルト云フ考ニナツテシマフ。能ク我々ガ競馬場ニ行ツテ見ルト何トカ一着ニナル方法ハアリマセヌカト云フ、何トカ勝ツ藥ハアリマセヌカト云フ、詰リ考ヘヤウガナクナツテカラ、人ノ所ニ頼ミニ來ル。若シ我々ガ一着ノ藥ヲ持ツテ居タラバ、一服千圓ダツテ賣リヤシマセヌ。ソナモノガ一圓ヤ二圓デ賣レル筈ハナイ。アル筈ハナイ。ソナコトハアナタ方ノ商賣デ、一着ニナル馬ヲ拵ヘルノガ商賣ダ。ソレガ出來ナイト云ツテ、我々ニ藥ハナイカト云フノハ無理ナ話デス。言ヒ換レバ、調教方法ヲ自分ガ失策シタ爲デ馬ガ出來テ居ル時ニハ、誰モ頼ミニ來マセヌ。濟マシタモノデス。人ノ顔モ見ナイ。變ニナルト人ノ所ニ來ル。是ハ結局始終調教ヲ誤ツタ爲ニ、色々過チガ起キル、單ニ跛バカリガ過チデナイ、目ツカチバカリガヤリ損ヒデハナイ。何ダカ知ラナイガ重クナツタ。何ダカ知ラナイガ、伸ビル力ガナイ、威勢ガ惡イト云フノガ一番多イ。ソレハ結局アナタ方ノ罪ダ。我々ガドウモソレマデ、監督スル譯ニハ行キマセヌ、元々ノヤリ方ガ惡イカラ、チヨット直サウト思ツテモ直ラナイ。ドウモイケマセヌト云ツテモモウ仕方ガナイ。ソコデ一番必要ナ問題ハ、後デ御話致シマスガ、其仕立テ方ガ一番必

要デアリマス。ソレガアナタ方トシテ一番必要ナコトデアリマス。ソレハ上手ニ利口ニ「コース」ヲ取ツテ駈ケサスノモ必要デアリマスガ、馬其モノガ能ク出來テ居ナケレバ、ドンナ上手ニ立廻ツテモ負デス。要スルニ飼養管理ト云フコトニ、乗ル人モ考ヲ持タナケレバイケナイ

乗ル人ハ只乗ルダケデハイケナイノデス。幾ラ曲馬師ノヤウニ上手ニ馬ニ乗ツテモ、ソレダケデハイケナイ。今少シ馬ノ身體ト云フコトヲ知ツテ居ナケレバイケナイ。所ガ多クノ人ハサウ云ツテハ惡イノデスケレドモ、皮一枚剝イダラ、下ニ何ガアルカ知ラナイ人多イ、筋肉ガアルンダカ、臆ガアルンダカ、骨ガアルンダカ、ドウナツテ居ルンダガ、分ラナイ人ノ方ガ多イ。此頃ハ随分減リマシタガ元ハ此處ノ所ガコヅンデ痛イ、何カ空氣デモ這入ツタノカト云フノデ、針ヲ刺スト風ガ出テ直ツタト云フ様ナ人モアツタ、風ガ溜ツテ骨ガ腫レタリ、肉ガ腫レタリ、スルノデ、針ヲ刺スト云フ人モアル。ソナコトデハ駄目デス。一體何處ニドウ云フ骨ガクツ付イテ居テ、ドウ云フ筋肉ガドウ走ツテ居ルカモ知ラナイデ、ソレデ只ヤラウト云ツタツテ、ソレハ無理ナ話デス。丁度自動車ノ機械モ碌ニ知ラナイデ、自動車ノ運轉ヲスルノト同ジコトデ、少シ變ニナツテモ、何處ガ變ダカチツトモ分ラナイソレデハ駄目デス。矢張り乗ル人ハ自分ガ使フ道具デスカラ、道具ノ構造トカ、道具ノ働キト云フモノヲ知ツテ居ナケレバ駄目デス。併シ此頃ハ好イ按配ニ減ツテ來タ。元ハ只何ニモ分ラナイ人ガ随分多カツタカラ、出鱈目ニヤツテ居マシタガ、今ハサウ云フ人ガ非常ニ少クナツタト云フノハ、皆ガ勉

強シテ吳レルカラサウナツテ來タノデ、今後ハソソナコトデハイケナイト思フ

競走馬ノ見方

今日ハ競走馬ノ見方ト言ヒマスカ、馬學的ニ見テ此馬ハ將來駢ケルトカ、或ハ此馬ハ將來餘リ見込ガナイトカト云フ其ノ關係トモ少シ違ヒマスケレドモ、大體ノ馬相、サウ云フコトヲチヨット申上ゲマス。之ハ馬學ノ方デ御話ガアル筈デスガ、私ガ長イ間方々デ色々馬ヲ見テ居タ眼デ、斯ウ云フ方ガ宜イト云フコトヲ考ヘタリ、或ハ實際ニ自分ガサウ思ツテヤツタ成績ヲ調べテ行クト、サウ云フノガ宜イト云フコトヲ完全トハ云ヘマセンガ、大體氣ノ付イタ分ツタコトヲ御話致シマス

細カイ點ハ申上ゲマセヌガ、大體ノ所ハ乗役モ矢張り知ツテ置ク必要ガアル。抽籤馬デハ仕方ガアリマセヌガ、呼馬ナドヲ買フ時之ガ善イトカ惡イトカト云フコトヲ能ク見テ買フ人トソレカラ案外高イ金ヲ出シテ駢ケナイ馬ヲ買ツテ來ル人トガアリマス。之レハ形デ以ツテ一概ニ言フ譯ニハ行カナイノデ内臟ノ状態、詰リ其馬ノ生活現象ト言ヒマスカ、之レヲ能ク調べナケレバ分ラナイ。併シアナタ方ガ此生活現象ト云フコトヲ能ク調べルト云フコトハ少シ難シイコトデスカラ、唯外觀的ニ斯ウ云フ方ガ善イトカ惡イト云フコトヲ知ツテ置クダケデ宜シイ。結局先ヅ色々點ガアリマスガ、將來駢ケルトカ駢ケナイトカト云フコトヲ決メル第一條件ハ御承知ノ通り血統デアリマス。之レハ動カスコトガ出來ナイ。血統ノ善イモノハ血統ノ惡イモノヨリ駢ケル。幾ラ見カケガ良クテモ血統ガ惡ケレバ駢

ケナイ。之レハ仕方ガナイ、血統ト云フコトハドウ云フコトカト云フト、遺傳ト云フコトデアリマス遺傳ト云フノハ親ノ性質ガ子ニ移リ、子ノ性質ガ孫ニ移ルト云フコトデス。デアルカラ良ク遺傳シテ居ルモノトソレカラ詰リ良ク遺傳シテ居ナイモノトアル。丁度人間デモ親ノ良イ所ダケ遺傳シテ來ルモノト、親ノ惡イ所バカリ遺傳シテ來ルモノト二ツアル。馬デモ同様デス。幾ラ親ガ良クテモ完全無缺ナ親ト云フモノハナイ。何處カ皆缺點ヲ持ツテ居ル。ソレガ子供ニ缺點ガ遺傳シナイデ、良イ點ダケヲ遺傳シテ來ルト、其馬ハ血統上駢ケルト言ヘル。所ガ色々ナ關係ガアリマシテ、運惡ク惡イ方ガ餘計遺傳シテ、良イ方ノ遺傳ガ少ナイト云フト、其子供ハ如何ニ血統ガ良クテモ駢ケナイ。體型モ遺傳スル、大キサモ遺傳スル、サウ云フ風ニ遺傳ト云フコトハ割合ハツキリ分ル、一番分リ難イノハ内臟ノ遺傳デス。詰リ生活現象ガ親ト同ジヤウニ遺傳シテ居ルカ、親ヨリ劣ツテ居ルカト云フコトデス尙モ言換レバ人間デ言ヘバ親ガ結核デアル。サウスルト子供モ結核ニナル素質ヲ持ツテ來ル。結核ハ親カラ傳染ハシナイ。唯其子供ガ結核ニ罹リ易イ性質ヲ親カラ貰ツテ來ル。之レハ病氣ニ對スル方デスガ、親ガ弱イト云フト其子供ガ矢張り弱イ。ソレハ身體ノ形ダトカ、大キサダトカト云フコトデハナイ。詰リ其動物ノ生活現象ガ不十分不完全ト云フコトニナル。從ツテ血統ヲ調べテ見テ、其ノ上ニ其親ニドウ云フ風ナ缺點ガアルカト云フコトヲ調べナイトイケナイ。良イ方ノ點ハ之レハ宜ウゴザイマスガ、惡イ方ヲ調べナイ。ト例ヘバ其親ガ割合傳染病ニ罹リ易イ性質ヲ持ツテ居ルトカ、或ハ直チ

ニ腹ヲ痛クスルヤウナ胃腸ノ弱イ性質ヲ持つテ居ルトカト云フコトガ分ルト、其次ニ出來テ來タ子供ガサウ云フ風ナ遺傳ヲ受ケテ居ルカ居ナイカト云フコトヲ先ヅ能ク調べテ見ル。若シ親ノ惡イ所謂病氣ニ罹リ易イヤウナ性質ヲ子供ガ受ケテ居ル場合ニハ、血統ハ幾ラ良クテモ其子供ト云フモノハ餘リ良イモノニハナラナイ。所ガソレト反對ニ親ノ持つテ居ル缺點ヲ子供ガ餘リ受ケ繼イデ居ナイト云フ良イ方ダケヲ持つテ來テ居ルトナルト、親ヨリモ駈出スモノガ出來ル。言ヒ換レバ親ヨリ強イモノガ出來テ來ル。唯單純ニ之レハ「シアンモア」ノ子デアルカラ駈出スダラウトカ、「トウルヌソル」ノ子供ダカラ駈ケルダラウト云フ風ニハ簡單ニ考ヘラレナイ。若シソレデ駈出スモノナラバ屑ハ出ナイ筈デアル。所ガ同ジ親ノ子デモ良イノモアルシ、惡イノモアルト云フコトハ結局良イ所ダケヲ受ケ繼イデ來ルモノト、惡イ所ダケ受ケ繼イデ來ル子供トアルカラサウ云フコトニナル。デスカラ唯單純ニ血統ダケヲ見テ駈出スダラウト考ヘルト飛ンダ間違デス。併シ大體ハ外ノ血統ノ惡イモノヨリハ駈ケマスケレドモ、ソレデモ時々餘リ成績ノ面白クナイモノガアル。ソレハ結局種馬トナルモノ、缺點ト云フコトヲ調べズニ、唯單純ニ名前ダケデ馬ヲ考ヘルカラ、サウ云フ間違ガ起ツテ來ル。例ヘバ内臟ノ方ハチヨツト分リ難イカモ知レマセヌガ、外形カラ言ツテモ小岩井ニ居ル「シアンモア」ハ前肢ガ内向ニナツテ居リマス。所ガ其子供ガ皆内向ニナツテ居ルカト云フト、サウ云フノモアルシ、又眞直ニナツテ居ルノモアル。斯ウ云フ風ニ内向ニ生レ付イテ來ル奴ハ親ノ惡イ缺點ヲ全部背負ヒ込ンデ來タ譯

デアリマス。ソレカラサウデナクテ割合肢勢ノ良イノモアル。ソレハ缺點ヲ餘リ受ケ繼イデ來ナカッタ。之レハドツチカト言ヘバ、内向ニナツテ居ルモノヨリモ眞直ニナツテ居ル方ガ良イニ決ツテ居ルデスカラ結局今度第十五「シアンモア」ガ生レマシタト言ツタ時ニ、ソレヲ見ズニ「シアンモア」ノ子ダカラキツト駈ケルダラウト云フコトハ言ヘナイ。或ハ曲ツタ肢ヲシテ居ルカモ知レナイ。曲ツタ肢ヲシテ居レバ身體ノ中ハ良クテモ、結局物ニナラナイ。「トウルヌソル」デモ同ジコトデ、其子供ガ目黒ニ來テ到頭駈ケズ終ヒニナツタノモアリマス。一萬圓シテモ二萬圓シテモ駈ケラレナクナツテハ何モナラナイ。ソレハ結局親ノ惡イ所ヲ遺傳シテ來ルカラサウ云フコトニナルノデアリマス。唯單純ニ血統ダケデ之レハ良イトカ、是ハ惡イト決メルコトハ出來ナイ。必ズ其馬ヲ能ク見テ能ク調べテカラデナイトイケナイ。デスカラ幾ラ遠クテモ見ニ行ケル折ガアツタラ見テ能ク調べテ、乗ツテ見ルナリ、牽馬シテ見ルナリ、其馬ノ能力ガドノ程度迄アルカト云フコトヲ調べル必要ガアリマス。我々ガ聞イテ居ル所ニ依ルト、アレハアレノ子供ダカラ駈ケルダラウト云ツテ全然品物ヲ見モシナイデ値段迄決メテシマフト云フコトガアルガ、ソレハイケナイ。之レハ主トシテ親カラ遺傳シテ來ル状態ノ善惡ガ能力ニ大分影響スルト云フ話デス

次ハ普通ノ外貌、其ノ中デ先ヅ肢ガ一番必要デアリマスカラ、肢ノ御話ヲシマス。先ヅ前肢、之レハ競走馬トシテノ話デ普通ノ馬デハナイノデスガ、普通競走馬トシテ前肢ハドウ云フ風ニナツテ居ル

ノガ一番良イカト言ヒマス。普通ニハ肩ノ角度ガ伏テ居ル方ガ良イ。餘リ肩ノ角度ガ立ツテ居ルノ
ハイケナイト言ヒマス。併シ肩ノ角度ガ伏テ居ル方ガ良イカ、立ツテ居ル方ガ良イカト云フヤウナコ
トハ獨逸デ五六年前ニ澤山ノ馬デ試験シタノガアリマス。其成績ニ依ルト肩ノ傾斜、言ヒ換レバ肩胛
骨ノ傾斜ト云フモノハ速度ノ上ニ大シタ關係ガナイト云フコトニナツテ居リマス。ト云ツテ肩ガ餘リ
立ツテ居タリ、餘リ伏テ居ルト云フノハ別ナ話デスケレドモ、片輪ノヤウニナツテ居テハ駄目デスガ
サウデナイ限リハ肩ノ傾斜ト云フモノハ餘リ「スピード」ト云フモノニハ關係シテ居ナイラシイ。唯
其馬ノ持久力トカ或ハ肢ヲ壞ストカ壞サナイト云フ點、サウ云フコトニハ大分關係ガアルラシイ。速
イ遅イト云フコトニハ餘リ肩ノ傾斜ト云フコトハ關係シテ居ナイト云フコトガ發表サレテ居ル。併シ
之ハ獨逸人ガヤツタ仕事デ、日本デハマダサウ云フ風ナ統計モ出テ居リマセヌ。或ハ西洋人ノシテ居
ルコトガ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、私達ハヤツテ見ナイカラ分リマセヌガ、少クトモ肩ノ傾斜
ト云フ點ニハ餘リ重キヲ置イテ居ナイト云フコトハ事實デス。一般ニ無論肩ノ傾斜シテ居ル方ガ良イ
立ツテ居ル肩ハイケナイト長イ間言ツテ居タ、百年モ二百年モサウ言ツテ居ツタ。ソレヲ獨逸人ガ一
生懸命ニ研究シタ結果、ソレ程傾斜ト云フモノハ著シク「スピード」ニ關係スルモノデハナイト云フ
コトヲ決メタノデス。デスカラ肩ノ傾斜ト云フ問題ハ此處デハ止メテ置キマス

先ヅ側望ト云ツテ、横カラ見テドウ云フ風ナ肢勢ヲシテ居ルノガ宜イカト云フト、正肢勢ト云ツテ
前肢ハ軸ガ眞直デ、蹄ノ角度ガ四十五度ニナツテ居ル。ソレカラ後肢ハ飛端カラ下シタ垂線ガ球節ノ
後ヲ下ツテ蹄踵ノ後ニ到ル、斯ウ云フ正肢勢ノモノガ宜イカモ知レナイ。之ハ馬學ノ方デ言フコトデ
ス。競走馬トシテハ正肢勢必ズシモ宜イトハ言ヘナイ。少シ位肢勢ガ悪クテモ速ク駈ケルノガ宜イ。
ソレハ何處ニ重キヲ置クカト云フト、前肢ヲ横カラ見テ一番重キヲ置カナケレバナラナイノハ肘關節
ト腕關節迄ノ距離、ソレカラ腕關節カラ球節迄ノ距離、此距離ノ比例デス。之レハ出來得ル限り肘關
節ト腕關節トノ距離ガ長クテ、腕關節ト球關節トノ距離ガ短イ方ガ駈ケルノニハ宜イ。詰リ肘關節カ
ラ腕關節迄ノ距離ガ長ケレバ長イ程餘計駈ケル。ソレニ反シテ腕關節カラ球節迄ノ距離ノ長イ馬、言
ヒ換レバ管ノ長イ馬ハ絶對ニ駈ケマセヌ、駈ケラレナイ。幾ラ正肢勢ニ近クアウテモ駈ケナイ。逆モ
好イ肢勢デ、何處ニモ缺點ガナイ、見タ所唯腕關節ト球節ノ間ノ管ノ長サガ非常ニ長イ奴ガアル。サ
ウ云フ馬デ駈ケテ居ル馬ハ殆ドナイ。之レハ日本ノ馬バカリデハナク、外國ノ馬デモ皆サウデス。成
ルベク腕關節カラ球節迄ノ短イ方ガ宜シイ。サウシテ肘關節ト腕關節ノ距離ガ出來得ル限り長イモノ
ガ宜シイ。サウナルト釣合ハ悪クナル。肢全體ノ釣合トシテ上ガ長クテ下ガ短イカラ恰好ハ横カラ見
ルト悪イ。併シ幾ラ恰好ガ悪クテ馬學上カラ言ツテサウ云フ風ナモノハイケナイカモ知レナイガ、我
々ハ馬學ノ方デ言フノデハナク、速ク駈出スト云フコトカラ言フト、ドウシテモ短イ方ガ宜シイ。言
ヒ換レバ、分リ易ク言フト、犬ノ足ニ似テ居ル方ガ宜シイ。犬ノ足ヲ見テ御覽ナサイ。膝カラ上ガ長